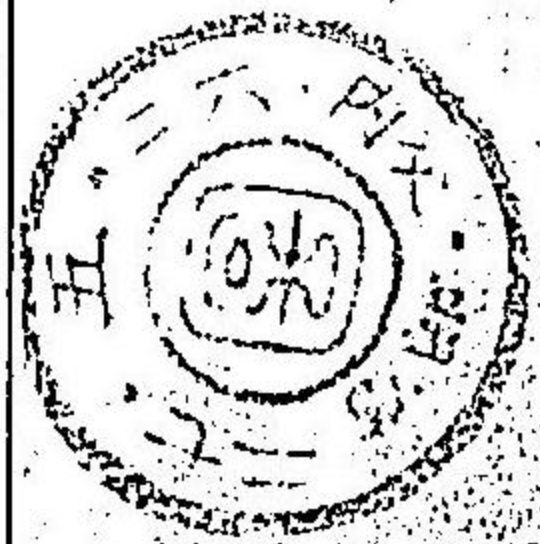


村上文郎編纂

行政裁判例

帝國出版協會藏版



C2
2311
03

行政裁判例

凡例

- 一 本書ハ行政裁判所開設以來明治二十六年十二月マテニ官報
- ニ掲載セラレタル同廳ノ宣告及裁決ヲ網羅シ尙關係ノ法令
- ヲ附録シテ參照ニ便セリ
- 一 宣告及裁決ハ之ヲ十三類ニ大別シ其事件ノ相類似スルモノ
- ヲ聚メテ一部類ト爲スト雖モ事件ノ夥多ナル事理ノ錯綜ナ
- ル或ハ其類別ヲ誤ルモノナキヲ保シ難シ覽者幸ニ之ヲ諒セ
- ヨ
- 一 本書ハ其目次ニ於テ訴求及判決ノ大意ヲ示シ以テ大ニ閱覽
- 搜索ノ便ニ資ス而カレ凡テ訴求ト判決ト其旨趣ヲ同フスルモ

ノ、如キハ略シテ判決ノ大意ノミヲ掲載セリ
一明治二十七年以降ニ係ル判決例ハ本書ノ續篇トシテ毎翌年
ノ初メニ於テ必ス之ヲ刊行センコトヲ期ス故ニ本書ハ逐次
編綴ノ便ヲ慮リ一類毎ニ其紙頁ヲ更ム

明治二十七年五月

編者 識

行政裁判例

總目錄

- 第一類 府縣會議員選舉及府縣會議權
- 第二類 郡會議員選舉及郡會議權
- 第三類 市町村會議員選舉及公民權
- 第四類 市町村吏員選舉及懲戒
- 第五類 府縣郡市町村稅及共同財產
- 第六類 郡市町村境界及役場位置
- 第七類 市町村吏員賠償金
- 第八類 町村組合及水利組合
- 第九類 區會條例及區會權限

總目錄

第十類	租稅及滯納處分	二
第十一類	土地處分及地所々有權	
第十二類	各種營業及規約	
第十三類	雜部	
附錄	法令	

行政裁判例總目錄 終

行政裁判例

目次

第一類	府縣會議員選舉及府縣會議權	
一	長野縣柳澤禎三 對同縣小縣郡長 縣會議員違法選舉取消ニ關スル妨訴抗辯	一頁
大意	妨訴 郡長ハ選舉會場一部ノ整理ヲ爲スニ止リ其實權者ハ縣知事ナルヲ以テ當選確定ノ異議ニ付テハ答辯ノ義務ヲ有セス	
判決	郡長ヲ以テ選舉會長ト爲スハ法律ノ規定スル所ナルニ依リ其選舉會ニ異議アル場合ハ責ヲ縣知事ニ讓ルヲ得ス	
二	福井縣尾長右衛門 對同縣南條郡長 自選投票ノ効力ニ關スル件	二
大意	訴求 選舉トハ他働的ノモノニシテ他人ヲ選ロ舉ケルト云フノ意義ニ外ナラサレハ自選投票ハ其効ヲ有セス	
判決	縣會議員ノ選舉ハ匿名投票ナルヲ以テ當然ノ手續ヲ經テ選舉ヲ了シタル以上ハ自選他選ノ別ヲ爭フヲ得ス	
三	青森縣藤島源作 對同縣上北郡長 縣會議員資格ニ關スル件	四
大意	訴求 一年以來地租拾圓以上ヲ納ムヘキ土地ヲ所有スルモノハ無論縣會議員タルノ資格ヲ有ス	
判決	土地所有權ヲ得タルヨリ一年以上ニ及フモ實際拾圓以上ヲ納稅シタルニアラサレハ被選舉權ヲ有スト云フ可カラズ	
四	石川縣早川政行 對同縣羽咋郡長 縣會議員違法選舉取消ニ關スル件	五
目次		

十二 石川縣會議長 縣知事解任ノ建議取消ニ關スル件……………一八

訴求 縣知事其人ノ適否ハ縣治ノ利害ニ關スルコト尠カラズ故ニ非行失政アル縣知事解任ノ建議ヲ議決スルハ府縣制第十七條ノ規定ニ基ク縣會當然ノ權限ナリトス

判決 府縣制第十七條二項ハ府縣ノ利益ヲ増進シ若クハ之ヲ損害スルモノアルトキ其意見ヲ建議スルヲ云フモノニシテ縣知事其人ノ適否ヲ論シ任命ヲ建議スルカ如キハ縣會當然ノ權限ナリト云フ可カス

十三 石川縣吉野郡十郡 縣會議員違法選舉取消ニ關スル件……………二〇
大意 判決 郡會及郡參事會々同シテ議員ヲ選舉スルニ當リ郡參事會員ニシテ郡會議員タルモノナニ方ノ定數ニ覆算シタルハ適法ノ處置ニアラス

第二類 郡會議員選舉及郡會議權

一 長野縣矢島仙右衛門對同縣知事 郡會議員違法選舉取消ニ關スル件……………一頁

大意 判決 違法選舉及自選投票ノ効力ニ關スル訴訟ハ郡制第二十五條ニ該當スルヲ以テ縣參事會ノ裁決ヲ受ケタル日ヨリ二十一日以内ニ於テ出訴セサル可カラズ

二 愛知縣岡崎町會議長 對同縣同町長 郡會議員々數ニ關スル件……………一
訴求 郡會議員配當ノ一事モ亦町村ニ對スル行政タルニ外ナラサレハ町村會ハ其當否ニ付訴願ヲ起スノ權利ヲ有ス

大意 判決 町村會ニ於テ郡會議員配當ノ當否ニ論及シ之レカ改正ヲ求ムルノ方法ヲ議決シタルハ其權限ヲ踰越シタルモノト謂ハサルヲ得ス

三 石川縣珠洲郡會議長 對同縣同郡長 郡會議員資格ニ關スル件……………三
訴求 村長ニシテ議員タルモノ自ラ郡會議員ノ決選投票ニ與リタルハ町村制第四十五條ニ違背スルニヨリ郡會ニ於テ其當選者ヲ無資格者ト決議シタルハ不當ニアラス

大意 判決 郡會ニ於テ郡會議員ノ無資格タルヲ議決スルハ郡制第九條乃至第十一條ノ要件ヲ具有セサルヲ發見シタル場合ニ於テスヘキモノニシテ選舉ノ効力ニ關シ異議アル場合ヲ包有セズ

四 山形縣佐藤兵次 對同縣荒砥町長 郡會議員當選取消ニ關スル件……………四
大意 判決 郡制第十條二項ハ已ニ一旦公民權ヲ得タルモノ其住居ヲ移シタル爲メ町村ノ公民權ヲ失ヒタル場合ニ適用スヘキ規定ニシテ始メヨリ公民權ナキモノニ適用スヘキモノニアラス

五 長野縣小縣郡會議員 對同縣知事 郡會議員選舉會長ノ出訴權ニ關スル件……………六

目次

五

四

大意 裁判 郡制中郡會議員ノ選舉ニ關シテハ選舉會長タル吏員ニ出訴ヲ許スノ規定ナシ

六 山形縣齋藤秀善對 郡會議員當選無効決定取消ニ關スル件……………六

大意 判決 神道教職ニ在ルモノ郡會議員ニ當選シ當時已ニ意ヲ決シテ教職ノ辭表ヲ提出シタル以上ハ當選本諾ノ際未ダ解職ノ辭令ヲ受ケサルモ其當選無効ナリト云フヲ得ス且當選承諾ノ當否ハ自ラ選舉ノ結果ニ影響ヲ及ホスヲ以テ郡制第二十五條ニ依リ訴願訴訟ヲ爲シ得ヘキハ勿論ナリ

七 山梨縣篠原俣孝 郡會議員選舉取消ニ關スル件……………八

訴求 投票中其氏名ノ外「被選舉人」ノ四文字ヲ記シタルモノナリトシ且再投票同數ナルトキ議長自ラ抽籤シタルハ違法ナリ

判決 被選人ノ資格ヲ明確ナラシムルノ記事ヲ以テ無効投票ト爲スヲ得ス又町村制第四十六條一項ノ規定アル以上ハ再投票ノ場合ト雖モ議長自ラ抽籤シテ當選者ヲ定メ妨ケナシ

八 長野縣齋藤六衛對山形朝日村會選舉長 郡會議員違法選舉取消ニ關スル妨訴抗辯……………九

妨訴 選舉ノ効力ニ關シ不服アル場合ハ郡參事會縣參事會ノ裁判ヲ經テ行政訴訟ヲ提起セサル可カラズ

判決 原告自ラ訴願ヲ爲サ、ルモ郡制第二十五條ノ手續ヲ經タル者アル以上ハ法律ノ規定ニ違フモノト言フ可カラズ

九 長野縣齋藤六衛對山形朝日村會選舉長 郡會議員違法選舉取消ニ關スル件……………一〇

訴求 選舉會ノ當日豫定時間ヲ過キタル爲メ中途退場シタル議員アリテ定數ヲ缺キタルニ拘ラス選舉ヲ結了シタルハ違法ナリ

判決 初メヨリ定數ニ滿タサルモ中途ヨリ定數ヲ缺キタルモ等シク召集再回ニシテ定數ニ滿タサル場合ナルヲ以テ其選舉無効ナリト云フヲ得ス

十 長野縣丸山龜三對同縣諏訪郡長 郡會議員違法選舉取消ニ關スル件……………一一

大意 判決 郡制第六條ハ單ニ各町村會々同シテ選舉ヲ行フコトヲ規定スルニ止リ其出席人員ノ定數ヲ制限セラレサルニヨリ再召集ノ場合ニ於テハ出席議員ノ多少ヲ問ハス選舉ヲ行フコトヲ得ヘシ

十一 福井縣丹生郡會 郡會議員違法選舉取消ニ關スル件……………一二

訴求 郡會カ縣會ノ議決シタル土木費ノ取消ヲ內務大臣ニ請願スルノ議決ヲ爲シタルハ一個ノ法人タル資格ヲ以テ憲法ニ依リ獲得シタル權利ヲ擴充スルニアリテ越權ノ議決ト云フ可カラズ

判決 郡會カ土木費ノ取消ヲ內務大臣ニ請願セント議決シタルハ郡制規定ノ權限ヲ踰越スルモノニシテ郡長之レカ執行ヲ停止シタルハ違法ニアラス

十二 愛知縣吉田留三對同縣東春日井郡長 大地主名簿登錄ニ關スル件……………一四

大意 判決 土地家屋等實質讓與ノ登記ハ該物件ニ關係チ有スル第三者ニ對シ之レカ効果ノ有無ヲ規定スルニ過キスシテ公權ニ關スルノ規定ニアラス故ニ名簿調製前ニ於テ地所ノ所有權ヲ適法ニ取得シタルモノアルトキハ之ヲ名簿ニ記載シテ選舉ヲ行ハシムヘキハ當然ナリ

十三 愛知縣吉田留三對同縣東春日井郡長 大地主郡會議員選舉取消ニ關スル件……………一六

大意 判決 行政訴訟ノ結果ニ依リ大地主タルノ資格ヲ回復シタルモノト雖モ選舉ノ効力ニ關シ訴願セントスルトキハ郡制第二十二條ノ規定ニ依リ選舉ノ日ヨリ十四日以内ニ於テ之ヲ申立サル可カラズ

十四 山形縣東置賜郡會 郡會議員任期計算ニ關スル件……………一六

目次

七

大意 判決 郡會議員ノ任期計算ニ付テハ別ニ規定スル所アラサルニ依リ普通ノ場合ニ於ケルカ如ク曆年ニ從フコト勿論ニシテ議員ノ行フタル職務ノ程度即通常會經過ノ度數等ニ依リ任期ノ年限ニ増減ヲ來タスヘキモノニアラス

第三類 市町村會議員選舉及公民權

一 靜岡縣澤田町對 公民權ノ有無ニ關スル件 一頁

大意 判決 町村制第七條ニ一戸ヲ構ヘ云々トアルハ戸主タルト非戸主タルトナ間ハス一戸ヲ構ヘ獨立ノ生計ヲ營ム者ヲ云フノ意義ニシテ非戸主タルノ故ヲ以テ公民權ナシト云フ可カラズ又所得稅法ハ徵稅上單ニ戸主ヲ以テ納稅者ト視ルニ過キサレハ實際ノ納稅義務者ハ其納稅者タル資格ヲ失フモノニアラス

二 東京府田中榮市 會議員及選舉掛不當選舉取消ニ關スル件 二頁

大意 訴求 納稅額ヲ詐稱シテ名簿ニ登錄セラレタル者アルノミナラス他級ノ選舉人ヲ以テ選舉掛ニ選任シタルハ市制第二十條ニ違フモノニシテ其選舉會ハ無効ナリ

大意 判決 詐稱ニ依リテ名簿ニ登錄セラレタル者アルニ付テノ異議ハ名簿等級ノ當否ニ關スル事別ニ之ヲ選任スヘシトノ制限ナキニヨリ定規ニ違背シタリト謂フヲ得ス

三 茨城縣德宿村對 區會議員違法選舉取消ニ關スル件 三頁

大意 訴求 一級二級共同ノ場所ニ於テ同日ニ其選舉ヲ執行シ且選舉人タルノ資格ナクシテ選舉會場ニ立入り擅ニ指名セサル被選舉人ヲ代書セル等ノ事實アル選舉會ハ無効ナリ

大意 判決 二級選舉會ニ於テ定規ニ違背スルノ事實アリシナ理由トシテ選舉會ヲ開クモ各級各別ニ之ヲ執行シタルモノナレハ違法ノ所置ト云フ可カラズ

四 茨城縣德宿村對 區會議員當選取消ニ係ル訴訟對手人ニ關スル件 四頁

大意 判決 當選ノ異議ニ付選舉掛長ヲ被告ト爲サシテ一箇人タル被選人ヲ被告トシタルハ行政訴訟ノ對手人ヲ誤リタルモノトス

五 新潟縣春日村對 村會議員解職不當所分取消ニ關スル件 四頁

目次

大意 裁決 村會議員解職ニ關スル郡長ノ處分及縣知事ノ裁決ニ不服アリテ行政訴訟ヲ起
サントスルトキハ町村制第百二十條三項ノ出訴期限内ニ於テセサル可カラズ 十
六 埼玉縣駒井勇吉對 村會議員選舉取消ニ關スル妨訴抗辯……………五

大意 行政訴訟ハ行政廳各等次ノ訴願ヲ經タルモノタラサルヲ得サルニ付大字一般人民ノ總
テタル資格ニ於テハ訴訟提起ノ權ナキモ當初ノ訴願者ニ對シテハ答辯ノ義務ナシト云
フ可カラズ
七 埼玉縣駒井勇吉對 村會議員不當選舉取消ニ關スル件……………六
大意 議員増員ノ許可ヲ得スシテ執行シタル選舉會無効ニ歸シ更ニ選舉ヲ執行スル場合ニ
於テ當初ノ確定名簿ヲ用ヒザリシハ町村制第十八條末項ニ抵觸スル不法ノ選舉ナリ
八 鹿兒島縣鹿屋村長 公民權ノ有無ニ關スル件……………八
大意 幼時他家ニ於テ養育ヲ受ケタル以來依然同居同炊ノ獨立ノ事實
九 鹿兒島縣地福順助 村會議員不當選舉取消ニ關スル件……………一〇
大意 役場吏員職役ヲ離レテ選舉ニ干渉シ又ハ被選人ヲ記入シ封緘ヲ施シタル投票用紙ヲ配
付シ又ハ途中ニ於テ他人ノ投票ヲ改書シタル等ノ事實アルノミナラス選舉掛定員中欠
席者アルニ拘ラス選舉事務ヲ執行シ其他本會所屬ノ選舉人ニシテ分會場ニ立入りタル
等法律ノ規定ニ違背スル選舉ハ無効ナリトス

原告陳供ノ事實ヲ確認スヘキモノナキノミナラス各選舉人規定ニ從ヒ自身ニ投票ヲ了
シタル上ハ其選舉ヲ無効ナリト云フヲ得ス又選舉掛定員中一時欠席者アリシモ亦公民
タル本會所屬ノ選舉人分會場ニ立入りタルコトアルモ之ヲ以テ町村制第二十一條二背
キタル違法ノ選舉ナリト云フヲ得ス
十 長野縣秋山清作對 收入役選舉權ノ有無ニ關スル件……………一一
大意 町村制第六十二條三項ノ規定アルモ收入役ニハ同制第五十六條二項ノ但書ヲ適用スル
ヲ得ス好シ之ヲ適用スルモ爲メニ公民權ヲ得タル收入役ハ勿論町村長助役モ亦選舉權
ヲ有セス
十一 山梨縣駒井下條村會議員 助役退職公民權停止ニ關スル件……………一四
大意 事實職ニ堪ヘサルノ疾病ニアラスシテ名譽職助役ヲ辭シタ
ルカ爲メ公民權ヲ停止シ村稅ヲ増課シタルハ不當ニアラス
十二 千葉縣館木徳太郎對 村會議員選舉取消ニ關スル妨訴抗辯……………一六
大意 村會議員トシテハ原告ノ論旨ヲ賛成シ該選舉ヲ有効ナリト裁決シタルハ被告ノ地位ニ
立ツヘキ理由ナシ又原告カ訴訟ヲ提起シタルハ被告カ未ダ村長トシテ生レサル以前ニ
シテ對手人タルノ責務ヲ有セス且準備書面ノ對手人ヲ誤ルル如キハ訂正ヲ許スヘキモノ
ニアラス
十三 千葉縣白鳥斧藏 町會議員選舉取消ニ關スル件……………一七
目次

判決 選舉會當時ノ村長已ニ退職シ其事務ヲ繼承シタル現任村長ハ被告タルノ責
務ヲ免カルヘカラサルニヨリ訴狀訂正ノ申立ニ對シ異議ヲ述フルヲ得ス
十一 判決 選舉會當時ノ村長已ニ退職シ其事務ヲ繼承シタル現任村長ハ被告タルノ責
務ヲ免カルヘカラサルニヨリ訴狀訂正ノ申立ニ對シ異議ヲ述フルヲ得ス
十二 判決 選舉會當時ノ村長已ニ退職シ其事務ヲ繼承シタル現任村長ハ被告タルノ責
務ヲ免カルヘカラサルニヨリ訴狀訂正ノ申立ニ對シ異議ヲ述フルヲ得ス
十三 判決 選舉會當時ノ村長已ニ退職シ其事務ヲ繼承シタル現任村長ハ被告タルノ責
務ヲ免カルヘカラサルニヨリ訴狀訂正ノ申立ニ對シ異議ヲ述フルヲ得ス

十一 判決 選舉會當時ノ村長已ニ退職シ其事務ヲ繼承シタル現任村長ハ被告タルノ責
務ヲ免カルヘカラサルニヨリ訴狀訂正ノ申立ニ對シ異議ヲ述フルヲ得ス
十二 判決 選舉會當時ノ村長已ニ退職シ其事務ヲ繼承シタル現任村長ハ被告タルノ責
務ヲ免カルヘカラサルニヨリ訴狀訂正ノ申立ニ對シ異議ヲ述フルヲ得ス
十三 判決 選舉會當時ノ村長已ニ退職シ其事務ヲ繼承シタル現任村長ハ被告タルノ責
務ヲ免カルヘカラサルニヨリ訴狀訂正ノ申立ニ對シ異議ヲ述フルヲ得ス

大意 訴訟 議員ノ選舉ハ其執行ノ當日ヨリ七日以前ニ公告スヘキ規定ナルニ町長私カニ其期限ヲ減縮シテ選舉人ノ權利ヲ減殺シタルハ不法ニシテ其選舉ハ無効ナリトス

十四 富山縣室谷谷介 市會議員退職公民權停止取消ニ關スル件 一八

大意 訴訟 市長ノ選舉ニ當リ他ノ議員ハ正當ナル法律ノ見解ヲ須サス多數ヲ以テ原告等ヲ壓抑セラルハノ理由ナシ

十五 千葉縣鈴木徳太郎 村會議員選舉取消ニ關スル件 二〇

大意 判決 市長選舉ニ付法律ノ見解ヲ論スル如キハ議員ノ職務上ニ關スル事ニシテ公民タルノ義務即チ名譽職ヲ退キ得ルノ理由ト爲スヘキモノニアラス

十六 熊本縣原田真二 議員退任抽籤ニ係ル不當命令取消ニ關スル件 二二

大意 判決 郡長カ抽籤取消ノ訓令ヲ發シタルハ監督ノ命令ニ止リ之ヲ執行シタルハ命令ヲ受ケタル町長ナルニヨリ町村制第三十七條ノ手續ヲ履行シタル上ニアラサレハ出訴スルヲ得サルモノトス

十七 千葉縣伊藤藤藏 村會議員選舉取消ニ關スル妨訴抗辯 二二

大意 妨訴 縣參事會ニ訴願シタルハ被告村長ナルヲ以テ其裁決ニ不服アルモ訴願者ニアラサル原告ハ行政訴訟ヲ提起スルノ權利ナシ假リニ訴權アリトスルモ原告ノ内數名ハ全ク選舉權ナキ者又ハ選舉權ヲ拋棄シタルモノナルヲ以テ答辯スルノ義務ナシ

十八 滋賀縣宇野庄太郎 村會議員選舉取消ニ關スル件 二四

大意 判決 原告直ニ縣參事會ニ訴願セスト雖モ直接ニ利害ノ關係ヲ有スル者ナルヲ以テ其事件ニ付訴訟ヲ爲シ得ルハ勿論原告ノ内數名ニ付被告ニ於テ異議ナキ以上ハ之ニ對スル本案ノ答辯ヲ爲スヘキハ當然ナリ

十九 福井縣大森善立 村會議員選舉取消ニ關スル件 二四

大意 訴訟 選舉全部ノ取消ヲ請求スルト投票ノ無効タルヲ請求スルトハ訴ノ原因ヲ變更スルモノナリトスルモ訴願ノ順序ヲ經サレハ請求スルヲ得スト云フヘカラス

二十 新潟縣宮崎芳謙 會社選舉權有無ニ關スル件 二五

大意 訴訟 縣知事ノ認可ヲ得テ設立シタル會社ニシテ町村ノ負擔ヲ分任シタル以上ハ法人トシテ議員選舉權ヲ有スルコト勿論ナリ

二十一 福島縣大竹久太 村會議員選舉ニ係ル緣故ノ區別ニ關スル件 二六

大意 判決 縣知事ノ認可ヲ得テ設立シ且ツ納税ノ義務ヲ負擔スル會社ト雖モ人民相互ノ契約ニ由リ組織シタルモノハ法人タルノ資格ヲ有セス

目次 十三

二十二 茨城縣海老原重村 村會議員選舉取消ニ關スル件……………二七

大意 訴求 出稼又ハ棄權シテ投票セサルモノ、投票アルノミナラス無資格者タル壯士輩ノ會場ニ入りテ密話勸誘至ラサルナキ事實アル選舉會ハ取消スヘキ理由アリ

判決 無資格者入場スルモ原告ノ主張スル如キ事實アリシト認ムヘキ證據ナク又出席投票シタルニ非ストノ證明書ハ隨意ニ作爲シ得ヘキモノナレハ之ヲ以テ選舉當時ノ事實ヲ證スルモノト爲スヲ得サルニヨリ該選舉會ハ取消スヘキ理由アリト云フヘカラス

二十三 群馬縣小泉村 村會議員選舉取消ニ係ル村長出訴權ニ關スル件……………二九

大意 判決 町村制第三十七條ニ依リタル訴訟ト雖モ村長トシテ村内ノ人民ヲ被告トシテ出訴スルヲ得ヘキモノニ非ス

二十四 香川縣多度津町會 公民權停止處分ニ係ル町村會出訴權ニ關スル件……………三〇

大意 訴求 虛構ノ疾病一私ノ事故ニ假托シ一回モ議席ニ出テサル議員ハ即公義務ヲ盡ササルモノナルニヨリ之ニ對シ公民權ヲ停止シタルハ不當ニアラス

判決 町村制第八條三項ハ町村會ノ議決ヲ以テ公民權ヲ停止セラレン租稅ノ增課ヲ受ケタル者其議決ニ不服ナルトキ訴訟願又ハ訴訟シ得ヘキ規定ニシテ町村會ヨリ訴訟願若クハ出訴シ得ヘキモノニアラス

二十五 秋田縣宮腰與三郎 町會議員選舉ニ係ル選舉人訴願權ニ關スル件……………三一

大意 訴求 町村制第三十七條三項ハ被選舉人ノミ訴願權ヲ有シ選舉人其他ニ屬セサルモノナリトノ縣參事會ノ裁決ハ不法ナリ

判決 本訴ハ當選効力ノ有無ヲ爭フニアラスシテ縣參事會ノ裁決ヲ取消シ原告ニ出訴權アリトノ裁決ヲ請フモノナレハ行政訴訟ヲ提起シ得ヘキ限ニアラス

二十六 岩手縣齊藤潔 町會議員選舉ニ關スル不當裁決取消ノ件……………三一

大意 訴求 文字ヲ補入セサルハ文章ヲ爲サ、ルカ爲メニ訴狀ヲ補足シタルヲ以テ訴ノ原因ヲ變更シタルモノナリト謂フ可カラス

判決 選舉會ノ取消ヲ請求スルト縣知事ノ裁決取消ヲ請求スルトハ全然目的チ同クセス從テ訴訟ノ結果ヲ異ニスルモノナルニヨリ文章ヲ補足シタルモノト認ム可カラス

二十七 東京市高村武 市會議員選舉ニ關スル件……………三三

大意 判決 無資格者ニシテ選舉名簿ニ登錄セラル、事アリトスルモ名簿確定ノ効力ニヨリテ有資格者ト爲スヘキモノニアラス且其投票ハ何人ノ得票ニ歸シタルヤ之ヲ知ルニ由ナキモノナレハ其選舉ハ有効ニ當選ノ効果ヲ生スヘキ理由ナシ

二十八 新潟縣増田九平治 村會議員違法選舉取消ニ關スル件……………三五

大意 判決 選舉人名簿縱覽期限ハ法律上ノ規定ニ係ルモノナレハ其幾部分ヲ變更シタリトテ其レカ爲メ縱覽期限ヲ延長スヘキモノニアラス、選舉人名簿ハ訴願訴訟ノ結果ニ依リ修正ヲ加フルノ外私擅ニ變更スヘキモノニアラス其違法行爲ニ原因シタル選舉人名簿ニ依リテ執行シタル選舉會ハ適法ニ成立シタルモノナリト云フヘカラス

二十九 和歌山縣笠松官三郎 村會議員選舉會全部取消ニ關スル件……………三六

大意 判決 名簿縱覽中及期限後ニ至リテハ法律ニ基キ訴願裁決ノ結果等ニ因ルニ非レハ濫リニ加除訂正ヲ爲シ得ヘキモノニアラス其違法行爲ニ依レル選舉人名簿ニ依リテ行ヘル選舉會ハ無効トス

三十 秋田縣宮腰與三郎 町會議員選舉効力補充判決請求ニ關スル件……………三八

大意 訴求 訴願權ノ有無ニ關スル判決アリシモ當選無効ナリトノ裁判請求ニ付テハ何等ノ判決ナシ

判決 訴願權アリトノ裁判請求ニ付テハ選舉ノ効力如何ニ就キ直チニ裁判ヲ請フモノナリト爲スヲ得ス

三十一 熊本縣足立亦 村會議員再選舉取消ニ關スル件……………三九

目次 十五

大意 判決 名簿調製ノ要否ニ關スル訴願ノ裁決ハ直チニ選舉權ノ有無ニ關シ村會ノ裁決ヲ

三十二 千葉縣佐久間清藏 村會議員半數改選取消ニ關スル件 三九

大意 判決 選舉係ト爲リシモノ及棄權者ト雖モ該選舉ニ付キ訴願訴訟ヲ爲シ得ヘキハ勿論ナリ、

三十三 熊本縣水原覺 八村會議員選舉無効投票取消中間判決ニ關スル件 四一

大意 判決 選舉人ハ己レノ屬セサル級ノ選舉ニ關シテ訴願訴訟ヲ爲スノ權

三十四 熊本縣野田小三郎 村會議員違法選舉取消ニ關スル件 四二

大意 訴求 村長及代理者交々選舉係長ノ職ヲ執リ又非選舉人タル收入役

判決 掛長欠席ノ間選舉場内ノ取締リヲ爲サシムル目的ヲ以テ假リニ其事務ヲ取扱ハシメ又

三十五 山形縣豐原村長 對 村會議員投票効力ニ關スル件 四三

大意 訴求 被選人中同村內向氏名ノモノアルトキハ居住大字ヲ記入セサル投票ハ無効ナ

判決 行政訴訟ハ行政上ノ處分ニ對シ之レカ救正ヲ求ムルニ依テ提起シ得ヘキモ

三十六 秋田縣戶澤政吉 對 公民權停止租稅增課處分取消ニ關スル件 四四

大意 訴求 筆算ヲ能クセサルノ故ヲ以テ村長ノ職ニ堪ヘスト思考シ其當選ヲ辭シタルニ公民權ヲ

判決 投票ノ多數ヲ得タルハ即チ名譽職ノ當選ニシテ府縣知事ノ認可ヲ得サル前ト雖モ名譽

三十七 石川縣高濱町 町會議員選舉人名簿ニ關スル妨訴抗辯 四六

大意 判決 行政訴訟ハ民事訴訟ヲ適用シ原告カ裁決書ノ交付ヲ受ケタル翌日ヨリ起算シ里程ニ

三十八 長野縣出羽澤岩次郎 村會議員選舉効力訴願期限ニ關スル件 四六

大意 判決 原訴願者カ縣參事會ニ訴願シテ其裁決ヲ受ケタル

三十九 石川縣若部村 村會議員選舉効力ニ關スル妨訴抗辯 四七

大意 妨訴 縣參事會ハ原訴願者ノ訴願ニ對シ投票無効ナリトノ裁決ヲ與ヘタル迄ニシテ被告ノ地

判決 縣參事會ニ於テ原訴願者ノ請求ヲ容レ之レカ裁決ヲ與ヘタルカ爲メ原告等ノ權利ヲ毀

損セラレタルトシテ出訴シタルモノニシテ訴願ノ裁決ハ民事訴訟法ノ裁判ト同一視ス

四十 熊本縣來民町長 對 公民權特免議決執行取消ニ關スル件 四八

大意 判決 訴狀中訴ノ目的トシテ記載シタル一項ヲ取消シ且ツ一定ノ申立トシテ記載ノ項中多少

得ス 文字ヲ増減シ又之レカ修正ヲ申立ルモ訴訟ノ目的ヲ變更セサル限リハ異議ヲ唱フルヲ

四十一 長野縣清水一郡長村會議員選舉訴願期限ニ關スル件……………四九

大意 判決 郡參事會ニ於テ村會ノ裁決ヲ不當ナリト裁決シタル場合ニ於テ村長ヨリ直チニ縣參事會ニ訴願シタルハ其手續キテ誤リタルモノトスルモ村長ノ爲シタル訴願ニ關スル日數ハ原告ノ訴願期限ヲ中斷スルヲ得ヘキモノト云フ可カラズ

四十二 熊本縣戸崎村長對村會議員選舉効力ニ關スル件……………五〇

大意 判決 住居移轉ニ關スル公式ノ手續キテ爲シタルコトナキノミナラス該村ニ對スル總テノ權利義務ヲ行ヒ來レル者選舉權ヲ行ヒタリトテ該選舉ヲ無効ナリト云フヲ得ス

四十三 京都府柴田新治郡長村會決議變更取消ニ關スル件……………五二

大意 判決 同一事件ヲ再議々決セシメタルニ不服ナル場合ニ於テ行政訴訟ヲ許スノ規定ナシ

四十四 神奈縣尾島角藏對町會議員選舉取消ニ關スル件……………五二

大意 判決 投票日時告示ノ但書ニ於テ時間ハ便宜變更スルコトアルヘキ旨豫告シタルノミナラス會場ニ於テ選舉人ニアラサルカ爲メ時間ヲ延長シタルカ如キ又會場取締其他投票整理上必要ヲ認メ選舉人ニアラサルカ爲メ選舉會場ニ入ラシメタルカ如キテ違テ生スルモフヲ得ス、町制第十六條ノ規定アル以上ハ改選ト増加トハ任期ニ差違テ生スルモフヲ得ス、代人ヲシテ投票ヲ爲シメタル事實アル以上ハ假令其投票ハ除却セサルモフヲ得ス、規定ニ違背シタルモノナレハ結果ノ如何ニ係ラス其選舉ハ適法ノモノト云フヲ得ス

四十五 熊本縣來民町長對公民權特免ノ議決執行停止ニ關スル件……………五五

大意 判決 相續ニ依リ財產權ヲ承繼シタルモノニ對シ二箇年ノ制限ヲ特免スル村會ノ議決ハ法律ニ違フモノト云フヘカラス

四十六 長崎縣松尾信知對村會議員半數改選取消ニ關スル件……………五八

大意 判決 縦覽期限滿了後ニ至リ加除訂正ヲ加ヘタル選舉人名簿ニ依リ執行シタル選舉會ハ無効ナリ

四十七 石川縣若部村村會議員選舉投票ノ効力ニ關スル件……………六一

大意 判決 町制第二十三條被選舉人氏名ノ外他事ヲ記入シタル投票トハ選舉ニ害アル事若クハ必要ナキ雜事ヲ記入シタル場合等ヲ指スモノニシテ投票用紙タルノ性質ヲ明確ナラシムル爲メノ記入ハ之レニ該當スト云フヘカラス、ハカラサルニ因リ投票中ニ「村會議員選舉」ニ文字ヲ印刷セル如キハ無効ナリト云フ可カラズ

四十八 石川縣北邑知村村會議員選舉投票ノ効力ニ關スル件……………六三

大意 判決 町制第二十三條被選舉人氏名ノ外他事ヲ記入シタル投票トハ選舉ニ害アル事若クハ必要ナキ雜事ヲ記入シタル場合等ヲ指スモノニシテ投票用紙タルノ性質ヲ明確ナラシムル爲メノ記入ハ之レニ該當スト云フヘカラス、ハカラサルニ因リ投票中ニ「村會議員選舉」ニ文字ヲ印刷セル如キハ無効ナリト云フ可カラズ

四十九 石川縣北邑知村村會議員選舉投票ノ効力ニ關スル件……………六五

大意 判決 町制第二十三條被選舉人氏名ノ外他事ヲ記入シタル投票トハ選舉ニ害アル事若クハ必要ナキ雜事ヲ記入シタル場合等ヲ指スモノニシテ投票用紙タルノ性質ヲ明確ナラシムル爲メノ記入ハ之レニ該當スト云フヘカラス、ハカラサルニ因リ投票中ニ「村會議員選舉」ニ文字ヲ印刷セル如キハ無効ナリト云フ可カラズ

五十 石川縣若部村村會議員選舉投票ノ効力ニ關スル件……………六七

大意 判決 町制第二十三條被選舉人氏名ノ外他事ヲ記入シタル投票トハ選舉ニ害アル事若クハ必要ナキ雜事ヲ記入シタル場合等ヲ指スモノニシテ投票用紙タルノ性質ヲ明確ナラシムル爲メノ記入ハ之レニ該當スト云フヘカラス、ハカラサルニ因リ投票中ニ「村會議員選舉」ニ文字ヲ印刷セル如キハ無効ナリト云フ可カラズ

五十一 熊本縣木原覺八村會議員選舉無効投票取消ニ關スル件……………六九

目次

十九

大意 判決 選舉執行ノ當時既ニ投票中ニ他事ヲ記入シタルモノナルコトヲ確認スル以上ハ其記入ノ文字カ投票用紙ノ表面ナルト裏面ナルトニ係ハラス該投票ハ無効トス
五十二 熊本縣大野德行對 村會議員選舉取消請求ニ關スル件……………七一

大意 判決 選舉ノ當日雨天ナルカ爲メ選舉係協議ノ上初メ會場ト定メタル場所ト同地内ニ會場ヲ移轉シタルヲ以テ不法ニ會場ヲ變更シタリト爲スヘカラス、一定ノ投票用紙ヲ設ケ選舉人ノ望ミニ任セ其使用ニ供スルハ若シ法律ニ違背スル廉ナシ、町村制第二十條ハ選舉係長及選舉係ニ關スル規定ニ止リ其職務ノ補助ヲ爲サシムルモ、設定テ禁スルノ規定ニ非ルヲ以テ名簿照合者及助手ヲ設ケタルハ同條ノ規定ニ違背シタルモノト云フヘカラス、選舉係助手ヲシテ選舉係リノ面前ニ於テ選舉人ノ投票ヲ代書セシムルモ選舉ノ自由ヲ妨ケル行爲アラサル以上ハ町村制第二十二條ノ規定ニ背反シタリト云フヘカラス

五十三 高知縣包國重 公民權停止處分取消ニ關スル 妨訴抗辯……………七四

大意 判決 村會ノ議決ヲ以テ公民權ヲ停止セラレタルヲ違法トシ其取消ヲ求ムル訴訟ノ對手人ハ縣參事會議長タル縣知事ニアラス

五十四 栃木縣中川村會 公民權停止村費增課決議取消ニ關スル件……………七五

大意 裁決 町村制第八條ハ町村會ノ議決ニ依リ公民權ヲ停止セラレ町村費ノ增課ヲ受ケタルモノ其議決ニ不服ナルトキ訴訟願ヲ爲スコトヲ得可キ規定ニシテ町村會ヨリ訴訟願若クハ出訴スルコトヲ許シタルモノニ非ス

五十五 石川縣高濱町 町會議員選舉人名簿ニ關スル件……………七六

大意 訴求 町長ニ提起シタル訴願ハ一人ノ資格ヲ以テシ郡參事會議ニ對シテハ數十名ノ權利代ヲ兼スルト稱スルモ第一審町會ニ訴願セサルモノ第二審郡參事會議ニ訴願スルノ權利ナキハ勿論ニシテ縣參事會ハ既ニ其數十名ニ就テハ訴願提起ノ權利ナキコトヲ認メナカラ僅力ニ訴願アル一人ノ申分ニ依リ其要求點ヲ満足セシメタルハ適法ニアラス

五十六 島根縣山野市 公民權停止租稅增課ノ議決取消ニ關スル件……………七八

大意 判決 選舉人名簿ノ正否ニ關シテハ町村制第十八條第三十七條ニ依リ其關係者ニ於テ訴訟願ヲ爲スコトヲ得ルモノナレハ當時其本人ノ委任ヲ受ケルト否トニ係ハラス其訴訟願ニ効力ナキモノト云フヘカラス

五十七 山形縣玉虫寅松 村會議員二級選取消ニ關スル 妨訴抗辯……………八〇

大意 訴求 徵毒症ニ罹リ議員ノ當選ヲ辭シタルニ其實狀ヲ精査セス辭表ノ不完全ナル故ヲ以テ公民權ヲ停止シ村稅ヲ增課セシムル不當ナリ

五十八 島根縣澤谷村長 村會議員補缺選舉ノ効力ニ關スル件……………八一

大意 妨訴 被告ハ原告ノ訴願ニ對シテハ利益ナル裁決ヲ與ヘタルモノニシテ原告ノ權利ヲ害セシハ縣知事ノ裁決ナルヲ以テ被告ハ對手人ト爲ルヘキ謂レ無シ

五十九 石川縣吉村茂吉 市會議員選舉取消ニ關スル件……………八四

大意 訴求 選舉人ノ員數ニ超ユル過剩投票ハ不正物ナルニ付除却スヘキハ勿論ナルモ其孰レノ投票力不正ナルヤヲ認知スル能ハサルニ於テハ其選舉ヲ取消シ更ニ選舉ヲ行フヘキハ勿論ナリ

六十一 石川縣金澤市 市會議員選舉取消ニ關スル件……………八四

大意 判決 選舉人ノ員數ニ超ユル過剩投票アリタル場合ニ於テモ其過剩投票ノ數ヲ當選者ノ得票數ヨリ控除スルカ爲メ當選ノ結果ニ異動ヲ生スルニ至ルコトナキトキハ其選舉ヲ取消スヘキモノニアラス

目次

大意 判決

選舉會場區區内ニ在ラザリシ選舉人ニ投票ナ行ハシメザリシハ違法ナリト云フ可カラ
ス、三級選舉ナ終了セシテ執行シタルニ一級ノ選舉ハ有効ナリト云フヘカラス、他
級ノ選舉効力ニ關シ訴願訴訟ヲ爲シ得ヘキモノニ非スト云フハ不當ナリ

六十 茨城縣瀧七五 村會議員選舉取消處分ノ取消ニ關スル件……………八六

大意 裁決

無資格者カ投票ヲ爲シタル事實アル場合ニ於テ町村制第二十九條第二項ニ依リ郡長ニ
於テ其選舉會ヲ取消スハ格別縣知事ニ於テ之レヲ取消シタルハ違法ナリト雖モ右等ノ
場合ニ於テ行政訴訟ヲ許スノ規定ナシ

六十一 長野縣南箕輪村長 村會議員半數改選ノ効力ニ關スル 妨訴抗辯……………八七

大意 判決

村會議長ノ訴願ニ對スル縣選舉會ノ裁決ニ不服ナリトテ村長タルモノ
ヨリ直チニ行政訴訟ヲ提起シタルハ適法ノ手續キテ誤リタルモノトス

六十二 鹿兒島縣那之內藤三 市會議員選舉人名簿更正ニ關スル件……………八八

大意

存續會ノ決議ニ係ル教育費ヲ尋常市費中ニ併算シ新タ
ニ得タル資格者ヲ選舉人名簿ニ登載シタルハ不當ナリ

市町村ノ教育ハ其行政事務ニ屬スヘキモノナレハ之レニ要スル費用モ亦市稅町村稅ト
シテ徵收スヘキハ當然ナリ故ニ其納稅者ヲ有資格者トシテ選舉人名簿ニ登載シタルハ
不當ニアラス

六十三 東京市會議長 區會議員退職理由ノ當否議決ニ關スル件……………九〇

大意

市制其他ノ法令中區會議員退職理由ノ當否ヲ市會ニ於テ議決ス
ヘキモノナリトノ規定ナキニ依リ之ヲ受理セザルハ當然ナリ

市會自ラ職權ヲ有セスト議決シタルモノナルニ依リ其議決ノ性質ニ於テ既ニ執行スル
コトヲ得サルモノナリ從テ議決ノ執行ヲ停止スル事實ハキ理由ナキニ依リ市制
第六十四條第二項ノ一ニ依ルヘカラサルハ勿論其他ノ法律勅令中右等ノ場合ニ於テ行
政訴訟ヲ許スノ條項ナシ

六十四 長野縣原三津吉 村會議員當選取消ニ關スル件……………九二

大意

町村制第九條租稅滯納處分中トハ租稅滯納ノ爲メ處分權アル官廳カ財產差押命令
ヲ發シタルトキヨリ起算スヘキモノニシテ其處分中ニ行ヒタル投票ハ無効ナリ

町村制第九條二項ノ公民權停止ハ滯納者カ財產差押ノ處分ヲ受ケタルニ因リ成立スル
モノニシテ官廳カ處分ノ手續ニ着手シタルノミハ未タ以テ其公民權ヲ停止スル場合ト
爲スナ得ス

六十五 青森縣鈴木松太郎 村會議員選舉効力ニ關スル件……………九四

選舉人名簿確定ノ後ハ假令無資格者アリト雖モ法律上選舉權アルモノト見做サ、ルチ
得ス又學校費水利土功費ノ如キハ均シク村稅タルニ外ナラサレハ其納稅額ヲ以テ選舉
人ノ資格ニ合算スルハ當然ナリ

大意

町村制第十八條一項ハ選舉ヲ行フノ準備即チ名簿ノ調製ニ係ル規定ニ外ナラスシテ之
レニ依リ選舉權アルコトヲ確定スルモノニアラス又學校費ハ村稅ト見做スチ得ヘキモ
水利土功費水利組合費ノ如キハ其關係者ノ負擔ニ屬スルモノナレハ村稅トシテ資格ニ
合算スヘキモノニアラス

六十六 岡山縣齋藤權左衛門 村會議員選舉取消ニ關スル件……………九六

大意

無資格者投票ヲ行ヒ又選舉人ニ非ルモノ入場セシ等ノ事實アル選舉會ハ違法タルチ宛
レス、半數改選ノ投票函ニ補缺選舉ノ投票アリ補缺選舉ノ投票函ニ半數改選ノ投票ア
ルハ選舉掛長及選舉掛員ノ不注意タリ、選舉人不明ノ投票一チ有効トシ一チ無効トシ
タルハ違法ナルニ依リ該選舉ハ取消スヘキ理由アリトス

無資格者投票シ又入場シタリト云フモ證據ノ徵スヘキモノナシ、半數改選ト補缺選舉
ノ投票ヲ誤リタルハ選舉人ノ不注意ニシテ選舉掛長及選舉掛員ノ責ニ屬セス、無効投票
ヲ排除スルモ尙ホ當選者ニ異動ヲ生セサル選舉ハ取消スヘキ限リニアラス

六十七 福岡縣安徳武 公民權特免ニ關スル件……………九八

大意 裁決 町村制第六十八條二項ノ規定ニ起因スル行政訴訟ハ町村會タル團體ニ於テ爲シタル議決ノ當否ヲ論争スルモノナレハ町村會ヨリ出訴シ得ヘキハ勿論ナルモ一個人タル町村會議員ヨリ訴訟ヲ提起シ得ルノ權利ナシ

六十八 青森縣平山瀨九村會議員選舉取消ニ關スル件……………九八

大意 判決 代人投票委任狀ニ關スル疑義ヲ選舉掛長ニ於テ專決シ選舉掛長ニ於テ議決セシメサリシハ町村制第二十三條末項ノ規定ニ違背スルモノニシテ其選舉ハ有効ナリト云フヘカラス

六十九 長崎縣渡邊德次郎村會議員違法選舉取消ニ關スル妨訴抗辯……………一〇一

大意 判決 妨訴抗辯ハ口答辯論前何時提出スルモ妨ケナシ、選舉掛三名ヲ以テ選舉會ヲ組織セシコトハ郡長ノ管轄セシ處ニアラス、郡書記ヲ以テ選舉掛長トナシタル郡長ノ處分ニ對シテハ法律勅令中行政訴訟ヲ許スノ條項ナシ

七十 山形縣玉虫寅松村會議員選舉取消ニ關スル件……………一〇二

訴求 郡參事會ノ裁決ヲ不當トシ縣參事會ニ訴願シタル結果再ヒ郡參事會及縣參事會ニ訴願セラルヘキモノナリ

大意 判決 當初郡參事會ニ於テ訴願權ナシトノ裁決ヲ受ケ之レニ服セスシテ縣參事會ニ訴願シ而シテ訴願權アリトノ裁決ヲ受ケタルヲ以テ更ニ郡參事會ニ向テ裁決ヲ求メタルモノナレハ同一ノ事柄ヲ再ヒ管理スルモノト云フヘカラス從テ其訴願ハ前ノ訴願ヲ繼續シタルモノニシテ期限ヲ經過シタルモノト云フヲ得ス

七十一 青森縣野呂利江次郎對同縣碓野村長村會議員違法選舉取消ニ關スル件……………一〇五

大意 判決 法律上ノ手續ヲ經テ確定シタル選舉人名簿ハ確實ナル反對ノ證據アルニ非レハ確定後變更シタルモノトスルヲ得ス

七十二 鳥取縣松平實造村會議員選舉取消ニ關スル件……………一〇七

訴求 豫メ選定シ置キタル選舉掛四名中其開會ノ當日一名ノ缺席者アリタル儘選舉會ヲ開閉シタリトテ町村制第二十條ノ法意ニ違フモノナリト言フヘカラス

大意 判決 町村制第二十條ノ選舉掛二名若クハ四名ノ偶數ヲ選任スル規定ハ同第二十三條ノ規定ニ依リ議決ノ場合ニ於テ掛長ヲ併セ奇數ヲ要スルカ爲メナルヲ以テ選舉掛四名ノ内一名缺席シ偶數ノ儘各投票ノ當否ヲ議決シタルハ違法ナリ

七十三 福島縣長澤義村會議員選舉取消ニ關スル件……………一〇九

大意 判決 選舉人名簿ハ縱覽期限ノ滿了若クハ選舉前十日ヲ限リ確定スルモノナルハ假令無資格者ノ登載アルモ之レヲ以テ不正ノ名簿ナリト云フヲ得ス、故ニ其後ニ至リ之レヲ發見スルコトアルモ選舉ノ効力ニ異動ヲ及ボサハル限リハ該選舉ヲ取消スヘキ者ニアラス

七十四 高知縣天坪村長村會議員選舉効力ニ關スル妨訴抗辯……………一一〇

妨訴 郡長ハ郡參事會ノ職務ニ就テハ即チ五名中ノ一分子ナルモ其集議體ヲ離レタルトキハ郡參事會トシテ爲スヘキ職權ナク又法律上外部ニ對シ參事會ヲ代表スルコトヲ得サルモノナレハ該會ニ於テ與ヘタル裁決ニ對シ郡長ヲ被告トシタルハ全ク其對手人ヲ誤リタルモノトス

判決 郡參事會ヲ代表シテ其議決ヲ執行スルハ其議長タル郡長ノ職任ナルコト郡制ノ規定スル處ナレハ郡參事會ノ裁決ヲ不當トスル場合ニ於テ其裁決執行ノ任ニ當ル郡長ヲ被告トナスハ當然ナリ

第四類 市町村吏員選舉及懲戒

一 千葉縣押尾忠治對同縣彌富村會議長 村長及委員不當選舉取消ニ關スル件……………一頁

大意

相續後未タ村費ノ負擔ヲ分任セス且相續後滿二箇年ヲ經過セサル者ハ町村制第七條ノ公民タルニ必要ナル條件ヲ具備セザルモノナルニ拘ハラズ之レヲ常設學務委員及名譽職村長ニ選舉シタルハ不當ナリ
判決 被告ハ常設委員當選前ニ於テ前戸主ノ動不動産全額ヲ相續シ且村會ノ議決ヲ得テ二箇年ノ制限ヲ特免セラレタルモノナレハ公民權ナシト云フヘカラス

二 岩手縣關德次郎對同縣知事 町長懲戒處分取消ニ關スル件……………二頁

大意

府縣會議員選舉ニ際シ郡長ヨリ之レカ告示ヲ揭示スヘキコトヲ命シタルモ斯ノ如キ事項ハ元來町村長ノ職務ニ屬セザルモノナルカ故ニ郡長ノ命令ニ應セザリシモノナリ然ルニ町村制第二百二十八條ニ依リ過意金ヲ科シタルハ不當ナリ
判決 郡長ハ行政事務ニ就テハ其部内町村長ヲ指揮スルコトヲ得ルノ職權ヲ有スルモノナレハ町村長之レカ命令ニ應スヘキハ當然ナリ故ニ其之レカ命令ニ應セザリシカ爲メ爲シタル懲戒處分ハ取消スヘキ理由ナシ

三 靜岡縣美島村長對同縣長上外二郡長 村長懲戒處分取消ニ關スル件……………三頁

大意

麥作凶荒ノ爲メ地方稅延納出願及村内ニ苦情訴願等アリテ村稅ヲ不納スルモノ多ク爲メニ行政機關ノ運轉ヲ妨害シタルニ依リ其職務ヲ執行スル能ハサリシハ職務擧ラサル長タルノ職務ヲ解キタルハ不當ナリ
判決 町村長ノ職ニ當ルモノハ何等ノ事情アリテ村治上ニ困難ヲ見ルコトアルモ法律命令ノ範圍ヲ守リ其職務ヲ盡サハルヘカラサルハ當然ノコトナレハ既ニ其職務擧ラサル以上ハ其責ヲ免ルコト能ハサルモノトス

四 茨城縣國府田利兵衛對同縣豐田郡長 村長懲戒處分取消ニ關スル件……………五頁

目次

大意

町村制施行期日以前分合處分ヲ結了シ得サリシ飛地ノ如キハ從來ノ儘自治体ノ資格ヲ享有スヘキモノナレハ今ニ於テ之レカ分合ヲ爲サシムルハ町村制第四條ニ依テ處分スヘキモノナリ故ニ該飛地ヲ他村ニ引渡スヘシトノ郡長ノ諭示ニ應セザリシハ不當ニアラス從テ懲戒處分ヲ受クヘキ理由ナシ

五

岐阜縣芥見外一箇村組合村長懲戒處分取消ニ關スル件

大意

郡長カ法律ニ依ラスシテ用水區域ヲ定メ用水路開鑿費ヲ徵收セシノミナラス原告村ハ該用水ノ必要ヲ感セサル爲メ苦情百出セシ村長ノ不注意ナリトシ其他議員召集ノ手續名簿調製ノ緩慢特別稅徵收ノ延期等ヲ理由トシテ懲戒處分ヲ爲シタルハ不當ナリ

六

長崎縣長崎市市長懲戒處分取消ニ關スル件

大意

市吏員ノ過意ニ依リ市長懲戒書ニ市參事會ノ名稱ヲ冠記シタルハ參事會ナル團體ヲ懲戒シタルモノニシテ不當ノ處分ナリト云ハサル可ラス

七

栃木縣渡邊六郎平對同縣金田村會議長村長選舉取消ニ關スル件

大意

家屋ヲ有シ若クハ土地ノ所得ヲ有スルモ一戸ヲ構ヘタル實ヲ具備セサル以上ハ獨立ノ男子ト稱スルヲ得ス從テ之ヲ名譽職村長ニ選舉シタルハ違法ナリ

八

石川縣金澤市參事會市長對同縣同市市長市收入役給料額認可ニ關スル件

大意

市收入役ノ給料額ヲ定ムルハ市會ノ議決ヲ以テ定ムルカ又ハ市條例ヲ以テ規定スヘキモノニシテ內務大臣又ハ府縣知事ノ許可ヲ受クヘキモノニアラス

九

佐賀縣小城町町長解職處分取消ニ關スル件

大意

町村長ノ解職ハ之レヲ選舉スル權能アル町村會ニ於テ議決スヘキモノナレハ其議決ハ其結果ノ如何ニ拘ハラズ有効ナラサル可カラズ、公權剝奪若クハ停止ヲ附加スヘキ重罪ノ爲メ豫審ノ訊問ヲ受ケタルノミナリテ町村制第九條第二項ニ記セル裁判上ノ訊問シタルハ失當タルヲ免カレズ

大意

町村制第九條末項ノ規定ハ町村民タルモノニ限リテ任スヘキ職務ニアルモノ裁判上ノ訊問ヲ受ケ若クハ拘留中ナルトキハ町村會ニ於テ其職務ヲ解クヘシト命ジタルモノニシテ豫審ノ事實ヲ調査セシ結果ニ依リ解職セサルコトヲ得トスルモノニアラス、豫審判事力重罪被告事件ニ付キ被告人ヲ訊問スルハ即チ刑事訴訟ノ手續キニ於ケル裁判上ノ訊問ニシテ單ニ公判ニ付シタル場合ニ限リ裁判上ノ訊問ナリト云フヲ得

十

富山縣宮島村長對同縣礪波郡長村長懲戒處分取消請求ニ關スル件

大意

町村長其職務ニ違背シタリトハ職務トシテ必ス行フヘク行ハサルヘカラサルコトニ違背シタルヲ云フモノニシテ其町村代表シテ衆議院議員ニ向テ感謝狀ヲ發スル如キハ法ノ制裁ヲ受クヘキ限リニアラス、訓令ハ命令ニ非サルヲ以テ必ス服從セサルヘカラサルノ義務ナシ、郡吏町村長ノ私宅ニ就キ審問シタルハ其手續キヲ誤ルモノニシテ裁判上ノ證據トナスニ足ラス

目次

十一 秋田縣鶴川村長 對同縣山本郡長 村長解職處分ニ關スル件……………二二二

町村長ノ職務トシテ町村ヲ代表スルコトハ町村制ノ範圍内ニ於ケル町村ニ屬スル事件ナラサルヘカラス之レニ反スルモノハ行爲不爲共ニ違フモノト云ハサルヘカラス、訓示ハ監督廳カ監督上ノ意思ヲ發表スルモノニシテ即チ命令ノ種類ニ屬スルモノナレハ服從スルノ義務ナシト云フヲ得ス、地方官々々制第五十一條ニ依ラスシテ郡吏ヲ派遣シ審問ヲ爲シタルハ其手續キテ誤ルモノニシテ該審問ハ法律上効力ナキモノトス

大意

豫審ハ裁判ノ準備ニ過キサレハ其訊問ハ公判ニ於ケル訊問ト同視スルヲ得ス從テ公民權ヲ停止スヘキ理由ナシ、有給町村長及助役ハ其町村ノ公民タルモノニ限ラサルハ町村制第五十六條二項ノ規定スル處ナレハ同制第九條末項ニ依リ解職セラルヘキモノニアラス

十二 岡山縣中司嶺吉 對同縣和氣郡長 村長解職處分取消請求ニ關スル件……………二二四

大意

豫審判事カ重罪被告事件ニ付キ被告人ヲ訊問スルハ即チ刑事訴訟ノ手續キニ於ケル裁判上ノ訊問ニシテ單ニ公判ニ對シタル場合ニ依リ裁判上ノ訊問ナリト云フヘカラス、有給町村長ハ町村制第五十六條二項ノ但書ニ依リ其當選ニ應シテ府縣知事ノ認可ヲ得ルトキハ同時ニ町村公民タルノ權ヲ得ルモノナレハ公民權得有ノ上ニ於テ前後ノ別アルモ其職務ニアルノ點ニ於テハ名譽職町村長ト異ル處ナキヲ以テ同制第九條末項ヲ適用スルヲ得ルハ勿論ナリ

十三 福島縣陸合村長 對同縣伊達郡長 村長懲戒處分取消ニ關スル件……………二二六

大意

衆議院議員投票所ノ管理ハ其管理者タル村長ノ任務ナルヲ以テ郡長ノ干與スヘキモノニアラス從テ陸監郡書記ノ入場ヲ拒ミタルハ當然ニシテ之レカ爲メ解職セラルヘキ理由ナシ

大意

衆議院議員選舉ニ關スル事務ノ如キハ町村制第六十八條二項ノ九ニ該當スルヲ以テ郡長モ亦縣知事監督ノ下ニ於テ之レヲ監督スルノ職權アルコト論ヲ俟タス故ニ陸監郡書記ノ入場ヲ拒ミ巡査ヲシテ強制退場セシメタルハ違法ノ所爲ナリトス

十四 石川縣鹿島路村長 對同縣鹿島郡長 村長懲戒處分取消請求ニ關スル件……………二二九

大意

縣知事ニ於テ町村役場會計規程及諸帳簿様式ヲ定メタルハ監督權ヲ妄用シ町村ノ自主權ヲ侵害スルモノニシテ徒ラニ煩勞浪費ヲ増スニ過キサレハ之レカ實施ニ從ハサルハ當然ナリ

大意

事務ノ錯亂滯滞ヲ整理セシメ町村役場會計規程等ヲ訓令シタルハ監督權ヲ行フニ必要ナル方法ヲ命ジタルモノナレハ之レヲ以テ監督權ヲ妄用シタルモノト云フヲ得ス從テ其命令ニ背クモノハ職務ニ違フモノニアラスト謂フヲ得ス

大意

法律上責任ナキ事務ニ對シテ懲戒シ又審問中供書ニ捺印ヲ爲サシメシテ裁判ヲ申渡セシハ未整頓ノ儘審問ヲ終了シタルモノニシテ其懲戒ハ不當ナリ

大意

水利土功費及聯合村費ノ賦課徵收ノ如キハ責任ナキ事務ト云フヘカラス又懲戒裁判ノ審問中供書ニ捺印ヲ爲スヘキ規定ナキニ依リ其懲戒裁判ハ取消スヘキモノニアラス

第五類 府縣郡市町村稅及共同財產

一 岩手縣大館町助 役對同縣知事 不當賦課取消ノ訴願棄却處分取消ニ關スル件 一頁

大意 判決 (町村制中訴願ノ棄却ニ對シ出訴ヲ許スノ明文ナキヲ以テ原告ハ其取消ヲ請求スルノ權利ナシ)

二 福島縣室井平藏 對同縣檜澤村長 聯合町村費賦課取消ニ關スル 妨訴抗辯 一

大意 妨訴 (町村制第百二十條三項ニ依ル訴訟ハ裁決書ヲ交付シタル日ヨリ二十一日以内ニ於テセサルヘカラサルニ期限滿了後七日間ヲ經過シタルヲ以テ答辯スルノ義務ナシ)

大意 判決 (訴訟提起ノ期限ニ關シテハ行政裁判法第二十二條二項ニ依リ民事訴訟法ノ規定ヲ適用スヘキモノナルヲ以テ町村制ニ定メタル期限ノ外距離八里毎ニ一日ヲ猶豫ス故ニ被告ハ答辯ノ義務ナシト云フヲ得ス)

三 福島縣室井平藏 對同縣檜澤村長 聯合町村費賦課ニ關スル件 二

大意 判決 (聯合町村會設立ノ爲メ發シタル郡長ノ告示ハ町村制實施ノ當日ナルヲ以テ該會ハ同制施行以前成立存在セシモノト云フヲ得ス依テ該會議ニ於テ聯合町村費ヲ評決シ之レヲ賦課シタルハ違法ナリ)

四 兵庫縣佐治村會 對同縣同村長 附加稅賦課ニ關スル件 三

大意 判決 (附加稅ハ直接ノ國稅又ハ府縣稅ニ附加シ均一ノ稅率ヲ以テ町村ノ全部ヨリ徵收スルヲ常例トナスモノナレハ府縣稅中ノ月稅日稅ト雖トモ之レヲ除外スヘキモノニアラス)

五 岩手縣山田町 對同縣知事 附加稅ノ不當賦課取消ニ關スル件 四

大意 判決 (被告縣知事ハ原告ノ訴願ニ對シ裁決ヲ爲シタル迄ニ當初處分ヲ爲シタルモノニアラサレハ本訴ノ對手人ト爲スヘキモノニアラス)

六 長野縣山口與惣 村稅賦課ニ關スル件……………三十四

大意 判決 村稅賦課ニ關シテハ町村制ニ依リ村長ニ係リ出訴スルヲ得ヘキモ縣知事カ村長ニ與ヘタル命令ニ對シ起訴スルヲ得サルモノトス

七 岩手縣篠民三對 附加稅賦課ニ關スル件……………五

大意 訴求 五箇年間一定ノ免許ヲ得タル漁業營業稅ニ對シ町村稅トシテ附加稅ヲ課シタルハ不當ナリ

判決 漁業稅ハ地方稅中ノ雜種稅ナレハ町村制第九十條ニ依リ之レニ對シ附加稅ヲ課シタルハ不當ニアラス

八 岩手縣山田町長 附加稅ノ賦課ニ關スル件……………六

大意 訴求 町村組合共同營業ニ係ル漁業稅ニ對シ或ル組合村ニ於テ縣稅ノ附加稅トシテ村稅ヲ賦課シタルハ重複ニ涉ル不當ノ課稅ナリトス

判決 本訴共同組合ハ單ニ漁業營業稅ノ目的トスルモノニシテ猶他ノ一部人民ノ組合漁業ニ異ルコトナキヲ以テ漁業稅ニ附加シテ村稅ヲ賦課シタルハ不當ニアラス

九 新潟縣原源八對 聯合町村費ノ賦課取消ニ關スル件……………八

訴求 存續町村聯合會ニ於テ各町村里道ノ修築及議事堂建築費ヲ評決シタルハ二十二年法律第十一號ノ範圍ヲ超ヘタル權限外ノ議決ナルニ理事者カ採テ之レヲ執行セシムル違法ナリ

判決 水利土功ニ關スル存續町村聯合會ハ水利ノ爲メニスル土功ヲ評決スルコトモアルヘク或ハ水利ニ關セサル土功ヲ評決スルモノモアルヘキニ依リ水利土功ハ一事ニシテ二事ニアラスト斷言スルヲ得ス故ニ被告ニ於テ該會ノ議決シタル里道修築費ヲ賦課徵收シタルハ違法ニアラス

十 秋田縣常盤村會 地方稅ノ課額ヲ郡參事會ニ於テ代決シタル件……………一

大意 判決 郡參事會カ村會ニ代テ地方稅中營業稅及戶數割各自ノ負擔額ヲ議決シタルハ不當ナリトスルトキハ內務大臣ニ訴願スルヲ得ヘキモ行政訴訟ヲ提起シ得ルノ規定ナシ

十一 新潟縣山本與三治 教育費賦課令狀取消ニ關スル件……………一

大意 訴求 存續學區會ノ議決ヲ經シテ教育費ノ賦課令狀ヲ發シタルハ違法ナリ

判決 法律第十一號ハ學區ノ數町村ニ關涉スルノ場合ニ適用スヘキモノニシテ學區ト町村區域ト伴フ場合ハ之レヲ適用スヘカラサルモノト解釋セサルヲ得ス故ニ被告カ村會ノ議決ヲ經テ其費用ヲ賦課シタルハ違法ニアラス

十二 栃木縣白石幸藏對 不動産處分ニ對スル不當裁決取消ニ關スル件……………一三

大意 判決 町村有不動産ノ賣却讓與ニ關シテハ法律勅令中行政訴訟ヲ提起シ得ルノ規定ナシ

十三 三重縣土居光 井堰費用不當賦課取消ニ關スル件……………一三

大意 判決 井堰費用ヲ民費ト爲シ而シテ水掛地ノ地價ヲ減少セサルハ不當ナリトノ事件ニ付テハ法律勅令中行政訴訟ヲ許スノ規定ナシ

十四 茨城縣船橋文綱 町村吏員給料請求ニ關スル件……………一四

大意 判決 給料其他支給ヲ受クヘキ金員ノ拂渡ヲ請求スルハ町村制第七十八條ノ給料ニ關スル異議ニアラサルヲ以テ行政訴訟ヲ提起スルヲ得サルモノトス

十五 石川縣珠洲郡會 郡費不當賦課取消ニ關スル件……………一四

訴求 郡制第六十二條ニ各町村前年度ノ直接國稅府縣稅ノ徵收額ニ據ルトアルハ唯郡費ヲ附加スヘキ稅目ヲ規定シタルモノナレハ如何ナル歩合ヲ設クテ之ヲ町村ニ分賦スルモ郡會議會ノ權限ニ屬スヘキモノトス

大意

目次

二十四 靜岡縣濱松町會議 地方稅課額議定ニ關スル件……………三十八

大意 地方稅戶數割及營業稅雜種稅ノ等級課額ハ町村制第三十二條特ニ委任セラレタ
ル事件ト爲スヘカラサルニ依リ町村會之レテ議決セサル可カラサルノ義務ナシ
判決 明治十四年第六號布告ハ府縣會ニ其權ヲ付與スルト同時ニ町村會ノ義務ヲモ指定シタ
ルモノナレハ町村制第三十二條ニ該當スルモノナルニ依リ町村會ハ之レテ議決セサル
ヲ得ス

二十五 秋田縣三津谷重五郎 町村稅不當賦課取消ニ關スル件……………三〇

大意 區裁判所出張所建築費ハ專ラ國庫ノ負擔ニ屬スルモノナレハ之レテ町村必
要ノ支出トシテ其稅ヲ賦課シタルハ法律上其當ヲ得タルモノト云フヲ得ス
判決 區裁判所出張所建築費ハ專ラ國庫ノ負擔ニ屬スルモノナレハ之レテ町村必
要ノ支出トシテ其稅ヲ賦課シタルハ法律上其當ヲ得タルモノト云フヲ得ス

二十六 富山縣小川傳之丞 用水費賦課取消ニ關スル件……………三二

大意 灌溉ヲ受ケサル用水ノ費用ヲ負擔スルノ義務ナキハ勿論從來會テ何等ノ課稅ヲ
受ケタルコトナキ田地ニ對シ用水組合村費ノ分擔額ヲ賦課シタルハ違法ナリ
判決 從來費用ヲ賦課シタル證據アルヲ以テ該用水ニ關係ナシト云フヲ得ス故ニ
原告ニ對シ其分擔額ヲ負擔セシムルハ當然ニシテ取消スヘキモノニアラス

二十七 東京府池田茂 政對同府知事 商事會社役員課稅ニ關スル件……………三三

大意 商人ニアラス營業者ニアラス又賦課ノ標準タル土地建物ハ營業場ニアラサル株
式會社ノ役員ニ對シ商業稅ヲ賦課スル訓令ヲ發シタルハ違法ノ行政處分ナリ
判決 訓令ハ郡區町村ノ役所ニ對シタル命令ニ止マルモノニシテ原告ハ未タ直接處分
ヲ受ケタルノ事實ナキモノナレハ其權利ヲ毀損シタル處分ナリト云フヲ得ス

二十八 德島縣西尾村長對 同縣須見千次郎 地方稅賦課ニ關スル件……………三五

大意 訴願法第十六條ニ上級行政廳ニ於テ爲シタル裁決ハ下級行政廳ヲ羈束ストアルニ依リ
法律勅令中特ニ定メタル場合ノ外村長ナル原告ハ縣參事會ノ裁決ヲ不服ナリトシ行政
訴訟ヲ提起スルコトヲ得サルモノトス

二十九 熊本縣綠村會議 共有金分割ニ關スル件……………三六

大意 本訴ハ郷民各自ノ所有權ヲ主張シ共有金ヲ分割セントスル
モノニシテ右等ノ場合ニ於テ行政訴訟ヲ許スノ規定ナシ

三十 千葉縣榎本愛定對 地租制限外課稅許可取消ニ關スル件……………三六

大意 地租七分ノ一ヲ超過スル課稅ノ稟請ヲ許可シタ
ルヲ不當トシテ行政訴訟ヲ提起スルノ規定ナシ

三十一 德島縣阿波郡長 不成立郡會ノ議決ニ係ル郡費負擔取消ニ關スル件……………三七

大意 郡會議員ノ選舉ヲ了セサル以前ニ在リテ郡會
ノ決議シタル郡費ヲ負擔セシメタルハ違法ナリ
判決 全部ノ代表者タル議員半数以上出席シタルトキハ郡制第三十三條ニ依リ其
會議ヲ開キ議決ヲ爲スコトヲ得ルモノナレハ其決議ハ適法ニシテ有効ナリ

三十二 熊本縣春富村會議 基本財産處分ニ關スル件……………三九

大意 基本財産支出ノ決議ニ對シ監督官廳力認可ヲ與
ヘサル場合ニ於テ行政訴訟ヲ許スノ規定ナシ

三十三 熊本縣南關町會議 基本財産處分ニ關スル件……………三九

大意 基本財産支出ノ決議ニ對シ監督官廳力認可ヲ與
ヘサル場合ニ於テ行政訴訟ヲ許スノ規定ナシ

目次 三十九

三十四 秋田縣藤田庄五郎 道路修築費違法課稅取消ニ關スル件……………四〇

大意

一部落ニアル道路ノ修築費ヲ全村ノ夫役ニ賦課シタルハ違法ナリ又町村制第一條ノ規定タル夫役割ハ地方稅ノ補助ヲ仰グヘキ性質ノモノニアラス且同條ハ急迫ナル場合ノ若クハ尋常ナラサル場合ニノミ適用スヘキモノナリ

三十五 栃木縣赤見村長 警備費不當支出ニ關スル件……………四一

大意

衆議院議員選舉ニ當リ放火等ノ警備ヲ爲シタル人夫賃又ハ賄料等ヲ支出シ之レヲ村稅トシテ賦課徵收シタルハ警備上必要ノ費用ニ外ナラサレハ不當ノ支出ト云フヘカラス

三十六 茨城縣飛田松太郎 基本財産不當處分取消ニ關スル妨訴抗辯……………四三

大意

町村制第五條ニ於テ行政訴訟ヲ許シタルハ同制第八十三條乃至第八十六條使用權ヲ特定シタルモノニ限ルモノトス

三十七 茨城縣石井又助 地方稅賦課名義不當取消ニ關スル件……………四四

大意

一旦退居届ヲ差出セシモ更ラニ退去届取消ノ旨ヲ助役ニ申告シタルニ拘ハラヌ妻ノ名義ヲ記シタル徵稅傳令書ヲ交付シタルハ其當ヲ得ス

三十八 茨城縣飛田松太郎 基本財産不當處分取消ニ關スル件……………四六

大意

基本財産ノ處分ニ關スル村會ノ議決ヲ郡參事會ノ許可ヲ受ケスシテ執行シタルハ町村制第八十七條ノ規定ニ違フモノナレハ被告ハ該處分ニ關スル村會決議ノ執行ヲ取消スヘキモノトス

三十九 福島縣檜澤村會議 行政訴訟費用負擔ニ關スル件……………四七

大意

數町村聯合會議ニ係ル事項ニ關シ行政訴訟費用ノ償却ヲ要スル場合ニ於テハ其費用ハ各町村ノ負擔ニ歸スヘキ旨ニテ訴訟ノ屬スル一町村ノ負擔スヘキモノニアラス

四十 鳥取縣井上善一郎 村稅滯納處分取消ニ關スル件……………四九

大意

財產差押ノ手續キニ至ラサル内ハ未ダ法律第六號中ノ租稅滯納處分ト云フヲ得ス故ニ單ニ村稅ノ督促手續ニ關スルトノ如キハ租稅滯納處分ニ關スル件トシテ出訴スルヲ得サルモノトス

四十一 福島縣和水澤村 免租地ニ對スル村稅賦課取消ニ關スル件……………四九

大意

免租地ニ對シ村稅ヲ賦課シタル失當處分ニ付町村長ヨリ行政訴訟ヲ提起シ得ルノ規定ナシ

四十二 新潟縣上林村長 聯合町村費不當徵收取消ニ關スル件……………五〇

大意

年度ヲ經過シ精算報告ヲ了シタルモノ及未徵收金ヲ原告等一部人民ノ負擔トシテ賦課徵收セシメントノ執行命令ハ其當ヲ得ス

目次

四十三 大坂市木村米三郎 町税滞納處分取消ニ關スル件……………五三

大意

〔判決〕 繼續事業ニ對スル費用ノ決算ハ通常ノ經費決算ト同視スヘカラス又未徵收金ハ原告村方ノ未納金ナルカ故ニ之レヲ賦課スルモノニシテ違法ナリト云フヘカラス

四十四 鳥取縣鳥取市會 市税補助議決取消ニ關スル件……………五八

大意

〔訴求〕 鐵道敷設請願事務所ニ對シ輸出入物産等ノ調査費用ヲ補助スルハ市行政上ニ付テハ地方官ノ命令書ヲ要セス、債主ニ通知ノ有無ハ原告ノ權利ニ影響ヲ及ボサス、物件ノ評價ハ收入官吏ノ認定ヲ以テ豫定スルモノナレハ之レニ對シテ異議ヲ唱フルヲ得ス故ニ該處分ハ取消スヘキ限リニアラス

四十五 東京市肥田昭 不當營業稅徵收取消ニ關スル件……………六〇

大意

〔訴求〕 地方稅ノ徵收ハ府知事ノ職掌ニ屬スルモノニシテ區長カ徵稅令書ヲ發シタルハ其一部ノ委任タルニ過キサレハ其徵收ノ處分者即府知事ヲ被告トナスハ對手人ヲ誤リタルモノニアラス

四十六 東京市中上川彦 不當營業稅徵收取消ニ關スル件……………六一

大意

〔訴求〕 地方稅ノ徵收ハ府知事ノ職掌ニ屬スルモノニシテ區長カ徵稅令書ヲ發シタルハ其一部ノ委任タルニ過キサレハ其徵收ノ處分者即府知事ヲ被告トナスハ對手人ヲ誤リタルモノニアラス

四十七 東京市田村利 不當營業稅徵收取消ニ關スル件……………六五

大意

〔訴求〕 地方稅ノ徵收ハ府知事ノ職掌ニ屬スルモノニシテ區長カ徵稅令書ヲ發スルハ其一部ノ委任タルニ過キサレハ其徵收ノ處分者即府知事ヲ被告トナスハ對手人ヲ誤リタルモノニアラス

四十八 東京市池上伴 不當營業稅徵收取消ニ關スル件……………六七

大意

〔訴求〕 地方稅ノ徵收ハ府知事ノ職掌ニ屬スルモノニシテ區長カ徵稅令書ヲ發スルハ其一部ノ委任タルニ過キサレハ其徵收ノ處分者即府知事ヲ被告トナスハ對手人ヲ誤リタルモノニアラス

四十九 熊本縣熊本市會 市ノ準備積立金ニ關スル件……………六九

目次

大意

訴求 市費決算剩餘金ヲ準備金トシテ銀行ニ定期預ケ入レ置ク
ノ議決ヲ以テ市制第八十一條ニ違背スト云フハ不當ナリ
判決 市費收支ノ剩餘金ハ二十二年內務省令第二號ノ命スル處ニヨリ基本財産トナスカ又年
度内ニ之レヲ支出セント欲セハ豫備費ノ名稱ヲ付スル等省令ノ範圍内ニ於テ之レヲ處
分セサルヘカラス

五十 埼玉縣金子太左衛門 村稅滯納不當處分取消ニ關スル件……………七二

大意 裁決 村稅滯納處分ニ付異議アリ行政訴訟ヲ起サントスルトキハ行政裁判法第十七
條ニ依リ地方上級行政廳ニ訴願シ其裁決ヲ經タル後ニ提起スヘキモノトス

五十一 新潟縣大出口村 不當村稅賦課取消ニ關スル件……………七二

大意 裁決 町村制第五條ハ町村稅ノ賦課ニ關シ町村長ニ訴願シタルモノ其裁判ニ服セサル場合
ニ於テ逐次訴願訴訟スルヲ得ルコトヲ規定シタルモノニシテ町村長ニ訴願出訴ヲ許シ
タル規定ニアラス

五十二 埼玉縣伊藤今助 村稅賦課處分取消ニ關スル件……………七三

大意

訴求 學校新築費ノ如キハ數十年間ニ偶然生スル所ノ費用ナルヲ以テ其性質上特別稅
ヲ以テ支辨スヘキモノナルニ附加稅ヲ以テ之レヲ賦課シタルハ不當ナリトス
判決 町村制第九十條ニ依レハ特別稅ハ附加稅ノ外別ニ町村限リ課目ヲ起シ云々トアリ
テ費途ノ如何ニ關スルモノニアラス而シテ法律中如何ナル場合ニ於テ特別稅ヲ賦課ス
ヘキモノナリトノ制裁ナキヲ以テ學校新築ノ費用ヲ支辨スルニ當リ監督官廳ノ許可ヲ
經テ不均一ナル戸別割ヲ賦課シタルハ不當ノ處分ナリト云フヲ得ス

第六類 郡市町村境界及役場位置

一 千葉縣旭村長 町村所屬不當議決取消ニ關スル件……………一頁

大意 裁決 町村ノ所屬ニ關シ町村制第四條ニ依リテ處分シタ
ルモノニ付テハ同制中行政訴訟ヲ許スノ規定ナシ

二 大分縣高岡村長 郡界爭論ニ關スル件……………一

大意 裁決 縣參事會裁決書ヲ送達ヲ受ケタル日ヨリ距離八里毎ニ一日ノ伸長期間ヲ除クモ已ニ町
村制第二百二十條三項ノ出訴期限ヲ經過スルニヨリ行政訴訟ヲ提起スルヲ得サルモノト
ス

三 愛知縣落合村長對 同縣下ノ鄉村長 村界爭論ニ關スル件……………二

大意 判決 地租改正以來ノ實測圖ヲ以テ五條川ノ中央ヲ村界ナリト主張スルモ從前同川ノ幅員全
部ヲ以テ村界トナシタルコトニ付テハ原告ノ爭ハサル處ニシテ且他ニ確證ナキヲ以
テ其村界ハ川ノ中央ナリト認ムルヲ得ス

四 廣島縣森原鑛司對 同縣山野村會議長 町村役場位置指定ニ關スル件……………三

大意 裁決 町村役場位置移轉ニ付テハ法律勅
令中行政訴訟ヲ許スノ規定ナシ

五 長野縣河南村長 町村境界爭論ニ關スル件……………四

大意 判決 原告村ト被告町トノ間ヲ貫流スル三峯川ヲ以テ境界ヲ定ムヘキモノト主張スルモ從來
同川ヲ以テ境界トナシタル證據アラサルヲ以テ原告ノ請求ハ其當ヲ得サルモノトス

第七類 市町村吏員賠償金

一 石川縣下甘田村會 亡失税金賠償ニ關スル件……………一頁

大意 訴訟 盜難亡失金ハ村長及收入役ノ過誤怠慢ニ因ルヲ以テ村會ニ於テ國庫補填金ノ支出追加豫算案ヲ否決シ代フルニ村長收入役ノ賠償金ヲ以テセント議決シタルハ不當ニアラス

判決 亡失税金ノ如キハ原告村カ先ツ國庫ニ對シテ之レヲ辨償シタル上ニアラサレハ未タ賠償義務ノ有無ヲ爭ヒ得ヘキモノニアラス

二 福島縣若松町區會 損害賠償ニ關スル 妨訴抗辯……………二

大意 妨訴 前ニ發セラレタル町村制第二百二十九條損害賠償ノ件ヲ行政裁判所ニ出訴スルヲ得ルノ規定ハ後ニ發セラレタル行政裁判法第十六條及第四十六條ニ依リ已ニ其効力ヲ失ヒタルモノナレハ該法ニ違反シタル本訴ニ對シテハ答辯スルノ義務ナシ

判決 行政裁判法第十六條ハ行政廳ノ違法處分ニ因ル損害賠償ヲ云フモノニシテ町村制ハ町村自治ニ關スル法律ナレハ從テ同制第二百二十九條ハ特別ノ規定ニ屬スルモノナルニヨリ行政裁判法ニ抵觸スル所ナキモノニシテ答辯ノ義務ナシト云フヘカラス

三 福島縣若松町區會 損害賠償ニ關スル件……………三

大意 訴訟 管理者タル町長ノ懈怠ニ依リ學校建物ニ大破ヲ生セシメタルニヨリ町村制第二百二十九條ニ依リ被告町長ヨリ其賠償金ヲ拂ハシムルハ當然ナリ

判決 大破ニ至リシ事實ハ被告ノ怠慢ニ依リ起因シタル損害ナリトノ證據明瞭ナラサルニ依リ被告ヲ以テ辨償ノ責アルモノト爲スナ得ス

四 新瀉縣津川村收入役 盜難税金賠償ニ關スル件……………四

目次

大意

役場ニ於テ保管場所ト定メタル戸棚ニ納メ吏員ノ職務中ニ公ケノ役場ニ於テ奪取セラレタル損失税金ハ水災震災ニ因リタルモノト同ク賠償ノ責ヲ負フヘキ謂レナシ又此レノ損失税金ノ場合ノ如キハ町制第七十一條及第百十條ニ規定セル收入役ニ關係外ノ事項ナルヲ以テ原告カ責任ノ有無ヲ定ムル如キハ普通民事ノ裁判ニ據リ始メテ決スルヲ得ベキモ行政廳カ裁決シ得ヘキ權ナシ

原告管理中役場ニ於テ奪取セラレ原告ハ當時職務中接近ノ場所ニ在テ之ヲ知ラス而シテ相當ノ注意ヲ加ヘテ管理シタルノ證據ナキモノナレハ怠慢ニアラスト云フヲ得ス又府縣稅徵收法第八條ニ各納稅人ハ税金ヲ市町村ノ收入役ニ拂込ミ云々トアルヲ以テ其拂込ミタル税金ヲ管理スルハ收入役ノ任務ニ屬セリ故ニ亡失税金賠償ノ責ナルヲ以テ之ヲ可カラス

第八類 町村組合及水利組合

一 長崎縣寺島善八對 同縣西穂高村長 町村組合協議員ノ選舉及組合規則取消ニ關スル件……………一頁

大意 判決 町制第六十六條一項ニ基キ町村組合ヲ設置スルニ當リ村會ニ諮問セシテ組合協議員ヲ選定シ組合規則ヲ議決セシメタルハ不當ナリトノ件ニ付テハ行政訴訟ヲ許スノ規定ナシ

二 大分縣光岡村長 對 同縣日田郡長 町村組合議決取消ニ關スル件……………一

大意 判決 民費殘額共有金ヲ各町村基本財産トシテ割與スルノ議決ヲ共同事務ノ區域ヲ超越シタル不當ノ議決トシテ取消タル郡長ノ處分ニ付テハ行政訴訟ヲ許スノ規定ナシ

三 岐阜縣芥見外一村組 對 同縣知事 用水區域編入ニ關スル件……………二

大意 判決 用水區域ニ編入ヲ受ケタル年ヨリ起算スルトキハ行政裁判法第二十二條ノ期限ヲ經過スルニヨリ行政訴訟ヲ提起スルヲ得ス

四 福井縣山田清兵衛 對 同縣吉田郡長 用水組合惣代人員及選舉區域ニ關スル件……………二

大意 判決 明治二十三年法律第六號ノ四ハ專ラ水利及土木ニ關スル事件ヲ指示シタルモノニシテ訴訟期限起算ノ當否ノミニ就キ單ニ裁判ヲ請フモノ、如キハ該法ニ依リ出訴シ得ヘキモノニアラス

五 石川縣鹿島路二ノ部 對 同縣鹿島郡長 水利組合條例中道路ノ有無ニ關スル件……………三

大意 訴求 水利組合條例實施ノ上ハ明治二十二年法律第十一號ニ依リ存續セル會議ノ事務ハ其水利ニ屬スルト道路ニ屬スルトヲ問ハス總テ郡長ヨリ村長ニ引繼クヘキモノトス

判決 水利土功トハ水利ニ關スル土功ヲ云フモノニシテ該條例中モ道路ニ關スル規定ナキヲ以テ水利組合條例ハ道路ニ關シ法律第十一號所謂別ニ設ケラレタル規定ナリト云マテ得ス從テ道路事務ノ如キハ引繼キヲ要スルモノニアラス

六 石川縣水木下小三郎對水利組合議員選舉ニ關スル件……………五十

大意 裁決 投票取消願ヲ提出シタルハ投票權アルモノ其權利ヲ拋棄シタルニ止マルモノニシテ其取消願ヲ不當トシ出訴ヲ許スノ規定ナシ
七 京都府西中筋村長對同府天田郡長 組合會違法決議取消ニ關スル件……………五

大意 裁決 組合會ノ決議ヲ以テ一郡ノ共有金ヨリ鐵道線路ニ關シ奔走スル委員ノ手當金ヲ支出シタルハ土木ニ關スル事件ナラサルヲ以テ明治二十三年法律第六號ノ四ニ該當スト云フ可カラズ從テ行政訴訟ヲ提起スルヲ得サルモノトス
八 島根縣濱原村長對同縣知事 組合負擔解除請求ニ關スル件……………六

大意 裁決 土木ニ關スル管理者ノ處分ヲ違法ナリトスルモノニアラスシテ單ニ地方上級行政廳方原告ノ訴願ヲ却下セシ理由ヲ不當トスルモノナルヲ以テ受理スヘキ限リニアラス
九 茨城縣門井唯一郎對同縣眞壁郡長 水防組合組織取消ニ關スル件……………六

大意 訴求 町村制第六十六條及第七十七條ノ規定ハ自治體ト自治體トノ組合ヲ設クル場合ヲ指シタルモノニシテ町村内ノ幾部落ト他ノ町村内ノ幾部落トニ關係スル水防組合會ヲ組織スルカ如キ場合ハ水利組合條例第一條ニ依ラサルヘカラス
判決 水利組合條例第一條ハ特別ノ事情ニ依リ市町村若クハ町村組合ノ事業ヲ爲スコトヲ得サル場合ニ於テ組織スヘキ規定ニシテ從來地方稅ヲ以テ支辨シ來レル水防組合ノ如キハ水利組合條例第一條ニ依ルヲ得サルモノトス

十 石川縣西村太三郎對同縣石川郡長 組合會議員投票不當決定取消ニ關スル件……………八

大意 判決 土地所有權ノ移轉ハ當事者間ノ合意ニ由テ直チニ成立スルモノニシテ登記ハ其物件ニ關スル第三者ニ對シテ効力ヲ生スルモノタルニ過キス故ニ土地ヲ買得シ新ニ選舉權ヲテ選舉權ヲ獲得シタルモノト謂ハサルヘカラス

十一 高知縣山下治之助對同縣香美郡長 水利土功會決議取消ニ關スル件……………一〇

大意 訴求 水利組合條例施行期日以後ニ於テ存續水利土功會ヲ開キタルハ違法ナリ
判決 水利組合會議未タ開設ニ至ラサル場合ニ於テハ水利組合條例施行期日以後ニ於テモ尙水利土功會ヲ有効ニ存續スルヲ得ルモノトス

第九類 租稅及滯納處分

一 大坂府多久正典對兵租稅滯納處分ニ關スル妨訴抗辯……………一頁

大意

妨訴 郡長カ爲シタル公賣處分ニ關スル訴訟ニ付テハ被告ハ郡長ト同一ノ職權ヲ有スルモノニアラス又郡長ノ職權ヲ繼承セシモノニアラサルヲ以テ答辯ノ義務ヲ有セス

二 香川縣中川瀨水地免租年期付與請求ニ關スル件……………一頁

大意

訴求 堤防破壊ノ爲メ潮水浸入シ作土ヲ損害シタル地所ニ對シ免租年期ヲ付與セサルハ不當ノ處分ナリ

三 和歌山縣佐野爲左衛門早害地租補助貸與處分取消ニ關スル妨訴抗辯……………二頁

大意

妨訴 地租ノ補助貸與ハ租稅ノ賦課及滯納處分ノ場合ニ於テ爲スヘキ處分ニシテ即チ法律第六號ノ第一第二ニ通シテ相當スルモノナレハ答辯ノ義務ナシ

四 和歌山縣佐野爲左衛門早害地租補助貸與違法處分取消ニ關スル妨訴抗辯……………四頁

大意

妨訴 數年ヲ經過セシ指令ノ取消ヲ請求スルモノニシテ行政裁判法ノ規定ノ出訴期限ヲ經過スルニヨリ答辯スルノ限リニアラス

目次

五 兵庫縣安福宮二郡 酒造税金滞納處分取消ニ關スル件……………五十四

大意 差押財産公賣處分ノ前日意納金ノ上納ヲ出願セシモ採用セス、部理代人ノ言ニ依リ動
不動産番書ヲ公賣シタルハ違法ナリ、公賣代價ノ低廉ナルニ拘ハラズ鑑定人チシテ鑑
定セシメス又公賣期日ニ利害關係人チ立會ハシメサル違法ノ處分ナルニヨリ取消スヘ
キモノトス

判決 二十三年大藏省第一號國稅滞納處分法施行細則第十五條ノ手續キテ終ヘタルモノニア
ラサレハ差押財産解除ノ効果ヲ生セス、國稅滞納處分法第十三條但書ノ場合ハ收入官
吏ノ意見ニ應任シタルモノニシテ被告ノ處分ヲ違法ト認ムル事實ナシ、鑑定人ノ設
及利害關係人ノ立會ノ如キハ法令中其規定ナキモノニシテ被告ハ其責任ヲ有セス依
該處分ハ取消スヘキ理由ナキモノトス

六 大坂府多久正典對 西宮直稅分署長 租稅滞納處分取消ニ關スル件……………五

大意 諸國漫遊中納稅代人死亡シ僅少ノ滞納アルカ
爲メ巨額ノ地所チ公賣ニ付シタルハ不當ナリ

判決 明治十年第七十九號布告ニ依レハ徵收期限ヲ過キ國稅チ上納セサルトキハ之レチ賦課
シタル財産チ公賣シテ徵收スヘキ規定ニ付違法ノ處分ト云フチ得ス又代納者ノ死亡チ
知ラサリシチ以テ其責任ヲ負フヘキニアラスト云フチ得ス

七 和歌山縣佐野爲左 早害地租補助貸與請求ニ關スル妨訴抗辯……………七

大意 原告一定ノ申立ハ内務大臣ノ指令チ取消シ及公賣セシ土地所有權チ回復シタルトノ
二點ニアリタルチ縣知事ノ指令取消ニ變更シタルチ以テ答辯スヘキ限リニアラス

判決 原告ノ申述及訴狀ニ依リ訴ノ原因チ變更シタルモ
ノト認メ難キチ以テ答辯ノ義務ナシト云フチ得ス

八 京都府廣野久右 租稅前納金下戻請求ニ關スル妨訴抗辯……………八

大意 本訴前納金ハ舊藩ノ管民ニ對スル負債ニ屬スルモノニシテ原告ハ當時租稅ノ賦課ニ關
シ異議アルモノニアラスレハ二十三年法律第六號一項ニ該當スル事件ナリト云フヘ
カラス

九 長野縣丸山寬 地價修正配當手續取消ニ關スル妨訴抗辯……………九

大意 地價評定人資格ノ有無ニ關スルコトハ地租賦課ノ上ニ於テ何等ノ影響
ヲ及ボサ、ルニ依リ二十三年法律第六號ノ範圍外ニ屬スルモノトス

判決 地價評定人ノ任否ハ地價修正ノ手續キニ屬シ地價ノ修正ハ地租賦課ノ修正ノ爲メニ
スルモノナレハ即チ租稅ノ賦課ニ關スルモノニシテ答辯ノ義務ナシト云フチ得ス

十 和歌山縣佐野爲左 租稅滞納處分取消ニ關スル件……………一〇

大意 早災ノ爲メ租稅ノ補助貸與チ出願スルモノレチ應許セサルノミナラス請願許否ノ指令
ニ先チ滞納處分チ行ヒ原告等ノ土地チ公賣シタルハ正當ニ保有スル特權チ削リ去ラン
トスル違法處分ナリ

判決 滞納處分ニ付テハ違法ナリト認ムル事實ナク又請願ニ對スル處分チ前
後セシモノトモ認メ難キニ依リ被告ノ處分ハ違法ナリト云フチ得ス

十一 長野縣丸山寬 地價修正配當手續取消ニ關スル件……………一一

大意 地價修正配當評定人ハ總地主一人ノ異議スルモノナク當選スヘキ謂ハレナキニ依リ
多數ノ投票チ以テ當選シタル上ハ契約ノ有無ニ拘ハラズ評定人タルノ資格チ有ス

判決 縣令チ以テ定メタル契約チ爲サ、ルハ即總地主ノ委任チ受ケサル
モノニ付委任チ爲サ、ル地主ニ對シテハ評定ノ効力チキモノトス

十二 福島縣高橋利平 租稅處分取消ニ關スル件……………一三

大意 行政訴訟ハ法律勅令ニ特別ノ規定アルモノチ除外ノ外地方上級行政廳ニ訴
願シ其裁決チ經タル後ニアラスレハ之レチ提起スルコトチ得サルモノトス

目次 五十五

十三 若手縣佐藤秀 所得稅不當處分取消請求ニ關スル件……………一四

大意 訴求 貸付金ヨリ生スル所得ハ所謂資産又ハ營業ヨリ生スル所得ナルカ故ニ前三箇年間所得平均高チ以テ算出シ規定ノ稅率ニ從ヒ等級金額ヲ定メサルヘカラス

十四 東京市早川區造 車稅滯納處分取消ニ關スル件……………一六

大意 訴求 故アリテ車稅ヲ納付シ難キニヨリ該車ヲ公賣ニ付シ税金ニ充テラレ度キ旨ヲ申立テタルニ拘ハラズ滯納處分ヲ執行シ且直チニ第三ノ物件ヲ差押ヘタルハ違法ナリ

判決 登記簿登錄ノ金額ヲ以テ原告ノ資産ヲ査定スルニ適スルモノトシ前三箇年度ノ所謂平均非合チ乘シ以テ原告ノ所得ト議決シタルモノニシテ法律ノ規定ニ違フ處ナシ

十五 福島縣高橋利平 租稅滯納處分取消ニ關スル件……………一七

大意 判決 郡長及縣知事ニ訴願シ期限經過ノ理由ヲ以テ却下セラレタルモノニシテ其期限經過ノ事實ハ明瞭ナルニ依リ受理スヘキ限リニアラス

第十類 區會條例及區會權限

一 長野縣上水内郡參事 郡參事會ノ發行スル區會條例ニ關スル件……………一頁

大意 訴求 郡參事會ノ發行スル區會條例ハ町村制第二百五條ノ制裁ヲ受クヘキモノニ非ルヲ以テ內務大臣ノ許可ヲ受クルヲ要セス

判決 郡參事會ニ於テ發行スルモノ町村ノ區會條例タルニ外ナラサレハ町村條例中ノ一種ニ屬スルモノトス從テ內務大臣ノ許可ヲ受クルヲ要ス

二 東京市麹町區會議 區會權限ニ關スル件……………二

大意 訴求 區學務委員ノ員數ニ關スル議案ニ對シ但書ヲ以テ委員ノ職務消滅ニ關スル規定ヲ設ケタルハ學務委員條例第二條第三條ノ解釋ヲ下シタルニ過キスシテ越權ノ議決ナリト云フヘカラス

判決 區會ニ提出スル議案ハ唯其員數ヲ定メントセルモノナルニ區會ニ於テ其員數ノ外委員ノ資格消滅ニ關スル規定ヲ設ケタルハ職權外ニ涉リタル不當ノ議決ナリトス

第十一類 土地處分及地所々有權

一 千葉縣石井德兵衛對同縣知事 開墾地下渡處分取消ニ關スル件……………一頁

大意 裁判 明治二十三年法律第六號第五ノ土地官民有區分ノ査定ニ關スル事件トアルニ依リ開墾地下渡處分ノ當否ヲ爭フ場合ニ適用スヘキモノニアラス……………一

二 東京府近藤和定對同縣知事 土地拂下處分取消ニ關スル件……………一

大意 裁判 土地拂下ヲ許可セサル處分ノ取消ヲ請求スルニ付テハ法律勅令中行政訴訟ヲ許スノ規定ナシ……………一

三 神奈川縣吉田勘兵衛對同縣知事 土地所有權ニ關スル件……………二

大意 訴求 祖先ニ於テ使用ノ原權ヲ得タルヨリ二百年來ノ高受地ニシテ原告ノ所有タルコト勿論ナルニ券狀ヲ下付セサルハ不當ナリ……………二

大意 判決 本訴訟地ハ本高外ノ散在野ニシテ人民ニ使用ノミヲ許シタル野錢場タルノミナラス慶應年間已ニ御用地トナリテ原告ノ使用セサル土地ナレハ其所有權ノ原告ニ歸スヘキ理ナシ……………二

四 廣島縣森房澄江對農商務大臣 官有地下戻拒絶處分取消ニ關スル件……………四

大意 裁判 行政處分ノ既ニ五年ヲ經タルモノハ請願ヲ受理セラレサルモノナレハ該請願ハ其効ヲ有セス從テ訴願期限ヲ經過スルヲ以テ行政訴訟ヲ提起スルヲ得ス……………四

五 新潟縣高橋捨松對同縣知事 官民有地査定不當處分取消ニ關スル件……………四

大意 判決 地圖其他ノ證據ニ依リ民有地タルヲ認ムルヲ得ヘキニヨリ官有地ニ編入シタルハ不當ナリ……………四

六 岡山縣林醇平對同縣知事 開墾許可取消請求ニ關スル妨訴抗辯……………六

大意 判決 前ニ開墾許可ニ關スル告示ノ取消ヲ請求シ後ニ開墾人ニ與ヘタル許可ノ取消ヲ請求スルハ本訴ノ主意ヲ敷衍シタルニ過キスシテ被告ニ於テ答辯ノ義務ナシト云フヘカラス
岡山縣林野平 開墾許可取消請求ニ關スル妨訴抗辯……………七

大意 判決 行政裁判法施行後六十日以内ニ於テハ從前ノ請願規則ニ依リ大臣ノ指令ヲ得タルモノ、如キモ猶行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得ルハ勿論ナリ
秋田縣神成喜藏 民林引上不當處分取消ニ關スル件……………八

大意 訴求 シタル共有地ヲ取上ケ官有ト爲シタルハ不當ノ處分タルヲ免レス
判決 一旦民有ト爲シ地券ヲ下付シタルモ其過誤ナルコトヲ悟リタル以上更ニ調査ヲ遂ケテ官有地ト査定スルモ不當ノ處分ト云フヲ得ス
岡山縣林野平 開墾許可取消ニ關スル件……………一

大意 訴求 兒島灣開墾許可ノ際關係郡村若クハ關係人ノ連署ヲ具ヘサル願書ヲ採用許可シタルハ縣達ニ背反スルノミナラス原告等ニ於テ協議ヲ受ケルノ權利ヲ毀損シタルモノトス
判決 縣達ハ出願人ニ對シ協議及連署ノ責ヲ負ハシメタルノミニシテ其効力ヲ第三者タル原告人等ニ及ホシ協議連署ノ權利ヲ與ヘタルモノト云フヲ得ス
岡山縣大宮町 官有地下戻不當處分取消請求ニ關スル件……………一四

大意 訴求 數百年來自由ニ使用シ且其租稅ヲ上納シ來レタル秣場ヲ官地ニ編入シ其下戻願ニ對シ無證據ナリトテ却下シタルハ不當ナリ
判決 原告カ上納シ來レタル租稅ハ高外ニ屬スル雜稅ニシテ其地ニ對スル地租ヲ納メタルニアラス且他ニ民有ト認ムヘキ證據ナキヲ以テ其下戻願ヲ却下シタルハ不當ニアラズ
靜岡縣大宮町 官有地下戻不當處分取消請求ニ關スル件……………一四

大意 訴求 數百年來自由ニ使用シ且其租稅ヲ上納シ來レタル秣場ヲ官地ニ編入シ其下戻願ニ對シ無證據ナリトテ却下シタルハ不當ナリ
判決 數百年來共有使用シ來リタルノ證據ナク且被告ニ於テ處分ノ際提供セザリシモノハ證據トナスニ足ラサルヲ以テ不當ノ處分ト爲スヲ得ス
靜岡縣北村山村 官有地下戻不當處分取消請求ニ關スル件……………一五

大意 訴求 數百年來自由ニ進退シ且少幾多ノ勞費ヲ掛ケ樹木ヲ植付ケ現今ノ有形ヲ爲シタル土地ノ下戻願ヲ許可セザルハ不當ナリ
判決 山林ヲ開キ植付ケ爲シタルノ證據ト認ムヘキモノナキニヨリ被告カ爲シタル處分ハ不當ナリト謂フヲ得ス
靜岡縣大石日 官有地下戻不當處分取消請求ニ關スル件……………一六

大意 訴求 數百年來自由ニ使用シ且往古ヨリ本訴秣場ノ租稅ヲ上納シ來レタルニ拘ハラズ之レヲ官有地ニ編入シ引戻ヲ許可セザルハ不當ナリ
判決 自由ニ使用シ租稅ヲ上納セリトノ證據ナク從テ民有ト認ム可カラサルニヨリ被告ノ處分ヲ不當ナリト云フヲ得ス
靜岡縣村松檢之 官有地下戻不當處分取消請求ニ關スル件……………一八

大意 訴求 買得又ハ寄附等ニ係ル寺持地所ニシテ樹木ヲ培養シタル等ノ證據アルニ拘ハラズ其下戻ヲ許可セザルハ不當ナリ
判決 開墾樹木植付ニ付テハ確證ノアルナク又買得地寄附地ニ係ルトノ證據ハ被告ニ於テ處分ノ際提供セザルモノナルヲ以テ被告ノ處分ヲ不當ナリト云フヲ得ス
佐賀縣有田町地所々有權ニ關スル件……………一九

目次

六十一

大意 裁決 關係人民協議ノ上地主ヲ申立ツヘシトノ處分ハ官民有地區分ノ査定ニアラサ
ルニ依リ明治二十三年法律第六號ニ據リテ出訴スルヲ得ル限リニアラス
十六 愛媛縣萩尾伊代 役料地誤認處分取消ニ關スル件……………二一〇

大意 本訴係争地ハ原告等村民ノ祖先ニ於テ各其所有地ヲ割出シ村民割作シテ其作米ヲ庄屋
給料トセシモノナレハ一村ノ共有地ナルニ之レヲ官有地ニ編入シ其更正處分ヲ爲サ
ルハ不當ナリ
原告提供ノ證據書類ハ皆民間ノ私書若クハ係争後ニ成立タルモノニシテ當時公正ノ
確認ヲ得タルモノニアラサレハ一村ノ共有地ト認ムルノ證據ト爲スニ足ラス
十七 鳥取縣中濱村長 官民有地區分不當査定取消ニ關スル件……………二一三

大意 官民有地區分ノ査定告知ヲ受ケタルコトナキニ依
リ出訴期限ハ已ニ進行シタルモノト謂フ可カラス
原告 査定ニ不服アリテ調印ヲ拒ミタル事實アル以上ハ其査定處分ヲ知ラサルノ理ナシ故ニ
其出訴期限ハ其通知ヲ受ケタルヨリ起算スヘキモノニシテ已ニ進行シタルモノト謂フ
可カラス
十八 長野縣山口吉 官民有地區分不當査定取消ニ關スル件……………二一四

大意 已ニ拂下ヲ得テ民有タル確證アル土地ヲ神社境内ニ屬スルモノ
ト處分シタルハ違法ニシテ原告ノ權利ヲ毀損シタルモノトス
原告 指令其他ノ證據ニ依リ神社境内ニ屬スルモノタルコトヲ知リ
得ヘキニ依リ原告所有地ノ區域内ニ屬スルモノト云フヲ得ス
十九 長野縣鹽川繁 道路敷地編入處分取消ニ關スル件……………二一六

大意 從來田畑ノ分界ヲ爲セル畦畔ハ悉ク原告ノ所有ナルニ
拘ハラズ之ヲ官有道路ノ敷地ト査定シタルハ不當ナリ
原告 拘ハラズ之ヲ官有道路ノ敷地ト査定シタルハ不當ナリ

判決 本訴係争地ハ縣廳保存ノ地圖ニ明載シアル道路ニシテ地籍中ニ脱漏
セルモノヲ編入シタル迄ニテ原告所有ノ畦畔ニ關係ナキモノトス
二十 岩手縣島山憲 官民有地區分訂正請求ニ關スル件……………二一八

大意 文久年間當時ノ代官ヨリ下與ヲ受ケタル土地所有ノ確證ヲ所持シ其下戻ヲ請
求スルニ拘ハラズ理由ヲ明示セシテ漫然其出願ヲ排斥シタルハ違法ナリ
原告 土地ヲ所有スルモノハ之レニ關スル權利義務ノ行爲ヲ要スルハ當然ナルニ原告カ係争
地ノ下與ヲ受ケタリトスル文久年間以來之ヲ行ヒタルノ事實ナキニ依リ被告ノ處分ハ
不當ナリト云フヲ得ス
判決 土地ヲ所有スルモノハ之レニ關スル權利義務ノ行爲ヲ要スルハ當然ナルニ原告カ係争
地ノ下與ヲ受ケタリトスル文久年間以來之ヲ行ヒタルノ事實ナキニ依リ被告ノ處分ハ
不當ナリト云フヲ得ス

二十一 岩手縣高橋菊 官民有地區分訂正請求ニ關スル件……………二一九

大意 文久年間當時ノ代官ヨリ下與ヲ受ケタル土地所有ノ確證ヲ所持シ其下戻ヲ請
求スルニ拘ハラズ理由ヲ明示セシテ漫然其出願ヲ排斥シタルハ違法ナリ
原告 土地ヲ所有スルモノハ之レニ關スル權利義務ノ行爲ヲ要スルハ當然ナルニ原告カ係争
地ノ下與ヲ受ケタリトスル文久年間以來之ヲ行ヒタルノ事實ナキニ依リ被告ノ處分ハ
不當ナリト云フヲ得ス
判決 土地ヲ所有スルモノハ之レニ關スル權利義務ノ行爲ヲ要スルハ當然ナルニ原告カ係争
地ノ下與ヲ受ケタリトスル文久年間以來之ヲ行ヒタルノ事實ナキニ依リ被告ノ處分ハ
不當ナリト云フヲ得ス

二十二 大坂市大竹豐則 官民有地區分不當査定取消ニ關スル件……………二二〇

大意 官有地タル溝敷地使用ノ許可ヲシテ原告ノ私有地ニ
及ハシメタルハ不當ノ處分ナリト謂フサルヲ得ス
原告 官有地タル溝敷地使用ノ許可ヲシテ原告ノ私有地ニ
及ハシメタルハ不當ノ處分ナリト謂フサルヲ得ス
判決 官有地タル溝敷地使用ノ許可ヲシテ原告ノ私有地ニ
及ハシメタルハ不當ノ處分ナリト謂フサルヲ得ス

二十三 福岡縣篠崎甚三郎對 山林所有權ニ關スル件……………二二一

大意 還祿士族ニ於テ拂下ヲ受ケタル土地ニ對シ官有地ナリトノ
命令ヲ發シタルハ原告ノ權利ヲ毀損スル違法ノ處分ナリ
原告 還祿士族ニ於テ拂下ヲ受ケタル土地ニ對シ官有地ナリトノ
命令ヲ發シタルハ原告ノ權利ヲ毀損スル違法ノ處分ナリ
判決 原告ノ舉證ニ於テハ該拂下地ノ位置境界ヲ認ムヘカラ
サルニヨリ被告ノ處分ヲシテ違法ナリト謂フヲ得ス

二十四 岡山縣船橋源 上地山林査定取消請求ニ關スル妨訴抗辯……………三二七

大意 判決 明治三年中原告カ受ケタル行政處分ノ取消ヲ要求スルモノナルヲ以テ行政裁判
法第二十二條ニ依リ同法實施ノ日ヨリ六十日以内ニ於テ出訴セサルヘカラス

二十五 岡山縣船橋源 山林査定處分取消請求ニ關スル妨訴抗辯……………三八

大意 判決 明治三年中原告カ受ケタル行政處分ノ取消ヲ要求スルモノナルヲ以テ行政裁判
法第二十二條ニ依リ同法實施ノ日ヨリ六十日以内ニ於テ出訴セサルヘカラス

二十六 千葉縣岡田豐吉對内 堤塘使用ニ關スル件……………三九

大意 判決 從來勞力ヲ費シ居住地トシテ使用シ來レル官堤ヲ緣故ナキ第三者ノ所有地ト査定シタ
ルハ不法ナリト云フニアルモ内務大臣ニ對シ訴願シタル事件ナルヲ以テ行政訴訟ヲ起
スナ得ス

二十七 長野縣星野惠 民有山林引戻請求ニ關スル件……………四〇

大意 判決 原告提供ノ證據ヲ以テ寺院ノ所有地ナリト認定スルヲ得サル
ニ依リ官有ニ編入シタル處分ヲ以テ不當ナリト謂フヲ得ス

二十八 岩手縣牛田權 官民有地區違法處分取消ニ關スル件……………四一

訴求 祖先ニ於テ買受ケタル永代所有地タルノ證據アルニ
拘ハラヌ下戻ヲ拒絕シタルハ不當背理ノ處分ナリ

大意 判決 原告提供ノ書類ハ一モ原告ノ所有地タルヲ認ムヘキ證據ト
爲スニ足ラサルヲ以テ被告ノ處分ヲ不當ナリト謂フヲ得ス

二十九 岩手縣昆密太 山林査定不當處分取消ニ關スル件……………四四

大意 判決 原告提供ノ證據書類ハ原告カ從前山守タリシ來歴ヲ認メ得ヘキモ所有者タルノ成蹟ヲ
認ムヘカラサルニ依リ之レヲ官有地ト査定シタル被告ノ處分ハ不當ナリト云フヲ得ス

三十 青森縣新井山徳松 山林拂下處分ニ關スル件……………四六

大意 判決 山林拂下ノ處分ニ關シテハ法律勅
令ニ行政訴訟ヲ許スノ規定ナシ

三十一 長野縣傍陽村 民有原野引戻ニ關スル妨訴抗辯……………四六

訴求 明治十一年山野改租ノ際處分シタルモノニ付テハ行政裁
判法實施ノ日ヨリ六十日以内ニ於テ出訴セサルヘカラス

大意 判決 曩キノ訴願書ニ追願書ヲ添付シ更ニ被告廳ニ提出シテ指令ヲ得タルモノナルヘ其指令
ヲ受ケタル日ヨリ出訴期限ヲ起算スヘキモノニシテ答辯ノ義務ナシト云フヘカラス

三十二 長野縣芳澤長左 民有地引戻ニ關スル妨訴抗辯……………四八

妨訴 明治十年山野改租ノ際處分シタルモノニ付テハ行政裁判
法實施ノ日ヨリ六十日以内ニ於テ出訴セサルヘカラス

大意 判決 郡長ノ發シタル訓令ニ依リ新々ニ證據ヲ發見シテ引戻ヲ出願シ其處分ニ不服アリテ出
訴スルモノナルニヨリ行政裁判法第二十二條ニ依リ同法施行ノ日ヨリ六十日以内ニ於
テ出訴セサルヲ得スト謂フ可カラス

三十三 靜岡縣中山政太 上地山林下戻ニ關スル妨訴抗辯……………四九

大意 判決 證據發見ノ理由ヲ以テ前出願ヲ改メ縣廳亦後ノ出願ニ對シ確證ノ有無ヲ取調ヘタル上
却下シタルモノニ付其却下ノ日ヨリ訴訟期限ヲ起算スヘキモノニシテ答辯ノ義務ナシ
ト云フ可カラス

三十四 千葉縣岡田豐吉 官地堤塘脚使用繼續請求ニ關スル件……………五一

目次

六十五

六十四

大意 裁判 官地堤脚ハ原告ノ所有權ニ關係ナク有セサルヲ以テ二十三年法律第六號ノ五ニ該當セズ從テ原告ハ此處分ニ對シ行政訴訟ヲ提起スルノ權利ナキモノトス 六十六
三十五 靜岡縣中山政太 高松神社上地山林下戻ニ關スル件 五二

大意 訴求 原告ノ祖先カ自設ヲ以テ開墾栽培シテ代々讓受ケ來リシ證據アルニ拘ハラシ其下戻ヲ許可セサル被告ノ處分ハ不當ナリ 六十六
判決 原告提供ノ書類ハ其所有權ヲ認ムヘキ證據ト爲スニ足ラサルヲ以テ被告ノ處分ヲ不當ナリト云フヲ得ス
三十六 長野縣原伴三 民有地回復請求ニ關スル妨訴抗辯 五三

大意 裁判 關係ノ書類ニ依ルトキハ明治十五年ニ於ケル指令ハ行政上ノ處分ヲ確定シタルモノト認ムルヲ得サルニ依リ行政訴訟ノ期限ヲ經過シタリト云フヘカラス從テ被告ハ答辯ノ義務ナシト云フヲ得ス 五三
三十七 長野縣芳澤長左 衛門對同縣知事 官民有地區分ニ關スル件 五五

大意 訴求 古來村民ノ共有地ニシテ納稅收獲其他一切ノ處分ハ原告ニ於テ之ヲ爲シ來リタルニ拘ハラシ官有原野ニ編入セラレタルハ不當ナリ 五五
判決 原告提供ノ書類ハ其所有權ヲ認ムヘキ證據ト爲スニ足ラサルニ依リ被告ノ處分ヲ不當ナリト云フヲ得ス
三十八 長野縣瀧澤大 官有地引直ニ關スル妨訴抗辯 五七

大意 判決 初メノ出願ニ對スル處分ニ付キ再處分ヲ請フニ過キサルモノ、行政訴訟期限ハ當初ノ處分ヨリ起算セサルヲ得ス 五七
三十九 長野縣傍陽村 民有原野引直ニ關スル件 五八

大意 訴求 原告村ノ共有地ニシテ古來自由ニ進退シ且租稅ヲモ上納シ來レル土地ヲ讓テ官地ニ編入シ其引直ヲ拒絕スルハ不當ナリ 五八
判決 民有タルノ慣行成蹟アルモノト認メ難ク從テ被告カ爲シタル處分ハ不當ナリト云フヲ得ス
四十 栃木縣星野常 官有山林引直ニ關スル件 六二

大意 訴求 舊藩ヨリ讓受ケ爾來租稅ヲ上納シ又自由ニ讓リ渡シ或ハ樹木ヲ植付ケ專ラ所有者タルノ處分ヲ行ヒ來リシニ官林ニ編入シテ其引直ヲ拒絕スルハ不當ナリ 六二
判決 本訴係争地ハ舊藩ノ負債ニ關シ年期ヲ定メ買入シタルニ過キサルヲ以テ原告ノ所有ナリト云フヲ得ス
四十一 千葉縣唐鎌清五 地所々有權回復ニ關スル件 六四

大意 訴求 原告所有ノ形蹟彰然タルモノアルニ拘ハラシ査定其當ヲ失シテ官有地ニ編入シタル被告ノ處分ハ不當ナリ 六四
判決 原告ノ立證ハ何レモ本件土地所有ノ證據トシテ採用スヘキモノナキヲ以テ被告カ爲シタル處分ハ不當ナリト謂フヲ得ス
四十二 千葉縣岡田豊 官有堤脚處分取消ニ關スル件 六八

大意 裁判 內務大臣ノ裁決ヲ受ケタル事件ナルカ故ニ行政裁判所ニ於テ却下ノ裁決ヲ爲シタルモノナレハ行政裁判法第十九條ニ依リ原告ハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得サルモノトス 六八
四十三 愛媛縣寶田村 共有地所有權回復ニ關スル件 六八

大意 裁判 原告回復ハ天災其他避ケヘカラサル事實ノ爲メニ不變期間ヲ遵守スルコトヲ得サル場合同ニ於テ許スヘキモノニシテ本件ノ如キ司法裁判ノ結果ヲ待テタルカ爲メ行政訴訟ノ期間ヲ經過シタルモノニ付テハ原告回復ヲ許スヘキモノニアラス 六八
目次 六十七

四十四 宮城縣小山友郷 官民有地區分不當處分取消ニ關スル件……………六十八

大意

〔請求〕 藩廳ノ許可ヲ得テ藩士ヨリ買受ケタルノミナラス爾來勞力ヲ費シ開拓シタル土地ヲ官地ニ編入シ其下戻ヲ許可セサルハ不當ナリ

四十五 岩手縣三浦六之 官民有地區分不當處分取消ニ關スル件……………七〇

大意

〔請求〕 舊藩士ヨリ買受ケタル除屋敷ヲ官地ニ編入シ其下戻ヲ拒絶スル被告ノ處分ハ不當ナリト謂ハサルヲ得ス

四十六 奈良縣津田善 官民有地區分不當處分取消ニ關スル妨訴抗辯……………七一

大意

〔判決〕 控訴院ノ判決ニ依リ其所有權ヲ失ヒタル以上ハ被告カ之レヲ官有地ニ編入スルモ爲メニ權利ヲ毀損セラレタリト謂フ可カラズ從テ原告ハ本訴提起ノ權ナキモノトス

四十七 鳥取縣山根藤三郎 土地臺帳登記名義改正ニ關スル件……………七三

大意

〔判決〕 本件ハ明治二十三年法律第百六號ノ一ニ該當スル事件ノ範圍内ニ入ルヘキモノト認ムルヲ得サルニ依リ行政訴訟ヲ提起シ得ルノ限ニアラス

四十八 新潟縣小浦方久 飛地編入不當處分取消ニ關スル件……………七三

大意

〔判決〕 飛地編入處分ノ異議ニ付テハ法律勅令ニ行政訴訟ヲ許スノ規定ナシ

四十九 長野縣野野半治 地所々有權回復ニ關スル件……………七四

大意

〔判決〕 官民有地査定區分ノ違ヲ受ケタル日ヨリ起算スルトキハ訴訟期限ヲ經過スルニ依リ原告ハ訴權ヲ失ヒタルモノトス

五十 福岡縣手島仲太 土地官民有區分ニ關スル件……………七四

大意

〔請求〕 本訴係争地ハ原告祖先以來ノ所有地ニ係リ且二十二年土地惣丈量ノ際調製シタル圖面ハ後見人ノ之レヲ拒ミ認諾調印セシコトナク若調印アルモ未丁年者ノ行為ニ外ナラザレハ無効ナリト謂ハサルヲ得ス依テ被告カ之ヲ官有地トシテ原告ノ要求ヲ容レサルハ不當ナリ

判決

後見人ノ職務權限ニ關スル規定ノ外未丁年者ノ行為ハ惣テ無効トナスヘキ規定ナキノミナラス二十二年ノ土地丈量ハ各自所有スル土地ノ區域ニ就キ其廣狹ヲ精査シ面積ヲ確實ナラシメタルニ外ナラザレハ之レニ依リテ已ニ確定シ在ル圖面ニ遡リ其調査ヲ論斷スヘキモノニアラス

第十二類 各種營業及規約

一 東京市岡田平太 鑛山借區券書換催促ニ關スル件……………一頁

大意 鑛山借區券記名書換願ヲ却下シタルハ二十三年法律第百六號第三ノ所謂營業
免許ノ拒否ト云フヘカラサルニヨリ行政訴訟ヲ提起シ得ヘキモノニアラス

二 靜岡縣高田四郎左 漁業規約訂正命令取消ニ關スル件……………一

大意 漁業規約ニ對シ訂正ノ命令ヲ發シタル府縣知
事ノ處分ニ付テハ行政訴訟ヲ許スノ規定ナシ

三 岐阜縣河村透 營業妨害土木工事差止ニ關スル件……………二

大意 新道増工事ヲ以テ直接ニ原告ノ營業權ヲ侵害スルモノト認
ムヘカラサルニヨリ行政訴訟ヲ提起シ得ルノ限リニアラス

四 福岡縣占部三折 石炭坑借區願不當處分取消ニ關スル件……………二

訴求 日本坑法ニ違反スル競願者ノ出願ヲ許可シ
タル農商務大臣ノ處分ハ違法タルヲ免レシ

大意 鑛山借區ノ免許ハ政府所有ノ鑛物ヲ探掘セシカ爲メニス
ル借區ノ免許ナレハ營業免許ノ範圍ニアラサルモノトス

五 愛知縣盛常八 渡船營業拒絕處分取消ニ關スル件……………三

訴求 渡船營業規則ニ於テ許可スヘカラサル條件ヲ付セサル
ニ於テハ該營業ノ免許ヲ拒絕ス可カラサルモノトス

大意 專ラ公共ノ便否ヲ査定シ原告ノ出願セシ場所ニハ渡船場ヲ設クルノ必要
ナシト認メ許可セサルモノナルヲ以テ違法ノ處分ナリト謂フヘカラス

目次

六 神奈川縣三竹傳 水車設置許可取消ニ關スル件……………七十二

大意 裁決 被告ニ於テ請願書ヲ却下シタルハ原告ノ申出ニ依リ其願意ヲ達セシメタルニ過キ
スシテ未ダ行政廳ノ處分ヲ受ケタルモノニ非ルヲ以テ出訴シ得ヘキモノニアラス

七 秋田縣加藤吉左衛門 寄席建築不當處分取消ニ關スル件……………五

大意 裁決 寄席小屋建築願ヲ却下シタル町長ノ處
分ニ付テハ行政訴訟ヲ許スノ規定ナシ

八 北海道内山利兵衛 漁業免許拒絕ニ關スル 妨訴抗辯……………五

大意 妨訴 漁業區域ノ割渡ヲ違シタルハ營業ノ免許ヲ拒否シタル
モノニアラサルヲ以テ原告ハ訴權ヲ有セサルモノトス

九 新潟縣中野實 坑業禁止處分取消ニ關スル 妨訴抗辯……………六

大意 妨訴 坑業禁止ハ借區許可ノ取消ニ外ナラザレハ其結果坑業ヲ營ムヲ得サルニ至ルモ二
十三年法律第六號ノ三ニ該當スト云フヘカラサルニヨリ答辯スルノ限リニアラス

十 廣島縣三保利八 捕魚採藻營業不當處分ニ關スル件……………八

大意 訴求 從來捕魚採藻業ノ爲メ專用セシ慣行アルニ拘ハラズ
其許可ヲ與ヘスシテ願書ヲ却下シタルハ違法ナリ

判決 從來慣行アルモノハ其旨ヲ届出ヘキ規定ナルニ之ヲ爲サハルカ
爲メ許可セサルモノナルヲ以テ不當ノ處分ナリト謂フヲ得ス

十一 新潟縣鶴田熊次 坑業禁止處分取消ニ關スル 妨訴抗辯……………九

大意 妨訴 坑業禁止ハ借區許可ノ取消ニ外ナラザレハ其結果坑業ヲ營ムヲ得サルニ至ルモ
二十三年法律第六號三ニ該當スト云フヘカラサルニヨリ答辯スルノ義務ナシ

判決 シテ其坑業禁止ノ令ヲ受ケタルハ既得ノ免許ヲ取消サレタルモノナルニヨリ答辯ノ義
務ナシト謂フヲ得ス

十二 岡山縣三宅彌三 海面借區許可請求ニ關スル 妨訴抗辯……………二

大意 妨訴 養貝地拜借願ヲ許可セサルハ營業免許ノ拒否ト
謂フヘカラサルニヨリ答辯スルノ限リニアラス

判決 養貝ノ爲メ海面借區ノ許可ヲ得ルトキハ之ト同時ニ養貝營業ノ免許ヲ
得タルモノト言ハサルヲ得サルニヨリ答辯ノ義務ナシト謂フヘカラズ

十三 北海道内山利兵衛 漁業場許可差拒處分ニ關スル件……………二

大意 訴求 漁業區域改測ニ當リ從來使用シ來レル一定
ノ間數ヲ減縮シタル郡長ノ處分ハ不當ナリ

判決 從來一定ノ漁業場ト認定シ得ヘキ證據ナキ
ニヨリ被告ノ處分ヲ不當ナリト謂フヲ得ス

十四 東京市大崎藤次 電燈營業許可取消ニ關スル件……………一三

大意 裁決 警視總監カ品川電燈會社ノ移轉營業ヲ許可シタルハ其職權内ノ處分ニシテ
法律規則ニ背反スル所ナキヲ以テ行政訴訟ヲ提起シ得ヘキモノニアラス

十五 新潟縣鶴田熊次 坑業禁止處分取消ニ關スル件……………一四

目次 七十三

大意

訴求 日本坑法第二十四款ノ規定ニ違反シタル事實ナキノミナラス理由ヲ示サスシテ坑業ヲ禁止シタル被告ノ處分ハ違法ナリ

十六 新潟縣稻月光 工事請負不常命令取消ニ關スル件 一五

大意

土木工事ノ受命命令ヲ取消シタル件ニ付テハ法律勅令中行政訴訟ヲ許スノ規定ナシ

十七 新潟縣津島貫 坑業禁止處分取消ニ關スル件 一六

大意

下稼人ヲ置キ出油分取ノ契約ヲ爲シタルヲ以テ日本坑法第二十四款ニ違背シタルモノトシテ借區營業ヲ禁止シタルハ法律ノ適用ヲ誤リタルモノト謂ハサルヲ得ス

十八 岡山縣三宅綱三 養貝地營業許可請求ニ關スル件 一九

大意

原告ハ從來養貝ヲ以テ營業トシ且多分ノ空地アルニ拘ハラズ其借區願ヲ許可セサル被告ノ處分ハ不當ナリト謂ハサルヲ得ス

十九 岩手縣及川長平 坑業拒否ニ關スル妨訴抗辯 二一

大意

日本坑法第十款ニハ農商務大臣ニ借區願ヲ許可セサルノ職權ヲ與フレトモ未ダ管轄區出願人ニ其處分ニ對シ行政訴訟ヲ許スノ規定ナキノヨリ答辯スルノ限リニアラズ

二十 石川縣石田小太 銅鑛試掘指令取消ニ關スル妨訴抗辯 二二

大意

錯誤ニ出テタル指令ノ取消ヲ請求スルモノハ日本坑法第十款五項ノ規定ニ依ルヘキハ當然ニシテ其手續キテ經サル以前ニ於テハ行政訴訟ヲ提起シ得ヘキモノニアラス

二十一 佐賀縣大園重宣 坑業許可取消請求ニ關スル件 二三

大意

日本坑法第十款五項ノ申立ハ二十三年法律第百五號訴願法ニ依ルヘキモノニアラス故ニ其申立ヲ以テ訴願法ノ規定ニ違フモノナリトシテ却下シタル被告ノ處分ハ其當ヲ得ルモノト謂フヲ得ス

二十二 長野縣吉山慶藏 坑業許可取消ニ關スル件 二五

大意

採鑛事業ノ爲メ公益ヲ害セラレタル事實ヲ具狀シテ坑法第一款三項ノ處分ヲ請フハ格別直ニ同法第十款五項ニ依リ之レカ取消ヲ請求シタルハ原由ナキ申立ナリトス

二十三 京都府大槻初藏 工事請負違法處分取消ニ關スル件 二七

大意

町村制第八十七條ノ規定ニ依ラスシテ工事ノ入札ヲ受買ハシメタルニ異議アル場合ハ訴願法ニ依リ地方上級行政廳ニ訴願シ而シテ後チ行政訴訟ヲ提起スヘキモノトス

二十四 岩手縣及川長平 開坑不當指令取消ニ關スル件 二八

大意

被告カ原告ノ出願ニ係ル借區ヲ許可セサルハ公益ニ害アリト認定シタルニ由ルモノニシテ其認定ハ法律上農商務大臣ノ職權ニ屬シ他ニ違法ト認ムヘキモノナキノヨリ原告ノ權利ヲ毀損シタリト謂フヘカラス

二十五 福岡縣占部三折 坑業借區許可取消ニ關スル件 三〇

大意

日本坑法第十款五項ノ申立ハ二十三年法律第百五號訴願法ニ依ルヘキモノニアラス故ニ其申立ヲ以テ訴願法ノ規定ニ違フモノナリトシテ却下シタル被告ノ處分ハ其當ヲ得ルモノト謂フヘカラス

目次

目次

日本坑法第十款五項ノ申立ハ二十三年法律第百五號訴願法ニ依ルヘキモノニアラス故ニ其申立ヲ以テ訴願法ノ規定ニ違フモノナリトシテ却下シタル被告ノ處分ハ其當ヲ得ルモノト謂フヘカラス

七十五

二十六 愛知縣二神清八對魚市營業免許指拒處分取消ニ關スル件……………三三三

大意 訴求 成規ノ手續キテ支店ヲ設ケ魚市營業屆ヲ爲シタルニ謂レナキ理由ヲ付シテ拒否シタル被告ノ處分ハ違法ナリ

判決 縣會ヲ以テ規定スル取締人ノ運籌ナキカ爲メ拒否シタルモノニシテ其處分ヲ違法ナリト謂フ可カラス

二十七 兵庫縣松井辰藏對古物商條例違反物品引上命令取消ニ關スル件……………三四

大意 判決 古物商條例違反ニ關スル警察署長ノ處分ニ付テハ行政訴訟ヲ許スノ規定ナシ

二十八 千葉縣高神村長 石材採掘不當處分取消ニ關スル件……………三四

大意 判決 石材採掘ノ許可ハ法律第六號四ニ該當スル水利土木ニ關スル事件ノ範園内ニ入ルヘキモノニアラサルヲ以テ行政訴訟ヲ起スヲ得サルモノトス

二十九 兵庫縣中島七左衛門 鳥獸獵免許拒絶處分取消ニ關スル件……………三五

大意 判決 財産ノ有無多少ハ法律上職權遊獵ヲ區別スルノ標準ト爲スヲ得ス

三十 福島縣藤野儀市 石炭坑借區許可取消請求ニ關スル件……………三六

訴求 原告ノ出願ニ係ル借區地ハ海軍豫備炭田中ニ編入セラレタルヲ以テ追テ何分ノ沙汰スヘシトノ付箋ヲ記シ願書ヲ却下シナカラ海軍豫備炭田ノ解ケタル後テ他人ニ之ヲ許可シタル被告ノ處分ハ違法ナリ

判決 付箋ヲ以テ借區權ヲ既得シタルモノト云フヘカラサルニヨリ海軍豫備炭田ヲ解ケタル後ハ新タニ適法ノ借區願ヲ提出セサルヘカラス

三十一 廣島縣香川 藝妓營業地制限取消ニ關スル件……………三九

大意 判決 藝妓營業地ヲ制限シタルニ異議アル場合ハ縣令發布ノ日ヲ以テ處分ノ當日トシ出訴期限ヲ起算スヘキモノナルニ本訴ハ已ニ其日限ヲ經過スルヲ以テ出訴スルヲ得サルモノトス

三十二 大坂市澤田壽 發電所許可取消ニ關スル件……………三九

訴求 發電所ノ設置地ハ原告ノ住家ニ接近シ衛生上ニ大害アルヲ以テ承諾ヲ與ヘサルニ拘ハラス被告力之ヲ許可シタルハ不當ナリ

判決 近傍人家ニ故障アルモ公益ニ害ナシト認ムルトキハ之ヲ許可スルトノ規定ニ基キ許可シタルモノナレハ違法ノ處分ト謂フ可カラス

三十三 千葉縣柳瀬淺右衛門對同縣知事 渡船營業拒絶處分取消ニ關スル件……………四〇

訴求 公共ノ便益ヲ謀ランカ爲メ對岸人民ト協議ヲ遂ケ正當ノ手續ヲ以テ出願セル渡船營業ヲ許可セサル被告ノ處分ハ不當ナリ

判決 對岸人民ハ調印ノ取消ヲ出願シ且其營業ニ對シ故障アルカ爲メ許可セサルモノニシテ不當ノ處分ト謂フヲ得ス

三十四 北海道吉崎由太郎 漁業營業差拒處分取消ニ關スル件……………四二

大意 判決 有限免許ヲ受ケタルモノニシテ其期限滿了スルトキハ更ニ免許ヲ受ケヘキコト新タニ漁業免許ヲ受ケルモノニ異ナルナキヲ以テ原告ハ無限ノ漁業權ヲ有スルモノト主張スルヲ得ス

三十五 福岡縣今任亮太 炭田借區許可取消ニ關スル妨訴抗辯……………四四

大意 判決 錯誤ニ出テタル許可ヲ發見シタル場合ニ於テハ先其許可ノ取消ヲ農商務大臣ニ要求シ其指令又ハ裁定ヲ受ケタル後ニアラサレハ本訴ヲ提起スルヲ得サルモノトス

目次 七十七

三十六 兵庫縣中島七右衛門 狩獵營業免許差拒處分取消ニ關スル件……………七十八

大意 裁判 狩獵規則ノ發布ニ依リ獵獵ヲ禁セラレタルヲ以テ銃獵營業權ヲ毀傷シタリト謂フヘカラス

三十七 靜岡縣藤田豐次 物品購入隨意契約取消ニ關スル件……………四六

大意 裁判 隨意契約ヲ締結シテ物品ヲ購買シタルノ異議ニ付テハ行政訴訟ヲ許スノ規定ナシ

三十八 東京市岡田平太 鑛山借區許可取消中間判決ニ關スル件……………四六

大意 判決 本訴ニ對シ判決ヲ與フルトキハ直チニ其判決ニ依リ本案ノ争點ヲモ決スルノ結果ヲ生スヘキニヨリ中間判決ノ申請ハ其理由ナキモノトス

三十九 富山縣青山秀次 蠶業規定認可取消ニ關スル件……………四七

大意 裁判 蠶業規定認可ノ當否ニ付テハ法律勅令中行政訴訟ヲ許スノ規定ナシ

四十 大分縣森龜太郎 漁業營業不當處分取消ニ關スル件……………四八

大意 裁判 本訴ハ他人ノ得タル營業免許ノ取消ヲ請求スルモノニシテ二十三年法律第六號三項ニ該當スト謂フ可カラサルニヨリ行政訴訟ヲ起スヲ得ス

四十一 佐賀縣大園重宣 石炭坑借區許可取消處分ニ關スル件……………四八

大意 裁判 共同訴願ニ對シ其一人ニ於テ裁定書ノ交付ヲ受ケタル上ハ同訴願者ノ關知スルモノニアラスト謂フヲ得ス從テ本件ハ既ニ出訴期限ヲ經過スルヲ以テ行政訴訟ヲ起スヲ得ス

四十二 千葉縣岩川直 精米煤助粉營業許可否ニ關スル件……………四九

大意 訴求 精米煤助ノ爲メ白土ヲ採掘スルハ直接ニ白土業ヲ爲スモノニアラスナルヲ以テ該組合規約ニ違フヲ要セス

四十三 秋田縣小林甚太 繼續漁業許可否處分ニ關スル件……………五一

大意 判決 當初ノ調査ハ誤謬ニシテ不當ナルヲ覺知シ原告ニ與ヘタル指令ヲ取消シタルモノナレハ不當ノ處分ト謂フヲ得ス

四十四 岐阜縣各務平七 石炭坑借區特許處分取消ニ關スル件……………五四

大意 裁判 續業條例第三十四條ハ自己ニ與ヘラレタル特許ニ對シ出訴ヲ許シタルモノニアラス

四十五 德島縣高野重 石鹼發賣差止命令取消ニ關スル件……………五四

大意 裁判 石鹼購求者ニ對シ抽籤ヲ以テ景物料ヲ添ユル事ヲ差止メタル異議ニ付テハ行政訴訟ヲ許スノ規定ナシ

四十六 北海道釧路直治 鑛山探試掘願ニ關スル件……………五五

大意 裁判 續業條例第三十三條ニ依リタル訴願ナルコト明白ナルカ爲メ期限經過ノ理由ヲ以テ却下セラレタルモノニ付受理スヘキ限リニアラス

四十七 岩手縣芳賀長綱 漁業停止處分取消ニ關スル件……………五六

大意 裁判 本件停止ノ處分ハ明治十九年ニ屬スルヲ以テ此處分ニ不服ナルトキハ訴願法發布以後ニアリテハ同法第二十條ニ依リ第八條ノ期限内ニ於テ訴願スヘキモノトス

四十八 兵庫縣坪田藤吉 漁市場許可取消ニ關スル件……………五六

目次

七十九

大意 判決 本訴ハ他人ノ得タル營業免許ノ取消ヲ請求スルモノニシテ法律第六號ノ三ニ該

四十九 東京市朝日利 湯屋營業權回復ニ關スル妨訴抗辯……………五七

大意 判決 出訴期限ハ原告ガ其權利ヲ毀損セラレ起訴ノ念慮ヲ發シタル日ヨリ起算スヘ

五十 靜岡縣布施新助 鑛業特許取消ニ關スル件……………五八

大意 判決 鑛業條例第三十四條採掘特許ノ出願人ニ對スル効力ハ其特許證ヲ交付スルニ依リ始メ

五十一 岩手縣吹切丑松對 探藻捕介營業區域免許ニ關スル件……………六〇

大意 判決 從來使用ノ慣例アル原告ノ出願ヲ拒否シ認ムヘキ慣例ナキ箇所ニ向テ之ヲ分割シ更

第十三類 雜部

一 靜岡縣服部德 避病院位置變更ニ關スル件……………一頁

大意 判決 避病院新設地ノ異議ニ付テハ

二 東京市佐藤文 舊藩年賦金下渡請求ニ關スル件……………一

大意 判決 舊藩契約年賦金下渡ノ異議ニ付

三 東京市佐藤文 舊藩年賦金下渡請求ニ關スル件……………一

大意 判決 舊藩契約年賦金下渡ノ異議ニ付

四 東京市佐藤文 舊藩年賦金及利子下渡請求ニ關スル件……………一

大意 判決 テハ行政訴訟ヲ許スノ規定ナシ

五 愛媛縣岡田吉 積立米下戻請求ニ關スル件……………二

大意 判決 積立米下戻處分ノ異議ニ付テ

六 沖繩縣安富祖忠 金祿下賜請求ニ關スル件……………三

大意 判決 金祿下賜處分ノ異議ニ付テハ

目次

七 山形縣大場彦四 學區變更ニ關スル件……………三

大意 裁決 小學校區畫及學校位置分合存廢處分ニ對シテハ行政訴訟ヲ許スノ規定ナシ

八 高知縣桑門瑞 伐木停止ノ縣令取消ニ關スル妨訴抗辯……………四

大意 判決 明治十七年太政官第三號布達ニ依リ伐木停止ヲ爲シタルニ起因スル異議ハ水利ニ關スルモノナルヲ以テ出訴權ナシト謂フ可カラス

九 高知縣桑門瑞 伐木停止ノ縣令取消ニ關スル件……………五

大意 判決 本件ハ通常裁判所ニ出訴ヲ提起シ該山林ノ所有權未ダ確定セサルモノナルヲ以テ原告ノ權利ヲ毀損シタリト謂フ可カラス

十 茨城縣藤井順藏對 新治郡長外一名 後見届却下處分取消ニ關スル件……………六

大意 裁決 後見人届書ヲ却下シタル處分ニ對シテハ行政訴訟ヲ許スノ規定ナシ

十一 東京市君島胤 廣對海軍大臣 恩給局裁決破毀ニ關スル件……………七

大意 訴求 海軍主計少監タル位置ニアルモノニ對シ大主計ノ恩給ヲ下付スル恩給局ノ裁決ハ其當ヲ得タルモノト謂フヘカラス

十二 神奈川縣須田竹次 耶對同縣山背村長 不當不作爲排除ニ關スル件……………一

大意 判決 原告カ後備トナリタルハ事實上大主計ノ位置ニ於テ仰付ケラレタルモノト認ムヘキニヨリ不當ノ裁決ト謂フヲ得ス

附錄 法令

一 行政裁判法……………	一頁
二 行政裁判所處務規程……………	五
三 行政訴訟豫納金手續……………	六
四 行政訴答書式……………	六
五 行政廳ノ違法處分ニ關シ行政訴訟ヲ提起シ得ヘキ事項……………	九
六 訴願法……………	九
七 府縣制……………	一一
八 郡制……………	一一
九 市制町村制……………	三三

行政裁判例目次 終

目次

行政裁判例

村上文郎編纂

第一類 府縣會議員選舉及府縣會議權

一 縣會議員違法選舉取消ニ關スル妨訴抗辯 明治二十四年十二月廿八日宣告 明治二十四年第七十六號

原告 長野縣北佐久郡 柳澤禎三 被告 長野縣小 中島精一

右原告柳澤禎三ヨリ被告小縣郡長中島精一ニ對スル縣會議員選舉會違法取消ノ訴訟ニ付被告中島精一ハ妨訴ノ抗辯ヲ爲シテ依テ審理ヲ遂ケル處

被告妨訴抗辯ノ要旨ハ原告ニ於テ選舉ノ始終ヲ管掌スル實權者ヲ擱キ其事務ニ與リタル中ノ一人ヲ誤認シ被告ノ位置ト定メタルハ甚々不當ナリ抑原告ノ主眼トスル所ハ選舉ノ結果ヲ無効トスルニアリテ此選舉ノ効力即チ結果ノ異議ニ外ナラス而シテ郡長ハ縣知事ノ命スル所ニ依テ法律ノ規定ニ基キ選舉會場一部ノ整理ヲ爲スニ止リ其結果ハ當選人ノ確定ニ歸ス府縣制ニ據リ職員ノ出生ヲ命シ及ヒ其出生ヲ認ムル實權ハ府縣知事ノ職務ニ屬スルハ府縣制第七條以下數條ノ規定スル所ナリ故ニ選舉ノ効力ニ關シ訴願セントスルモノハ實權者タル府縣知事ニ中立其効力ノ確定ニ異議アルヲ知ラシメ矯正ノ道ヲ求ムルモノニシテ即チ本訴ノ當ノ敵タルヘキモノハ此實權者ニ歸セサルヘカラス之ヲ要スルニ被告郡長ハ實權者ノ地位ニ相當スル者ニアラサルヲ以テ本訴ニ對シ答辯ノ義務ナシト云フニ在リ

原告答辯ノ要旨ハ被告郡長ハ知事ト郡長ノ職權ヲ混同スルモノナリ郡長ハ選舉會長ト爲リ該會ニ關スル一切ノ事務ヲ取扱フヘキハ即チ郡長タル職務ノ一部ナレハ當然被告ハ本案ニ對シ答辯ノ義務アルモノナリト云フニ在リ

右双方ノ辯論ヲ聽キ理由ヲ說明スルコト左ノ如シ
被告ニ於テ本件ハ選舉ノ効力即チ結果ノ異議ニ外ナラスシテ郡長ハ選舉會場一部ノ整理ヲ爲スニ止リ其結果ハ當選人ノ確定ニ歸スルモノナレハ當ノ敵タルヘキモノハ此實權者ニ歸セサル可カラスト云フト雖モ府縣會議員ノ選舉ハ郡ニ在テハ郡長ヲ會長ト爲ス可キハ府縣制第三條ノ法律ヲ以テ命スル所ナリ而シテ本案原告ノ請求ハ選舉會ニ違法アリト主張スルモノナレハ其當務者タル會長即チ郡長

第一類 府縣會議員選舉及府縣會議權

ニ於テ其實チ縣知事ニ讓ルコトヲ得可カラサルモノトス依テ原告ノ請求ニ對シ被告ニ於テ本案ノ答辯ヲ爲ス可キハ當然ノ責務ナリト
前項ノ理由ナルヲ以テ判決スルコト左ノ如シ
被告ノ妨訴抗辯ハ相立タス 訴訟費用ハ被告ノ負擔トス

二 自選投票ノ効力ニ關スル件 明治二十五年一月十二日宣告
明治二十四年第六十二號

原告 福井縣南條郡會議 梶尾長右衛門外六 被告 同縣 遠藤政敏
員兼同郡參事會員

右原告福井縣南條郡參事會員梶尾長右衛門外六名ヨリ同縣南條郡長遠藤政敏ニ係ル縣會議員選舉効力ニ關スル判決不服ノ訴訟其書類
ニ就キ審理ヲ遂ケル處
原告請求ノ要旨ハ本件ハ明治廿四年八月十五日福井縣知事ノ告示ニ依リ縣制ニ基キ我カ福井縣南條郡ニ於テ郡會議員十名郡參事會員
四名會同シテ南條郡選出ノ縣會議員二名ヲ選舉シタルニ選舉人中今村七平高橋毛一ノ兩名ハ自選投票ヲ爲シタリ該選舉ノ結果今村七
平ハ他人ノ選舉ニ係ル投票七點ニシテ自選投票一點アリ高橋毛一ハ他人ノ選舉ニ係ル投票六點ニシテ自選投票一點アリ又内田甚右衛
門ハ盡ク他人ノ選舉ニ係ル投票ノミニシテ七點アリタリ然レトモ被告郡長ハ自選投票ヲ選舉ノ得點數ニ算入シタルヲ以テ今村七平
最高點ノ當選者ト爲シ次ニ高橋毛一ヲ内田甚右衛門ト同點數ト爲シ年長者タルノ故ヲ以テ高橋毛一ヲ當選者ト爲シタリ於是原告等ハ
其處分ヲ不法トシ明治二十四年八月十八日福井縣知事ハ自選投票ニ係ル一點ノ効力ヲ取消シ併テ當選變更ノ處分相成度旨第一號證
ノ如ク訴願ヲ爲シタル所同月二十五日甲第二號證ノ如ク本訴願ノ投票ハ取消スヘキモノニアラストノ判決ヲ不合法トシ今回出訴ニ及ヒ
シ次第ナリ抑選舉トハ他動的ノモノニシテ他人ヲ選舉シテ選舉スルモノニアラス故ニ其結果選舉ノ區別アリテ他人ヲ選舉スル
ト他人ヨリ選舉セラルトノ途アリト雖モ己レ自カラチ選舉スルモノニアラス故ニ其結果選舉ノ區別アリテ他人ヲ選舉スル
ナラス議員ノ選舉ハ各自代表者ヲ選舉スルノ性質ナレバ自己以外ノ者ヲ選舉セサルヘカラス然レニ自選投票ナルモノハ代表者選舉ノ
性質ニ反シ自己自己ノ代表者ヲ選フノ筋合ナレハ條理上ヨリ論スルモ自選ノ一票ハ固ヨリ其効力有スヘキモノニ非サルナリ然ル
或ル論者カ自選投票ナルモノハ德義上又條理上稍キ穩當ナラサルノ嫌ヒナキニ非サレトモ元來何人モ法律ノ禁セサル限リハ如何ナル
行爲ヲ爲スモ妨ケナキモノナレハ其行爲ヲ無効トスルニハ必ス法律上其明文ナカルヘカラス然レニ自選投票ヲ禁スルノ法文ナキ以
上ハ之ヲ無効ト爲スチ得スト之レ實ニ法理ヲ解セサルノ議論ト云フヘシ何トナレハ自選投票ハ己レ己レノ代表者ト爲スモノナレハ
假令法律上禁止ノ明文ナシト雖モ固ヨリ無効タルヘキハ論ヲ俟タサルノ理ナレハナリ若シ之ヲモ有効ナリトセハ普通民法上代理人チ

選フニ當リ己レ己レノ代理人ト爲スモ亦々法律上有効ナリト云ハサルヘカラス天下豈ニ斯ノ如キ法理アラザヤ故ニ法律上敢テ自選
投票ヲ禁スルノ明文ヲ要セサルナリ今ヤ福井縣知事カ本件ニ對シ與ヘタル判決ヲ熟閱スルニ第一段及未段ノ理由ハ或論者ノ說ニ均シ
ト雖モ中段ニ於テ「縣會議員ノ選舉ハ匿名投票ニシテ固ヨリ秘密ニ關スルモノナレハ何レノ投票カ自選ニ係リシモノナルヤ之ヲ認
ルニ由ナシ」トノ說明ヲ下シタルハ不當モ又甚シト云ハサルヲ得何トナレハ本件ノ選舉會ハ僅ニ選舉者十四名候補者四名ノ小數ニ
シテ何人ハ某チ投票シタルトノ事ハ訴願書ニモ明ラカニ掲載シタル所ナレハ其掲載ノ事實ヲ虛妄ナリトスルニ非サル以上ハ自選投票
ノ有無ヲ認ムルニ由ナシト云フヲ得ス殊ニ其投票ハ現ニ被告郡長ノ保管内ニ在ルモノナレハ之ヲ調査セハ自選投票ノ有無ハ直チニ發
見シ得ラルヘキモノナレハナリ然レトモ該判決未段ノ理由ニ「假リニ之アリトスルモ府縣制ニ於テハ何等ノ制裁ナキニ付其投票ヲ無
効トスヘキ限ニアラス」トノ說明シタルヲ觀レハ判決ノ主旨ハ結局法律上無効タルノ明文ナキヲ以テ有効トセサルヲ得スト云フニ在ル
ヤ明カナリ然レハ自選投票ノ效果如何ハ敢テ法文ニ揚クルノ必要ナク法理上當然無効タルヘキノ理由ハ前文既ニ論述シタル所ナレハ
敢テ茲ニ再陳セヌ要スルニ福井縣知事カ府縣制ニ何等ノ制裁ナシトテ自選投票ヲ有効ナリトシタルハ全ク法律ヲ誤リタル不法ノ判決
ナリト信ス依テ明治二十四年八月二十五日福井縣知事カ與ヘタル判決ヲ取消シ更ニ高橋毛一カ爲シタル自選投票ノ一點ハ無効ナリト
ノ裁判アラントヲ請求スト云フニ在リ
被告答辯ノ要旨ハ本件ハ明治二十四年八月十五日福井縣知事ノ告示ニ依リ被告カ定メタル場所即チ南條郡役所内ニ郡會議事會々同
セシテ以テ被告ハ選舉會長トナリ一同着席セシメ先ツ選舉錄ニ署名スヘキモノ三名ヲ選舉セシメ府縣制第三條ノ規定ニ依リ選舉ヲ行
ヒシモノニシテ投票ノ選舉人ノ面前ニ於テ被告自ラ開キタルニ選舉人十四名ニ對シ有効投票十四票其得點數ハ今村七平八點高橋毛一
七點内田甚右衛門七點中甚兵衛六點ニシテ今村七平ハ最高點ナルニヨリ當選者ト定メ高橋毛一ト内田甚右衛門トハ同點ナルヲ以テ
年長者即チ高橋毛一ヲ當選者ト定メ選舉人ハ報道セリ是時ニ當テ選舉人中一人ノ異議ヲ申立テタルモノナシ是ニ於テ被告ハ選舉會チ
了ヘタル旨ヲ告シ該會チ閉鎖シタリ抑原告カ申立ル處ハ明治廿四年八月廿五日福井縣知事カ與ヘタル判決ヲ取消シ今村七平高橋毛一
カ爲シタル各自選投票一點ハ無効ナリトノ裁判ヲ請フモノニシテ即チ選舉會閉鎖後ニ於テ今村七平高橋毛一カ投票ハ自選ナリトノ推
測ニ依リ之カ起訴ヲ爲シタルモノナリ然レトモ原告ハ今村七平高橋毛一兩名ノ投票ハ自選投票ナリトシ被告カ之ヲ得點數ニ計算シ以テ
高橋毛一ヲ當選人ト定メタルハ不法ノ處置ナリトシ甲第四號證ヲ以テ之カ立證ノ根柢ト爲スト雖モ甲第四號證ハ單ニ原告カ推測上ヨ
リ各投票ニ對シ選舉人名ヲ擬セシニ過キス被告ニ於テハ當時自選投票ナシモノアリシヤ否ヤハ知り得ヘキ事實ニアラサル事ハ原
告等カ署名セシ乙第一號證選舉錄ニ於テ明カナリトス且被告及ヒ選舉人等ハ府縣制第三條ノ規定ヲ遵守シ選舉ヲ執行シ其順序手續
ニ於テ毫モ瑕瑾ナク結了シタルモノナレハ今日ニ於テ被告ハ職掌上與カリ知ルヘキコトニアラス隨テ自選投票ノ効力有無ニ關スル原
告ノ申述ニ對シテハ辯論ヲ要セスト確信ス依テ本件ニ對シ明治二十四年九月三十日原告カ訴ヘタル自選投票ノ件ハ被告ノ職事實ニ

第一類 府縣會議員選舉及府縣會議權

選フニ當リ己レ己レノ代理人ト爲スモ亦々法律上有効ナリト云ハサルヘカラス天下豈ニ斯ノ如キ法理アラザヤ故ニ法律上敢テ自選
投票ヲ禁スルノ明文ヲ要セサルナリ今ヤ福井縣知事カ本件ニ對シ與ヘタル判決ヲ熟閱スルニ第一段及未段ノ理由ハ或論者ノ說ニ均シ
ト雖モ中段ニ於テ「縣會議員ノ選舉ハ匿名投票ニシテ固ヨリ秘密ニ關スルモノナレハ何レノ投票カ自選ニ係リシモノナルヤ之ヲ認
ルニ由ナシ」トノ說明ヲ下シタルハ不當モ又甚シト云ハサルヲ得何トナレハ本件ノ選舉會ハ僅ニ選舉者十四名候補者四名ノ小數ニ
シテ何人ハ某チ投票シタルトノ事ハ訴願書ニモ明ラカニ掲載シタル所ナレハ其掲載ノ事實ヲ虛妄ナリトスルニ非サル以上ハ自選投票
ノ有無ヲ認ムルニ由ナシト云フヲ得ス殊ニ其投票ハ現ニ被告郡長ノ保管内ニ在ルモノナレハ之ヲ調査セハ自選投票ノ有無ハ直チニ發
見シ得ラルヘキモノナレハナリ然レトモ該判決未段ノ理由ニ「假リニ之アリトスルモ府縣制ニ於テハ何等ノ制裁ナキニ付其投票ヲ無
効トスヘキ限ニアラス」トノ說明シタルヲ觀レハ判決ノ主旨ハ結局法律上無効タルノ明文ナキヲ以テ有効トセサルヲ得スト云フニ在ル
ヤ明カナリ然レハ自選投票ノ效果如何ハ敢テ法文ニ揚クルノ必要ナク法理上當然無効タルヘキノ理由ハ前文既ニ論述シタル所ナレハ
敢テ茲ニ再陳セヌ要スルニ福井縣知事カ府縣制ニ何等ノ制裁ナシトテ自選投票ヲ有効ナリトシタルハ全ク法律ヲ誤リタル不法ノ判決
ナリト信ス依テ明治二十四年八月二十五日福井縣知事カ與ヘタル判決ヲ取消シ更ニ高橋毛一カ爲シタル自選投票ノ一點ハ無効ナリト
ノ裁判アラントヲ請求スト云フニ在リ
被告答辯ノ要旨ハ本件ハ明治二十四年八月十五日福井縣知事ノ告示ニ依リ被告カ定メタル場所即チ南條郡役所内ニ郡會議事會々同
セシテ以テ被告ハ選舉會長トナリ一同着席セシメ先ツ選舉錄ニ署名スヘキモノ三名ヲ選舉セシメ府縣制第三條ノ規定ニ依リ選舉ヲ行
ヒシモノニシテ投票ノ選舉人ノ面前ニ於テ被告自ラ開キタルニ選舉人十四名ニ對シ有効投票十四票其得點數ハ今村七平八點高橋毛一
七點内田甚右衛門七點中甚兵衛六點ニシテ今村七平ハ最高點ナルニヨリ當選者ト定メ高橋毛一ト内田甚右衛門トハ同點ナルヲ以テ
年長者即チ高橋毛一ヲ當選者ト定メ選舉人ハ報道セリ是時ニ當テ選舉人中一人ノ異議ヲ申立テタルモノナシ是ニ於テ被告ハ選舉會チ
了ヘタル旨ヲ告シ該會チ閉鎖シタリ抑原告カ申立ル處ハ明治廿四年八月廿五日福井縣知事カ與ヘタル判決ヲ取消シ今村七平高橋毛一
カ爲シタル各自選投票一點ハ無効ナリトノ裁判ヲ請フモノニシテ即チ選舉會閉鎖後ニ於テ今村七平高橋毛一カ投票ハ自選ナリトノ推
測ニ依リ之カ起訴ヲ爲シタルモノナリ然レトモ原告ハ今村七平高橋毛一兩名ノ投票ハ自選投票ナリトシ被告カ之ヲ得點數ニ計算シ以テ
高橋毛一ヲ當選人ト定メタルハ不法ノ處置ナリトシ甲第四號證ヲ以テ之カ立證ノ根柢ト爲スト雖モ甲第四號證ハ單ニ原告カ推測上ヨ
リ各投票ニ對シ選舉人名ヲ擬セシニ過キス被告ニ於テハ當時自選投票ナシモノアリシヤ否ヤハ知り得ヘキ事實ニアラサル事ハ原
告等カ署名セシ乙第一號證選舉錄ニ於テ明カナリトス且被告及ヒ選舉人等ハ府縣制第三條ノ規定ヲ遵守シ選舉ヲ執行シ其順序手續
ニ於テ毫モ瑕瑾ナク結了シタルモノナレハ今日ニ於テ被告ハ職掌上與カリ知ルヘキコトニアラス隨テ自選投票ノ効力有無ニ關スル原
告ノ申述ニ對シテハ辯論ヲ要セスト確信ス依テ本件ニ對シ明治二十四年九月三十日原告カ訴ヘタル自選投票ノ件ハ被告ノ職事實ニ

アラス被告カ明治二十四年八月十五日縣會議員選舉會長トナリ今村七平高橋毛一ヲ當選入ト定メタルハ府縣制規定ノ明文ニ據リタルモノニシテ違法ノ處分ニ非ラズト謂フニ在リ

依テ書類ヲ審閱シ理由ヲ說明スルコト左ノ如シ

原告ハ自己ノ爲セル投票中ノ被選員數ヨリ推シテ當選者中ニ自選投票アリト斷定シ其投票ヲ無効ニ歸セシメントテ請求スト雖モ府縣會議員ノ選舉ハ府縣制第三條ニ依リ匿名投票ナルヲ以テ當然ノ手續ヲ經テ選舉ヲ了シタル以上ハ該選舉ニ對シテ自選他選ノ別ヲ爭フコトヲ得サルモノトス

右ノ理由ニ依リ判決スルコト左ノ如シ

原告ノ請求相立タス 訴訟費用ハ原告ノ負擔トス

三 縣會議員資格ニ關スル件 明治二十五年一月二十六日宣告 明治二十四年第五十九號

原告 青森縣上北郡 藤島源作 被告 同郡長 井上跳蛙

右原告藤島源作ヨリ被告上北郡長井上跳蛙ニ對スル縣會議員選舉不當取消請求ノ訴訟審理ヲ遂ケル處

原告請求ノ要旨ハ明治二十四年八月二十日ノ縣會議員選舉會ニ於テ被告ハ當選者ヲ査定スルニ方リ原告ノ納稅額ニ不足アリテ被選人ノ資格ナキモノト爲シ權利ヲ剝奪セシメ不當ナリ抑原告ハ居村ニ於テ金三圓五十六錢藤坂村ニ於テ金五十二錢四厘ノ地租ヲ納メ來リ尙明治二十三年七月三十日地租六圓八厘ノ土地ヲ買受ケ其公證登記モ済ミタルハ合計金十圓九錢貳厘ヲ納租ス可キ義務ヲ負擔シ縣會ノ被選人タル權利ヲ完備シタルモノナリ而シテ藤坂村納租額ノ内二十三年第一期分租金一圓六十四錢四厘ハ其徵稅傳令書到來セサルニ因リ該納期未八月三十一日舊地主佐倉長助ニ問合セタルニ舊傳令書ノ儘既ニ納租シタル由ニ付即チ之ヲ償却シタルトモ固ヨリ舊地主ヨリ之ヲ徵收ス可キモノニアラス畢竟原告ハ右地所買得後本會開設マテ一箇年以來地租十圓九錢二厘ノ地所ヲ所有スルコト明瞭ニシテ且藤坂村納租簿ハ舊地主名義ニテ明治二十三年二月二十八日日本縣知事ノ訓示ニ背キタルヲ未タ訂正セサル錯誤アルニモ拘ラス被告ハ該村長ヲ責メテ却テ右事實ヲ口實トシ強テ原告ノ資格ヲ損害セントスルハ不當ナルニ因リ縣知事ニ訴願セシニ縣知事ハ原告住居村長ノ證明書ニ依ラスシテ單ニ藤坂村長ノ證明書ノミニ依リ該村ニ於ケル地租納額一圓六十四錢四厘ハ明治二十三年九月一日以降納租シタルモノナルニヨリ之ヲ扣除スルトキハ一年以來ノ納額八圓四錢八厘ナルヲ以テ縣會ノ被選權ナキモノナリト判決シタルハ不服ナルニ由リ八月二十日ヲ以テ施行シタル縣會議員選舉ノ取消アラントテ請求スト云フニ在リ

被告答辯ノ要旨ハ原告ニ於テ明治二十三年七月並ニ八月二十日ヨリ明治二十四年八月二十日マテ一年以來本郡三本木村及藤坂村ニ

於テ完納セシ直接國稅即チ合地租八圓四錢八厘ニ過キサルハ右兩村長ノ證明書ニ照スモ明カナリ之レヲ直接國稅十圓ニ對比スルハ尙一圓五十五錢二厘ノ不足アリ故ニ被告ハ府縣制第三條二ノ三ニ依リ之ヲ無効投票ト定メタルハ適法ノ處理ニシテ被告ノ爲ス可キ法律上當然ノ職務ナレハ原告ノ權利ヲ剝奪シタルモノト謂フ可カラス不當ノ處置ト謂フ可カラス若シ夫レ被告會長ノ處理ヲ不當トセシカ會員ハ意見ヲ述ベ宜シク其不當ヲ正サンハ會員ノ職務ナリ當時原告ハ自供ノ如ク會場ニ列席シ在リナカラ會場ニ一言ノ故障ヲ申立タルコトナク他ノ會員モ亦然リ又原告ハ地租十圓以上ノ土地チ一箇年以上所有シ居レハ其地租ヲ納ムル義務アルニ依リ縣會ノ被選權ヲ失ヒタルカ如ク主張スレトモ該地租十圓以上ノ内明治二十三年第一期分ハ舊地主ノ名義ニテ舊地主之ヲ完納シタルハ故ニ原告ニ於テ一年以來納稅シタルハ八圓四錢四厘ニシテ十圓ニ充サルニ依リ縣會ノ被選權ナキモノナリ素ト其被選權ナキモノハ之ヲ失フノ道理ナルハ明カナリト云フニ在リ

右雙方ノ陳述及證據書類ニ依リ理由ヲ說明スルコト左ノ如シ

原告ニ於テ明治二十三年七月三十日地所買受ケ他ノ所有地ト合計シ金十圓以上ヲ納租ス可キ義務ヲ負擔シ即チ縣會ノ被選人タル權利ヲ完備シタルモノナリト主張スト雖モ府縣制第四條府縣内市町村ノ公民中選舉權ヲ有シ其府縣ニ於テ一年以來直接國稅十圓以上ヲ納ムル者ハ府縣會ノ被選權ヲ有ストアレハ假令地所ノ所有權ヲ得タルヨリ議員選舉ノ當日マテ一年以上ニ及フモ直接國稅十圓以上ヲ一年以來納ムル者ニアラサレハ被選權ヲ有スル者ト謂フ可カラス然ルニ原告ハ地所ヲ買受ケタル當時ニ在テ其納租期內自己ノ名義チ以テ納租シタルニアラス故ニ明治二十四年八月二十日開キタル縣會議員選舉會ニ於テハ未タ被選人タルノ資格ヲ有セサルモノナリ依テ該選舉會ハ原告ニ對シ不當ノ處分ナキヲ以テ之ヲ取消ス可キ理由ナシトス

右ノ理由ナルヲ以テ判決スルコト左ノ如シ

原告ノ請求相立タス 訴訟費用ハ原告ノ負擔トス

四 縣會議員違法選舉取消ニ關スル件 明治二十五年三月三十一日宣告 明治二十四年第八十八號

原告 石川縣羽咋 郡南大海村 早川政行 一名 被告 同郡長 安達正輝

右原告早川政行外十一名ヨリ被告羽咋郡長安達正輝ニ對スル縣會議員選舉取消請求ノ訴訟審理ヲ遂ル處

原告陳述ノ要旨ハ明治二十四年十月十五日石川縣羽咋郡役所ニ於テ執行シタル縣會議員選舉ハ法律ニ違背シタルモノナリ何トナレハ府縣制第三條ニ府縣會議員選舉ハ郡會及郡參事會々同シ云々トアリ既ニ郡會ト云ヒ郡參事會ト云ヒ共ニ其團體タル上ヨリ指稱シタルモノニシテ其團體ヲ組織スル各分子ヲ指スニアラス又郡制第三十三條ニ郡會ハ議員半數以上出席スルニアラサレハ會議ヲ閉キ議決ヲ第一類 府縣會議員選舉及府縣會議權

ナステ得ストアリ然レハ即チ郡會ナル團體ハ議員半數以上集合スルニ非レハ成立セサルハ明ナリ然ルニ羽咋郡々會議員總數二十六人ノ内僅カ四人出席セルヲ以テ郡會ヲ組織シタリト謂フヘカラス從テ府縣制第三條ニ所謂郡會ニ當ラサルヤ明ナリ而シテ縣參事會ノ裁決ハ此事實ヲ認メナカラ府縣制第三條ト郡制第三十三條トハ其意ヲ異ニストノ理由ヲ以テ郡長ノ處置ヲ正當トナシタルハ抑モ法文解釋ヲ誤ルモノナリ又郡長カ發シタル選舉會開設ノ通知書ニハ羽咋郡役所トアリテ郡役所内ノ何レノ室ナルヤチ明示セス且當日郡役所ニ參集シ届出チナシタル原告等ニ對シテ時刻ヲ過ルモ尙其何レノ室ナルヤチ指示セシテ缺席者ト同視シ棄權者ト見做シタルハ專擅ノ處置ナリ又通知書ニハ午前第九時會場ニ參集スヘシトアリテ閉會ノ時限チ明示セス而シテ原告等カ正午少シク過クル頃ニ於テ投票チ行ハント請求シタルモ郡長カ之ヲ拒絕シタルハ投票權チ妨害シタルモノト謂フヘシ然ルニ被告ニ於テハ議會チ開始スルヤ先少議員ニ其通知チ爲スノ慣習ナルニ依リ郡長ハ擊柝チ以テ通知シ尙郡書記遣ハシタリト謂フト雖是レ固ヨリ附會ノ言タリ此等ノ事雙方トモ確證ナキヲ以テ畢竟無證據ノ爭論ナルノミナラス當日參集員二十六名ノ内僅カ六名ノミ右ノ通知チ知リ得テ多數ノ二十名之ヲ知ラサルノ道理ナシ又縣參事會ノ裁決ハ原告等ノ申立チ以テ事實ニ相違スト斷定シタルハ探證ノ理ヲ誤ルモノナリトス依テ石川縣參事會石川縣知事岩山敬義カ與ヘタル縣裁第十九號ノ裁決チ廢毀シ併セテ明治二十四年十月十五日石川縣羽咋郡役所ニ於テ開設シタル石川縣會議員選舉會ヲ取消シ更ニ至當ノ處分チ請求スト云フニ在リ

被告答辯ノ要旨ハ府縣制第三條ニ郡會郡參事會々同トアルハ兩國體其物ノ選舉權チ規定シタルニアラス郡會議員郡參事會員其人ノ會同チ以テ選舉スルノ規定ニシテ決シテ郡會郡參事會ノ議決ノ手續チ以テ選舉スルノ法意ニアラサレハ其出席員數ノ多寡ハ固ヨリ同制ノ間フ所ニアラス故ニ郡制第三十三條及第五十三條ニ規定シタル定數ニ充タサルモノチシテ選舉チ執行スルモ府縣制第三條ニ抵觸セサルナリ又原告ハ開會ノ場所チ明示セスト云フト雖已ニ招集狀ニ郡役所チ以テ選舉會場ニ充ツト記載シタルハ是則チ其場所チ明示シタルモノナリ況ンヤ當日郡役所門戸ニハ石川縣會議員選舉會ナル木標チ掲ケ階上ニハ受付會場及議員控席ナル見札チ貼付シ置キタルニ於テオヤ加之議員控席ハ會場ニ相接シ雙方互ニ相見渡シ得ル程ノ所ナルニモ拘ハラズ原告等カ會場ハ何レノ室ナルヤチ知ラサリトハ謂レナキノ陳述ナリ又原告ハ通知書ニ開會閉會ノ時間チ明示セス而シテ選舉會長カ相當時間中ニ投票函チ閉鎖シテ投票チ拒ミタルハ原告等ノ投票權チ妨害シタルモノナリト云フモ選舉會ノ開閉ハ偏ニ選舉會長ノ職權ニ屬シ法律上何等ノ制規アルチ見ス原告山本精一カ投票チ行ハント請求シタル時ハ已ニ會長カ投票函チ開キ選舉ノ結果チ報道シタル後ナルチ以テ選舉會長之ヲ拒絕シタルモノニシテ毫モ投票權チ妨害シタルニアラス又原告ハ選舉會開會ノ告知チ受ケスト云フハ是亦事實チ枉クルノ甚キモノナリ何トナレハ開會告知ノ手續ハ府縣制ニ之ヲ規定セス偏ニ選舉會長ノ職權ニ屬セリ故ニ選舉會長ハ最初郡書記前田直好チ以テ開會チ報セシメ此時溫井長次郎外五名ハ出場シ他ハ尙控席ニアリシカ尙他ノ書記チ以テ再三通報ストモ更ニ出場スルモノ一人モナシ依テ會長ハ此等ノ人チ棄權者ト見做シ現ニ出場セシ六名チ以テ開會ノ手續チ了シ投票ノ執行チ了シタリ原告早川政行外九名カ此際投票チ行ハサリシハ自ラ好シテ投票權チ放棄セシモノニアラサレハ自己ノ不注意者クハ怠慢ニ依リ投票時期チ失シタルモノナリト謂フ可シ依テ明

治二十四年十月十五日羽咋郡役所ニ於テ執行シタル石川縣會議員選舉ハ法律上有効ノモノニシテ毫モ取消スヘキ理由ナシト云フニ在リ

依テ双方ノ辯論チ聽キ理由チ說明スル左ノ如シ

被告ハ府縣制第三條ニ郡會郡參事會々同云々トアルハ郡會議員郡參事員其人ノ會同チ以テ選舉スルノ規定ニシテ其出席員數ノ多寡ハ固ヨリ同制ノ間フ所ニアラス故ニ羽咋郡役所ニ於テ開設シタル選舉會有効ノモノナリト云フト雖モ抑府縣制第三條ニ郡會郡參事會々同トアルハ該會カ會同シテ府縣會議員選舉會チ閉クノ規定ナレハ郡制第三十三條ニ準據シテ決議チナシ得ヘキ定數ノ出席者アルニ非サレハ其會同會チ閉キ及選舉會執行スルチ得サルモノナリ依テ本件ノ如ク僅ニ六名ノ出席員チ以テ郡會郡參事會ノ會同會チ閉キ縣會議員選舉會タルハ適法ノ處置ニアラサルモノナレハ其選舉會有効ナリト謂フチ得サルモノトス其他被告カ陳述スル所數點ニ涉ルト雖本案ニ必要ナキヲ以テ之ヲ說明セス

右ノ理由ナルニ由リ判決スル左ノ如シ

明治二十四年十月十五日石川縣羽咋郡役所ニ於テ執行シタル石川縣會議員選舉ハ之ヲ取消スヘシ 訟訴費用ハ被告ノ負擔トス

五 縣會議員選舉無効投票取消ニ關スル件

明治二十五年四月八日宣告
明治二十四年第八十四號

原告 秋田縣山本郡能代港 谷田部胤道外二
町大町山本郡會議員

被告 同郡長 御代 弦

右原告谷田部胤道外二名ヨリ被告山本郡長御代弦ニ對スル秋田縣參事會ノ裁決不服ノ訴審理チ遂ル處

原告陳述ノ要旨ハ明治二十四年十月二十六日秋田縣山本郡會々同郡參事會ニ於テ縣會議員補選選舉會チ開キ山本郡長カ會長トナリ渾テ式ノ如ク投票チ結シ會長ハ得點數チ宣告シ原告三浦盛徳チ以テ多數ノ有効投票チ得タルモノト爲シテ當選ノ旨チ報道シ閉會チ告ケタルノ事實ハ當日ノ議事録ニ照シテ明確ナリ然ルニ選舉人佐良土獻治外二名ハ秋田縣參事會ニ訴願セシニ三浦盛徳ノ得タル一票裏面ニ他ノ文字ノ記載アルコトヲ開會中ニ發見セシチ口實トシ該票チ無効トスルノ裁決チ求メタリ而シテ此際山本郡長ヨリ秋田縣參事會ニ差出セシ辯明書ニ訴願人ノ陳供事實ニアラサルコトヲ證明セシニモ拘ハラズ縣參事會カ投票チ無効ナリト裁決シタルハ其當チ得サルモノトス何トナレハ閉會後ニ投票ニ注意セス反古同様ニ取扱ヒタルトノ事ハ訴願ノ際會長ヨリ申供スル所ナリ況ンヤ被告カ補正書ニモ云ヘル如ク會長カ會場ニテ直チニ投票チ封緘セサルニ於テオヤ閉會ノ後記入チナスノ餘地十分ニ存スト云フヘシ開會中ノ出來事ハ議事録チ以テ之ヲ證明スヘク議事録ニ記載セサル所ノ事柄ハ斷シテ開會中ノ出來事ト看做スヘカラス他ノ證據方法ニ至リテハ非常ナル場合ノ外敢テ許スヘカラス然ルニ秋田縣參事會カ議事録ニ記載ナキ事實チ認定シテ之ヲ開會中ノ出來事ト爲セハ議事録チ

第一類 府縣會議員選舉及府縣會議權

輕視シタルモノナリ凡ソ證據類ハ反對ノ確證アラサル限りハ寧ロ之ヲ有効ニ解釋スルハ普通ノ法理觀易キ所ナリ本件係争ノ一票裏面ニ蛇足ノ文字アルハ今日ニ在リテ復タ掩フヘカラサルノ事實ナレトモ右蛇足ノ文字ハ果シテ投票點檢前ヨリ記載アリシトノ證據ナク之ニ反シテ點檢ノ時ニ存在セサル事ヲ證明スルハ議事録其物アリ然ルニ縣參事會ハ右ノ文字唯今日ニ現在スルヲ見ルト云フノミチ以テ裁決ナシタルハ其理由最モ不備タルヲ免カレト云フヘシ加之本件訴願ハ縣參事會ニ於テ受理スヘキモノニアラス何トナレハ府縣制第十一條ヲ案スルニ選舉人ハ選舉ノ効力ニ關シテ訴願ヲ提起スルヲ得ルト雖本件ノ如キハ徒ラニ一票ノ効力ヲ争フモノニ過キス以テ當選ヲ左右スルノ要求ニ至ラズ故ニ選舉ノ効力ニ關スル訴願ト謂フヲ得ス又明治二十四年十一月二十日山本郡長カ秋田縣參事會裁決ノ報告ヲ名トシ山本郡會及郡參事會ヲ召集シ同年十月二十六日ニ執行シタル縣會議員補選選舉會ノ投票ヲ再調シ更ニ三浦盛徳及市川謙一郡ノ年齡ヲ調査シ市川謙一郡ヲ以テ當選者ト爲シ三浦盛徳ノ當選通知取消シタルハ法律ニ背反シ越權ナル處分ナリ何トナレハ明治二十四年十一月二十日山本郡會々同郡參事會議事録ニ據レハ該會ハ訴願法第十六條ニ從ヒ縣參事會ノ裁決執行ノ爲メ召集ストアルモ該裁決ノ主旨タルヤ單ニ三浦盛徳ノ得點中一票無効ナリト云フニ止マルモノナレハ會長ノ職ハ唯其旨ヲ報告スレハ足レリ然ルニ縣參事會ノ裁決ヲ報告セシ上更ニ自カラ投票ヲ再調シ得點者ノ年齡ヲ照査シ三浦盛徳ノ當選ヲ取消シ市川謙一郡ヲ當選人ト定ムル等ハ山本郡長カ裁決ノ範圍外ニ出テタル越權違法ノ處置ナルニアラスヤ又假リニ縣參事會ノ裁決アル以上ハ之ニ基キ以テ投票再調當選人再定ノ事ヲ爲シ得ヘシトスルモ此等ノ手續ハ府縣制第三條ニヨリ渾テ郡會々同郡參事會ノ行フヘキモノニシテ一行政官タル郡長ノ獨斷ニ屬スルモノニアラス然レハ市川謙一郡ヲ當選人ト定ムルモ是亦無効ノ當選ナリト謂フヘシ尙又一步ヲ譲リ假リニ右ノ手續ハ郡長ノ獨斷ニアラス本會ノ舉行セシ所トナスモ尙且違法ノ處置タルヲ免カレト云フヘシ尙又一步ヲ譲リ郡會々同郡參事會ヲ再會スヘキ規定ハ府縣制中ニ其條項アルヲ見ス一旦執行シタル選舉以後ノ事ハ縣參事會ノ裁決ヲ以テ結了スヘキモノナリ郡會々同郡參事會カ之ニ關涉スルハ縣參事會ノ職權ヲ蹂躪スルモノナリ依テ秋田縣參事會ノ裁決ヲ變更シ被告カ裁決ニヨリ執行シツアル處分ノ取消ヲ求ムト云フニ在リ

被告答辯ノ要旨ハ原告ハ議事録ニ記載セサル所ノ事柄ハ開會中ノ出來事ト看做スヘカラス故ニ議事録以外ノ證據方法ヲ以テ選舉ノ効力ヲ争フコトヲ得スト云フト雖抑モ府縣制第十一條ニ選舉人選舉ノ効力ニ關シテ訴願セントスルトキハ選舉ノ日ヨリ十四日以内ニ府縣知事ニ申立ルコトヲ得トアリテ凡ソ効力ニ關シテ訴願シ得ヘキ事件ハ必ス開會中發見ノ事件ニ限ルトノ規定ナキ以上ハ該期日內ニ於テ發見シタル事實ニヨリ之カ効力ノ有無ヲ申立ツルハ毫モ妨ガキヨミナラス議事録ハ法律上必シモ作ラサルヘカラサルノ規定モ無ク隨テ之ヲ以テ唯一ノ證據物ト限ルノ理ナシ而シテ開會中蛇足文字ヲ記入セシ投票アルコトヲ閉會即日選舉人ヨリ申立アルニ依リ會長再ヒ之ヲ點檢セシニ確カニ裏面ニ「世ハ漢季トナリニケリ」ノ數字アルヲ認知セシ以上ハ假令議事録ニ記載ナクトモ選舉ノ効力ヲ争フ證據物タルハ論ヲ待タサルナリ況ヤ投票ハ閉會後會長官印ヲ以テ封緘シ堅固ニ郡役所ニ保管シタルモノナレハ投票人ノ外何人モ之ヲ記入スヘキ機會ナシ右ハ秋田縣參事會ニ於テモ訴願人及選舉會長ノ提供セシ書類ニ徵シテ認定セシ事實ナリ原告若シ然ラ

ストセハ其點檢以後ニ記載セリトノ反證ヲ原告ヨリ舉示セサルヘカラス又原告ハ佐良土麻治外二名ノ訴願ハ僅カニ一票ヲ無効トスルモノナレハ選舉ノ効力ニ關セテ府縣制第十一條ニ該當スルモノニアラスト云フト雖該條ノ規定ハ固ヨリ投票ノ多少ヲ論スルモノニアラサレトモ之カ爲メ選舉ノ効力ニ關係ナシトキハ自カラ該條ニ適當スルニアラスヤ又被告カ縣參事會裁決ヲ執行シタル處分ハ違法ナリ越權ナリト云フニ至リテハ其起訴ノ要領ヲ得サルノミナラス原告カ本訴ヲ提起シタル順序ニ於テモ亦疑ナキヲ得ス其故ハ被告カ所爲タル果シテ裁決ノ範圍外ニ出テタル不當越權ノ所爲ナリトセハ原告ハ此點ニ付先以テ上級行政廳ニ對シ其不當ヲ訴願セサルヘカラス然ルニ是ヲ之レ爲サシテ直ニ行政裁判所ニ出訴スルハ行政裁判法第十七條ノ規定ニ背反スルニアラスヤ加之被告カ執行シタル處分ハ訴願法第十六條ニ依ルモノニシテ該條ニハ上級行政廳ノ裁決ハ下級行政廳ヲ羈束ストアルカ故ニ縣參事會ノ裁決ヲ報告シ併セテ其自然ノ結果タル處分ヲ爲シタルモノニシテ一モ裁決ノ範圍外ニ出テタル所ナシト云フニアリ

依テ双方ノ辯論ヲ聽キ證據ヲ檢閱シ理由ヲ說明スル左ノ如シ

本件所争ノ要點ハ三浦盛徳得點中一票ノ裏面ニ記入セル文字ハ選舉會ニ於ケル投票點檢ノ以前ヨリ存在セシモノナルヤ否ヤニ在リトス而シテ被告ハ選舉會閉會ノ後選舉人ノ申立ニ依リ更ニ之ヲ調査セシニ果シテ其記入アルヲ發見シタル以上ハ假令議事録ニ此事ヲ記載セストモ是レ即チ選舉ノ効力ヲ争フヘキ證據物ナリ隨テ秋田縣參事會カ該票ヲ無効ト認定セシハ不當ノ裁決ニアラスト云フト雖元來選舉會場ニ於テ既ニ投票ヲ點檢シ當選人ヲ報道シ議事録ヲ作り閉會ヲ告ケ渾テ式ノ如ク選舉ヲ結了シタルヲ以テ投票ハ總テ廢紙ト見做シ閉會後ニ之ヲ封緘シタルモノナレハ若シ閉會後投票無効ノ原因アリト主張スルモノハ確固タル證據ナカレハカラス即チ三浦盛徳得點中一票裏面ニ記入セル文字ハ其投票ノ當時既ニ記入セルコトヲ證明セサルヘカラス然ルニ秋田縣參事會ノ裁決ニ依ルモ被告ノ陳辯ニ依ルモ當ニ裏面ノ文字今日現在スト云フニ止マリ其投票ノ當時ニ記入セシ證據ナキモノナレハ無効ノ投票ト爲スヲ得サルモノトス其他原被告ノ論辯スル處數點ニ涉ルト雖本案ニ必要ナキヲ以テ一々之ヲ說明セズ

右ノ理由ナルニ依リ判決スル左ノ如シ

明治二十四年十月二十六日秋田縣山本郡會及ヒ郡參事會々同シテ開キタル縣會議員補選選舉會ニ於テ三浦盛徳カ得タル投票申本訴所争ノ一票ハ無効ノモノニアラス 訴訟費用ハ被告ノ負擔トス

六 縣會議員違法選舉取消ニ關スル件

明治二十五年四月九日宣告
明治二十四年第六十九號

原告 福井縣吉田郡中 藤島村郡會議員 黑川彌四右衛門 被告 集會議員選舉會 近藤直一
長同縣吉田郡長

第一類 府縣會議員選舉及府縣會議權

原告請求ノ要旨ハ明治二十四年八月十五日吉田郡ニ於テ開キタル縣會議員選舉會ハ第一郡會議員渡邊環ハ競争ノ爲メ開場ニ於テ自ラ
兎渡ニ進メ打テ或ハ切込メ等ノ指揮ヲ爲シ一時ハ殆ント修羅ノ有様ヲ爲サシメタル等種々奸計且暴行ノ所爲ニ因リ得タル當選ナリ第
二郡制第八條第二項ニ規定セル大地主ニシテ其眞數町村ニ於テ選舉ス可キ議員定數ノ三分ノ一以下ニテ選舉ニ依ラサル郡會議員増田
所之丞山田年介ハ兩人共代人ヲシテ投票ヲ爲サシメタルモノナレハ府縣制第三條中ニ投票ハ選舉人自ラ會長ノ面前ニ於テ之ヲ投票函
ニ投入ストアリテ同制中大地主ノ名稱ニ對シ特權ヲ許シタルヲ觀ス故ニ大地主ト雖モ既ニ郡會議員又ハ郡參事會員ノ資格ヲ有セハ
等シク郡會議員郡參事會員ナルニ因リ大地主ナル資格ニ對シ選舉ヲ命セサルコト知ル可キナリ依テ案スルニ大地主カ代人ヲ以テ選舉
ヲ爲シ得ヘキ特權ハ郡ノ始メニ在テ郡會議員選舉ノ際同法第八條第十二條ノ特權ヲ振ヒ得ルニ止リ縣會議員ノ選舉會ニ之ヲ有スルモ
ノニアラス然レハ則本會ノ投票ハ違法ニ出テタルモノナレハ渡邊環ノ當選ハ勿論龍田利見ノ當選モ併テ無効ナルヲ以テ然ル可ク裁判
アラントトテ請フト云フニ在リ

被告答辯ノ要旨ハ明治二十四年八月十五日ヲ以テ開キタル縣會議員選舉會ハ其開會前喧嘩アリト雖モ警察官之ヲ鎮靜シ午前九時三十
五分開會シ同時二十分平穩ニ終了シ其選舉ハ正當ナリ若シ會場外ニ於テ議員ノ行爲ヲ妨害セシ事實アリトスルモ會長ナル被告ノ與
リ知ル所ニアラス又大地主タル郡會議員増田所之丞山田卓介カ代人ヲ以テ其權利ヲ行フコトヲ得ルハ郡制第十二條第四項ニ依リテ明
カナリ原告ニ於テ該條ノ規定ハ郡會組織ノ當初ニ於テノミ適用ス可キモノナリト言フト雖モ郡制ニ於テ其明文ナキヲ以テ視レハ解釋
上ノ誤解ナリト確信ス是ニ由テ該選舉ハ正當ニシテ違法ノ廉ナキヲ以テ渡邊環龍田利見ノ當選ハ有効ナリト云フニ在リ
依テ證據ヲ閱シ理由ヲ說明スルコト左ノ如シ

明治二十四年八月二十五日吉田郡ニ開キタル縣會議員選舉會ハ原告ニ於テ第一會場ニ於テ渡邊環ノ當選ハ其奸計暴行ノ所爲ニ由テ得
タル無効ノモノナリト云フト雖モ別ニ奸計暴行ヲ爲シタル舉證ナキ以上ハ其事實アリタルモノナリト認ムチ得ス第二縣會議員選舉會
ニ於テハ大地主ト雖モ代人ヲ以テ投票ヲサシムルコトヲ得ルハ特權ヲ許シタルノ明文ナキニ由リ之ヲ有スルモノニ有ラスト云フ
ト雖モ縣會議員選舉會ハ郡會議員ノ任務ナルコトヲ得ルハ府縣制第三條ニ規定スル所ナリ而シテ大地主ニシテ郡會議員タルモノハ代人ヲ
シテ其權利ヲ行ハシムルコトヲ得ルハ又郡制第十三條ニ規定スル所ナリ既ニ代人ヲシテ郡會議員ノ權利ヲ行ハシムルコトヲ得ルモノ
ナレハ即チ其任務ナル縣會議員選舉會ニ至リテモ代人ヲシテ之ヲ行ハシムルコトヲ得ルハ當然ニシテ郡會ニ於テ他ノ任務ヲ行フ
ト何ゾ擲ハシ故ニ府縣制第三條中投票ハ選舉人自ラ云々ハ郡制第十八條第四項同一ノ意義ニシテ一般投票者ノ行爲ヲ示シタルニ止リ
大地主ニ計與シタル特權ヲ減殺スルモノニアラス依テ本會ノ選舉ハ違法ノ所爲ナキモノトス
右ノ理由ナルヲ似テ判決スルコト左ノ如シ
原告ノ請求相立タス 訴訟費用ハ原告ノ負擔トス

七 縣會議員違法選舉取消ニ關スル件 明治二十五年四月十三日宣告
明治二十四年第七十六號

原告 長野縣北佐久郡 柳澤禎三 被告 同縣小 中島精一
川邊村郡會議員

右原告柳澤禎三代理人武居熊吉外一人ヨリ被告小縣郡長中島精一ニ對スル縣會議員違法選舉取消ノ訴訟審理ヲ遂クル處
原告請求ノ要旨ハ甲第一號證ノ如ク被告ハ明治二十四年七月三日縣知事ノ發シタル本月二十日縣會議員選舉會ヲ開クノ告示ニ基キ甲
第二號證ノ如ク翌四日ヲ以テ會場ハ小縣郡役所樓上開會午前九時閉會午後三時ナルコトヲ告示シ且甲第三號證ノ如ク該會開設ノ
通牒書ヲ發シセヨリ原告ハ七月二十日五里ノ行程暴風雨ノ爲メ瀛車ノ不通ニ遭遇シ甲第四號證ノ如ク午後二時三十分郡役所ニ參
着セシニ豈圖ランヤ縣會議員選舉會ハ午後二時二十分閉鎖シタル由ナレトモ蓋ニ閉會ハ午後三時ナルコトヲ告示ナリ以テ定メタル以上
ハ其時刻ニ到着スルマテハ之ヲ繼續ス可キハ當然ナルヲ被告ハ之ニ背キ自由ニ時限ヲ變更シテ選舉會ヲ結了シ原告ノ有スル投票權ヲ
行フコトヲ制限シタル違法ノ選舉會ナルコトヲ取消シ適當ノ判決アラントテ請フト云フニ在リ

被告代理人答辯ノ要旨ハ縣會議員選舉會閉會告示及其事實ハ原告陳述ノ通りナレトモ當日即チ明治二十四年七月二十日ハ郡會議員ニ
在テ事故ヲ届出關席シタル者一名ト原告ヲ除クノ外ハ參集ス可キ郡會議員郡參事會員悉皆參集セリ依テ午後一時五十分會同シテ選
舉會ヲ爲シ午後二時二十分結了散會セシニ午後二時三十分ニ至リ原告出頭シタルモ既ニ選舉結了散會後ニシテ該選舉ニ參與スルヲ得
サリシナリ然ルチ原告ハ既定ノ時刻即チ午後三時前參集ス可キ郡會議員選舉會ヲ終ヘ原告ノ權利ヲ強制シタルハ違法ノモノナリト言フモ該選舉會ハ
府縣制ナル法律ニ遵由シ所定ノ時限内ニ適法ノ選舉ヲ終了シタルヲ認メ之カ閉會ヲ爲シタルモノナレハ毫モ違法ニアラス其閉會時
限ハ即チ選舉會所定ノ時間ニ限度ヲ示シタルモノナレハ各員カ投票ノ權利ニ消長ヲ及ボス可キモノニアラス獨リ遲參ノ爲メ郡會ニ入
ルノ機ヲ失シ從テ投票スルコト能ハサルノ結果ニ遭遇シタルノミナレハ此事實ヲ以テ法律上權利ノ強制ヲ受ケタリト云フ可カラズ依
テ本訴ノ請求ハ不當ナルニ付之ヲ排斥シ併セテ訴訟入費ハ原告負擔ノ裁判アラントテ請フト云フニ在リ

依テ双方ノ辯論ヲ聽キ證據ヲ閱シ理由ヲ說明スルコト左ノ如シ
原告ハ已定ノ閉會時刻午後三時ヲ自由ニ變更シテ午後二時二十分ニ選舉會ヲ結了シタルハ具有スル投票權ヲ行フコトヲ制限シタ
ル適法ノ選舉會ナリト云フト雖モ甲第二號證ノ縣會議員選舉會ノ開閉時刻ヲ示シタルハ開會中ノ時間ヲ豫告スルモノナルコトハ甲第
三號證ニ於テ參集時限午前九時ト明記シタルニ依リテモ知ル可クシテ閉會ノ時刻午後三時マテヲ以テ投票ノ時刻ト爲シタルモノ
ニアラサルコト明カナリ且該選舉ハ郡會郡參事會々同シテ有効ニ終了シタルモノナレハ原告自ラ遲參ノ爲メ投票權ヲ行フコトヲ得サ
リシチ以テ違法ノ選舉會ナリト云フヲ得ス依テ明治二十四年七月二十日小縣郡役所ニ於テ執行シタル縣會議員選舉會ハ取消スヘキ理
由ナキモノトス

第一類 府縣會議員選舉及府縣會議權

右ノ理由ナルヲ以テ判決スルコト左ノ如シ
原告ノ請求相立タス 訴訟費用ハ原告ノ負擔トス

八 縣會議員當選取消ニ關スル件 明治二十五年四月二十一日宣告
明治二十四年第七十九號

原告 山形縣飽海郡 小野寺順太 被告 同郡長郡參事會々長 北野直壯外一
南平田村

右原告小野寺順太ヨリ被告北野直壯林信義ニ對スル縣會議員當選取消ノ訴審理ヲ遂ケル處

原告訴訟代理人陳述ノ要旨ハ明治二十四年八月一日山形縣知事ノ告示第五十五號ニ依リ同月十五日飽海郡會及郡參事會々同シテ縣會議員ノ選舉會ヲ開キタル節原告ノ得票中小野順太ナル寺ノ一字ヲ脱シタルモノノ小野寺順太ノ一字ヲ脱シタルモノノ及小野寺順太ノ太ノ一字吉ニ類シタルモノノ三票アリシニ之ヲ無効ト決シ被告林信義ヲ以テ第三當選者ト爲シ原告ヲ第四當選者トナシタルハ不當ナルヲ以テ原告ハ佐藤傳吉ト共ニ訴訟ニ及ヒタル處原告ノ申立ハ全ク相立タサルモノト爲シ佐藤傳吉ノ申立ノミ採用アリ之カ爲メ原告ヲ落選者ト決セラル、ニ至リタリ然レトモ小野順太ト云ヒ小野寺順若クハ小野寺順吉ト云フカ如キ投票ハ假令ヒ一字ノ脱字又ハ一字ニ不明ノトコロアリトスルモ此ノ如キハ忽卒投票ヲ爲スノ際ニ於テハ往々免カレハカラサルコトニシテ投票其物ヲ無効トナス能ハサルハ固ヨリ言チ疎タス而シテ此ノ各投票カ小野寺順太ノ上ニ爲セシモノナルコトハ萬目共ニ認メ得ヘキ事實ニシテ之ヲ以テ府縣制第三條ニ規定シタル無効投票ト爲スチ得ス府縣制第三條第二ノ二ニ規定シタル被選人ノ何人タルヲ確認シ難キモノトハ同姓名異人ノ者敬人アリテ其投票カ何人ヲ指セシヤ確カナラサル場合ニ限リ適用シ得ヘキモノニテ該投票ノ如キ誤字脱字ノ爲メニ其投票ヲ無効トナシ得ヘカラサルハ固ヨリ明ナリ又飽海郡選舉會長タル被告北野直壯ハ立會人等ノ異議アルニ關ハラズ此等ノ投票ヲ無効ト爲シタルハ原告ノ願ル不服ニ堪ヘサルトコロナリ依テ山形縣參事會々裁決ハ不當ノ裁決ナルヲ以テ之ヲ取消シ原告ヲ當選者トセラレンコトヲ請求スト云フニ在リ

被告林信義訴訟代理人答辯ノ要旨ハ本件投票中小野順太小野寺順又ハ小野寺順吉トアルハ即チ小野順太小野寺順又ハ小野寺順吉ナル人ヲ指示シタルモノナリ然リ而シテ縣會議員タルヲ得ヘキ者ハ縣内ヲ通シ數萬人ニ下ラス故ニ縣内數萬人中ニハ小野順太若クハ小野寺順若クハ小野寺順吉ト稱呼スルモノ必ス之レナシト言フ可カラズ然ルニ原告カ之ヲ以テ我ヲ稱呼シタリト主張スルハ甚タ不當ナリト云フヘシ且夫投票ヲ爲ス者ハ故サラニ縣内ニ在ラサル人若クハ世界ニ存在セサル人ヲ指示シ以テ投票ヲ無効ト歸セシメント欲シタルヤモ知ルヘカラス又原告ハ郡會議員ニシテ投票者タル郡會議員トハ朝夕相見ルモノナレハ其投票者ニ於テ原告ヲ以テ小野順太小野寺順又ハ小野寺順吉ナリト誤記スヘキ事實アルヘキ筈ナシ故ニ原告ヲ指示シタルニアラサルヲ論ナシ又數歩ヲ退キ假ニ小野寺順太

以下ノ稱呼ヲ用ヒタルハ投票ヲ無効ト歸セシメント欲スル意志ニ出サルモノト看做スモ小野順太以下ノ稱呼ハ果シテ原告ナリト確認スヘキ條理ナシ抑原告ニ於テ該稱呼ハ原告ヲ指示シタルコト萬目共ニ認メ得ヘキ事實ナリト云フモ既ニ直接ニ關係シタル議員選舉會スラ之ヲ認メサルニアラスヤ突ソノ萬目共ニ認メ得ヘキ事實ナリト云フチ得ンヤ又原告ハ府縣制第三條ハ同姓名同ノ被選人二名以上アリタルカ如キ場合ニ適用スヘキモノナリト論スレトモ同條ノ規定ハ獨リ斯ル場合ニ限リタルモノニアラス即チ其明文ノ如ク尙クモ被選人ノ何人タルヲ確認シ難キニ於テハ其如何ナル場合ニ對シテモ適用スヘキナリ故ニ原告ノ申立ハ不當ナリ又被告北野直壯答辯ノ要旨ハ原告代理人ハ小野順太小野寺順小野寺順吉トアル三票ヲ以テ小野寺順太ノ上ニ爲セシモノナリト云フト雖モ右ノ原告代理人ノ想像ニ過キサルナリ縣會議員被選人ハ一縣内ヲ通スルモノニシテ投票ニハ住所モ記載ナキモノナレハ人名ノ似寄タルヲ以テ之ヲ小野寺順太ト得票ナリト決シテ確認スルチ得ス且法律ハ想像ヲ許サスニテ確認シ難キモノハ無効ト命令シタルニ於テオヤ又原告代理人ハ小野寺順吉トアル字ハ鉛筆ニテ投票ヲ記シタル爲メ太ノ一字吉ニ類シタルモノナリト云フト雖モ是等ハ投票實物ニ就キ審查セハ直ニ明瞭スヘキナリ又原告代理人ハ選舉會長ハ立會人等ノ中異議アルニモ拘ハラズ此等ノ投票ヲ無効トナシ云々ト云フト雖立會人中ニハ其場ニテ異議ヲ唱ヘタルモノナシ又立會人タル者ハ法律ノ規定ニ依リタルモノニアラス選舉會長ノ公平ヲ示スガ爲メ選舉人ノ希望ヲ採用シ當座ノ便宜ニ依リ設ケタルモノニ付何等ノ權限ナキモノナリ故ニ原告ノ請求ニ應ジ難シト云フニ在リ

依テ證據ヲ閱シ理由ヲ說明スル左ノ如シ
被告ハ本件縣會議員選舉ニ於ケル投票中小野順太小野寺順及小野寺順吉ト記載シアル三票ハ各其人ヲ指示シタルモノナリト云ヒ又此三票ハ何人カ何人ヲ選舉シタルモノナルヤ判然セサルヲ以テ府縣制第三條第二ノ二ニ依リ無効ト決シタリト云フト雖モ此三票ニシテ果シテ各其人ヲ指示シタルモノナリトセハ之ヲ以テ府縣制第三條第二ノ二ニ該當スルモノトナシ無効トスルチ得サルモノナリ然ルニ既ニ之ヲ無効トナシタル以上ハ被告ハ是等ノ投票ニ適合スル被選人ノ無キコトヲ認メタルモノト言ハサルチ得ス抑法律ニ所謂被選人ノ何人タルヲ確認シ難キモノト爲シ投票ヲ無効トスル場合ニ方リテハ現投票ニ付之レカ査定ニ注意シ被選人中投票ニ記載セル氏名ノ者ナク而シテ却テ之レニ最モ能ク類似スル氏名ノ者アルカ如キ場合ニハ其投票記載ノ氏名ハ被選人中其最モ能ク類似スル氏名ノモノヲ指示シタルモノナリト認定スルチ至當ト爲ス即チ本件投票ノ如キハ被選人中投票ニ記載セル氏名ノ者ナキナ知ル以上ハ被選人中其最モ能ク類似スル小野寺順太ノ氏名ヲ記載セントシテ其氏名中一字ヲ脱落シ或ハ字畫ヲ誤リタルモノト認定スルニ足ルヘキチ以テ府縣制第三條第二ノ二ニ該當スルモノトナスチ得ス
右ノ理由ナルニ依リ判決スル左ノ如シ
本訴山形縣會議員選舉投票中小野順太小野寺順及小野寺順吉ト記載シアル三票ハ原告小野寺順太ノ得票トス 訴訟費用ハ被告ノ負擔トス

第一類 府縣會議員選舉及府縣會議權

九 縣會議員資格ニ關スル妨訴抗辯

明治二十五年七月七日宣告
明治二十五年第七號

原告 石川縣珠洲郡直 橋本 昂 被告 同縣知事 鈴木大亮

右原告橋本昂ヨリ石川縣知事鈴木大亮ニ係ル石川縣參事會訴願却下及縣知事指令尙告示取消ノ訴ニ對シ被告代理人戶田恒太郎ハ妨訴ノ抗辯ヲ爲セリ依テ之ヲ審理スルニ
被告抗辯ノ要旨ハ第一原告ハ本訴提起前同一事件ニ付内務大臣ニ訴願シ其訴願未決中尙又本訴ヲ提起シタルモノニシテ行政裁判法第十七條ニ依ルモ行政訴訟ヲ提起スルヲ得サルモノナリ第二原告ハ石川縣參事會カ原告ノ訴願却下シタルハ不當ノ處置ナリトシ石川縣知事ニ對シテ訴願ヲ提起スル本件ハ石川縣參事會ニ於テ却下シタルモノニシテ被告ニ於テハ本訴ニ對シテ答辯スルノ義務ナリトシ石川縣又原告ハ府縣制第十四條ニ依リ縣參事會ハ原告ノ訴願ヲ裁決スヘキモノナリト云フト雖同條ハ府縣會議員被選舉ノ有無及選舉ノ効力ニ付テ參事會カ之ヲ裁決スルノ謂ニシテ本訴縣知事ノ指令及告示取消ノ請求ノ如キ毫モ被選舉ノ有無及選舉ノ効力ニ關セザル論ハ同條ニ依リ出訴シ得ヘキモノニアラサルヲ以テ縣參事會カ訴願法第九條ニ依リ之ヲ却下シタルハ當然ノ處置ナリ又假ニ府縣制第十四條ニ依リ參事會ノ裁決ヲ受クヘキモノト爲スモ尙且訴願却下ニ對シテハ行政訴訟ヲ提起スルヲ得サルモノトス何トナレハ訴願法第九條第十四條第十五條ノ規定ニ依リハ訴願セラレタル行政廳ニ於ケル訴訟處分法ニ付テハ之ヲ受理シテ裁決スルト又之ヲ却下スルトノ二途アリテ裁決却下ト自ラ相異ナルコト明白ナリ而シテ本訴ニ付テハ眞ニ縣參事會ハ原告ノ訴願書ヲ却下セシモノニシテ之ヲ裁決セシモノニアラサルヲ以テ府縣制第十四條第二項ニ所謂裁決ニ該當セザレハナリ第三被告カ原告ノ何ニ對シ指令セシハ被告カ法律上ノ解釋ヲ指示セシニ外ナラス故ニ被告カ右指令ヲ取消スモ直接ニ原告ノ資格ニ關係アルコトナシ要スルニ縣知事カ一個人ニ對シ其請求ニ應ジ指示セシ法律ノ解釋ニ不服アル者ノ爲メニ法律勅令中行政訴訟ヲ提起シテ裁決セラレタル規定ナキ以上ハ被告カ答辯ノ義務ナキモノトス又原告ハ明治二十四年十二月石川縣告示第二百二十號中原告ニ關スル處分取消ヲ要求スル雖原告ハ法律規定ノ結果ニ據リ議員ノ職務ヲ失ヒタル者ニシテ被告ノ處分ニ由リ之ヲ失ヒタル者ニアラス故ニ之ヲ取消スヘキノ理由ナキモノナラス右告示ニ對シモ本訴ハ府縣制第八十二條第二項ノ出訴期限ヲ經過セシモノナリ何トナレハ假ニ法律ノ結果ヲ公告セシ被告ノ告示ヲ以テ一ノ處分トナシ之カ爲メ原告職務ヲ失ヒ之ニ對シ行政訴訟ヲ提起スルヲ得ルモノトス其出訴期限ハ府縣制第八十二條第二項ニ依リ右告示後二十一日以內ナラサルヘカラス然ルニ右告示ノ發布ハ明治二十四年十二月二十二日ニシテ原告ノ本訴ヲ提起セシハ明治二十五年一月十四日ナリ其間三十四日トス則出訴期限ヲ越セルコト十四日間ナリ故ニ被告ハ答辯ノ義務ナシト云フニ在リ
原告答辯ノ要旨ハ第一被告ハ原告ヨリ本訴提起前同一事件ニ付内務大臣ニ訴願シタルモノナレハ行政裁判法第十七條ニ依リ行政訴訟ヲ提起スルヲ得スト云フト雖本訴ト内務大臣ニ提出ノ訴願トハ其趣大ニ異ナリ本訴ハ府縣制第十四條ニ依リ提起シタルモノニシテ内務大臣ハ訴願ハ同制第八十一條ニ依リ地方行政監督官タル内務大臣ニ事情ヲ訴ヘタルニ過キス而シテ同制第八十二條第二項ニ從ヘ行政裁判所ニ出訴スルヲ得ヘキ場合ニ於テハ内務大臣ニ訴願スルコトナリ然ラハ内務大臣ハ提出ノ訴願ヨリ無効ニシテ本訴ハ有効ナレ何爲ノ共ニ無効トナルヘキ理由アラナキ況ンヤ既ニ内務大臣ハ本件ハ行政裁判所ニ出訴スヘキモノニシテ本大臣ニ願スヘキモノニアラストノ附屬ヲ以テ却下セラレタル以上ハ該訴願ハ始メヨリ提出セザルト結果同フスルニ於テヤ然ルニ被告ハ之ヲ口實トシ本訴ニ對シ答辯ノ義務ナシト云フハ甚タ不當ノ辯論ナリ第二被告ハ石川縣參事會ノ裁決ニ對シ答辯ノ義務ナシト云フト雖本訴ノ對手人ハ被告即チ縣知事ニシテ縣參事會ヲ對手トスルノ理ナシ何トナレハ本訴ハ縣知事ノ處分取消ヲ要求シタルモノニシテ縣參事會ノ裁決ノ取消ヲ要求シタルモノニアラサルハナリ又被告ハ縣參事會ハ府縣會議員被選舉ノ有無及選舉ノ効力ニ關シ裁決スル權利アルモ縣知事ノ指令及告示取消ノ訴願ヲ受クヘキモノニアラスト云フト雖原告カ縣參事會ハ訴願シタル要旨ハ縣知事ノ處分即チ原告ノ縣會議員資格ヲ失シタルモノト爲シタルヲ不當トシ其處分ノ取消ヲ求メタルモノニシテ縣參事會ハ當然府縣制第十四條第二項ニ依リ之ニ裁決ヲ與フヘキモノナリ又被告ハ訴願法ニ依リ裁決却下ト相異ナリ却下ニ對シテハ被告ハ本訴ノ對手人トナルヘキ義務ナシト云フト雖法律上訴願訴訟ヲ許サレタル場合ハ縣參事會カ如何ナル裁決ヲ下スモ之ニ不服ナレハ出訴スルコトヲ得ルノ義ニシテ假令其裁決書ニ却下トアルモノ之レカ爲メ出訴ノ權利ヲ失フノ理ナカルヘシ第三被告ハ原告ノ何ニ對スル指令ハ一個人ニ對スル法律ノ解釋ヲ指示スルモノナレハ之ニ付行政訴訟ヲ提起スルヲ得スト云フト雖被告ハ縣會議員ノ資格ヲ證明スル當該官ナリ其指示ハ直接ニ原告ノ資格ニ關スルモノトセハ之ニ對シ訴訟ヲ提起スルヲ得ヘキハ當然ナリ又石川縣告示第二百二十號中原告ノ資格ニ係ル分ハ法律ノ結果ニシテ被告ノ處分ニアラスト云フト雖府縣制ニ於テ公民權停止ト共ニ縣會議員ノ資格ヲ失フト云フノ明文アルコトナシ然ルニ唯被告ノ法律解釋ニ由リテ原告ノ資格ヲ失シタルト定メ其代員選舉ヲ爲シタルハ決シテ法律ノ結果ト云フヲ得ス則チ被告ノ處分ト云ハスシテ何ソヤ第四被告ハ原告ノ訴願ハ府縣制第八十二條第二項ノ出訴期限ヲ經過シタルモノニアラス依テ原告ノ抗辯ハ排斥アラント云フト云フニ在リ
依テ被告ノ辯論ヲ聽キ原告ノ辯駁書ヲ閱シ理由ヲ說明スル左ノ如シ
被告ニ於テ第一原告ハ本訴提起前同一事件ニ付内務大臣ニ訴願シタルモノナレハ行政裁判法第十七條ニ依リ更ニ行政訴訟ヲ提起スルヲ得スト云フト雖抑モ行政裁判法第十七條第三項ニ各省又ハ内閣ニ訴願ヲ爲シタルトキハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得ストアルハ法律勅令ノ規定ニ依リ同一事件ニ付訴願ト出訴ト二途ヲ開キアル場合ニ當リ其既ニ訴願シタル者ハ出訴ヲ許サストノ謂ナリ然ルニ本件原告カ明治二十四年十二月三十一日付キヲ以テ内務大臣ニ提出シタル訴願ハ府縣制第八十一條ニ據リ地方行政ノ監督官タル内務大臣ニ提出シタルト云フモノニシテ然カモ同制第八十二條末項ニ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得ヘキ場合ニ於テハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得ストアルニ依レハ是レ始ヨリ無効ノ訴願ナリ然ラハ今其無効ノ訴願ヲ爲シタルヲ以テ更ニ行政訴訟ヲ提起スルヲ得スト云フナ

第一類 府縣會議員選舉及府縣會議權

得ス第二本件ハ石川縣參事會カ却下シタルモノナリ石川縣參事會ノ裁決ニ對シ縣知事カ答辯スルノ義務ナシト云フト雖本訴ハ縣知事ノ處分取消ヲ要求スルモノナレハ其處分者ヲ對手人トシテ出訴スルハ對手人ヲ誤リタルモノト云フヲ得ス又被告ハ縣知事ノ指令告示ヲ府縣制第十四條ニ所謂被選舉權ノ有無ニ關スルモノニアラスト云フト雖本訴ハ縣知事ノ處分ニ對シ原告ノ資格ヲ失ハシムルコトアルカ爲メ之レカ取消ヲ要求スルニ於テハ是レ則被選舉權ノ有無ニ關スル事件ニシテ縣參事會ハ之レニ對シ裁決ヲ與ヘサルヲ得ス又被告ハ訴願法第十四條第十五條ヲ考フルニ裁決ト却下トニ區別アリ府縣制第十四條ニハ裁決ニ對シテハ出訴ヲ許ストアレトモ却下ニ對シテハ出訴ヲ許スコトナシト云フト雖本訴ハ對シ受理スヘキト否トヲ裁決シ之カ理由ヲ付シ却下スルモノナレハ訴願法第十五條中訴願ノ裁決書ニ異ナルモノナルモ等シク裁決ヲ爲シタルモノト謂ハサルヲ得ス第三被告ハ其指令ハ一個人ノ爲メニ與ヘタル法律ノ解釋ナレハ之ニ對シ行政訴訟ヲ提起スルヲ得ス又石川縣告示第二百二十號中原告ノ資格ニ關スル部分ハ法律ノ結果ニシテ被告ノ處分ニアラスト雖其指令ハ被告カ解釋ヲ示シタルマテニ在リトスルモ原告ニ於テ被告ノ告示ハ原告ノ資格ヲ失ハシメタル處分ナリト云フニ在レハ被告ニ於テハ答辯ノ義務ナシト云フヲ得ス第四被告ハ縣知事ノ處分即チ明治二十四年十二月十二日告示ヨリ出訴期限ヲ起算スヘク左スレハ本訴提起ノ日マテニ期限ヲ超ユルコト十四日ナリト云フト雖本訴ハ縣參事會ノ裁決ニ不服ナリトテ行政裁判所ニ出訴スルモノナレハ縣參事會裁決ノ日ヨリ起算スルヲ以テ當然ナリトス

右ノ理由ニ依リ判決スル左ノ如シ

被告ノ妨訴抗辯ハ相立タス 此裁判ニ關スル訴訟費用ハ被告ノ負擔トス

十 縣會議員當選變更ニ關スル件 明治二十五年十月五日裁決
明治二十五年第九十二號

原告 茨城縣豐田郡 瀧川政平外一
水海道町商業名

右原告瀧川政平外一名ヨリ被告茨城縣知事石井省一耶ニ對スル不當判定取消ノ件訴狀ニ就テ審査スルニ本訴ノ要旨ハ本年二月二十八日茨城縣豐田郡ニ於テ府縣會議員ノ選舉ヲ執行シタル際秋場府六百二票内田林八百九十六票ヲ得タルヲ以テ縣廳ハ秋場府ヲ當選者ト告示セリ次點者内田林八百九十六票ヲ得タル中入票ハ無効投票ナルコトヲ發見シ査定ノ更正ヲ申立タリ査定ノ結果其中立採用セラル内田林八百九十六票者トナリ縣廳ハ本年六月二十五日告示第百二十號ヲ以テ秋場府ノ當選ヲ取消シ更ニ内田林八百九十六票者ト告示セリ然レニ原告等ハ内田林八百九十六票者トナリ縣廳ハ本年六月二十五日告示第百二十號ヲ以テ秋場府ノ當選ヲ取消シ更ニ内田林八百九十六票者ト告示セリ然レニ原告等ハ本年六月二十八日ヲ以テ其更正ヲ申立タリ然レトモ縣廳ハ本年八月二十九日付ヲ以テ此申立ヲ受理セストノ判定ヲ下シタルヲ以テ原告等ハ此判定ニ不服セズ茲ニ本訴ヲ提起シタルト云フト雖府縣制施行セサル地方ニ於テハ明治二十二年二月法律第六號府縣會議員選舉規則第五十六條ニ從ヒ控訴院ニ出訴スルノ規定ナレハ當裁判所ニ於テ受理スヘキモノニアラサルヲ以テ行政裁判法第二十七條ニ依リ之ヲ却下ス

(參照)府縣會議員選舉規則第五十六條 當選ノ査定ニ不服アル關係者ハ當選者ノ氏名告示ヨリ十日以内ニ府縣知事ニ其更正又ハ選舉取消ノ申立ヲ爲ナスコトヲ得府縣知事ノ判定ニ服セサル者ハ二十日以内ニ控訴院ニ出訴スルコトヲ得但其判決ハ終審トス

十一 縣會議員解職處分取消ニ關スル件 明治二十五年十一月九日宣告
明治二十五年第七號

原告 石川縣珠洲郡 橋本 勳
直村平民農

被告 同縣知事 鈴木太亮

右原告橋本勳ヨリ被告石川縣知事鈴木太亮ニ係ル指令并告示取消ノ訴文書ニ就キ審理ヲ遂ケル處原告請求ノ要旨ハ被告石川縣知事ハ縣會議員タル原告カ官吏侮辱議員侮辱ノ被告事件ニ付議員ノ職務ヲ解ク旨ノ指令ヲ與ヘ明治二十四年十二月十二日ヲ以テ其補缺選舉ヲ管内ニ告示シタルハ蓋シ町村制第九條第二項ニ裁判所ノ訊問中其公民權ヲ停止ス云々及其末項ニ町村ノ公民タル者ニ限リテ任ス可キ職務ニ在ル者ハ云々其職務ヲ解ク可キモノトストアルニ該當スルモノト認メ而シテ府縣制第十條ニ依リ當選後資格ノ要件ヲ失フタルモノト爲シタルニ職由スルナラシ然レトモ町村制第九條ノ規定ハ專ラ町村制ニ限ラレタル職務ノ上ニ止マリ府縣制ニ關係ナク又町村制第七條ニ規定セル公民權ノ要件ヲ失ハサル限リ假令原告カ公民權ノ停止ニ遭フモ停止ハ唯停止ノミニシテ消滅ニアラス即チ公民權仍ホ存スルモノナレハ被告カ町村制第九條第四項及府縣制第十二條ノ末項ニ依リ原告ヲシテ縣會議員タルノ職務ヲ解カシメタルハ違法ノ處置ナルヲ以テ原告ニ與ヘタル指令并補缺選舉ノ告示中原告ニ關スル分ノ取消ヲ請フト云フニ在リ

被告答辯ノ要旨ハ原告ハ石川縣珠洲郡選出ノ縣會議員ナリシカ明治二十四年十二月官吏侮辱議員侮辱ノ被告トシテ金澤地方裁判所ニ於テ公判ノ訊問ヲ受ケタルニ依リ町村制第九條第二項ニ從ヒ其公民タルノ權ヲ停止シ及第四項ニ從ヒ縣會議員ノ職務ヲ解クヘキモノトナリ原告ハ町村制第九條ノ規定ハ府縣制ニ關係セスト主張スルモ町村制ハ公民ノ要件ヲ規定セル原則ニシテ郡制府縣制ニ相ヒ通用スヘキモノタルハ論ヲ駁タス且府縣會議員ナル者ハ町村ノ公民タル者ニ限リテ任ス可キ職務ニシテ町村會議員ノ任務ヨリ重キモノナレハ町村會議員カ解職セラレヘキ場合ニ於テ府縣會議員獨リ其職ヲ解クヲ要セスト云フカ如キ法理ノアルヘキ筈ナシ又被告カ原告ニ對シ與ヘタル指令ハ第一號及第二號ノ如ク原告カ何書ニ對シ與ヘタルモノニシテ原告ハ當時既ニ其職務ノ解否ヲ自ラ決スヘキ事件アルニ依リ其何書ヲ提出セリ決シテ被告カ該指令ヲ爲シタルカ爲メ職務ヲ失ハシメタルモノニアラス其告示モ亦原告カ法律ニ基キ失職シタル結果ヲ公告シタルニ過キサルナリ其實ハ第一二號書類ヲ以テ之ヲ證明スト云フニ在リ

第一類 府縣會議員選舉及府縣會議權

依テ證據ヲ審閱シ理由ヲ説明スル左ノ如シ
 原告ハ被告石川縣知事カ縣會議員タル原告ノ官吏侮辱議員侮辱ノ被告事件ニ付町村制第九條第二項ノ公民權ノ停止第四項ノ在職者解職ノ規定ヲ適用シ原告ヲ以テ府縣制第十二條ノ失職者ナリト認メ指令及告示ヲ爲シタルハ違法ナリト云フト雖縣會議員ハ市町村ノ公民タル者ニ限リテ任ス可キ職務ナルコトハ府縣制第四條ニ於テ市町村ノ公民中云々トアルニ依リ明白ニシテ本訴原告ハ右第四條ニ基キ村ノ公民ナルヲ以テ選出セラレタル議員ナレハ現ニ刑事ノ被告トナリ裁判所ノ訊問ヲ受クルニ當リ被告カ町村制第九條ノ第二項第四項ノ規定ニ從ヒ議員ノ職務ヲ失ハタルモノト認メタルハ當然タリ依テ被告カ原告ノ何ニ對シ指令ヲ與ヘ尋テ補缺選舉ヲ告示シタルハ毫モ違法ノ際ナキヲ以テ之ヲ取消スヘキモノニ非ス
 右ノ理由ニ依リ判決スル左ノ如シ
 原告ノ請求相立タス 訴訟費用ハ原告ノ負擔トス

十二 知事解任ノ建議取消ニ關スル件 明治二十六年三月二十二日宣告
 明治二十六年第一號

原告 石川縣 南谷與三郎 被告 同縣知事 鈴木大亮

右原告石川縣會議長南谷與三郎ヨリ被告石川縣知事鈴木大亮ニ對スル不當命令取消ノ訴審理ヲ遂クル處
 原告訴求ノ要旨ハ明治二十五年七月二十二日能美郡山口村人民不穩ノ際警官人民ヲ殺傷シ次テ同年四月五月ノ交吏黨同志會組織ノ爲メ官吏眞民ヲ警察ニ引致シ威嚇ヲ恣ニシタルモ知事之ヲ制止セヌ又同年二月衆議院議員總選舉ノ際官吏職權ヲ濫用シ人民ヲ強迫シタルハ被告赴任前ニアリト雖石川縣會ハ此等非行ノ官吏罷免ノ處分ヲ求メタルニ被告ハ恬シテ願ヒス又同年二月十九日日本縣下珠洲郡選舉會ハ府縣制第三條ニ背反スルモ知事之ヲ取消シ命セヌ要スルニ知事力不親切自ラ縣下ノ信任ヲ失フヘキ非行失政アルニ依リ石川縣會ハ同年十二月十六日ヲ以テ府縣制第十七條ニ依リ知事解任ノ建議ヲ爲スコトヲ議決セリ而シテ其未タ建議案ヲ議決セサル前ニ被告ハ議第二十九號ヲ以テ建議取消ノ達ヲ發シタルハ原告ノ服セサル所ナリ抑モ府縣制第十七條ニ於テ府縣會ニ建議ノ權ヲ許シタルハ其事件ノ何タルヲ問ハス苟クモ府縣會ノ全部又ハ一部ノ公益ニ關スル事件ハ總テ其意見ヲ建議シ得ルコト政ヲ喋々ヲ要セス而シテ知事ノ施政如何ハ縣下ノ公益ニ關スルコト勿論ナルカ故ニ我石川縣會ニ於テ被告ノ解任ヲ內務大臣ニ建議スルノ議決ヲ爲シタルハ正當ニ其權利ヲ使用セントシタルモノニシテ決シテ權限ヲ超ヘタルモノニアラス然ルニ被告ハ府縣制第八十四條第二項ニ依リ其建議ヲ取消シタルハ果シテ何ノ心ヲ府縣制第八十四條第二項ハ府縣會ノ議決ニ對シ其處分法ヲ規定シタルモノニシテ同制第十五條等ノ執行スヘキ職務アル事柄ニ適用シ得ヘキモ建議ニ向テハ本條ヲ適用スルヲ得サルナリ何トナレハ建議ナルモノハ請願的ノモノニシテ其採否ハ受建議者ノ意志ニ依テ決スルモノナレハ受建議者以外ノ者ハ何物ト雖之ヲ左右シ得ヘキモノニ非サレハナリ要スルニ石川縣會カ知事解任ノ建議ヲ爲サント議決シタルハ最モ至當ノ事ニシテ知事力之ヲ取消シタルハ不法失當ヲ免カレヌ況ンヤ其未タ建議案ヲ議決セサル前ニ建議ヲ取消シタルニ於テ依テ明治二十五年十二月十六日付議第二十九號取消ノ裁判アラシコトヲ請フト云フニ在リ
 被告答辯ノ要旨ハ明治二十五年十二月十六日石川縣會ハ縣下壯年者ノ申出ニ因ミ縣會ヨリ縣知事解任ノ議ヲ內務大臣ニ建議セントノ議決ヲ爲セシヨリ知事ハ即日議第二十九號ヲ以テ其議決取消ヲ達セシニ縣會ハ其翌十七日右達ハ不當ナリトシ本訴ヲ提起スルニ決シ續テ知事解任ノ建議案ヲ議決シタルモ被告ハ既ニ其根本タル建議セントスルノ議決ヲ取消シタルヲ以テ其枝葉タル建議案ハ之ヲ取消スノ要ヲ認メサリシモノナリ抑モ被告カ石川縣會ノ議決ヲ取消シタルハ右議決ハ縣會ノ權限ヲ超ユル者ト認メタルニ由ルナリ府縣會ノ議決スヘキ事件ハ府縣制第十五條ニ列記セラル、事件ニ限ラレルハ勿論ニシテ其他同制第十七條ニ據リ府縣會ノ全部又ハ一部ノ公益ニ關スル事件ニ付キ府縣知事若クハ內務大臣ニ建議スルヲ得ルモ右府縣會ノ全部又ハ一部ノ公益ニ關スル事件トス直接又ハ間接ニ府縣制第十五條ニ列記セラル、事項ニ關聯セル其府縣會ニ施設セラルヘキ諸種ノ事業ヲ云フモノニシテ本件ノ如キ他ノ法律勅令ニ從ヒ任免セラルヘキ縣知事ノ進退ヲ包含スルモノニアラス故ニ石川縣會カ縣知事解任ノ事件ヲ議決セシニ由リ知事カ府縣制第八十四條第二項ニ依リ之ヲ取消シタルハ毫モ違法ノ處置ニアラサルモノトス又府縣制第八十四條第二項ハ府縣會ノ議決其權限ヲ超ヘ若クハ法律命令ニ反スル場合ノ處分法ナルヲ以テ府縣會ノ議決ナル以上ハ其事件カ建議ナルト何ナルトヲ問フヘキ理由ナキモノトス依テ原告ノ請求相立タストノ裁判ヲ請フト云フニ在リ

依テ原告ノ辯論ヲ聽キ被告ノ答書ヲ閱シ理由ヲ説明スル左ノ如シ
 原告ハ府縣制第十七條ニ於テ府縣會ニ建議ノ權ヲ許シタルハ其事件ノ何タルヲ問ハス苟クモ府縣會ノ全部又ハ一部ノ公益ニ關スル事件ハ總テ其意見ヲ建議シ得ルノ規定ニシテ知事ノ施政如何ハ縣下ノ公益ニ關スルカ故ニ石川縣會ニ於テ被告ノ解任ヲ內務大臣ニ建議スルノ議決ヲ爲シタルハ其權限ヲ超ヘタルモノニアラスト云フト雖府縣制第十七條第二項ハ府縣會ノ全部又ハ一部ノ公益ニ關スル事件ニ付キ府縣知事若クハ內務大臣ニ建議スルヲ得ルモノニシテ本件ノ如キ縣知事其人ノ適否ヲ論シ其任命ニ付キ建議スルヲ包含スルニアラス又原告ハ府縣制第八十四條第二項ハ府縣會ノ議決ニ對シ其處分法ヲ規定シタルモノニシテ同制第十五條ノ執行スヘキ義務アル事柄ニ適用シ得ヘキモ同制第十七條ニ所謂建議ニ向テハ之ヲ適用スヘカラスト云フト雖府縣制第八十四條第二項ノ規定ハ同制第十五條ニ列記ノ場合ト同制第十七條建議ノ場合トヲ問ハス苟クモ府縣會ノ議決其權限ヲ超ヘ又ハ法律命令ニ背クニ於テハ同シク之ヲ適用スヘク隨テ知事カ縣會ノ議決ヲ取消シタルハ不當ノ處分ナリト云フヲ得ス其他雙方ノ論スル所アルモ本裁判ニ必要ナラサルヲ以テ之ヲ説明セス
 右ノ理由ナルヲ以テ判決スル左ノ如シ

第一類 府縣會議員選舉及府縣會議權

十三 縣會議員違法選舉取消ニ關スル件 明治二十六年四月六日宣告 明治二十五年第四百二十六號

原告 石川縣羽咋郡南 邑知村郡會議員 吉野勘十郎外六 被告 同郡長 同郡縣 安達正輝

右原告吉野勘十郎外六名ヨリ被告石川縣羽咋郡長安達正輝ニ對スル縣會議員選舉取消請求ノ訴文書三就キ審理ヲ送ケル處

原告請求ノ要旨ハ明治二十五年七月二十七日執行シタル縣會議員選舉會ニ郡參事會員ハ郡制第四十六條第二項後段ニヨリ選任セラレタル葛城理吉及ヒ郡會議員ヨリ互選ニ係ル温井重次郎ノ兩名郡會議員ハ雄谷朔平雄谷助次郎村田勇太郎大家七郎左衛門岡島賢雄畑中寛政葛城忠計植村利隆谷内久平森本賢之丞金田平五郎前非彦三郎ノ十二名ニシテ定數二十六名ニ比シ半數ニ滿タサルモノナリ然ルニ選舉會長ハ温井重次郎ハ郡參事會員及ヒ郡會議員ナリトシ郡會議員ノ數ニ加ヘ郡參事會員ノ數ニモ入レテ算入シテ選舉ヲ行ハシメタルハ不當ニ付該選舉ノ取消ヲ石川縣參事會ヘ訴願シタルニ取消スヘキモノニアラスト裁決セリト雖モ其裁決ニハ服従スル能ハス其理由ハ府縣制第三條ニ郡會郡參事會々同トアルハ兩會カ會同シテ府縣會議員ノ選舉ヲ行フノ規定ナレハ郡制第三十三條及ヒ第五十三條ニ準據シテ決議ヲ爲シ得ヘキ定數ノ出席者アルニ非サレハ其會同會ヲ開キ及ヒ其選舉會ヲ執行スルコト能ハサルモノナリ郡會ト云ヒ郡參事會ト云ヒ共ニ其團體上ヨリ指稱シタルモノナレハ各團體トモ定數即チ半數以上ノ出席者アリテ然ル後兩會同トナルモノタルコトハ最モ容易キノ道理ナリ然ラハ郡會議員十二名郡參事會員二名ノ出席ニテ乙ハ定數ニ達シタルモ甲ハ一名ヲ缺クノ場合ニ當リ郡參事會員二名中ノ一名ハ郡會議員ヲ兼テ居ル者ナリトスルモ其一團體ノ出席數ニ屬シタル以上ハ他ノ團體ノ出席數ニ複算スルコト能ハサルナリ若シ郡會議員ニシテ郡參事會員ヲ兼テ居ル者ハ二様ノ資格ヲ要スルモノナルヲ以テ兩會ノ出席數ニ計算スルモ妨ナシトスルトキハ二様ノ資格ニ依リ投票モ各一個即チ郡會二個ナシ得ルニ至ラン世間豈斯カル理アラシヤ依テ本件縣會議員選舉ノ取消ヲ請求スト云フニ在リ

被告答辯ノ要旨ハ羽咋郡郡會議員ノ定數ハ二十六名郡參事會員ノ定數ハ四名ニシテ選舉當日出席セシハ郡會議員十三名内一名ハ郡會ノ互選ヲ以テ郡參事會員タリシ者知事ニテ選任シタル郡參事會員一名トニシテ郡會ニ於テモ半數ニ達シ郡參事會ニ於テモ半數ニ達シタルヲ以テ府縣制第三條ノ規定ニ依リ縣會議員選舉ヲ行ハシメタルナリ然ルニ原告方之ヲ不當トスル要點ハ出席郡會議員ハ十二名ニシテ定數二十六名ニ比シ半數ニ滿タサルモノナリ然ルニ選舉會長ハ温井重次郎ハ郡參事會員及ヒ郡會議員ナリトシ郡會議員ノ數ニ加ヘ郡參事會員ノ數ニモ入レテ算入シテ選舉ヲ行ハシメタルハ不當ナリト云フト雖モ温井重次郎ハ郡會議員ニシテ郡會ノ互選ニヨリ郡參事會員ト爲リタル者ナレハ郡會ニ在テハ郡會議員ノ資格ヲ有シ郡參事會員ノ資格ヲ有スルハ勿論ナリ故ニ郡

參事會員ノ數ニ加ヘ又郡會議員ノ數ニ加ヘ選舉ヲ執行セリ原告ハ郡參事會員二名中ノ一名ハ郡會議員ヲ兼テ居ル者ナリトスルモ其一團體ノ出席數ニ屬シタル以上他ノ團體ノ出席數ニ複算スル能ハサルナリト云フト雖モ原告カ申供シタル事實ノ項ニ於テ郡會議員ヲ兼テ居ル郡參事會員ノ數ヲモ定數ニ加ヘ則チ二十六名ニ比シ半數ニ滿タサルモノナリト云ヒハ郡參事會員ヲ郡會議員ノ數ニ複算セシモノニアラスト然ラハ原告ノ申供ハ定數ヲ算スルニハ複算シナカラ出席數ヲ算スルニハ之ヲ除却セントスルモノニテ自家擅著ノ議論ト言ハサルヲ得ス假リ原告ノ云フカ如ク二方ニ算入スヘカラサルモノト爲ストキハ兩會同ノ場合ニ於テ郡會議員ノ定數ハ郡參事會員ヲ兼テ居ル者三名ヲ除キ二十三名ヲ以テ郡會議員ノ定數トセサルヲ得ス然ラハ現在出席ノ郡會議員ハ二十三名ニ對スル十二名則チ過半數ニシテ府縣制第三條郡制第三十三條及ヒ第五十三條ノ規定ニ抵觸スルモノニアラスト又原告ハ兩會ノ出席數ニ計算スルモ妨ナキモノトスルトキハ二様ノ資格ニ依リ投票モ各一個即チ郡會二個ナシ得ルニ至ラント云フト雖モ縣會議員ノ選舉ハ府縣制第三條ニ依リ郡制第三十三條第五十三條ノ定數ヲ備ヘタル會同員ニ於テ投票ヲ爲スヘキモノニテ一人ニテ二個ノ投票ヲ行フヘキ理ナシ然レトモ若シ郡會郡參事會各別ニ選舉ヲ爲スヘキモノナランニハ郡會議員ヨリ互選セラレタル郡參事會員ハ郡參事會ノ職務ヲ行フニ當リ郡會議員タルノ職務ヲ停止スヘキコトヲ法律ニ定メサル限リハ二個ノ投票ヲ爲スモ致テ妨クルトコロニアラスト故ニ本件縣會議員選舉ハ憲モ法律規定ニ違背シタル違法ノ選舉ニアラスト云フニ在リ

依テ證據ヲ閱シ理由ヲ説明スル左ノ如シ
被告ハ温井重次郎ハ郡會議員ニシテ郡會ノ互選ニ依リ郡參事會員ト爲リタル者ナレハ郡會ニ在テハ郡會議員ノ資格ヲ有シ郡參事會員ニ在テハ郡參事會員ノ資格ヲ有スルハ勿論ナリ故ニ温井重次郎ハ郡參事會員ノ數ニ加ヘ又郡會議員ノ數ニ加ヘ選舉ヲ行フタルハ違法ニアラスト云フト雖縣會議員ノ選舉ハ府縣制第三條ニ依リ郡會及ヒ郡參事會々同シテ之ヲ行フモノナレハ郡制第三十三條及ヒ第五十三條ニ準據シテ兩會各會議員ノ議決ヲ爲シ得ヘキ定數即チ半數以上ニ達セサルハ兩會々同シタルモノト謂フヲ得ス而シテ此定數ハ出席者ノ人員ヲ以テ定ムヘキモノニシテ郡會議員ニシテ郡參事會員ノ資格ヲ兼有スルモノナ各會員トシテ之ヲ二個ニ計算スルヲ得サルニ依リ本件温井重次郎ノ一人ヲ以テ郡會議員及ヒ郡參事會員ノ定數ニ複算シタルハ其當ヲ得タルモノニアラスト
右ノ理由ナルニ依リ判決スル左ノ如シ
明治二十五年七月二十七日石川縣羽咋郡役所内ニ於テ執行シタル石川縣會議員選舉ハ之ヲ取消スヘシ 訴訟費用ハ被告ノ負擔トス

第一類 府縣會議員選舉及府縣會議權

第二類 郡會議員選舉及郡會議權

一 郡會議員違法選舉取消ニ關スル件 明治二十四年十月七日裁決

原告 長野縣上水内郡鳥居村々會 議員白井留三郎外八名代人 矢島仙右衛門外二 被告 同縣知事 淺田德則

右原告矢島仙右衛門外二名ヨリ被告長野縣知事淺田德則ニ對スル郡會議員選舉手續取消ノ件訴狀ニ就テ審査スルニ
原告訴状ノ要旨ハ明治二十四年四月十九日上水内郡長ノ告示第十七號ニ基キ鳥居神郷ノ兩村會々同シテ開會シタル郡會議員選舉會
ハ選舉手續ニ違法ノ點アリ且自選投票ヲ有効トセシメテ郡長及縣知事ニ訴願シタルニ其裁決ニ服從スル能ハサルヲ以テ行政裁判法
第十七條ニ據リ本訴ヲ提起セリトス
ト雖本件ハ郡制第二十五條ニ該當スル縣知事ノ裁決ヲ不服トスル行政訴訟ナルヲ以テ郡制第七
十條ニ依リ本訴ヲ提起セリトス
ト雖本件ハ郡制第二十五條ニ該當スル縣知事ノ裁決ヲ不服トスル行政訴訟ナルヲ以テ郡制第七
十條ニ依リ本訴ヲ提起セリトス
ト雖本件ハ郡制第二十五條ニ該當スル縣知事ノ裁決ヲ不服トスル行政訴訟ナルヲ以テ郡制第七
十條ニ依リ本訴ヲ提起セリトス
ト雖本件ハ郡制第二十五條ニ該當スル縣知事ノ裁決ヲ不服トスル行政訴訟ナルヲ以テ郡制第七
十條ニ依リ本訴ヲ提起セリトス

郡會議員各數ニ關スル件 明治二十四年十一月二十日宣告

原告 愛知縣額田郡 玉置政治 被告 同縣同郡 玉置政治

右原告額田郡玉置町長ニ對スル訴願權爭論ノ訴文書ニ就キ送審理處
原告申立ノ要旨ハ明治二十四年四月七日愛知縣額田郡長針谷重樹ハ第一號證ノ通り告示第十二號ヲ以テ郡會議員配當ヲ定メタリ依テ
岡崎町長ハ郡會議員選舉ノ爲メ町會議員ヲ召集シタルニ明治二十四年四月十八日右選舉開會ニ際シ町會ハ額田郡長ノ議員配當告示及
町長カ報告シタル議員ノ員數ニ付熟考スルニ岡崎町ハ人口一萬五千有餘ニシテ議員ノ數僅ニ一人他ノ村々ハ人口三千ニ滿タサルニ議
員一人又二村ヲ併セ人口五千弱ニシテ議員二人トスルアリ此配當ハ明治二十三年法律第三十六號郡制第五條第二項ノ明文ニ違背シタ
ル配當方法ト認メタルヲ以テ其更正ヲ求ムルノ訴願ヲ上級官廳ニ爲サントノ議決ヲ爲シタルニ岡崎町長ハ町會ノ決議ハ權限ヲ越
ヘタリト爲シ明治二十四年四月二十五日ヲ以テ町村制第六十八條ニ依リ再議ニ付シタルモ町會ハ毫モ越權ニ非ストシ前議ヲ更メサリ
シテ以テ町長ハ町會カ議決シタル訴願ノ執行ヲ停止シ尙町村制第六十八條ニ依リ額田郡長ノ裁決ヲ求メタルニ額田郡長ハ權限ヲ越ヘ

第二類 郡會議員選舉及郡會議權

タルモノトノ裁決ヲ與ヘタルニ依リ愛知縣知事ノ裁決ヲ謂ヒタルニ知事ハ郡會議員配當ノ當否ニ對シテハ法律勅令ニ於テ訴願ノ方法
ナキニ依リ之ヲ訴願ハ權限ヲ越ヘタルモノナリトノ裁決ヲ爲シタルヲ以テ本訴ヲ提起シタルモノニシテ元來町會ハ郡會議員ノ配當ヲ
議定シタルニアラス違法ノ配當ヲ受ケタルニ依リ權利伸張ノ爲メ之ヲ更正ヲ訴願セント議決シタルニ過キス何故ニ自治體ノ權利得喪
ニ係ル事件ヲ議決シタル事柄力越權ナリトスルヤ假リニ議員配當ノ當否ニ就テハ訴願ノ手續ヲ法令ニ規定ナキヲ以テ其事柄力無効ニ
屬スルトスルモ之ヲ越權ナリト謂フヲ得ス之ヲ越權ナリト云フモノニシテ二者ノ性質ヲ混同スルモノト云フヘ
シ按スルニ町村制第百二十條一項ハ上級官廳ノ處分若クハ裁決ニ對スル普通ノ概則ニシテ何等ノ事柄モ之ニ背馳セサル以上ハ訴願ノ
權利ヲ有スル規定ニシテ町村制ニハ彼ノ列舉訴願ト此普通訴願トアルハ昭然ナリ而シテ同條中町村ノ行政トハ如何ナル事柄ヲ意味ス
ルヤト云ハ、即チ町村ニ對スル法律命令ノ執行ハ其町村ノ行政ナリト云ハスシテ何ト云ハシテハ郡會議員配當ノ一事モ亦町村ニ
對スル行政ニ外ナラストス若シ夫レ本訴ノ訴願ヲ議決シタルハ越權ナリトセシカ町村制中訴願禁止ノ規定ナクハ其越權ナリヤ否ハ
被告ノ職權ニアラスシテ監督官廳ノ職權ニ屬スト云ハサルヲ得サルナリ是ヲ之レ思ハスシテ妄リニ議權ヲ妨止シタルハ不法ナリト云
フニ在リ

被告答辯ノ要旨ハ明治二十四年四月十八日郡會議員選舉ノ際ニ於テ町會ハ額田郡長ノ告示シタル郡會議員配當ハ郡制第五條第二項ニ
違背シタルモノナルヲ以テ該選舉ヲ中止シ更ニ適法ノ配當ニ更正セラレントト訴願セント議決セリ然ルニ該訴願ハ法律勅令ニ於テ
之ヲ許シタルモノナクハ町會ニ於テ議決スルヲ得サル所以ヲ聲明スト雖町會ハ之ニ服セスシテ議決シテレリ依テ被告ハ町村制第六
十八條第二項ノ一ニ依リ自己ノ意見ヲ以テ議決ノ執行ヲ停止シ更ニ理由ヲ示シテ再議セシメシニ町會ハ其前議ヲ更メサリシカハ已ム
得ス郡長ニ訴願シテ其裁決ヲ受ケタルニ町會ハ之ニ服セス縣知事ニ訴願シ更ニ裁決ヲ受ケタルニ仍ホ之ニ服セスシテ本訴ヲ提起シタ
ルニ至リシナリ抑訴願ハ法令中ニ規定シタルモノナラサルヘカラス然ルニ原告ハ斯ル場合ニ於テ訴願ヲ禁スルノ法令ナキヲ以テ見レ
ハ一般ノ法理ニ依リ救正ノ訴願ヲ爲シ得ヘシト云フト雖是原告ハ法律上ニ非スシテ憲法上ニ對スル企望ニ外ナラス又
其企望ヲ達スルニハ必其方法ニ依ラサルヘカラス而シテ法文上之カ方法ナキヲ奈加センヤ又原告ハ郡長カ爲シタル郡會議員配當ハ町
村ニ對スル行政事務ノ一部ナレハ即チ郡長ノ爲シタル處分ナリ而シテ郡長ノ處分ニ對シテハ町村制第百二十條ニ依リ訴願スルコトヲ
得ト云ヘリ是頗同條ヲ誤解セルモノナリ何ントナレハ制第百二十條ニハ郡長若クハ郡參事會ノ處分若クハ裁決トアリ郡會議員ノ配當
ハ郡會ノ議決ニ依リ府縣知事ノ認可ヲ經ヘキモノニアラスヤ當時未ダ郡會成立セザレハ郡制第八十六條ニ依リ郡長之ヲ攝行スト雖其
資格ニ至リテハ行政機關タル郡會ノ議決トハ劃然區別アルモノトス故ニ町村制第百二十條ニハ據ルヲ得サルモノトス又原告ニ於テハ
越權ト無効トヲ混同スルモノナリト云フハ知事ノ裁決ヲ誤認セシモノニ外ナラス即チ町會カ法令ニ規定セサル訴願ヲ爲サント議決シ
タルハ越權ニシテ而シテ法令ノ規定セサル訴願ヲ爲サント議決スルモノ之ヲ提出スル方法ナク之ヲ受理スル官廳ナシ果シテ然ラハ議決
ノ無効ヲラサルヲ欲スルモ得ズヤ之ヲ要スルニ郡會議員配當ニ關スル郡會ノ議決若クハ法律ノ解釋ヲ異ニスルヨリ生スル訴願ハ法律

勅令中之ヲ許シタルモノアラシ其之ヲ許シタルモノナクシテ之ヲ訴願ヲ提起センコトヲ議決スル期限ヲ越ヘタルモノト謂ハサルヲ得
スト云フニ在リ

依テ證據ヲ閱シ理由ヲ說明スル左ノ如シ
本件爭點ノ歸スル所ハ愛知縣額田郡長カ郡制第五條第八十六條ニ依リ縣知事ノ認可ヲ經テ告示ヲ爲シ郡會議員配當法ニ對シ岡崎町會
カ之ヲ不當トシテ訴願セントノ議決ヲ爲シタルハ越權ナリヤ否ニ在リトス抑郡會議員ノ數ハ郡制第五條ニ依リ郡會ニ於テ議決シ府縣
知事ノ認可ヲ受ケテ定ムルモノナレハ町會ニ於テハ其議員ノ定數ニ對スル選舉ノミヲ行フヘキニ町會ニ於テ郡會議員配當ノ當否ニ論
及シ之カ改正ヲ求ムルノ方法ヲ議決シタルハ法律上町會ニ與ヘタル權限外ニ涉ルモノト謂ハサルヲ得ス故ニ被告岡崎町長カ其執行ヲ
停止シタルハ不合法ノ處置ニアラス
右ノ理由ニ依リ判決スル左ノ如シ
原告ノ請求相立タス 訴訟費用ハ原告ノ負擔トス

三 郡會議員資格ニ關スル件 明治二十四年十二月十二日宣告 明治二十四年第七十號

原告 石川縣珠洲 國枝逸夔 被告 同縣 國枝逸夔

右原告石川縣珠洲郡會議員ヨリ被告石川縣珠洲郡長ニ對スル不當處分取消ノ訴文書ニ就キ遂審理處
原告訴求ノ要旨ハ被告石川縣珠洲郡長國枝逸夔ハ明治二十四年八月十二日珠洲郡會カ議決シタル郡會議員米谷作右衛門ハ無資格ナリ
トノ通知ニ對シ同月三十一日再議ヲ爲サシメシニ郡會ハ前議決ヲ變セサルニヨリ被告ハ郡制第七十五條ニ依リ縣知事ノ裁決ヲ請ヒ其
裁決ヲ受ケタルニ郡會ハ之ニ服スル能ハス爲メニ本訴ヲ提起スルモノニシテ其事實ハ珠洲郡嶋島村々會ニ於テ郡會議員ヲ選舉セシメ
米谷作右衛門酒尾庸三ノ兩名高點者トナリ何レモ過半數ヲ得サルヲ以テ其兩名ニ付決選投票ヲ爲スニ當リ米谷作右衛門ハ同村長及議
員ノ職ニアリナカラ自己ノ身上ノ關係ヲ顧ミ及議員酒尾庸三ヲモ退席セシメシテ共ニ抽籤ニ與リシハ町村制第四十五條ノ規定ニ
違背シタル選舉ナルヲ以テ村會ニ於テハ郡制第二十四條ヲ適用シ前記米谷作右衛門ハ議員ノ資格ナキモノト決議ナシタルモノニシ
テ抑第二十四條議員ノ資格トハ第一被選資格第二當選手續ノ正當第三有効投票多數ノ三要件ヲ指スモノニテ當選手續ノ正否モ包含セ
ルモノト言ハサルヲ得ス若シ然ラストセシカ村長兼議員米谷作右衛門ハ決選投票ニ際シ自己ノ一身ニ關係アルニモ拘ハラズ尙議席ニ列
リ投票ヲ行ヒ違法ヲ以テ選舉セラレ而シテ之カ不正ヲ匡サント欲スルモノ不幸ニシテ故障ヲ被リ空シク訴願期日ヲ經過セシニ依リ米
谷作右衛門ノ如キモノヲ郡會議員ニ參列セシメサルヲ得ス法豈如此ノ不完備アラシ故ニ郡會ノ議決ハ法律ノ範圍外ニ出テタルモノニ

第二類 郡會議員選舉及郡會議權

アラスト云フニ在リ
 被告答辯ノ要旨ハ原告ニ於テ郡會カ郡制第二十四條ヲ適用シ米谷作右衛門ヲ議員ノ無資格者ト決議シタルハ法律ノ範圍外ニ涉ルモノナラスト云フト雖モ郡制第二十四條ハ同制第九條第十條第十一條ノ議員トナルヲ得ヘキ資格ノ要件ニ欠クル處アルヲ發見シタル場合ニ於テ適用スヘキモノニシテ選舉ノ當否ニ關シテ之ヲ適用スヘキモノニアラス其選舉ニ關シテハ郡制第二十二條ノ規定アリテ選舉ノ當否ハ議員資格ノ要件ニアラサルハ明カナリ況ンヤ郡制第十七條ニハ特ニ町村制第四十六條ノ規定ニ從フヘシトアリテ其他ノ手續ハ議會ノ自由ニ任シタルモノナリ米谷作右衛門ノ選舉ハ該條ヲ適用シタルモノニテ違法ノ選舉ニ成立タルモノニアラス要スルニ郡會ハ議員ノ資格ト選舉ノ手續トヲ混シ法律ノ解釋ヲ誤リタルモノナリト云フニ在リ
 依テ雙方ノ證據ヲ閱シ理由ヲ說明スルコト左ノ如シ
 郡制第二十四條郡會ニ於テ其議員中議員ノ資格ヲ有セサル者アルコトヲ發見スルトキハトアルハ單ニ同制第九條乃至第十一條ニ規定シタル郡會議員タルノ要件ヲ具有セサルモノヲ發見シタル場合ヲ謂フモノニシテ郡會議員ノ選舉ノ効力ニ關シ異議アルモノハ如キハ右第二十四條ノ範圍ニ入ラサルモノトス故ニ本件石川縣珠洲郡會カ爲シタル議決ニ對シ被告カ郡制第七十五條ヲ適用シタルハ不當ナリト謂フヲ得サルモノトス
 右之理由ニ依リ判決スルコト左ノ如シ
 原告ノ請求相立タス 訴訟費用ハ原告ノ負擔トス

四 郡會議員當選取消ニ關スル件

明治二十五年二月一日宣告
明治二十四年第五十號

原告

山形縣西置 賜郡荒砥町

佐藤兵次

被告

同縣同郡 玉川猪之松

同町長

右原告佐藤兵次ヨリ被告荒砥町々長玉川猪之松ニ對スル郡會議員當選取消ノ訴審理ヲ遂クル處
 原告代理人陳述ノ要旨ハ明治二十四年五月二十八日荒砥町會ニ於テ執行シタル西置賜郡會議員選舉會ニ於テ當選シタル西枝政廣ハ明治二十一年春荒砥町ヨリ凡ソ四里計距離リタル九野本村ノ戸長ヲ拜命シ其居住ノ荒砥町ヲ去リ其任所ナル九野本ニ寄留シ村役場ニ勤仕シ居リタリ其事實ハ即チ甲第一二號證ニ據テ明瞭ナリ殊ニ政廣甲第三四號證ニ於ケル如ク二箇年荒砥町ニ住居セサルヲ以テ荒砥町ノ公民タルコトヲ得ストノ裁決已ニ確定シタルモノナリ而シテ政廣ハ其現住居地タル九野本村ニ於テ町村ノ負擔ヲ分任シタルニ非ラズ又該町村内ニ於テ地租若クハ直接國稅ヲ納メタルニ非ラス故ニ政廣ハ九野本村ニ於テモ又猶ホ公民タルコトヲ得サルナリ之ヲ要スルニ政廣ハ初メヨリ何レノ町村ニ於テモ公民タルノ資格ヲ有セサルモノナリ又郡制第六條ニ依リ議員ヲ選舉スルハ町村會之ヲ行フ

トアル以上ハ町村會ハ一箇不可分ノ團體ニシテ其町村會中ニ抱括セラレタルモノハ悉皆之ヲ指示シタルモノトス然ルニ荒砥町會ハ選舉ヲ執行スルニ當リ町長タル議長カ投票ヲ爲サ、リシハ不當ナリ又郡制第十七條及ヒ町村制第四十六條ノ規定ニ依リハ議長自ラ抽籤スヘキナリ然ルニ議員ノ一人ヲシテ抽籤セシメタルハ違法ノ處置ナリ又荒砥町會ハ町村制第四十六條及ヒ第二十二條ノ規定ニ背キ投票ニ封緘ヲ施サズ又掛長ニ投票ヲ差出サス議員自ラ直ニ投票函中ニ投入シタルハ是又違法ノ處置ナリ又町村制第二十二條第二項ニ掛長ハ選舉人名簿ニ照シ云々ト規定シアリ然ルニ荒砥町會ニ於テ掛長ハ斯ル手續ヲ爲サ、リシハ亦違法ノ處置ナリ依テ山形縣知事ノ與ヘタル裁決ハ不當ナルヲ以テ明治二十四年五月十八日荒砥町會ニ於テ執行シタル郡會議員選舉會之ヲ取消シ且ツ其當選ハ無効トセラレシコトヲ請求スト云フニ在リ

被告答辯ノ要旨ハ荒砥町會カ西置賜郡會議員選舉ヲ行ヒ其當選者タル西海枝政廣ヲ以テ被選舉者有スルモノト爲シタルハ則チ郡制第十條第二項ニ住居ヲ移シタル爲町村ノ公民權ヲ失ヒタル者其住居同郡内ニ在リ且ツ他ノ要件ヲ失ハサルトキハ仍郡會ノ被選舉者有ストアルヲ以テ當選有効トセル者ナリ然レトモ單ニ町村制第七條ヲ以テ規定セル二年以來住居トナリ云々ノミヲ以テ見ルトキハ西海枝政廣ハ所謂二年以來住居ノ一要件ヲ欠キタルモノ故ニ町村ノ公民權ヲ失ヒタルモノ、如シト雖モ郡制第十條第二項後段ノ規定ニ依リ其住居ヲ移シタルモ他ノ要件ヲ失ハス且其住所ハ同郡内ナルヲ以テ政廣ハ郡會議員ノ被選舉者有スルモノニシテ該選舉ハ取消スヘキ限リニ非ラス又町長ノ投票ヲ爲サ、リシハ通常ノ町會ニ於テハ町長ハ則チ議長トナルヲ以テ投票スルノ權義アルモノ、如シト雖モ町長ヲシテ町會議員ヲ兼テシメサルト單ニ這回ノ如キ郡會議員ノミナレハ町長ハ即チ掛長ト爲ルヲ以テ投票ヲ爲スノ權義起ラサルカ故ニ投票ヲ爲サ、リシハ違法ナリト云フヘカラス又抽籤ノ手續ハ町村制第四十六條ニ依リタルモノニシテ則チ同條ニ此再投票ニ於テモ猶過半數ヲ得ルモノナキトキハ抽籤ヲ以テ當選ヲ定ムトアリ又其上文ニハ議長自ラ抽籤シテトアリ又下文ニハ單ニ抽籤トノミアルヲ以テ其上文ト下文トノ場合相同シカラサルヘシト論シ終ニ其議ト爲シタルハ固ト是レ同條未項ニ前項ノ選舉ニハ町村會ノ議決ヲ以テ云々トアルニ依リ其議決云々トハ其手續上ニ便ナリ與ヘケルモノナレハ則チ町會ノ議決ヲ採リ而シテ議員中年長者ノ一人ヲシテ抽籤セシメタルモノナリ且ツ投票ニ封緘ヲ爲サズ又投票函ニ選舉人自ラ投入シタルモノニシテ同條未項ノ範圍内ニ於テ町會カ議決ヲ爲シタルモノナリ又町村制第二十二條第二項ニ規定シタル選舉人名簿ニ照シ云々ノ手續ヲ爲サ、リシ所以ノモノハ單ニ十二名ノ町會議員ヲシテ選舉ヲ爲サシムルモノナレハ別ニ名簿ノ必要アルヲ感セサルニ因リ豫メ町會ニ向テ其ノ意ヲ陳シ其同意ヲ得タルモノナレハ手續上違法ナリト言フヘカラス故ニ荒砥町會カ行ヒタル郡會議員ノ選舉會ハ無効ト爲スヘキ條理ナシト云フニ在リ
 依テ證據ヲ閱シ理由ヲ說明スル左ノ如シ

第二類 郡會議員選舉及郡會議權

海枝政廣ハ九野本村戸長ヲ拜命シ明治二十二年三月中即チ町村制施行前ニ九野本村ヘ寄留シタルコトハ甲第一號證ヲ以テ明瞭ナルヲ見レハ同人ハ荒砥町ニ於テ二年以來住民タリシコトナク隨テ未タ公民權ヲ得タルモノト言フヲ得ス又西海枝政廣ハ甲第二號證歸籍届ノ如ク明治二十二年七月申荒砥町ヘ歸籍シタルモノナレハ二年以來九野本村ノ住民タル公民權ノ要件ヲ缺クテ以テ同人ハ寄留地九野本村ニ於テモ亦タ公民權ヲ得タルモノト言フヲ得ス之ヲ要スルニ西海枝政廣ハ荒砥町及九野本村何レノ地ニ於テモ公民タルノ資格ヲ有セサル者ナレハ郡制第十條第二項ノ規定ニ依リ被選舉ヲ有スルモノト言フヲ得ス其他原告ノ争フ所數點ニ涉ルト雖モ本案判決上必要ナキヲ以テ一々茲ニ之ヲ説明セシ

右ノ理由ナルニ依リ判決スル左ノ如シ

被告ハ明治二十四年五月十八日荒砥町會ニ於テ執行シタル郡會議員選舉會ニ於テ選舉シタル西海枝政廣ノ當選ヲ取消スヘシ 訴訟費用ハ被告ノ負擔トス

五 郡會議員選舉會長ノ出訴權ニ關スル件 明治二十五年四月二日判決 明治二十五年第二十三號

原告 長野縣小縣郡武石村 長郡會議員選舉會長 下村林太郎

右原告下村林太郎ヨリ被告長野縣參事會議會長長野縣知事淺田德則ニ係ル郡會議員選舉變更取消ノ件訴狀ニ就テ審査スルニ原告ノ請求ハ明治二十四年十月長野縣小縣郡第十五區郡會議員選舉會ニ於テ金井乙次郎ナル者當選人ニ確定シ郡長之ヲ公示シタルニモ拘ハラズ郡參事會ハ選舉人ノ異議ヲ容レ其當選ヲ取消シタルノ不法ナルニ由リ原告ハ縣參事會ニ訴願シ之ヲ救正ヲ求メタルモ縣參事會ハ選舉會長タルノ資格ヲ以テハ之ヲ訴願スルノ權利ナシト失當ノ判決ヲ與ヘタルモノナレハ其取消ヲ訴求ニ併テ郡會議員當選ノ確定ヲ望ムト云フニ在リト雖郡制中郡會議員ノ選舉ニ關シテハ原告ノ如キ選舉會長タル吏員ニ其出訴ヲ許スノ規定ナキニ依リ本訴ハ受理スヘキ限ニアラス

右ノ理由ナルヲ以テ本訴ハ行政裁判法第二十七條ニ據リ之ヲ却下ス

六 郡會議員當選無効決定取消ニ關スル件 明治二十五年四月二十一日宣告 明治二十五年第九號

原告 山形縣東村山 郡相摸村農 齋藤秀善 被告 同郡長 岩田孫四郎

右原告齋藤秀善ヨリ被告山形縣東村山郡長岩田孫四郎ニ係ル郡會議員當選無効決定取消ノ訴審理ヲ遂ケル處原告請求ノ要旨ハ明治二十四年五月十八日東村山郡郡會議員選舉ヲ行ヒタリ其前原告ハ教師ノ職ニアルヲ以テ同年四月二十日即チ選舉會日ヨリ殆ント一箇月前ニアツテ神道教職ニ向ヒテ教師辭職願ヲ呈シ置キタリ其出願ノ日ヨリ辭職届届ノ指令アルマテ數十日ヲ經過スルコトハ從來ノ慣例ナルカ菅長田中賴府カ警テ部内ニ達シタル神道ノ内規ニ據ルトキハ辭職ヲ呈セシヨリ二十日間ヲ經過シ届届ノ指令アラサルトキハ其辭職ハ届届アリタルモノト看做ストアリ然ルニ其二十日ヲ經過シタル五月十八日ノ選舉會當日ニ至ルモ何等ノ指令モナク原告ハ其日多數ヲ以テ當選シタルニヨリ同十九日承諾届ヲ差出シ當選後六日ニシテ當選證ヲ下付セラレタリ然ルチ被告ハ同年八月三日ニ至リテ原告ノ教師職ハ當選證下付ノ際ハ未タ解除セラレサルニ付郡制第十條第三項ニ抵觸スルモノトシ原告ノ承諾無効トナシタルハ不當ナリ又制第二十五條ノ明文アルニ拘ハラズ原告ノ訴願ヲ排斥シタルハ是亦不當ナルヲ以テ被告ノ決定取消ヲ請求スト云フニ在リ

被告答辯ノ要旨ハ原告ハ明治二十四年五月十八日東村山郡郡會議員選舉ノ爲メ同郡相摸村及大曾根村會同シテ開キタル村會ニ於テ有効投票ノ多數ヲ得ルニヨリ同日中其當選ノ通知ヲナシタルニ翌十九日付ヲ以テ其承諾届ヲ差出セリ依テ同月二十五日ニ至リ當選證書ヲ交付シタルトモ其後原告ハ當選承諾ノ當時郡制第十條第三項ノ三ニ該當スル教師ノ職ニアリ尙制第十九條承諾ノ期限内ニ其職ヲ去ラザリシモノナルコト發覺セシヲ以テ同年八月三日ニ至リ當選無効ノ決定ヲナシタルモノナリ之ニ對シ原告ハ郡制第二十五條ニ準據シ漸次官廳ノ等次ヲ逐フテ訴願ナナセリ然ルニ本訴願ノ要點ハ制第二十五條被選舉權ノ有無及選舉ノ効力ニ關スルコトニ非ラスシテ原告ハ豫テ制第十條ニ據リ郡内町村公民トシテ郡會ノ被選舉權ヲ有シ有効投票ノ多數ヲ以テ有効ニ當選シタルモ其當選承諾ニ瑕疵アルヲ以テ若シ原告ニ於テ完全ニ議員タルノ權利ヲ取得セント欲セハ法律ニ抵觸スル事項ハ悉ク之ヲ脱却シテ完全ナル承諾ヲナサハル可カラサレハナリ又原告ハ神宮教管長田中賴府カ教導職轉屬ノ場合ニ關シ明治十九年十月六日乙第八十六號ヲ以テ各本部ニ通達シタル規定ヲ比附引シテ全ク教職ヲ去ルノ場合ニモ適用スヘキモノ、如ク主張スト雖トモ該規定ハ單ニ轉屬ノ場合ニノミ適用スヘキモノニシテ本件ノ如キ辭職ノ場合ヲ含蓋スヘキモノニ非ラス現ニ田中管長カ原告ノ辭職願ニ對シ三十日餘ノ時日ヲ經過シタルノ後ニ至リ辭職許可ノ令狀ヲ與ヘタルニ依テ之ヲ視ルモ被告ノ見解ハ其當ヲ得タルモノト思考ス元來本件ハ郡制中訴願ヲ認許セサル事件ナルニ付却下ノ裁判アラントナリ請求スト云フニ在リ

依テ双方ノ辯論ヲ聽キ證據書類ヲ檢閱シ理由ヲ說明スルコト左ノ如シ

被告ハ本件ハ郡制中訴願ヲ認許セサル事件ナルニ付却下ノ裁判ヲ請求スト云フト雖モ當選承諾ノ當否ハ自ラ選舉ノ結果ニ影響ナシ及ホスナリ以テ制第二十五條選舉ノ効力云々ノ明文ニ照依シテ訴願及訴訟ヲ爲シ得ルハ勿論ナリトス又被告ハ原告ニ於テ有効投票ノ多數ニ依リ有効ニ當選シタルモ其當選承諾ノ届出ハ教師解職ノ前ニ在ルヲ以テ其承諾ハ瑕疵アルモノナレハ其當選無効ト決定シタリト云フト雖モ郡制第十條ノ精神ハ議員トナリテ其職務ヲ行フ者ハ教導職ヲ兼帶シ得スト謂フニ在リテ原告ハ當選ノ際既ニ其意ヲ決シ辭表

第二類 郡會議員選舉及郡會議權

ナ呈シ置キタルモノナレハ假令ヒ未タ解職ノ辭令ヲ受ケサルモ當選承諾ノ届出ヲ爲スハ法律上妨ケナキノミナラス客年五月二十五日
神宮本院ヨリ解職許可ノ通知ヲ受ケタルニ被告ニ於テ同年八月三日ニ至リ原告ノ當選ヲ無効ト決定シタルハ其當チ得サルモノトス
右ノ理由ニ依リ判決スル左ノ如シ
原告カ明治二十四年五月十八日ノ選舉會ニ於テ受ケタル當選ハ有効トス 訴訟費用ハ被告ノ負擔トス

七 郡會議員選舉取消ニ關スル件 明治二十五年五月二十六日宣告
明治二十五年第十一號

原告 山梨縣北巨摩郡多麻村 篠原俣孝外六
農福足村多麻村組合村 會議員
被告 同縣同郡 里吉般明
同村長

右原告篠原俣孝外六名ヨリ被告村長里吉般明ニ係ル郡會議員選舉取消ノ訴審理ヲ遂クル處
原告訴求ノ要旨ハ明治二十四年八月十六日執行シタル山梨縣北巨摩郡福足村多麻村組合郡會議員選舉會ニ於テ選舉長ハ選舉人一同ヨ
リ投票ヲ爲サシメ第一回ニ開披シタル投票ニ被選舉人植松邦其ト記セル投票アリシヲ故意ナリテ單ニ氏名ノミヲ朗讀シ植松邦其ノ得
票中町村制第二十三條ニ明文アル他事記入ノ無効投票タルヘキモノナリ有効トシ植松邦其五點篠原俣孝七點里吉般明四點ト選定シタル
トモ植松邦其ノ得票ハ有効投票三點ナルヲ以テ里吉般明篠原俣孝ヲ最多數者トシ此二名ニ就キ再投票ナサシムヘキニ却テ篠原俣孝
ト植松邦其トニ就キ再投票ヲ爲サシメ兩名カ各八點ト得ルモ共ニ過半數ニ至ラサルヲ以テ此時ニ方リ議長ハ自ら抽籤スト告ケ對手人
即チ篠原俣孝ニ何等ノ申告モ爲サシメテ自己ニ於テ書記ト村長カ力作リタル抽籤ヲ拔取シ植松邦其カ當選者ナリト恣ニ決定シタルモ
ナリ抑山梨縣參事會ノ裁決書ニ前略他事記入ノ無効タルコトハ選舉人ニ於テ或ル意思ヲ表シタル記入ヲ爲シタル場合等ヲ指シタルモ
ノニシテ單ニ被選舉人ノ四文字ヲ記入シタル故ナリテ他事記入シタルモノトシ無効トスルヲ得スト裁決シアルトモ町村制第二十三
條第四被選人氏名ノ外他事記入スルモノトアリテ該投票ノ無効ナルコト明ナルニ被選舉人ノ四文字ヲ他事ニアラサル如クナシタル
ハ不法ノ裁決ナリトス又該裁決書ニ第二回ノ投票ニ於テ猶過半數ヲ得ルモノナキ場合ニ議長自ら抽籤ヲ爲シ當選者ヲ定メタルハ町村
制第四十六條ニ違背シタル處分ナリト云フト雖モ法文上抽籤スヘキ者ノ規定ナキ限リハ議長自ら抽籤シ得ヘキモノナルヲ以テ不當ニ
アラスト裁決シアルトモ其議長自ら抽籤スヘキトハ過半數ヲ得ルモノナキ限リテ他ノ場合ニ適用スヘキモノニアラス故ニ此點モ
亦法律ニ違背シタル不法ノ裁決ナリトス依テ該選舉取消シ更ニ正當ノ選舉ヲ舉行スヘシトノ判決アラントテ請求スト謂フニ在リ
被告答辯ノ要旨ハ原告ハ明治二十四年八月十六日執行シタル山梨縣北巨摩郡福足村多麻村組合郡會議員選舉會否ノ訴願ニ對シ山梨縣參
事會カ被選舉人ノ四文字ヲ記入セル投票ハ無効トスルヲ得スト裁決シタルヲ以テ町村制第二十三條ニ違背シタル不法ノ裁決ナリト論

スレトモ決シ然ラス同條ニ投票ノ無効トナルヘキ場合ヲ列舉シ最後ニ被選舉人氏名ノ外他事記入スルモノト書シ一見恰モ投票ニハ
單純ナル氏名ノ外一字タモ記入スルヲ許サ、ル如クナレトモ該條ノ所謂他事トハ縣參事會裁決書ニ云ヘル如ク選舉人ノ意見批評ヲ記
入スル等神聖ナル選舉ノ體裁ヲ汚スカ如キ事柄ヲ指シタルモノニ外ナラサレハ右選舉會ノ投票ニ被選舉人ノ四文字ヲ加ヘタリトテ違
法ニアラサルナリ又該裁決書ニ法文上抽籤スヘキモノノ規定ナキ限リハ議長自ら抽籤シ得ヘキモノナルヲ以テ不當ニアラスト裁決シ
タルヲ不當ナリトシ該條ヲ解シテ當事者自ら抽籤ヲ爲スヘキモノニシテ議長ニ一任スヘキモノニアラスト論スレトモ第四十六條第一
項前段ニ議長自ら抽籤スルノ規定アルノミナラス第二十六條ニ徵スルモ斯ル場合ニ於テ議長ノ自ら抽籤スルハ法律ノ許與セル當然ノ
職務ヲ實行スルモノニシテ決シテ違法ノ處置ニアラス依テ原告ノ訴訟ヲ廢棄シ山梨縣參事會カ與ヘタル裁決ヲ認可セラレコトヲ請
求スト謂フニ在リ

參加人訴求ノ要旨ハ本件ノ事實ハ唯今被告ヨリ陳述セシ通りナルヲ以テ別ニ申立ルコトハナキモ町村制第四十六條ニ此再投票ニ於テ
モトアルハ前文ヲ引キ來ル所ノ法文ナルコトハ明カナリ故ニ議長カ自ら抽籤スルモ不法ニアラサルヲ以テ原告ノ申立ヲ排斥アラント
トテ請求スト謂フニ在リ
依テ双方及ヒ參加人ノ辯論ヲ聽キ理由ヲ說明スルコト左ノ如シ
原告ハ植松邦其ノ得票中其氏名ノ外被選舉人ノ四文字ヲ記入シタルモノハ町村制第二十三條第二項ノ四ニ該當スルヲ以テ無効タルヘ
シト雖モ該規定ハ選舉ニ必要ナキ雜事ヲ記入シタル場合ヲ指スモノニシテ被選舉人自分資格ヲ明確ニスルカ爲メノ記入ハ之ニ該當ス
ト謂フヘカラス故ニ本件被選舉人ノ四文字ヲ記入シタル植松邦其ノ得票ハ有効トス又原告ハ再投票ヲ爲スニ當リ二名トモ過半數ノ投
票ヲ得サルヲ以テ議長カ自ら抽籤シテ其當選ヲ定メタルハ不法ト云フト雖モ町村制第四十六條第一項中最多數ヲ得ル者三名以上同數
ナルトキニ議長ノ自ら抽籤スヘキ規定アル以上ハ再選舉ノ際議長ニ於テ自ら抽籤シタルモノモ不法ト云フヲ得ス
右ノ理由ニ由リ判決スル左ノ如シ
原告ノ請求相立タス 訴訟費用ハ原告ノ負擔トス

八 郡會議員違法選舉取消ニ關スル妨訴抗辯 明治二十五年六月十六日宣告
明治二十五年第二十五號

原告 長野縣東筑摩郡朝日 齋藤六衛外十
日村農村會議員
被告 同縣同郡山形村朝日 永田久吉
村々會々同選舉長

右原告齋藤六衛外十名ヨリ被告永田久吉ニ對スル郡會議員選舉取消請求ノ訴ニ對シ被告ハ妨訴ノ抗辯ヲ爲シタリ依テ齋藤六衛外八
名訴訟代理人欠席ノ儘之ヲ審理スルニ
第二類 郡會議員選舉及郡會議權

被告妨訴ノ要旨ハ本件ハ郡會議員選舉ノ効力ニ關スルモノニシテ其選舉ハ町村制ニ依リ之ヲ行フモノナレハ其選舉ニ對シテ不服アル
 場合ニ於テハ同制第三十七條ニ依リ村會ニ訴願セサルヘカラス然レトモ本件ハ郡會議員ノ選舉ナルノ故ヲ以テ郡制ニ依ルモノトスル
 モ原告ハ先少郡參事會ニ訴願シ縣參事會ノ裁決ヲ經テ行政訴訟ヲ爲サトルヲ得ス然ルニ其手續ヲ爲サスシテ直ニ本訴ヲ提起シタルハ
 法律ノ規定ニ違フモノナレハ本訴ヲ排斥アラントテ訴請フト云フニ在リ
 原告三村茂十外二名訴訟代理人答辯ノ要旨ハ本訴ハ法律ノ規定ニ依リ提起シタルモノナレハ訴權アルハ勿論ニシテ被告ノ抗辯ハ理由
 ナキモノナルヲ以テ至當ノ裁判アラントテ訴請フト云フニ在リ
 依テ双方ノ辯論ヲ聽キ理由ヲ說明スル左ノ如シ
 被告ハ本件ハ法律規定ノ手續ニ據ラサルモノナレハ出訴スルノ權ナシト云フト雖本件ハ郡會議員ノ選舉ニ關シ山形村會議員提議一外
 十一名ヨリ郡參事會ニ訴願ヲ爲シタル未更ニ長野縣參事會ニ訴願ヲ爲シ裁決ヲ經タルモノニシテ原告ハ之ニ不服アリテ本訴ヲ起シタ
 ルモノナレハ原告自ラ訴願ヲ爲シタルト否トニ拘ハラズ郡制第二十五條ノ手續ヲ經タルモノニシテ法律ノ規定ニ違フモノト云フヲ得
 ス
 右ノ理由ニ依リ判決スル左ノ如シ
 被告妨訴ノ抗辯相立タス 此裁判ニ關スル訴訟費用ハ被告ノ負擔トス

九 郡會議員違法選舉取消ニ關スル件

明治二十五年七月一日宣告
 明治二十五年第二十五號

原告 長野縣東筑摩郡朝日 齋藤六衛外一名 被告 同縣同郡山形村朝日 永田久吉
 日村農村會議員 齋藤六衛外一名 村々會々同選舉長

右原告齋藤六衛外一名ヨリ被告永田久吉ニ對スル郡會議員選舉取消請求ノ訴齋藤六衛外八名訴訟代理人關席ノ儘之ヲ管理スルニ
 原告代理人請求ノ要旨ハ明治二十四年四月二十九日山形村朝日村々會々同シテ郡會議員選舉會ヲ開クヘキ旨ナリシモ議員定數ニ充
 サリシヲ以テ開會セス故ニ同年五月七日再ヒ該選舉會ヲ開キタルニ議員ハ定數ニ充テ開會シタルモ豫定ノ時刻經過シタル爲朝日村議
 員ハ議長ニ斷リ退場セリ依テ議事ヲ爲スニ必要ナル定員ヲ欠クニ至リシモ尙選舉ヲ行ヒ之ヲ結了シテ閉會セリ然ルニ郡長ハ右ノ聯合
 村會ヲ無効トシ更ニ五月十八日ヲ以テ選舉會ヲ開ク旨ヲ告示シタルニ山形村々會議員提議一外十一名ヨリ此處分ヲ不當トシテ郡參事
 會ニ訴願シタルニ然ルニ郡參事會ハ訴願ノ理由ナキモノト裁決ヲ下シタル爲ニ提議一外十一名ハ更ニ長野縣參事會ニ訴願シ縣參事會ハ
 右ノ聯合村會ヲ以テ町村制第四十三條但書ニ該當スルモノトシテ取消スヘカラス然レトモ裁決シタルニ五月七日開會
 シタル朝日山形兩村會聯合選舉會ニ於テ朝日村々會議員ハ欠席シタルヲ以テ朝日村々會ハ完全ニ組織セラレサルモノナリ又町村制

第四十三條但書ノ規定ハ通常規則ニ從フトキハ開會スル能ハサル場合ニ該當スルモノニシテ本件選舉會ノ如キ一旦定員以上ノ議員カ
 出席シタル以上ハ最早右ノ例外規定ヲ適用スヘキモノニアラス又被告ハ開會ハ午前八時ニ始マリ午後五時ニ終ルヘキモノトシ既ニ招
 集狀ニ於テ明カニ之ヲ告示シタル以上ハ其豫定ノ期限ヲ過キタルトキハ尙相當ノ手續ヲ以テ召集ヲ爲サトルニ於テハ當然該會ハ結了
 シタルモノト旨ハサルヘカラス是ヲ以テ朝日村々會議員カ退場シタル素ヨリ至當ノ事ナリ故ニ長野縣參事會ニ於テ選舉ハ法律上有効
 ニシテ取消スヘキモノニ非スト裁決シタルハ不當ナルニ依リ之ヲ無効ト判決アラントテ訴請スル云フニ在リ
 被告代理人答辯ノ要旨ハ五月七日ノ聯合選舉會ハ議員定數ニ充テタルヲ以テ開會シタルニ原告等ハ猥リニ中途ヨリ退場シテ其權利ヲ
 拋棄シタルニ依リ議員ノ定數ヲ欠キタリ然レトモ該選舉會ハ再回ノ召集ニ係ルヲ以テ町村制第四十三條但書ヲ適用シ且少郡長ノ訓
 示モアリシニ依リ選舉ヲ執行結了シタルモノニシテ該選舉會ハ固ヨリ正當ニ成立タルモノナリ然ルニ原告ハ町村制第四十三條但書
 ノ規定ハ本件ノ如キ一旦出席議員定數ニ充テタル場合ニハ之ヲ適用スヘキモノニアラスト旨フモ再回以上ノ閉會ニ於テハ如何ナル場
 合ト雖右規定ヲ適用シ得ヘキハ勿論ナリ又議長ハ議事ヲ整理スルノ職權ヲ有スル者ナレハ議事整理上必要ナルトキハ閉會時間ノ伸縮
 ナ爲スハ是レ即チ職權ノ命スル處ニシテ被告カ開會時間ヲ延長シテ選舉ヲ執行シタルハ實ニ相當ノ處分ナリ故ニ長野縣參事會ノ裁決
 ハ正當ニシテ取消スヘキモノニ非スト云フニ在リ
 依テ雙方ノ辯論ヲ聽キ證據ヲ閱シ理由ヲ說明スル左ノ如シ
 原告代理人今非壯太陳述ノ要旨ハ明治二十四年五月七日ヲ以テ再開シタル郡會議員選舉會ニハ初メ朝日山形兩村ノ村會議員出席シ定
 數ノ議員ニ充テタルモ朝日村々會議員ハ開會豫定ノ時間ヲ過キタルノ故ヲ以テ中途ヨリ議場ヲ退キ爲メニ聯合會成立セサルモノナレ
 ハ本件ノ如キハ町村制第四十三條但書ノ場合ニ該當スルモノニアラスト云フト雖郡會議員ノ選舉ハ第二回ノ選舉會ヲ開キ之ヲ結了シ
 タルモノナレハ出席議員當初ヨリ議員定數ニ充テタル中途ニシテ退場シタル者アルカ爲メ其定數ヲ闕キタルト否トニ拘ラス是等シ
 ク召集再回ニ至ルモ議員定數ニ充テタル場合ナルヲ以テ被告カ町村制第四十三條但書ノ規定ヲ準用シテ選舉ヲ執行シタルハ違法ノ處
 分ナリト云フヲ得ス而シテ朝日山形ノ二村會ハ既ニ第二回ノ選舉會ニ於テ正當ニ會同シタルモノナレハ假令後チニ退場ノ爲メ朝日村
 々會議員ノ列席者ナキニ至リシモ之ヲ以テ二村會ノ會同成立セサルモノト爲スヲ得ス又開會豫定時間ノ伸縮ノ如キハ選舉ノ事ヲ整理
 スル職權ヲ有スルトコロノ選舉會長ニ於テ議事錄記載ノ如ク出席議員ニ告知シタル後之ヲ爲シタルモノナレハ被告ノ所爲ハ不當ナリ
 ト旨フヘカラス
 右ノ理由ナルニ依リ判決スル左ノ如シ
 原告ノ請求相立タス 訴訟費用ハ原告ノ負擔トス

十 郡會議員違法選舉取消ニ關スル件

明治二十五年十二月十九日宣告
 明治二十五年第八十六號

第二類 郡會議員選舉及郡會議權

原告 長野縣諏訪郡富 丸山龜三郎外七 被告 同縣 阪本俊秀

右原告村會議員丸山龜三郎外七名ヨリ被告郡長阪本俊秀ニ對スル郡會議員補缺選舉取消裁決ニ對スル異議ノ訴訟審理ヲ遂クル處
原告訴求ノ要旨ハ諏訪郡會議員補缺選舉會長丸山龜三郎ハ富士見金澤兩村會同シテ行フ諏訪郡會議員補缺選舉會ヲ明治二十五年三月
三十日富士見村尋常小學校内ニ於テ行ヒタルニ金澤村會議員等ハ前キニ選舉會長ヨリ選舉會開會ノ通知ヲ受ケナカラ同日亥刻ニ至ル
モ參集セサルヲ以テ同日更ニ再召集ヲ爲シタルモ猶又參集セサルヲ以テ遂ニ町制第四十三條第二項ヲ適用シ出席員ノミヲ以テ選
舉會ヲ結了シタルニ然ルニ金澤村會議員等ハ之ニ對シ異議ヲ唱ヘ同村會議員ハ本年三月二十八日ニ於テ改選ヲ行ヒ議員ノ交代ア
リタルニ拘ハラズ選舉會長ハ舊議員ニ對シ開會ノ通知ヲ爲シ新議員ニ對シテ何等通知ヲモ爲サリシヲ以テ新議員ハ之ヲ知ルニ途ナ
ク爲メニ出席スルコトヲ得サリシモノナルニ直チニ町制第四十三條第二項ヲ適用シ選舉ヲ結了シタルハ不法ナリト主張シ其取消ヲ郡
參事會ニ訴願シタルニ同會ハ之ニ對シ右選舉會ハ郡制第六條ニ違背シタル無効ノ選舉ナリト裁決シタルヲ以テ原告等ハ縣參事會ノ裁決
ヲ請ヒタルニ同シク選舉無効ノ裁決ヲ與ヘラレタリ抑モ金澤村會議員ハ明治二十五年四月十七日ヲ以テ議員職ニ就キタルモノナルハ
之カ改選ハ本年四月十七日以前四月一日以後ニ於テ行フヘキ答ナルニ金澤村會ハ本年三月廿七日中即チ舊議員ノ年期中ニ於テ改選シタルハ
不法ノ選舉ナルニ依リ選舉會長ハ舊議員ニ對シテ開會ノ通知ヲ爲シ新議員ニ通知セサルハ當然ナリ然ルニ縣參事會カ當時村會議員ハ
已ニ改選後ニ係ルヲ以テ其召集ニ應セサルハ不當ニアラスト判決セラレタルハ原告ノ服從スルヲ得サル所ナリ又縣參事會ハ郡制第六
條ニ所謂各町村會ノ會同ハ町制第三十九條第四十二條ニ從ヒ各町村會長ノ召集ニヨリ成立シタルモノ、會同ナラサル可ラサルニ選
舉會長ノ直ニ選舉會ヲ召集シタルハ不法ナリト云フト雖郡制第七條ニ依レハ二町村共同シテ同一事務ヲ處分スヘキ場合ニ於テハ之ヲ
以テ一町村ト同視スルヲ得サルノ規定ヲ設ケアレハ富士見金澤兩村會合同シテ一議員ヲ選出スヘキ場合ニ於テモ政テ各町村會長ノ召
集ニヨリ成立シタルモノ、會同ナルヲ要セス選舉會長ヨリ直ニ召集シタルモノ決シテ不可ナルコトナシ依テ明治二十五年三月
三十日富士見村尋常小學校ニ於テ行フタル選舉ハ有効ニシテ取消スヘキモノニアラストノ裁決ヲ請フト云フニ在リ
被告答辯ノ要旨ハ本訴ハ明治二十五年三月三十日富士見村尋常小學校ニ於テ行ヒタル郡會議員補缺選舉會ハ郡制第六條後段ニ依リ兩
村會々同シテ行フヘキモノナルニ金澤村會議員一名モ出席セズ富士見村會議員ノミニテ行ヒタル選舉ナルカ故ニ本參事會力ヲ無効
ナリト裁決シタルニ起因ス抑郡制第六條後段ニ數町村ニ於テ一名若クハ一名以上ノ議員ヲ選舉スルニハ其各町村會々同シテ之ヲ行フヘシトアレハ本訴ノ選
舉人員ノ定數ハ郡制中之規定スルノ法條ナク即チ町制第四十三條議員三分ノ二以上出席云々トアルニ準據スヘキモノトス而シテ
其但書ニ召集再回ニ至ルモ議員猶三分ノ二ニ滿タサルトキハ此限ニ在ラストアルヲ以テ見レハ郡會議員ヲ選舉スル場合ニ於テ召集
再回ニ至ルトキハ出席人員ノ多少ニ拘ハラズシテ選舉ヲ行フヲ得ルモノトス故ニ本訴選舉會ハ郡制第六條ニ違背シタルモノナリト謂
フヲ得ス其他原告ノ論點ニ就キテハ被告ノ答辯ナキニ依リ別ニ說明セス
右ノ理由ナルニ依リ判決スル左ノ如シ
明治二十五年三月三十日富士見村尋常小學校内ニ於テ行フタル諏訪郡々會議員補缺選舉會ハ取消スヘキ理由ナキモノトス 訴訟費
用ハ被告ノ負擔トス

十一 郡會ノ議決權限ニ關スル件 明治二十五年四月十九日宣告

原告 福井縣丹生 佐藤正克 被告 同縣 佐藤正克

依テ證據ヲ開シ理由ヲ說明スル左ノ如シ
被告ハ郡制第六條後段ニ數町村ニ於テ一名若クハ一名以上ノ議員ヲ選舉スルニハ其各町村會々同シテ之ヲ行フヘシトアレハ本訴ノ選
舉會ハ金澤村會富士見村會各定數ノ出席人員アリテ成立スヘキモノナリ然ルニ金澤村會議員全員缺席シ富士見村會議員ノミヲ以テ選
舉ヲ爲シタルハ該法條ニ違背シタルモノナリト云フト雖郡制第六條ハ單ニ各町村會々同シテ選舉ヲ行フコトヲ規定スルニ止マリ其出
席人員ノ定數ハ郡制中之規定スルノ法條ナク即チ町制第四十三條議員三分ノ二以上出席云々トアルニ準據スヘキモノトス而シテ
其但書ニ召集再回ニ至ルモ議員猶三分ノ二ニ滿タサルトキハ此限ニ在ラストアルヲ以テ見レハ郡會議員ヲ選舉スル場合ニ於テ召集
再回ニ至ルトキハ出席人員ノ多少ニ拘ハラズシテ選舉ヲ行フヲ得ルモノトス故ニ本訴選舉會ハ郡制第六條ニ違背シタルモノナリト謂
フヲ得ス其他原告ノ論點ニ就キテハ被告ノ答辯ナキニ依リ別ニ說明セス
右ノ理由ナルニ依リ判決スル左ノ如シ
明治二十五年三月三十日富士見村尋常小學校内ニ於テ行フタル諏訪郡々會議員補缺選舉會ハ取消スヘキ理由ナキモノトス 訴訟費
用ハ被告ノ負擔トス

被告答辯ノ要旨ハ原告ハ郡ハ町村人民ノ集合体ナリ一個ノ法人タル以上ハ郡制第二十八條ノ規定ニ依ラズシテ帝國憲法ニ於テ獲得セシ請願ノ權利アルヲ以テ福井縣會ノ議決ニ係ル臨時土木費ヲ削除セラレントナリ内務大臣ニ請願スルノ權利アリト云フト雖郡會ハ郡制ニ依リ成立スルモノナレハ郡制ニ規定セル範圍内ニ於テ運動スヘキハ當然ノ義務ナリ然レニ原告ハ郡ノ行政ニアラサル事件ヲ議決シ内務大臣ニ請願セントスルハ違法越權ノ議決ト謂フヘシ其故ハ原告カ論スル處郡制全條ニ考フレハ郡ハ町村人民ノ集合体ナリ法人ナリ公法及ヒ民法上ニ於テ一個人同様に權利ヲ有スト主張スルモ本訴議決ノ如キハ毫モ法人ト認ムル關係ナラズトス何トナレハ郡カ自己ニ關スル權利義務ヲ行フ場合ニ於テ法人ナリト論シ得ヘキモ縣下人民ノ利害ニ關スル關係ヲ代表スル爲メ郡カ集合体知スト云ヘトモ其郡制中適當ノ條項ヲ示サハ論旨根據ナキ申立ト言ハサルヲ得ス依テ被告カ郡制第七十五條ヲ適用シ郡會議決ノ執行ヲ停止シタルハ法律ノ適用ヲ誤リタルモノニアラスト云フニ在リ

原告ハ丹生郡々會ニ於テ邊ニ福井縣會カ可決シタル臨時土木費ノ取消ヲ内務大臣ニ請願セントナリ議決シタルハ法律上一個人タル郡會カ帝國憲法ニ依リ獲得シタル請願ノ權利ヲ執行スルモノナリト云フト雖郡會ノ議決ハ郡制ニ規定セル範圍内ニ於テセサルヲ得ス故ニ郡會ノ議決若シ其權限ヲ越ユルトキハ郡長之カ執行ヲ停止シ得ヘキコトハ郡制第七十二條ニ明示セル處ナリ然レニ本件丹生郡會カ土木費ノ取消ヲ内務大臣ニ請願セント議決シタルハ郡制規定ノ範圍外ニ涉ルモノナレハ被告郡長之カ執行ヲ停止シタルハ違法ノ處分ナリト云フヲ得ス

右ノ理由ニ依リ判決スル左ノ如シ
原告ノ請求相立タス 訴訟費用ハ原告ノ負擔トス

十二 大地主名簿登錄ニ關スル件 明治二十六年二月二十二日宣告 明治二十五年第二十一號

原告 愛知縣東春日 吉田留三郎外四名 被告 同縣 野村賀真 非郡玉川村農

右原告吉田留三郎外四名ヨリ被告東春日井郡長野村賀真ニ掛ル大地主名簿登錄ノ訴訟書面ニ就キ審理ヲ遂ケル處

原告請求ノ要旨ハ被告東春日井郡長ハ郡制施行ニ付明治二十四年四月二日第十四號ヲ以テ郡制第九條ニ依リ地價總計一萬圓以上ヲ有スル者ハ四月十五日マテ二屆出ス可キ旨ヲ告示シタリ茲ニ於テ原告等ハ同年二月一日以來各自買受タル地所ニ付キ四月十四日マテニ所有權ノ登記ヲ出願シ翌十五日從來所有ノ地價ニ之レヲ合算シ郡内ニ於テ村稅ノ賦課ヲ受クル地價一萬圓以上ヲ所有シ大地主ノ資

格アルコトヲ届出テ被告モ亦之ヲ調査認シ大地主名簿ヲ製シ四月十六日第十五號ヲ以テ其人姓名ヲ告示シタルニモ拘ラス同年八月十一日ニ至リ第二十號ヲ以テ大地主名簿ヨリ原告等ノ氏名ヲ削除ストノ裁決ヲ爲シタル旨告示シタリ而シテ其理由トスル所ハ買受讓與ナリ間ハ登記完結ノ上土地登記帳ニ所有名義登錄後ニアラサレハ郡制第九條ノ大地主ノ資格ヲ具備セスト云フニ在レトモ郡制ニ於テ大地主ト稱スルモノハ其第九條ニ規定スル地所ニシテ地價壹萬圓以上ヲ第十五條規定ノ名簿調製以前ニ於テ所有シ其名分ヲ存スルモノハ公法上第九條ノ大地主タル資格ヲ有スルハ勿論ナリ抑々所有權ノ移轉ハ登記簿記入ニ依リテ移轉スルニアラスシテ買受讓與ニ依リテ成立スルモノナレハ地價總計壹萬圓以上ヲ所有スル事實明確ナル以上ハ登記簿請求ノ如何ニ拘ハラス大地主タルノ資格ヲ有スルハ當然ナリ況ンヤ民法上ノ權利ヲ明確ナラシメカ爲メ既ニ登記簿請求シタル事實アルニ於テテヤ假リニ數歩ヲ讓ルモ登記簿請求即チ登記簿受領ノ一事ハ登記事務ノ開始ニシテ其受付ト記入トハ齊シク登記事務ノ部分ナレハ所謂法律上不可分の性質ヲ有ス故ニ登記官吏ニ於テ審查結了シ登記簿ヲ納メシメ其書類ノ受領證ヲ付與シタル以上ハ記入ト同一ノ効力ヲ有スルハ勿論ナリ依テ被告ハ原告等

ナ郡制規定ノ大地主名簿ニ登錄スヘク且訴訟費用ハ被告ノ負擔ナリト判決ヲ乞フト云フニ在リ
被告答辯ノ要旨ハ明治二十四年四月二日第十四號四月十六日第十五號告示ノ事實ハ相違ナキモ當時名簿關係者タル江崎均外三名ヨリ原告等ニ對スル異議ノ申立アリタルニ依リ之レニ對シ大地主名簿ヲ削除ス可キ旨ノ裁決ヲ與ヘ同時ニ第二十號ヲ以テ其由ヲ告示セシニ原告等ハ此裁決ニ服セス終ニ本案ヲ提起シタルトモ大地主トシテ名簿ニ記入ス可キモノハ郡制第九條ニ規定スル如ク郡内ニ於テ町村稅ノ賦課ヲ受クル所有地ニシテ地價壹萬圓以上ヲ有シ同第十一條ノ選舉權ノ要件ニ欠缺ナキモノナラサル可カラス而シテ此ニ大地主ト稱スルハ或ハ財產的優者ヲ待ツニ特ニ公權行使ノ權能ヲ付與シタル法意ナル可キモ其資格ニ就キテハ法律以外ニ出テ不法ニ優先ナル權利ヲ付與シタル精神ニアラス故ニ地價壹萬圓以上ノ地所ヲ所有スルニ方リ買受讓受ケ得テ新々ニ取得セシモノアラハ郡制上何等例外ノ設ケナキヲ以テ宜ク普通一般ノ法規手續ニ從ヒ登記簿ニ記入ナラサル可カラス登記法ハ公示ノ方式ニシテ公法上ノ權利ニモ適用ス可キモノナリ又登記簿請求ヲ爲セシノミニテハ登記簿ノ効力ナキコト明白ナリ故ニ原告等カ登記簿請求シタルト稱スルモノ名簿調製告示ノ當日マテニ未ダ登記簿ニ登記シ了ラザリシニ由リ被告ノ之レヲ排除シ大地主名簿ヨリ削除シタルハ相當ニシテ原告ノ訴求ニ應ジ得ラル可キニアラサルヲ以テ其請求相立タサル様判決アリタク訴訟費用ハ原告ヨリ償却ヲ受クタシト云フニ在リ

依テ證據ヲ閱シ理由ヲ說明スルコト左ノ如シ
被告ニ於テ郡制第九條ニ大地主ト稱スルハ或ハ其財產的優者ヲ待ツニ特ニ公權行使ノ權能ヲ付與シタル法意ナル可キモ其資格ニ就キテハ法律以外ニ出テ不法ニ優先ナル權利ヲ付與シタル精神ニアラス故ニ地價壹萬圓以上ノ地所ヲ所有スルニ方リ買受讓受ケ得テ新々ニ取得セシモノアラハ郡制上何等例外ノ設ケナキヲ以テ宜ク普通一般ノ法規手續ニ從ヒ登記簿ニ記入ナラサル可カラスト言フト雖土地家屋等賣讓與ノ如キハ雙方ノ合意ニ由テ成立ス可キハ勿論ニシテ其登記ハ該物件ニ關係ヲ有スル第三者ニ對シ之レカ効果ノ有無ヲ規定シタルニ過キササル者ナレハ公權ニ關スルノ規定ニアラス故ニ大地主ノ資格ニ關シ名簿調製前ニ於テ地所ノ所有權ヲ適法ニ取

第二類 郡會議員選舉及郡會議權

得シタルモノアルトキハ之ヲ名簿ニ記載シ所有權ノ取得者ナシテ其資格ニ由リ選舉權ヲ行フコトヲ得セシム可キハ當然ニシテ其資格ハ法律以外ニ出テ不法ニ得タル權能ナリト言フ可カラズ依テ被告カ明治二十四年八月十一日告示第二十號ヲ以テ原告等ノ氏名ヲ大地主名簿ヨリ削除シタルハ其當ヲ失スルモノトス其他登記法ニ就キ辯論スル所アルモ說明スルノ限ニアラス右ノ理由ナルヲ以テ判決スルコト左ノ如シ
被告ニ於テ原告等ノ氏名ヲ大地主名簿ニ記載シ明治二十四年四月十六日第十五號ヲ以テ之ヲ告示シタル事項ハ取消ス可キモノニアラス 訴訟費用ハ被告ノ負擔トス

十三 大地主郡會議員選舉取消ニ關スル件 明治二十六年九月二十一日判決 明治二十六年第七十號

原告 愛知縣東春日 吉田留三郎外四名 井郡玉川村農

右原告吉田留三郎外四名ヨリ愛知縣東春日井郡長野村賀真ニ對スル大地主選舉取消ノ訴訟訴狀ニ就キ審査スルニ原告請求ノ要旨ハ明治二十四年郡會議員選舉ニ際シ被告ニ於テ原告等ハ大地主タルノ資格ヲ有セストシテ大地主名簿ヨリ削除シタルニ因リ明治二十五年三月行政裁判所ニ名簿登錄ノ訴ヲ爲シ明治二十六年二月二十二日ノ裁判ニ基キ名簿上除名ノ告示ハ取消ヲ得タリ茲ニ於テ原告等ハ會テ抑止セラレタル大地主權行使ノ權能ヲ回復シタルモノナレハ郡制第十五條ニ異議ノ申立ヲ許シタル上ハ其確定セサル前ニ於テ之ヲ選舉ヲ行フ可キハ當然ニシテ原告等五名ノ向背如何ハ選舉當落ニ影響シ即チ選舉權利ノ利害アル所ナレハ五名ヲ除キ結果ニ依リ更ニ選舉ヲ行フ可キハ當然ニシテ原告等五名ノ向背如何ハ選舉當落ニ影響シ即チ選舉權利ヲ抑止セラレテ原告等五名ヲ除キ爲シタル選舉ノ無効タル可キハ勿論ナリ而シテ原告等ハ名簿上除名取消ノ告示ヲ示マテハ選舉資格選舉權ヲ抑止セラレテ原告等五名ヲ除キハサルモノナレハ權利回復即チ資格上權能ヲ認メラレシ告示取消告示ノ日明治二十六年三月十日ヨリ起算スヘキモノナルニ拘ラス郡參事會及縣參事會ハ訴願期限ヲ經過シタリトテ訴願ヲ却下シタルニ依リ明治二十四年八月二十日東春日井郡ニ於テ被告カ爲シタル郡會議員大地主選舉ハ之ヲ取消更ニ適法ノ選舉ヲ行フ可シトノ判決ヲ請フト云フニ在レトモ關係者ニ於テ選舉ノ効力ニ關シ訴願セントスルトキハ假令既ニ大地主ノ資格ニ付名簿ノ正否ニ關スル異議ノ申立ヲ爲シタルト雖郡制第二十二條ノ規定ニ依リ選舉ノ日ヨリ十四日以内ニ之ヲ申立サル可カラサルモノナリ依テ原告等ハ適法ノ手續ヲ誤リタルモノナレハ本訴ヲ爲スコトヲ得サルモノトス右ノ理由ナルヲ以テ本訴ハ行政裁判法第二十七條ニ依リ之ヲ却下ス

十四 郡會議員任期計算ニ關スル件 明治二十六年十二月六日宣告 明治二十六年第九十四號

原告 山形縣東置 山宮威一 被告 同郡長 山宮威一

右原告東置郡會議員山宮威一ヨリ被告同郡長山宮威一ニ對スル郡會議員任期計算ニ關スル訴文書ニ就キ審査スルニ原告請求ノ要旨ハ明治二十四年七月八日郡會議員上任同月下旬郡參事會員選舉ノ爲メ初メテ郡會ヲ開キ同年八月ニ至リ八月ヨリ翌年三月マテノ郡經費議決ノ爲メ開會同年十二月ニ至リ二十五年度ノ通常會ヲ開キ二十六年一月ニ至リ二十六年度ノ通常會ヲ開キタリ然ルニ被告ハ本年七月十七日臨時郡會ヲ召集シ半數解任ノ抽籤ヲナス旨ヲ告ケタリ原告ハ任期未タ三年ニ滿タサルノ今日抽籤ノ必要ナシト認メ付屬書第一號ノ如ク未タ抽籤ヲ行フ時ニアラスト議決シタリ然ルニ被告ハ同年八月六日監督官廳ノ指揮ナリトテ再ヒ臨時郡會ヲ召集シ再議ニ付シタリ依テ原告ハ付屬書第二號ノ如ク審議ノ末前議ヲ更ムヘキ理由ナシト決定シタリ今其理由ヲ陳述セシニ第一郡制第十三條ニ依リハ町村ニ於テ選舉シタル議員ノ任期ハ六年トシ毎三年其半數ヲ改選ス云々又大地主ニ於テ選舉シタル議員ノ任期ハ三年トシ毎三年其全數ヲ改選ストアリテ別ニ計算方ニ付規定スル所ナシ凡年月日ノ計算ハ法律ニ特例アラサル以上ハ年ハ曆年ヲ以テ計算スヘキハ一般ノ法規ナリ原告カ代表スル郡會議員ハ明治二十四年七月八日以後五日間ニ於テ始メテ上任シタルモノナレハ未タ法律ノ三箇年ヲ經過シタルモノニアラス隨テ今日ニ於テ半數ノ解任ヲ爲スヘキ理由ナシ大地主議員ニ於テモ任期ノ終了スヘキ理由ナシ然ルニ被告ハ議員一週年度間ノ職務ハ專ラ通常會ニ於テ行フニ依リ其會議ノ數ニ依リ年數ヲ計算スヘシト云フ實ニ不當ノ解釋ト謂ハサルヘカラス郡制第十三條ハ議員在任ノ期限ヲ示シタルモノニシテ職務ノ程度ヲ積算スルモノニアラス故ニ通常會三度又ハ四度ヲ經過スルモ其在任中ニ發生シタル事件ナランニハ敢テ之ヲ議スルヲ妨ケサルヘシ又通常會ノ度數ニ減スルモ之カ爲メ法律上定リタル年限ニ影響ヲ及ボスヘキ理由ナシト信ス第二假令ニ一歩ヲ譲リ被告ノ解釋正當ト得タリトスルモ原告ハ明治二十四年八月ノ郡會ヲハ決シテ今日ニ於テ經過シタルモノニアラス尙此上通常會一度ヲ經過セサルハ滿限ニ至ラサルナリ被告ハ明治二十四年八月ノ郡會ヲ以テ通常會ノ一度ニ算スト雖通常會ナルモノハ郡制第六十五條ニ依リハ郡長ハ毎年其翌年度ニ係ル歳入出豫算ヲ調製ス云々トアリ其他本制ヲ通觀スルモ翌一週年度ノ經費ヲ議スルハ其骨髄タルコト疑ナク容レサルヘシ然ルニ明治二十四年八月ノ郡會ハ其年度ノ半ニ於テ之ヲ開キ且同年八月以後ノ經費ヲ議決シタルニ過キサルモノナレハ之ヲ通常會ニ算入スヘカラス若シ之ヲシテ通常會ナリトセハ一月ヨリ三月マテ三箇月間ノ經費ヲ議スルモ又三月一箇月間ノ經費ヲ議スルモ尙之ヲ通常會ナリト云ハサルヘカラス二十四年八月ノ郡會ハ臨時郡會ノ性質ニシテ通常會ニ算入スヘキモノニアラスト確信ス右ノ理由ナルヲ以テ被告並ニ縣知事ノ斷定ハ何レノ點ヨリ論スルモ不當ノ臆斷ナレハ明治二十六年八月七日山形縣知事カ爲シタル裁決ヲ取消シ更ニ正當ノ裁判アラントテ請求スト云フニ在リ被告答辯ノ要旨ハ山形縣知事カ爲シタル裁決ハ正當ナルヲ以テ原告ノ請求ヲ排斥セラレタシ其理由ハ第一原告ハ郡制第十三條ニ町村ニ於テ選舉シタル議員ノ任期ハ六年トシ毎三年其半數ヲ改選ス又大地主ニ於テ選舉シタル議員ノ任期ハ三年トス云々トアリテ原告郡會議員ハ未タ法律ノ三箇年ヲ經過シタルモノニアラスレハ今日ニ於テ半數ノ解任ヲ爲スヘキ理由ナシト云フト雖凡ソ法律ノ解釋ハ文

第二類 郡會議員選舉及郡會議權

字其モノニ拘泥セシヨリ寧ロ法意ノ存スル所ヲ探究スルヲ要ス郡制第十三條ノ任期三年トハ會議數ノ如何ニ拘ラス單ニ曆法ニ從ヒタル滿年ノ法意ナルヤ若シ然リトセハ現在ノ議員ハ日數ヲ以テ之ヲ算スルトキハ滿三年ナルヘキモ其實四箇年ノ職務ヲ勤ムルモノトナラサルヘカラス何トナレハ現任議員ハ來ル明治二十七年六月マテ在任者トナリ隨テ自然前三箇年度豫算其他ノ事件ノ外尙二十七年ノ豫算其他ノ事件等ヲモ議定セサルヘカラス名ハ三箇年在任スヘキ議員ニシテ實ハ四箇年分ノ職務ニ從事スルモノナリ世豈斯ノ如キ不當ノ事由アラシヤ第二原告ハ假リニ被告カ解釋正編ヲ得タリトスルモ原告郡會議員ノ任期ハ此上尙通常會一回ヲ經過セサルハ滿限ニ至ラサルナリト云フト雖其理由トスル所ハ明治二十四年八月ノ郡會ハ其年度ノ半ニ於テ之ヲ開キ同八月以後ノ經費ヲ議決シタルニ過キサレハ臨時會ノ性質ニシテ之ヲ通常會數ニ算入スヘカラスト云フニ過キス然レトモ同年八月ノ通常會ハ同年度ニ屬スル郡費歲入出豫算其他郡會ノ職スヘキ事件ハ悉ク議決シタリ抑臨時會ナルモノハ通常會ノ外特ニ必要アルトキ之ヲ開クヘキモノニシテ一箇年全般ノ事件ヲ包括シテ之ヲ議定セシムヘキモノニアラス而シテ明治二十四年七月開會シタル郡會ノ決議ハ甲二號證ノ通算ニ同年全般ニ關スル事件ヲ包括シタルモノニシテ臨時特別ノ事件ニ限リシモノニアラサルコト明瞭ナリト云フニ在リ

被告ニ於テ郡會議員ノ任期ハ曆法ニ從ヒ計算スヘキモノトスルトキハ現任議員ハ日數ニ於テ滿三年ナルモ其實四箇年ノ職務ヲ務ムルモノトナラサルヘカラス何トナレハ現任議員ハ來明治二十七年六月マテ在任者トナリ既ニ前三箇年度ノ豫算等ヲ議シタル上尙二十七年ノ度ノ豫算ヲモ議定セサルヘカラスト云フト雖郡制第十三條ニ依レハ町村ニ於テ選舉シタル議員ノ任期ハ六年トシ毎三年其半數ヲ改選ス云々トアリテ任期ノ計算方ニ付別ニ規定スル所アラサレハ普通ノ場合ニ於ケルカ如ク曆年ニ依リ計算スヘキモノナリ議員ノ行フタル職務ノ程度如何ニ依リ任期ノ年限ニ増減ヲ來スヘキモノニアラス而シテ本件東置賜郡會議員ハ明治二十四年七月初メテ上任シタルモノナレハ本年七月ニ於テ三年ノ任期ヲ終了シタルモノニアラス隨テ其半數改選ノ時ニ達セサルモノトス故ニ明治二十六年八月七日山形縣知事カ爲シタル議決ハ正當ナリト云フヲ得ス其他通常會臨時會ノ性質ニ付雙方爭フ所アルモノ本件ノ判決ニ必要ナキヲ以テ之ヲ説明セズ

右ノ理由ニ依リ判決スルコト左ノ如シ
被告ハ明治二十六年七月十七日山形縣東置賜郡會ノ爲シタル裁決ヲ執行スヘシ 訴訟費用ハ被告ノ負擔トス

第三類 市町村會議員選舉及公民權

一 公民權ノ有無ニ關スル件 明治二十三年十一月二十一日宣告

原告 靜岡縣敷知郡 濱松町代官業 澤田 寧 被告 同町長 内田 正

右原告澤田寧ヨリ被告内田正ニ對スル公民權ノ有無爭論ノ件送審理處
原告人陳述ノ要旨ハ原告人ハ去ル明治十七年中濱松町元魚十一番地ニ於テ宅地ヲ購求シ自ラ家屋ヲ建築シ戶主ノ資格ヲ以テ家事ヲ經營シ地租ハ勿論戶割割賦費等總テ上納シ來リ明治二十年三月ニ至リ引佐郡三和村ヨリ本町ニ原籍ヲ移シタリ此際初メテ帳簿上ニ於テ實父和四郎カ戶主ニシテ原告人ハ家族ノ地位ニ在ルコトヲ知リタリ然レトモ原告人ハ實際戶主ニ相違ナク當町役場ニ於テモ亦原告人ヲ戶主ト認メ居レハコソ數年間原告人ヨリ諸般ノ租稅ヲ徵收シ原告人ヲシテ戶主ノ責任ヲ盡サシメタルコトハ甲第一號乃至第十五號證寫ノ如クナルニ明治二十二年四月町村會議員選舉ニ際シ戶長ニ於テ公民名簿ニ原告人ノ名ヲ記載セサリシハ不當ノ處分ナリト云フニ在リ

被告人答辯ノ要旨ハ原告澤田寧ハ明治二十年二月二十四日日本縣引佐郡三和村ヨリ本籍ヲ元魚町ニ移シタリ其送籍第一號證寫ニ依リ主任吏員戶籍簿ニ登錄セリ其際原告人ハ自己ノ名ヲ記シタル移籍簿書ヲ使テ以テ舊戶長ニ差出シタル處主任吏員該書面ヲ一覽シ澤田寧ハ戶主ニ非ス依テ本屆書ハ不當ナレハ却下スル旨使ノ者ニ相違セリ其後同年三月二十三日原告人父和四郎ヨリ更ニ屆書ヲ差出シタリ即チ第二號證寫ノ如シ又原告人ハ明治十年前ヨリ本町紺屋及元魚町ニ別戶寄留シ居タルヲ以テ原告人ノ名ヲ用ヒテ戶數割其他ヲ徵收シタルモノニシテ固ヨリ當然ノコトタリ同二十年以來父子同居シテ戶主ハ和四郎ナルニ付改メテ和四郎ノ名ヲ以テ戶數割其他ヲ徵收スヘキ管ナルニ前日ト同シク原告人ノ名ヲ以テ徵收シタルハ當時吏員ノ不注意ニ出テタルモノナリト云フニ在リ

依テ各證據書類ヲ閱シ説明スルコト左ノ如シ
本案ノ要點ハ戶主タルト否トニ依リ公民タル資格ノ有無爭フニ在リト雖抑町村制第七條ニ依レハ滿二十五歲以上ニシテ一戶ヲ構ヘトアルハ戶主ト非戶主トナ問ハス一戶ヲ構ヘ獨立ノ生計ヲ營ム者ヲ云フモノニシテ本案原告人ニ於ケルヤ明治十七年中濱松町元魚十一番地ニ於テ自ラ宅地ヲ購求シ家屋ヲ建築シ今日ニ至ルマテ諸般ノ義務ヲ負擔シ所謂一戶ヲ構ヘテ獨立ノ生計ヲ營ミタル事實アルコトハ即チ甲第一號乃至第十五號證寫ヲ以テ之ヲ證明スルコトヲ得ヘシ殊ニ當時戶長ニ於テ一戶ヲ構ヘタル者ト認メタルコトハ戶數割ヲ賦課シタルヲ以テ之ヲ觀ルモ明ナリトス又被告人ハ同二十年父子同居シタル以來ノ納稅額ニ所得稅ノ如キハ戶主即チ和四郎ノ名ヲ以テ徵收スヘカリシニ非戶主即チ原告人ノ名ヲ以テシタルハ當該吏員ノ不注意ニ出テタルモノナレハ原告人ノ納稅資格ニ算入スヘカラ

第三類 市町村會議員選舉及公民權

スト云フト雖所得税法ハ徵稅上單ニ戶主ヲ以テ納稅者ト視ルニ過キスシテ實際ノ納稅者タル資格ヲ失フモノニ非サルヲ以テ原告人ノ納稅ハ之ヲ納稅資格ニ算入シ得ヘキハ當然ノ事ナリトス故ニ被告人ニ於テ原告人ヲ選舉人名簿ニ記入セザリシハ不當ノ處分ナリトス

右ノ理由ナルニ依リ判決スル左ノ如シ
原告澤田澤ハ町村制第七條ニ依リ公民タルノ資格ヲ有スルモノトス 但訴訟費用ハ被告人ノ負擔トス

二 市會議員及選舉掛不當選舉取消ニ關スル件 明治二十四年一月二十九日宣告

原告 東京府東京市芝區濱田中榮助外二 被告 同府知事 蜂須賀茂韶

右原告代言人渡邊義雄ヨリ被告東京府知事ニ對スル市會選舉無効一件府知事ノ裁決不法ノ訴遂管理處
原告代言人陳述ノ要旨ハ明治二十三年七月三十一日東京府東京市芝區ニ於テ行ヒタル東京市會議員一級選舉ハ其選舉人中納稅額ヲ詐稱シテ選舉人名簿ニ登載セラレタル者四名アルノミナラズ詐稱一級選舉人三名トテ以テ一級選舉ノ選舉掛ニ選任シタルハ市制第二十條ニ違フモノナリ而シテ右詐稱選舉人等既ニ罰則ニ關レタル場合ニ於テハ該選舉人ノ爲シタル選舉ハ効力ヲ有セス且確定名簿ヲモ修正シ隨テ詐稱ノ爲メニ誤マラレシ正當ナル選舉人ノ一級選舉權ヲ回復スヘク又選舉掛ヲ他級ヨリ選舉シタルハ市制第二十八條選舉ノ定規ニ違背シタルモノト謂フヘキニ付該選舉無効ニ歸セシメ更ニ選舉ヲ行ハントトテ要スル云フニ在リ
被告代言人答辯ノ要旨ハ選舉人名簿中一級ニ入ルヘカラサル者四名ヲ選舉人名簿ニ登載シタルハ事實ナルモ其名簿ハ正當ノ手續ヲ以テ調製シ制ニ依リ七日間關係者ノ縱覽ニ供シタル後確定シタルモノナレハ原告人等ノ如キ名簿等級ノ當否ニ關シ異議アル者ハ其縱覽期限内ニ申立ヲ爲サレハカラス然ルニ原告人ハ其中申立ヲ爲サスシテ期限經過ノ後ニ至リ市制第二十八條ニ依リ選舉無効ニ歸セシメントスルハ筋違ノ申立ト云ハサルヘカラス又同區市會議員選舉ノ際選舉掛ヲ他級ノ選舉人中ヨリ選任シタルハ市制第二十條ニ選舉掛ハ選舉人中ヨリ二名若クハ四名ヲ選任ストアリテ同級中ノ者ニ限ルノ明文ナキヲ以テ然ルナリ故ニ明治二十三年七月三十一日東京府東京市芝區ニ於テ執行シタル東京市會議員一級選舉ハ無効トスヘキモノニアラズト云フニ在リ
依テ双方ノ審問ヲ結了シ理由ヲ說明スル左ノ如シ
原告ニ於テ一級選舉人中納稅額ヲ詐稱シテ選舉人名簿ニ登載セラレタル者アルヲ以テ其選舉無効ニ歸シ確定名簿ヲ修正スヘシト云フト雖詐稱ニ依リテ一級名簿ニ登載セラレタル者アルニ付テノ異議ハ即チ名簿等級ノ當否ニ關スル事件ナルヲ以テ市制第十八條ニ依ラサルヲ得ス而シテ原告ハ同條規定ノ期限ヲ經過シタルモノナレハ訴願ノ効ヲ失ヒタルモノトス又原告ニ於テ一級選舉ノ選舉掛ヲ他

級ヨリ選任シタルハ選舉ノ定規ニ違背スルモノナリト云フモ市制第二十條ニ於テハ每級各別ニ選舉掛ヲ選任スヘキノ制限ナキニヨリ定規ニ違背シタルト謂フヲ得ス
右ノ理由ナルニ依リ判決スルコト左ノ如シ
原告ノ申立相立タス 訴訟入費ハ原告ノ負擔トス

三 區會議員違法選舉取消ニ關スル件 明治二十四年二月三日宣告 明治二十三年第一號ノ一

原告 茨城縣東茨城郡澤山村 德宿壽吉外一 被告 同縣同郡 所 寅之助

右原告德宿壽吉外一名ヨリ被告村長所寅之助ニ對スル區會議員選舉取消ノ訴訟遂管理處
原告代言人陳述ノ要旨ハ本案ハ明治二十三年三月十六日茨城縣東茨城郡澤山村大字阿波山ニ於テ開キタル區會議員選舉會ハ一級二級共同一ノ場所ニ於テ同日ニ執行シタルコトハ甲第九號證第一乃至第四ヲ以テ證明スル如クニシテ且其選舉會ハ不法ノ甚シキモノナリ即チ和時藏カ小松由之助ノ被選舉者ヲ指名セサル投票代書ノ依頼ニ應ジタルカ如キ萩谷仙之助方倉橋久米次郎及高島初五郎ヨリ前同一ノ依頼ヲ受ケ代書ヲ爲シタルカ如キ又山崎寅吉ノ如キハ選舉人ノ資格ナクシテ選舉會場ニ立入タルニモ拘ラス選舉人高橋喜八郎邊榮藏外數名ノ指名セサル被選舉人ヲ擅ニ代書シタルカ如キ且同選舉會ニ於テ協議勸誘セシ者アリシコトハ掩フヘカラサル事實ナレハ町村制第二十一條第二十四條ニ違背シタルモノト確信ス依テ原告人ハ該選舉會ヲ無効トシ甲第六號證ノ如ク之ヲ取消ヲ訴願シタルニ茨城縣知事安田定則ハ甲第十號證ノ如ク裁決シタルヲ以テ之ニ服從シ難ク本訴ヲ提起シ區會議員選舉ノ取消ヲ求ムト云フニ在リ
被告答辯ノ要旨ハ被告ハ原告ヨリ本訴ノ請求ヲ受クルノ義務ナシ其事實ハ一級ノ選舉ト二級ノ選舉ト同日同場所ニ於テ執行シタルコトハ相違ナシト雖其時間ニ至テハ固ヨリ同一時ニアラサルナリ即チ二級選舉ハ午前八時ニ始マリ同十一時四十五分ニ終リ一級選舉ハ午後一時ニ始マリ同四時三十分ニ終リタル事實ハ乙第一號證本會選舉錄ニ依テ明瞭ナリ故ニ二級選舉ニ對シテハ瑕瑾アルモ全部無効ヲ來タスノ謂レナシト確信スルヲ以テ原告人方請求ハ其正鵠ヲ誤リタルモノナリト云フニ在リ
依テ各證據ヲ閱シ說明スルコト左ノ如シ

本案ハ區會二級選舉會ニ於テ町村制第二十一條及第二十四條ノ定規ニ違背シタル事實アルヲ以テ一級選舉ヲモ併セテ其取消ヲ請求スルニ在リト雖モ抑町村制第十九條ニ據レハ選舉人ヲ二級ニ分チ一級二級トモ各別ニ選舉會ヲ開キ各其選舉ヲ行フタルモノナレハ其二級選舉ノ不法ヲ理由トシ其瑕瑾ナキ一級選舉ニ及ホシ之ヲ取消スヘキ筋ナキヲ以テ原告方其全部ノ選舉ヲ取消サントスルノ請求ハ其當ヲ得サルモノトス

第三類 市町村會議員選舉及公民權

右ノ理由ナルニ因リ原告ノ請求不相立モノトス

訴訟費用ハ原告ノ負擔トス

四 區會議員當選取消ニ係ル訴訟對手人ニ關スル件

明治二十四年二月三日宣告
明治二十三年第一號ノ二

原告 茨城縣東茨城 郡澤山村農 德宿壽吉外一

被告 同縣同 郡同村 和田房吉

右原告人德宿壽吉外一名ヨリ被告和田房吉ニ對スル區會議員當選取消ノ訴訟遂審理處

原告訴フル要旨ハ被告和田房吉ハ烟草仲買商山崎秀之介方ニ寄留シ該營業ノ携帶雇人ナルヲ以テ町村公民タル資格ノ要件ヲ缺キ從テ區會議員タルノ資格ヲ有セサル者ナレハ被告カ本年三月中區會議員ノ選舉ニ當選シタルハ不當ナルニ由リ其當選ノ取消ヲ請求スト云フニ在リト雖本訴ハ選舉掛長ヲ被告ト爲サシテ一箇人タル被選人和田房吉ヲ被告ト爲シタルハ行政訴訟ノ對手人ヲ誤マリタルモノトス

右ノ理由ニ依リ本訴ハ之ヲ棄却ス

訴訟費用ハ原告ノ負擔トス

五 村會議員解職不當處分取消ニ關スル件

明治二十四年三月十二日裁決
明治二十四年第七號

原告 新潟縣中頸城 郡春日村々長 田中恒三

被告 同縣同 郡同村 村々長

右原告田中恒三ヨリ被告新潟縣越後國中頸城郡長遠山千里ニ對スル不當處分取消請求ノ件ヲ訴狀ニ就キ審査スルニ

原告訴求ノ要旨ハ原告ハ新潟縣越後國中頸城郡春日村々會議員ノ資格ヲ有シ居リシニ明治二十三年三月二十二日突然春日村長ヨリ解職ノ通知ヲ受ケタレトモ該處分ハ不當ニ付明治二十三年三月二十四日被告郡長ニ訴願シタルニ郡長ハ明治二十三年四月八日春日村々會議員第九條末項ニ照シ原告カ村會議員ノ職ヲ解キシハ其當ヲ得サルモノト裁決シタルニ拘ハラヌ明治二十三年九月十二日原告ニ對シ村會議員解職ノ通知ヲ爲シタルハ前後撞着ノ處分ニ付新潟縣知事ニ訴願ヲ爲シタルニ同知事ハ明治二十三年十月二十七日被告郡長カ爲シタル處分ハ正當ナリトノ裁決ヲ與ヘタレトモ原告ハ服從スル能ハサルヲ以テ明治二十三年十一月十七日內務大臣ハ訴願モシニ行政裁判所へ出訴ス可キモノナリトテ却下セラレタルヲ以テ郡長カ爲シタル處分ノ取消ヲ請求スト云フニ在リト雖本件ハ町村制第二百二十條第三項ニ依リ其裁決書ヲ交付シタル日ヨリ二十一日以内ニ出訴ヲ爲ス可キニ既ニ其期限ヲ經過シタルモノナレハ原告ハ行政訴訟提起ノ權ヲ失ヒタルモノトス

右ノ理由ナルヲ以テ裁決スル左ノ如シ
本件ハ行政裁判法第二十七條ニ依リ之ヲ却下ス

六 村會議員選舉取消ニ關スル妨訴抗辯

明治二十四年三月三十一日宣告
明治二十三年第三十號

原告 埼玉縣高麗 郡高麗川村 駒井勇吉外十

被告 同縣同 郡 同村長 神田竹次郎

右原告駒井勇吉外十一名ヨリ被告村長神田竹次郎ニ對スル村會議員選舉取消請求ノ訴願ニ對シ被告代理人ハ原告等ニ訴權ナシトシテ之カ答辯ヲ拒絕セリ依テ遂審理處

被告代理人本訴拒絶ノ要旨ハ原告駒井勇吉外十名(柳川禎三ヲ除ク)ノ者ヨリ明治二十三年七月四日附テ以テ本件ノ被告タル村長ニ宛テタル訴願ハ各自其一箇人タル資格ヲ以テ爲シタルモノナルニ本件訴訟ノ原告人等ハ柳川禎三ヲ除クノ外悉ク同一ノ人ナルニモ拘ハラヌ各總代タル資格ヲ以テシテ一箇人タルノ資格ヲ以テモ其一箇人タル原告等(柳川禎三ヲ除ク)ハ初メ被告村長ニ對シ訴願ヲ爲シタルノ際ハ町村制第二十九條ニ依リ選舉ノ日ヨリ七日以内ナリシカ故ニ順次相當ノ手續ヲ經テ行政訴訟ヲ起スヘキノ權アルハ勿論ナレトモ訴願當時ノ資格ニ依ラズシテ之ト異レル資格ニ依テ本件ノ行政訴訟ヲ起スニ至リテハ原告等ニハ其權ナシト言ハサル可ラス何トナレハ原告等カ總代タル資格ヲ以テ本件ヲ起サンニハ其初メ訴願ヲ爲ス際ニモ亦第二十九條第一項ノ期限内ニ於テ同條ノ資格ヲ以テシタル上ナラサル可ラサルニモ其手續ヲ履マサリシテ以テナリ且選舉効力ニ關シテ訴願セントスル選舉人ハ選舉ノ日ヨリ七日以内ニ之ヲ町村長ニ申立テサル可ラサルコトハ町村制第二十九條第一項ノ明示スル所ナルカ故ニ其期限内ニ申立テサル者ハ訴願ノ權ナキナリ原告(柳川禎三ヲ除ク)ハ前述ノ如ク一箇人トシテハ其手續ヲ經タルモノナレトモ原告等以外ノ選舉人等ハ悉ク其手續ヲ經サルカ故ニ固ヨリ訴願及訴訟ヲ爲スノ權ナキナリ依テ本件原告等ハ總代トシテモ訴願ヲ起スノ權ナキモノトス又原告ノ一人ナル柳川禎三ナルモノハ村長ニ對スル訴願ノ際ニハ訴願者タリシコトナク唯田中熊次郎ト共ニ一ノ代理人タリシニ過キス是即町村制第二十九條第一項ノ手續ヲ經サルモノナレハ本件ノ原告タルヘキ資格ナキモノトス

右ノ如ク原告等ハ總テ本件訴訟ヲ提起スヘキ正當ナル權利ヲ有セサルモノナルカ故ニ被告ハ之ニ對シテ本案ノ答辯ヲ爲スヘキ義務ナキモノト信スルニ依リ原告等ノ訴狀却下アラントナ請求スト云フニ在リ

原告辯駁ノ要旨ハ原告等當初村長ハ訴願ノ際總代ノ名義ヲ以テセザリシハ全ク一時ノ誤謬ニシテ各大字人民ヨリ委任ヲ受ケシハ疑ナシ故ヲ以テ縣知事ハ訴願ノ際ハ更メテ總代ノ名義ヲ以テセリ又同地方ニ於テハ一村若クハ一部人民一般ニ係ル事ト雖毎時必ス總代ノ名義ヲ用ヒサルノ習慣ナリ又原告ノ一人ナル柳川禎三ハ最初訴願ノ總代ニアラス途中ヨリ加ハリタルモ本訴總代タルニ缺クル所ナシ

第三類 市町村會議員選舉及公民權

依テ原告等ハ本訴提起ノ權アルモノナリト云フニ在リ
 依テ各證據書類ヲ檢閲シ双方ノ辯論ヲ聽キ說明スルコト左ノ如シ
 行政訴訟ハ行政廳各等次ノ訴願ヲ經タルモノナラサルヲ得ス然レニ原告ハ當初村長へ訴願ノ際各大字人民ノ委任ヲ受ケ總代ノ資格ヲ
 以テセリト陳述スト雖其證據明瞭ナラサルハ各大字人民一般ニ於テハ本訴提起ノ權ナキモ柳川禎三ヲ除キ駒井勇吉外十名ハ既ニ正當
 ノ手續ヲ經テ訴願ヲ爲シタルモノナレハ一般選舉人ヨリ委任ノ有無ニ拘ハラズ一箇人ノ資格ニ於テ本訴ヲ提起スルコトヲ得ルモノト
 ス故ニ被告ハ駒井勇吉外十名ノ者ニ對シテハ答辯ヲ爲スノ義務アルモノトス但原告ノ一人ナル柳川禎三ハ一箇ノ代理人タルヲ得ルモ
 本訴原告ノ列ニ加ハルヘキモノニアラス 此判決ニ關スル訴訟費用ハ原告被告ノ自辨トス

七 村會議員不當選舉取消ニ關スル件 明治二十四年四月二十八日宣告
 明治二十三年第三十號

原告 埼玉縣高麗郡 駒井勇吉外十
 被告 同縣 神田竹次郎
 高麗川村農 同村長

右原告駒井勇吉外十名ヨリ被告村長神田竹次郎ニ係ル村會議員選舉會取消請求ノ訴訟遂行管理處
 原告陳述ノ要旨ハ明治二十三年六月二十八日埼玉縣高麗郡高麗川村ニ於テ執行シタル選舉ハ法律ニ違背シタルヲ以テ無効ナリ其故ハ
 明治二十二年初メテ町村制實施ノ際本村人口ニ照セハ町村制第十一條第二ニ依リ議員十二名ヲ選舉スヘキニ村長ハ之ヲ増員シテ十八
 名ト爲シ監督官廳ノ許可ヲ請ヒタルニ官廳ハ許可ヲ與ヘサルヲ以テ其選舉ハ自然無効ニ歸シ隨テ明治二十三年ニ至リ再度選舉會ヲ開
 カサル可カラサルニ至リシモノナレハ溯リテ最初確定シタル名簿ニ依リ再選舉ヲ執行セサル可ラサルハ勿論ナルニ被告村長カ不法ニ
 モ最初確定シタル名簿ヲ放棄シ新ニ調整シタル名簿ニ依リ選舉ヲ爲サシメタルハ不當ノ處置タルヲ免レズ元來本村人口ハ千五百以上
 五千未満ナルヲ以テ町村制第十一條第二ニ依リ議員十二名ニ止マルヘキモノナレハ明治二十二年度初メテ該制實施ニ際シ議員增加チ
 要スルノ事由アラハ先ヅ其許可ヲ得而後議員ヲ爲スハ格別未タ其許可ヲ得サル間ハ該制ノ規定ニ從ヒ十二名ノ議員ヲ選舉スルニ非サ
 レハ其選舉ハ無効ナルコト論テ俟タズ極論スレハ其幸ニ増員ノ請願ハ他日監督官廳ノ許可スル所トナルモ未タ許可セラレサルノ
 前ニ於テ制度ノ定數外ナル議員ヲ選舉シタルハ違法ニシテ且無効ナルハ同制第十一條並第百二十五條ニ照シテ明瞭ナリトス既ニ最初
 ノ選舉ハ町村制ニ背キ且監督官廳ノ許可セラレサル無効ノ選舉ナリトセハ初メヨリ選舉會ヲ開キ議員ヲ選舉シタルコトナキト同一般
 ナルハ論テ俟タズ果シテ然レハ明治二十二年度ニ一旦確定シタル選舉人名簿ハ徒ラニ確定シタルニ止マリ未タ曾テ之ヲ變更シテ再選
 舉ヲ執行セシメラレシコトヲ請求スト云フニ在リ

被告代理人答辯ノ要旨ハ本件ハ明治二十二年初メテ町村制實施ニ際シ本村會議員ノ定數ハ十二名ナルモ制第十一條及第百三十一條ニ
 ヨリ入間高麗郡長ノ命ヲ受ケタル元鹿山聯合戶長ニ於テ六名ヲ增加シ十八名ノ議員ヲ明治二十二年四月ニ選舉シ其後村會ヲ開キ村條
 例ヲ議定シ隨テ議員增加ノ件ヲモ其條例中ニ加ヘ内務大臣ノ許可ヲ稟請シタルニ大臣ハ該條例ニ對シ許可ヲ與ヘラレザリシ依之被告
 村長ハ更ニ議員ヲ改選セサルヲ得サル場合ニ立至リタルヲ以テ第十八條第一項及第二項ニ依リ明治二十三年六月二十八日改選ヲ執行
 シタルニ原告ハ之ニ對シ第十八條末項ヲ適用セザリシハ不法ナリト云フヨリ起リタルモノニシテ原告ハ議員增加ヲ要スルノ事由アラ
 ハ先ヅ其許可ヲ得而後議員ヲ爲スハ格別未タ其許可ヲ得サル間ハ該制ノ規定ニ從ヒ十二名ノ議員ヲ選舉スルニ非サレハ其選舉ハ無効
 ナルコト論テ俟タズト論ストモ其不當ナルコトハ左ノ二點ニヨリ明ナリ第一戶長ノ爲シタル議員增加ノ處置ハ適法ナリ抑町村制第
 十一條ノ規定ニ依レハ町村會議員ヲ特ニ増減スルノコトハ町村條例ヲ以テ之ヲ定ムルコトヲ得ト雖其第百三十一條ヲ見レハ此法律ニ
 ヨリ初メテ議員ヲ選舉スルニ付町村長及町村會ノ職務並町村條例ヲ以テ定ムヘキ事項ハ郡長又ハ其指命スル官吏ニ於テ之ヲ施行ス可
 シトアリ而シテ元鹿山聯合戶長ハ郡長ノ指命シタル官吏ノ資格ヲ以テ制第百三十一條カ與ヘタル職權ヲ施行シタルニ過キサルハ議
 員增加シテ選舉シタルノ處置ハ決シテ此法律ニ違背セルモノト云フ可カラズ果シテ然ラハ原告等ノ主張スル如ク該選舉其物ノ無効
 ニアラサルコト亦明ナルヘシ第二内務大臣ノ不許可ハ單ニ村條例ニ對スルモノニシテ遠ク選舉迄ヲ無効ニ歸セシメス抑議員ノ選舉ハ
 既ニ相當ノ手續ヲ經テ了シタルヲ以テ更ニ相當ノ手續ヲ履ミ議員ヲ增加スル等ノ村條例ヲ議決シテ内務大臣ノ許可ヲ請ヒタルニ其
 條例ハ許可ヲ得ザリシ者ナルカ故ニ此不許可ノ効力ハ違フ既往ニ溯リテ郡長ノ指名ヲ受ケタル戶長カ十八名ノ議員ヲ選舉セシメタル
 處置ニマテ及ホスヘキ者ニアラス何トナレハ内務大臣ハ制第百二十五條ニアル如ク村會ニ於テ議決シタル村條例ニ對シテ許可ヲ與ヘ
 サリシニ止マル者ニシテ決シテ郡長ノ指命ヲ受ケタル官吏ノ處置ニ向テ爲シタル者ニ非サレハナリ隨テ本件ノ場合ニ於テハ戶長ノ爲
 シタル適法處置ハ村條例ノ不許可トナリシ當時迄ハ依然繼續シタルモ其不許可ト同時ニ唯將來ノ執行力ヲ有セサルニ至リシノミ換言
 スレハ最初ノ選舉其物ハ無効トナリタルニ非スシテ村條例ノ許可ナキ結果トシテ改選セサル可ラサルニ至リシノミト謂フ可シ況ヤ制
 第十八條末項ノ所謂無効トナリタル場合トハ選舉ノ際既ニ必要條例ヲ缺キ居リシヲ知ラスシテ後ニ至リテ始メテ之ヲ發見シ爲ニ當初
 ヨリシテ全ク無効ニ歸スル場合ヲ指シタルモノニシテ本件ノ如ク初メ適法ノ手續ヲ經タル場合ヲ指シタル者ニアラサルニ於テカヤ
 最初ノ選舉既ニ適法ナリシ以上ハ明治二十二年調製ノ確定名簿ハ既ニ一旦使用シタルモノナルカ故ニ假令村條例ノ不許可ノ爲メ更ニ
 議員ヲ再選スルニ至ルモ原告等ノ主張スル如ク制第十八條ニ依リテ再ヒ使用スヘカラサルヤ明ナリ依テ明治二十三年六月二十八日ハ
 被告村長カ爲サシメタル再選舉ハ毫モ取消スヘキモノニアラスト云フニ在リ
 依テ雙方ノ辯論ヲ聽キ理由ヲ說明スルコト左ノ如シ
 原告陳述ノ要點ハ明治二十二年四月中ノ初度ノ選舉ハ無効ナルヲ以テ町村制第十八條末項ニ從ヒ當時ノ選舉人名簿ニ依リテ再選舉ヲ
 爲スヘシト謂フト雖元來制第十八條末項ノ主意ハ町村會議員選舉ノ當時當選ヲ辭シ若クハ選舉ノ定規ニ違背シタルコトアルカ爲メ選
 第三類 市町村會議員選舉及公民權

舉無効トナリ改選ヲ爲スヘキ場合ヲ規定シタルモノニシテ其選舉ノ事業全ク結了シタル後ニマテ及フヘキニアラス而シテ其一旦結了シタル後ニ至リ改選若クハ臨時補缺選舉ヲ爲ス場合ニハ毎回必ス新ニ選舉人名簿ヲ調製スヘキコトハ同條第一項ニ町村長ハ選舉ヲ行フ毎ニ云々トアルニヨリ明瞭ナリトス故ニ明治二十三年六月申ノ選舉ニ方リテハ制第十八條未項ニヨリ舊名簿ヲ用ユヘキニアラスシテ同條第一項ニ依リ更ニ名簿ヲ調製スヘキモノトス又原告ハ明治二十二年町村制施行ノ當初議員十二名ナルヘキナリトシテ選舉セシメタルハ不當ト云フト雖制第三十一條ニ初メテ議員ヲ選舉スルニ付町村條例ヲ以テ定ムヘキ事項ハ郡長ノ指命スル官吏ニ於テ之ヲ施行ス可シトアルニヨリ舊戶長ノ爲シタル處置ハ之ヲ不當ト謂フヲ得ス依テ被告村長カ明治二十三年六月二十八日ニ爲シタル選舉ハ取消スヘキ限ニアラス

右ノ理由ニ依リ判決スル左ノ如シ

原告ノ請求相立タス 訴訟費用ハ原告ノ負擔トス

八 公民權ノ有無ニ關スル件 明治二十四年六月四日宣告 明治二十四年第四號

原告 鹿兒島縣肝屬 鹿鹿屋村々長 永田翁介 被告 同縣同郡同 村中名士族 吉原彌兵衛

右原告永田翁介ヨリ被告吉原彌兵衛ニ對スル公民權有無ニ關スル訴訟審理ヲ遂ケル處

原告陳述ノ要旨ハ明治二十三年十一月二日日本村々會議員補缺選舉會舉行ニ付被告ニ於テ選舉人名簿ヲ縱覽スルニ被告ノ氏名無之ヲ不當ナリトシ町村制第十八條ニ依リ原告ニ申立テ爲シタルヲ以テ同制第三十七條ニ基キ村會ノ裁決ヲ經テ其裁決書ヲ被告ニ交付セリ然ルニ被告ハ之ニ服セス更ニ本郡々長ニ訴願ヲ爲シタルニ郡長ハ被告ヲ以テ公民權有スルモノト裁決セリ其理由トスル所ハ吉原彌兵衛ハ鹿屋村ノ住民ニシテ地租十圓以上ヲ納メ本村ノ負擔ヲ分任シ吉原彌兵衛ト同居スルモ彌兵衛ニ嗣子ナキヲ以テ該家ヲ補助スルカ爲メニ止テ得ス同居スルモノニシテ彌兵衛トハ經濟ヲ異ニシ獨立ノ生計ヲナスハ本人ノ訴願書及吉原彌兵衛ノ申立ニ依リ明瞭ナリトアルモ被告ノ如キハ幼時父母ヲ失ヒ叔父吉原彌藏ノ家ニ養育ヲ受ケ成長スルニ及シテ今尙同居同炊數十年ノ久シキ未タ嘗テ獨立ノ家業ヲ營ミタルノ證ナク且叔父彌藏ハ年餘五十強地租十一圓餘ヲ納メ家計亦貧ナラス何ゾ彌兵衛ノ補助ヲ要センヤ又郡長カ吉原彌藏ノ申立ニ自分勞トハ常ニ生計ヲ異ニスル旨ヲ以テシタルヲ採用スルモ叔父ノ關係アルモノナレハ其申立ヲ以テ證據ト爲スニ足ラサルナリ故ニ原告ハ其裁決ニ服セスシテ客年十一月二十一日付本縣知事ニ訴願ヲ爲シタルニ知事モ亦被告ノ叔父彌藏ト家計ヲ異ニスルヤ否ハ關係人即チ家主吉原彌藏ノ證明ニ據リテ之ヲ定ムルニ足ルヲ以テ被告ハ公民權有スルモノトセリ抑町村制第七條第二項ノ精神ハ戶主非戶主借家同居ノ別ヲ論セス自己獨立ノ業ヲ營ムモノハ公民權有スルハ明ラカナルモ被告ハ獨立ノ業ヲ營ミタルコトナク且地方稅ノ戶

數割町村稅ノ戶別割等會テ上納セシコトナキモノナルニ其納不納ヲ論セス又其骨肉ノ關係アル吉原彌藏ノ屬書ニ據リテ裁決ヲ爲シタルハ不服ナルヲ以テ町村制第三十七條第三項ニ據リ出訴ヲ爲シタルト云フニ在リ

被告答辯ノ要旨ハ本訴ハ町村制第七條ヨリ原因シ來ルモノニシテ即チ同條ノ要件ヲ具備スルヤ否ノ等ニ外ナラス故ニ第一自己獨立ノ業ヲ營ムヤ否第二一戶ヲ構ヘ居ルヤ否ノ點ニ就テ之ヲ論辯セントス而シテ其第一ノ點ニ就テハ原告ハ戶主非戶主借家同居ノ別ヲ論セス自己獨立ノ業ヲ營ムモノハ公民權有スル義ナルヲ明ナルモ被告ハ生來父母ヲ失ヒ叔父吉原彌藏ノ家ニ養育ヲ受ケ會テ別家獨立ノ業ヲ營ミタル證ナク隨テ地方稅ノ戶數割稅ノ戶別割ヲ分擔セサルカ爲公民權有セサルモノナリト云フモ彼ノ地方稅ナルモノハ一縣ノ縣規ニ屬シ全國一般人民ノ遵守スヘキモノニアラス且毎年縣會ノ議權内ニアルモノニテ一定不動堂々タル法律ヲ左右スルノ効力ナキハ論ヲ待タス之ニ隨從スル村稅ニ於ケルモ尙且然リ原告カ該稅ヲ以テ公民權有無ヲ判定スルハ町村制第七條其町村ノ負擔ヲ分任シ云々トアルヲ以テ其分任ヲ欠ケリト云フニ在ルヘシト雖町村稅ナルモノハ戶別割ノミニ限ラス營業割地價割等モアリテ其地價割ノ如キハ現ニ納メ居レリ且原告ハ被告カ戶數割稅ヲ負擔セシコトナシト云フモ被告ハ明治十三年以來十七年規則ノ改正マテ之ヲ負擔シタルモノニシテ十七年以來負擔セザルハ自カラ負擔セザルニ非スシテ本縣ノ規則カ負擔セザルナリ然ルニ原告ハ尙ホ被告カ同居者ナルヲ以テ自己獨立ノ業ヲ營ム能ハスト云フカ被告ハ明治十九年ニ於テハ本縣ノ茶業組合ノ組長ニ選舉サレ同二十三年ニハ蠶業組合ノ幹事ニ當選シ村內一般ノ公益ヲサヘ計ルモノナリ殊ニ儼然タル一戶主ニシテ地租十圓以上ヲ納メ從來公務ヲ奉シタル履歷モ有之將々妻子ヲ養育シ居リテ其能力ニ欠ケル所ナケレハ原告カ獨立ノ業ヲ營ム能ハスト云フハ無理ナル論點ト云ハサルヲ得ス第二ノ點ニ就テハ原告ハ町村制第七條未項ニ一戶ヲ構ヘ云々トアルヲ其文字ニ拘泥シ別居者ニアラザレバ獨立ノ業アルモノト雖悉ク公民權有セザルモノト云フカ是レ有形上ノ事實ト無形ノ獨立ノ事實アルモノトヲ混同スルモノナリ法律ニ一戶ヲ構ヘト示セルハ同居ト別居トヲ問ハス人ノ支配ヲ受ケス自由ニ生計ヲ營ミ得ルノ能力アルモノト云フノ意ニ外ナラザルヘシ殊更ニ別居タルヲ要スルノ理アラシヤ抑立法者カ自治ノ制度ヲ布キ町村制市制等ノ法律ヲ設ケタルニ當リ舊時ノ族制主義ヲ捨テ一人主義ヲ採用シタルモノナレハ市町村ノ共同事業ニ參與スルコトヲ戶主以外ニ許サハル理ナキハ當然ナレハ苟モ一戶ヲ構ヒ獨立ノ生計ヲ營ムニ足ルヘキ資產アル者ニハ公民權ヲ附與スルニ在リ而シテ一戶ヲ構ヘトハ必モ棟梁床壁ヲ異ニセル有形上ノ事實ヲ云フニ非スシテ別居同居ヲ論セス一家計ヲ立ツルニ足ルヘキ資產有スル即チ無形上ノ一戶ヲ構成スルモノヲ云フナリ而シテ一家計ヲ立ツルニ足ルヘキ資產有スル者ハ皆此資產有スルモノト解セザルヘカラス蓋シ公民タルニ獨立男子タルコトヲ要スルハ身體上ノ資格ニシテ財產上ノ資格ニ非ス其資產上ノ資格ニ至リテハ第七條第一項中ニ規定セル所ナリ約言スレハ第七條第一項ノ財產上ノ資格(獨立シテ經營(身體上ノ資格)スルモノハ國家ノ一成員ト認メ公民權ヲ附與シタルモノナリ被告ハ本家即チ叔父ノ宅ニ養育ヲ受タルモ前陳ノ如ク能力ヲ有スルヲ以テ別居スルハ何レノ時ト雖何ゾ選ハシ然ルニ叔父彌藏夫婦ハ一ノ嗣子ナク且叔母即チ彌藏ノ妻ハ病身ニシテ諸事萬端ヲ五十以上ノ老人ナル叔父一人ニ一任スルハ骨肉ノ間柄見ルニ忍ヒス故ニ彼

第三類 市町村會議員選舉及公民權

等ヲ補助スル爲メ同居スルハ情誼上止テ得サル事實ニシテ被告ハ斷シテ町村制第七條ノ要件ハ具備シ居ルモノト確信スト云フニ在リ

依テ双方ノ陳述ヲ聽キ證據ヲ因シ理由ヲ說明スル左ノ如シ

本件原告被告所争ノ要點ハ被告吉原彌兵衛ハ町村制第七條第二項一戸ヲ構ヘト云ヘル要件ヲ具フルモノナルヤ否ニアリトス而シテ被告ニ於テハ幼ニシテ父母ヲ失ヒタルヨリ其叔父吉原彌藏ノ家ニ在リテ養育ヲ受ケタリシモ成長ノ後其家ニ同居シアルハ叔父吉原彌藏カ一ノ嗣子ナク且彌藏カ妻ハ病身ナルヨリ叔父カ家事ヲ補助スルカ爲メニシテ自己獨立ノ業ヲ營ミ獨立ノ生計ヲ營ムヲ得ルノ能力アルハ被告カ明治十九年以來茶業組合ノ組長及蠶業組合幹事ニ當選シ其他公務ヲ奉シタルト一戸主ニシテ地租十圓以上ヲ納メ來ルヲ以テ知ルヲ得ヘク其戸數割別割ヲ納メサルハ明治十七年以後本縣規則ノ然ラシムル所ナリト云フト雖被告ハ幼時叔父吉原彌藏ノ家ニ於テ養育ヲ受ケタル以來依然同居同炊シ獨立ノ事實ヲ表明スルモノ無之ニ依リ町村制第七條第二項一戸ヲ構ヘタルモノト認ムルヲ得ス故ニ被告ハ公民權ヲ有セサルモノトス

右ノ理由ニ依リ判決スル左ノ如シ

原告村長カ被告ヲ公民權ナシトシタルハ不當ノ處置ニアラストス 訴訟費用ハ被告ノ負擔トス

九 村會議員不當選舉取消ニ關スル件 明治二十四年七月三日宣告
明治二十四年第十號

原告 鹿兒島縣山 地福順助外五 被告 同縣同郡 伊地知季治
郡谷山村總代 同村長

右原告地福順助外五名ヨリ被告伊地知季治ニ對スル村會議員選舉不當ノ訴送管理處

原告陳述ノ要旨ハ去ル明治二十二年四月二十三日二十四日ノ兩日ニ執行シタル谷山村會議員ノ選舉ハ不當ナルモノニシテ第一明治二十二年四月十八日午後第一時元戶長役場用掛山下兼城ハ谷山村大字松崎百四十一番戶是枝助太郎宅ニ出張ノ上同所住川島淺右衛門ヲ招集シ職員選舉ノ事ニ干渉シタルハ服務紀律ヲ犯シ職務時間ニ職役ヲ離レタルノミナラス自由投票ノ權利ヲ抑壓スルモノナリ然ルヲ被告ハ伊地知季治山下兼城伊集院兼才是枝助太郎カ提出シタル書面ニ依リテ選舉ノ事ニ干渉セサルハ明瞭ナリト云フト伊地知ハ當時本會ノ掛長山下ハ分會ノ掛長ニシテ其後伊地知ハ村長ニ山下是枝ハ職員トナリ伊集院ハ當時其不正ヲ唱ヒ訴願ヲ首唱セシモノナレトモ訴願中有給助役ニ選舉セラレタル爲メ訴願ノ連名ヲ脱シタルモノナレハ是等四名ノ書面ハ證ト爲スニ足ラス第二谷山村大字上福元字山毛方限濱田新兵衛ナルモノハ選舉人ノ依頼ナキニ投票用紙ニ選舉人名ヲ記載封緘ノ上選舉人入佐直兵衛ハ差出シタルヲ以テ直兵衛ハ其儘返付シ他ヲ開合タルニ同様ノ所爲アリタルハ鳥越十藏ナルモノカ受納ノ儘選舉場へ差出サスシテ控置タル投票ニ直兵衛ヨリ

證明書相添差出タルモノ及永里藤左衛門外四名ノ證明及鹽屋住岩崎英助外二人カ郡長へ差出タル上申書其他ニ依リテ明カナル者ニテ且之ヲ開封スレハ五圓ノ罰金ヲ徵收セラレヘント云ヘタルハ増田宇右衛門ヨリ差出タル證明書ニ依リ證スルニ足レリ然ルニ被告ハ投票用紙配付簿ニ選舉人各自カ領收ノ押印ヲ爲シタルヲ以テ右等ノ事ナキハ明カナリト云フト上福元餘方限及鹽屋ノ如キハ選舉會三日以前ニ配付簿ヲ各選舉人ニ示シ捺印致サセ現票ノ開會ノ當日被選人ヲ明記シ封緘ノ上相渡至急會場へ投票可致旨嚴達シタルハ相違ナキ事實ナリトス第三選舉ノ當時選舉用紙ヲ濫用シタル事實アリ則チ谷山村大字五ヶ別府駒走次右衛門其他ノ者ハ元來無筆ナルヲ以テ被選人名記載方依頼ノ爲メ元中村瀬戶口喜左衛門方へ相越タルニ同所永井慶藏等喜左衛門ノ家ニ在リ記名依頼ノ用紙ハ其儘差置豫メ封緘シタルモノト引換ヘテ以テ選舉會場へ差出スヘキ旨ヲ示シタルト元下福元村ノ内選舉人川村助八中窪仙兵衛外數名カ川野豊武へ代筆ヲ依頼シテ投票ヲ製シタル後小倉重敬ナル者來リ此投票ヲ差出スハ不都合ナルニ付書改ムヘシトテ自身ニ所持シタル投票用紙ニ記シ替ヘタルコト是レナリ第四谷山村大字松崎居住緒方辰五郎カ選舉會場ニ出頭ノ途中同所黒木長左衛門ハ種々ノ口實ヲ述ヘ自身所持ノ投票用紙ハ隨意ニ被選人名ヲ記載封緘シタルモノナリ辰五郎ハ練習渡シタル事實ハ是枝權藏ヨリ差出タル證明書ニ依リテ明瞭ナリ第五選舉掛定員中出頭前或ハ不在中ニ選舉事務ヲ執行セシハ訴願ノ際村會へ差出シタル松田實徳是枝長左衛門ノ證明書ニ在ル如クニシテ同制第二十條ニ違背シタルモノナリ第六無資格者選舉場ニ立入ルハ町村制第二十一條ノ禁スル所ナルニ無資格者ニテ立入りタルモノアリ又無資格者ニテ選舉事務ヲ取扱ヒタルアリ而シテ被告ニ於テハ當時ノ用掛古垣與右衛門丸丸半左衛門ノ兩名カ選舉會場ニ入りタルモ此兩名ハ公民權ヲ有スルモノナリト云フト兩名ハ本會區域内ノ選舉人ナルカ故ニ分會選舉場中ニ入ルヲ得サルモノトス右ノ通ナルニ依リ該選舉ノ取消ヲ要求スト云フトニ在リ

被告答辯ノ要旨ハ原告ニ於テ第一村吏カ服務事項ニ職役ヲ離レ選舉ノ事ニ關シ威權ヲ弄シテ選舉ヲ行ハシメタリト云フトモ是等ノ事ナキハ村會裁決書中伊地知季治山下兼城伊集院兼才是枝助太郎カ提出ニ係ル書面ニ明ラカナリ第二世話人カ被選人名ヲ記載シタル封緘ノ投票ヲ選舉人ニ配付シタルト云フトモ現ニ被告カ保管ニ係ル投票用紙配付簿ニ選舉人各自カ投票用紙受領ノ押印ヲ爲シタルニ依リテ明カナルノミナラス村會裁決書中長倉友之丞竹下胤典等カ提出ニ係ル書面及選舉人各自カ現ニ自ラ選舉場ニ出頭投票シタルニ依リテモ明白ナリトス第三投票用紙ヲ濫用シタルト云フトモ一人一枚ノ外配付シタルコトナク其證ハ一人一票ノ外投票シタルモノナキヲ以テ知ルヲ得ヘシ第四黒木長左衛門ハ緒方辰五郎カ選舉會場ニ出頭ノ途中待受ケ自己所持ノ用紙ヲ以テ取替ヘタリト云フト雖モ其事實ハ一時貸借シタルモ其儘返付シタリト云フトモ止マリ暴行脅迫他ノ權利ヲ妨ケタルニアラス其詳細ハ村會裁決書中黒木長左衛門等カ提出ニ係ル書面ニ依リテ明カナルノミナラス緒方辰五郎カ投票ヲ松元直八等カ脅迫シテ改書シタリトモ選舉掛定員出頭前或ハ不在中事務ヲ執行シタル云フトモ斯ノ如キノ事アリトモ原告總代ナル松田實徳是枝長左衛門ハ當時選舉掛リトシテ列席シタル者ナルニ其當時カ異議ヲ申立スシテ選舉終了後數月ノ後ニ申立ヲ爲スヲ以テモ其事實ニ反スルヲ知ルヲ得ヘシ第六選舉場ニ無資格者立入タリト云フトハ是枝長左衛門

第三類 市町村會議員選舉及公民權

門ヨリ提出シタル書面ニ依リタルハシ然トモ是亦選舉終了後數箇月ノ數ニ於テ爲シタルモノニシテ是枝長左衛門ハ選舉掛ノ位置ニアリナカラ當時何等ノ異議ヲモ申立サルノミナラス選舉録ニ署名調印シタルモノナリ假ニ原告ノ言フ如ク當時ノ用掛タル古垣與右衛門外一人カ分會場ニ立入りタルモノトスルモ他人等ハ公民權ヲ有スルモノナレハ當時選舉ノ効力ニ効碍ヲ及ボサルモノトス故ニ明治十二年四月二十三日二十四日ノ兩日ニ執行シタル谷山村會議員ノ選舉ハ正當ニシテ取消スヘキモノニアラスト云フニ在リ

依テ各證據ヲ閱シ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ

原告ニ於テ戸長役場員カ職務時間ニ職役ヲ離レ人民ヲ召集シテ村會議員選舉ノ事ニ干渉シ又投票用紙被選人名ヲ記載シテ封緘ノ上配付シ又投票用紙ヲ濫用シ及選舉會場ニ出頭ノ途中他人ノ投票ヲ改書シタル等ノ申立ハ其實質明確ナラサルノミナラス各選舉人ニ於テ規定ニ從ヒ自身ニ投票ヲシタル上ハ其選舉ハ無効ナリト謂フチ得ス其他原告ハ選舉掛定員中闕席ノ者アルニ拘ハラズ選舉事務ヲ執行シ又ハ無資格者カ選舉會場ニ立入りタルト云フモ選舉掛定員中一時闕席シタルモノアルヲ以テ其選舉ヲ取消チ得ヘキモノニアラス又其無資格者カ選舉場ニ入りタルト申立ハ其證トナスモノナク且古垣與右衛門外一人カ分會選舉場ニアリシコトハ原告雙方ノ認ムルトコロナルモ右兩人ハ選舉權ヲ有スルモノナルニ依リ町村制第二十一條ニ背キタリト謂フチ得サルモノトス其他原告雙方ノ認ムルトコロアリト雖緊要ナラサルヲ以テ一之カ説明ヲ與ヘス

右ノ理由ニ依リ判決スル左ノ如シ

本件谷山村會議員ハ取消チ得サルモノトス 訴訟費用ハ原告ノ負擔トス

十 收入役選舉權ノ有無ニ關スル件 明治二十四年九月二十五日宣告 明治二十四年第二十九號

原告 長野縣北佐久 秋山清作 被告 同縣同郡 遠藤善九郎
 郡岩村田町農 同町長

右原告秋山清作ヨリ被告岩村田町長遠藤善九郎ニ對スル公民權ノ有無ニ附知事ノ裁決ヲ不當トスル訴訟審理ヲ遂ケル處原告陳述ノ要旨ハ長野縣知事ハ町村制第六十二條第三項ノ規定ニ第五十六條第二項ヲ適用ストアリ第六十二條第三項中ニ第五十六條第二項中但書ヲ適用セストノ法文ナキヲ以テ第五十六條第二項但書トモ收入役ニ適用シ町村會議員ノ選舉ニ參與スルノ權アルモノト云フト雖モ第五十六條第二項中但書ハ收入役ニ適用スヘキ者ニアラス何トナレハ收入役ハ町村長ノ推薦ヨリ成立シ町村會力之ヲ選任スルモノニシテ收入役ニ對シテハ町村制中選任トノミ明記シアリ第五十六條第二項中但書ニハ當選トノミアリテ選任ノ文字ナシ若シ但書ヲ適用スヘキナリトセハ當選及選任ニ應シ認可チ得ルルハ其公民權ノ權利ヲ得トノ明文ナカルヘカラス故ニ假令ニ第六十二條第三項ニ第五十六條第二項中但書ヲ適用セスト明記セスト雖モ但書中選任ノ文字ナキヲ以テ之ヲ收入役ニ適用スヘカラスハ明

カナリ又第五十六條第二項中但書ニ云ヘル公民ノ權利トハ有給町村長及ヒ有給助役ニノミ適用スヘキモノナリ而シテ此公民ノ權利ハ町村制第七條ノ所謂公民權ナルモノト異ナリ假令町村長助役ト雖モ第十二條ノ本文ニ云ヘル選舉權ヲ許シタルモノニアラス町村長ハ其町村ヲ統轄シ其行政事務ヲ擔任スルカ爲メ唯其地位ヲ重ク高カラシムルカ爲メ公民ト云フ權利ノ名義ノミヲ許シタルモノニシテ第十二條ニ云ヘル選舉ニ參與スルノ權利ヲ得有シタルモノニアラス又助役ニ町村長ト同シキ權利ヲ許シタル理由ハ町村長ノ故障アルトキハ其代理ヲ爲スカ故ナリ以上述ル如ク町村長助役スラスノ如シ然ルニ町村制中年齡ニモ制限ナク幾歲ノ兒童タリトモ町村會カ選任サヘスレハ差支ヘモナキコトニ法律ハ之ヲ收入役ニ許シ置ケリ然ルニ貴重ナル公民權ヲ許シタルモノト解釋チ下不ハ適法ノ精神ニアラス故ニ長野縣知事ノ裁決ハ不當ノ裁決ナルヲ以テ本町收入役阿部龜助チ本町會議員選舉人名簿中ヨリ除名セラレシコトヲ請求スト云フニ在リ

被告答辯ノ要旨ハ被告ハ町村制第六十二條第三項ニ「收入役ハ町村長及助役ヲ兼ヌルコトヲ得ス其第五十六條第二項(中略)ヲ適用ス其第五十六條第二項ニハ「有給町村長及有給助役ハ其町村公民タル者ニ限ラス但當選ニ應シ認可チ得ルコトキハ其公民タルノ權ヲ得」トアリ依テ本町收入役阿部龜助ハ公民權ヲ得有シタルモノトシ選舉人名簿ニ登載シタルナリ然ルニ原告ニ於テハ收入役ハ選任トノミ明記アリテ當選トノ文字ナシ若シ但書ヲモ適用スヘキモノナレハ當選及選任ニ應シ云々トアルヘキナリト謂フト雖モ本條ハ町村長助役チ主トセシモノナレハ無論選任ノ文字チ用ユルノ要ナシ而シテ收入役ニハ第六十二條第三項ニ依リ本條ヲ適用スルニ至レルモノナリ尤モ當選ト選任トハ自他ノ別アルノミ一ハ町村長ノ推薦ニヨリ町村會之ヲ選任シ一ハ町村會ニ於テ公票ヲ以テ選任スルモノニシテ何レモ高點者トナリタルトキハ當選ト云ハシテ何レモ若シ之カ但書ヲ適用セサルモノナレハ本項ハ本文ノミヲ適用ストアルヘキナリ又原告ハ町村長助役ト雖モ町村制第十二條ノ本文ニ云ヘル選舉權ヲ許シタルモノニアラス唯其位置ヲ重ク高カラシムルカ爲メ公民ノ權利ノ名義ノミヲ許シタル云々ト謂フト雖モ公民權ハ固ヨリ空位ニシテ行使スルコトヲ得サルモノニアラスナルヲ以テ議員選舉ニ參與スルコトヲ得スト云フチ得ス故ニ以上陳述ノ理由ニ依リ被告カ阿部龜助チ町會議員選舉人名簿ニ登載セシハ適法ナリト云フニ在リ

依テ雙方ノ陳述ヲ聽キ說明スル左ノ如シ

原告陳述ノ要點ハ町村制第五十六條第二項中但書ノ規定ハ之ヲ收入役ニ適用スヘキモノニアラス又假令ヒ有給町村長有給助役收入役等公民權ヲ有スルモノトナスモ町村制第十二條ノ選舉權ヲ有スルモノニアラスト云フニ在リト雖モ町村制第六十二條第三項ノ規定中單ニ第五十六條第二項ヲ適用ストアリテ其但書ヲ適用セストノ明文ナキノミナラス當選ト云ヒ選任ト云フモ其意義ニ異ナルトコロナシ又原告ハ第五十六條第二項ノ所謂公民權ナルモノハ町村制第七條ノ要件ヲ具備シタル普通公民權ト異ナルモノナリト主張スルモ町村制中二種ノ公民權アルヘキノ理由ナク隨テ町村制第五十六條第二項ニ依リ公民權ヲ得タル收入役ハ同法第十二條ニ規定シタル選舉權ヲ有スルモノト爲サルチ得ス故ニ被告ニ於テ收入役阿部龜助チ町會議員選舉人名簿ニ登載シタルハ之ヲ不當ナリト謂フチ

第三類 市町村會議員選舉及公民權

得ス
右ノ理由ニ依リ判決スル左ノ如シ
原告ノ請求相立タス 訴訟入費ハ原告ノ負擔トス

十一 助役退職公民権停止ニ關スル件 明治二十四年十月一日宣告
明治二十四年第三十號

原告 山梨縣北巨摩郡駒井村 古澤明雄 被告 同縣同郡 小澤喜左衛門
下條村組合村會議長 同村農

右原告組合村會議長古澤明雄ヨリ被告小澤喜左衛門ニ對スル組合村助役退職願ニ關スル處分ニ付知事ノ裁決ヲ不當トスルノ訴訟管理
ヲ遂クル處
原告陳述ノ要旨ハ下條村小澤喜左衛門カ明治二十二年八月申駒井村下條村組合村會ニ於テ同組合助役ニ選舉セラレ爾來就職昨廿三年
十二月ニ至リ病氣ノ趣ヲ以テ助役ノ職ヲ辭セリ當時村長志村喜三郎ハ本年一月八日ヲ以テ退職理由ノ當否ヲ村會ニ付セリ村會ニ於テ
ハ同人カ退職ノ理由トスル所ハ疾病職ニ堪ヘスト云フト雖其疾病ハ事實職ニ堪ヘサルモノト認メ難キヲ以テ村會ハ町村制第八條第三
項ヲ適用シ四箇年間公民権ヲ停止シ同年期間其負擔スヘキ村稅八分ノ一ヲ増課スルノ處分ヲ爲セリ然レニ被告ハ之ニ服セスシテ同月
十二日本郡長ニ訴願シタルニ郡長ハ其訴願ヲ理由アルモノト爲シ同人ノ辭職ニ對スル村會ノ議決ヲ取消シタリ村會ハ之ニ服セス四月
十五日ヲ以テ別紙第一號ノ訴願書ヲ本縣知事ニ提出シ五月四日別紙第二號ヲ以テ訴願ノ追申ヲ爲シタルニ同月二十三日別紙第三號ノ
如ク北巨摩郡長カ小澤喜左衛門ノ訴願ニ對シ駒井村下條村組合村會議決ヲ取消ストノ裁決ヲ與ヘタルハ正當ニシテ取消スヘキ限リニ
アラスト裁決セリ然レトモ本會ハ該裁決ニ服スル能ハス其理由ハ被告カ辭職願ニ依レハ適々瘡毒病ニ罹リ既ニ二十三年五月末ヨリ該
病ヲ發シ同年九月頃ニ至リ治癒致シ候得共云々トアリ然レニ同人ハ昨年六月十七日付ヲ以テ北巨摩郡役所ニ諸卸賣ノ鑑札ヲ願ヒ同年
六月ヨリ八月マテ三箇月間ハ役場ヘ缺勤ノ事由ヲ告ケ爾後買ヲ以テ行商シタリ其實ハ別紙第二號訴願書追申書ニ付屬シタル前村長
志村喜三郎ノ回答書及別紙第四號北巨摩郡長ノ證明書ニ依リ明カナリ是レニ由テ之ヲ觀レハ同人カ辭職ノ理由トスル疾病ハ真正ノ疾
病ニアラサルコト多言ヲ要セサルナリ何トナレハ同人ハ五月末ニ辭職病ヲ發シ同年九月ニ至リ治癒シタリト云フト雖其發病ノ翌六
月十七日ヲ以テ諸卸賣ノ鑑札ヲ受ケ爾來專ラ爾仲買商ノ爲メニ諸方ニ奔走セリ而シテ其奔走ノ勞苦ハ壯健ノ者ニアラスハ堪ヘサル
所ナリ故ニ其疾病ヲ以テ真正ノ疾病ナリト認ムルヲ得又被告カ最初辭職願ニ醫師ノ診斷書ヲ添付シ能ハサル理由ハ同人ハ辭職ヲ爲
スニ當リ醫師ニ付職務ニ堪ヘサルノ診斷書ヲ請求シタルモ之ヲ拒絕セラレ止メテ得ス辭職願ノ提出セリト聞ク然レニ被告ハ當時醫
師平賀良菴他行中ナルヲ以テ診斷書ハ道テ添付スル旨村長志村喜三郎ニ告知シ置キタリト云ヒ又本年一月九日診斷書ヲ携帶シ志村喜

三郎ニ面會シテ診斷書ノ添付ヲ申請シタリト陳述スルモ志村喜三郎ノ回答書ニ依テ見レハ其告知及診斷書ノ添付ヲ申請シタリト云フ
ハ無根ノ事ナリ而シテ醫師平賀良菴ハ當時在宅ニシテ他行シタルコトナキハ別紙第六號復命書ニ依リ明カナリ又平賀良菴ノ診斷書ニ
今後醫藥ハ勿論該病ニ効驗アル鑛泉ニ充分浴スルニ非レハ治癒シ難シトアリ然レニ同人ハ辭職ノ前後更ニ鑛泉ニ浴シタルコトナシ又
其後醫藥ヲ加ヘタルコトナキモ目下壯健ニシテ勞動ノ役ニ從事スルモ更ニ差支ナキハ衆目ノ保證スルトコロナリ故ニ醫師平賀良菴ノ
診斷書ハ正當ナル診斷書ニ非ラス以上陳述ノ理由ニ依リ本會カ被告ノ辭職ニ對シ公民権停止及村稅増課ノ處分ヲ爲シタルハ決シテ不
當ニアラサルモノト確信ス依テ縣知事ノ下シタル裁決ヲ取消サレシコトヲ請求スト云フニ在リ
被告答辯ノ要旨ハ原告ハ志村喜三郎ノ回答及別紙第四號ノ二證ヲ提供シ被告ハ梅毒ニ罹レリト稱シナカラ爾仲買ヲ爲シタルハ其疾病
ノ職務ニ堪ヘサル程ノモノニ非サルヲ證スト云フト雖被告ノ爾仲買ヲ爲シタルハ六月中旬以後七月マテニシテ疾病ノ再發ハ五月中ナ
リトノ事實ヲ照比セハ此ノ訴旨ノ充分ナラサルコト明カナリ何トナレハ梅毒病ノ如キハ日夜間斷ナク苦惱スルモノニ非ラスシテ一日
若クハ數日ノ間癢モ苦痛ヲ感セサル如キトモアリテ其間ニハ或職業ヲ爲スコトヲ得ル者ナレハナリ而シテ被告ハ原告カ云フ如ク壯健
ノ者ニ非サレハ堪ヘサル程ノ奔走シテ仲買ヲ營ミタルニアラス加之被告カ退職願出タルハ遠ク十二月末ニアリ故ニ原告云フ如ク果
シテ六月頃ニハ疾病ニ非サリシトスルモ其際ノ疾病ヨリ推測シテ其後殆ト半年ヲ經過シタル十二月頃ニモ亦職務ニ堪ヘサル程ノ疾
病ニ非ストシタル原告ノ決定ハ毫モ憑據ナキ漫然タル推測ナリ又原告提出ノ志村喜三郎ノ復命書ノ如キハ志村喜三郎ノ當時ノ村長ナ
リシヲ以テ原告ト利害ヲ共ニスルモノナレハ其證言タルハ完全ノ効力ナク又別紙第六號ニハ數多ノ證言アリト雖何レモ醫師ノ同居者
ニモ非サル他人カ其在不在ヲ證言スルモノナレハ何等ノ信憑力ナシ依テ原告ノ訴訟ハ棄却セラレタリト云フニ在リ
依テ雙方ノ陳述ヲ聽キ理由ヲ說明スル左ノ如シ

原告陳述ノ要旨ハ被告カ其辭職願出ヲ爲スノ當時醫師ノ診斷書ヲ添付セス又被告ノ疾病ハ事實職ニ堪ヘサルモノト認メ難キヲ以テ村
會ニ於テ町村制第八條第三項ノ處分ヲ爲シタルハ決シテ不當ノ處分ニ非ラスト云フニ在レハ凡ソ町村ノ名譽職ニ選舉セラレタル者ニ
シテ町村制第八條第二項ノ理由ニ依リ其職ヲ辭セントスルトキ其理由ノ當否ヲ町村會ノ議ニ付スルトキハ該議會ニ於テハ辭職願ニ
醫師ノ診斷書ヲ添付シタルト否トニ拘ラス宜シク先ツ其事實ノ有無及其疾病ノ輕重等ヲ充分調査セサル可ラス而シテ假令疾病ノ實ア
ルモ實際公務ニ堪ヘサルノ疾病ニアラス隨テ辭職ノ理由ナキモノト議決スルニ當テハ其職ヲ辭セントスル者ハ事實職ニ堪ヘサルモノ
ナリト確認シ得キ證據ナカル可ラス何トナレハ疾病ハ固ト名譽職ヲ退クコトヲ得ルノ一理由ナレハナリ然レニ原告ハ被告カ其辭職
ノ數月前ニ爾仲買營業ヲ爲シタルヲ以テ被告ノ疾病ハ公務ニ堪ヘサル程ノ疾病ニアラス又被告カ郡長ニ差出シタル醫師ノ診斷書ニ今
後醫藥ハ勿論該病ニ効驗アル鑛泉ニ浴スルニ非サレハ治癒シ難シトアルニモ拘ハラズ被告ハ其辭職ノ前後更ニ鑛泉ニ浴シタルコトナ
キヲ以テ見レハ醫師平賀良菴ノ診斷書ハ正當ナルモノニ非ラスト謂フト雖被告カ爾仲買ノ營業ヲ爲シタルコトアルヲ以テ其疾病ハ公
務ニ堪ヘサルモノト認ムルヲ得又假令被告カ鑛泉ニ浴シタルコトナシトスルモ之ヲ以テ醫師ノ診斷書ノ正當ナラサルノ證ト爲スチ得

第三類 市町村會議員選舉及公民権

十六
ス故ニ醫師平賀良菴ノ診斷書ハ正當ニシテ被告ノ疾病ハ事實職務ニ堪サルモノト認メサルヲ得サルヲ以テ村會ニ於テ爲シタル議決ハ事實ヲ誤認シタルモノト謂ハサルヲ得ス
右ノ理由ニ依リ判決スル左ノ如シ
原告ノ請求相立タス 訴訟費用ハ原告ノ負擔トス

十一 村會議員選舉取消ニ關スル妨訴抗辯 明治二十四年十二月廿六日宣告
明治二十四年第四十三號

原告 千葉縣武射 郡陸岡村農 鎗木德太郎外八名
被告 同縣同郡同 村會議員 富谷啓藏

右原告鎗木德太郎外八名ヨリ被告富谷啓藏ニ掛ル村會議員選舉取消ニ關スル訴ニ對シ被告代理人ハ妨訴ノ抗辯ヲナシタリ依テ之ヲ審理スルニ
被告代理人抗辯ノ要旨ハ富谷啓藏ハ本訴選舉會ニ際シ陸岡村助役タリシカ村長事故アルカ爲メ其ノ代理ヲ爲シタルモ明治二十四年四月十八日ヲ以テ陸岡村會議員助役ノ任ヲ辭シ其後原告ガ訴訟ヲ提起シタル當時即チ本年八月十三日ニアリテハ毫モ村會助役ノ職務ニハ關係セザリシナリ又原告ハ訴願ノ裁決ヲナシタル村會議員長ヲ相手取ルトセシカ富谷啓藏ハ原告ノ論旨ヲ賛成シ該選舉ハ有効トナシタルニ不服者鎗木日總ヨリ郡參事會ニ訴願シタルモノニシテ原告ニ利益アル説ヲ取リタルモノヲ被告ト爲スノ理ナシ又富谷啓藏ハ現今村長ノ職ヲ奉スルモノ元來本件訴狀記載ノ月日ハ富谷啓藏カ村長トシテ生レサル以前ニ係レリ而シテ其對手人ヲ追テ訂正セシト云フモ矢張村會議員長ト記シテハ到底被告ヲ誤ルモノト云フヘシ然ルチ今又陸岡村長ト訂正セシト云フモ準備書面ノ對手人ヲ誤ル如キハ訂正ヲ許スヘキ者ニアラス故ニ本訴ハ排斥セラレテ云フニアリ
原告代理人反駁ノ要旨ハ本訴ハ陸岡村長富谷啓藏ヲ對手人ト爲スヘキチ村會議員長富谷啓藏ト爲シタルハ誤リナレハ之方訂正ヲ乞フカ爲メ其願書ヲ今茲ニ携帶セリ開廷前ニ呈出スヘキニ其時間ナカリシナリ被告訴狀記載ノ月日即チ八月十三日ハ被告代理人ノ言フ如ク富谷啓藏ハ元無役タリシモ訂正ナシタル際ハ既ニ被告ハ村長ニ就職シタル時ナリ全株本訴ハ陸岡村ノ代表者タル法人ヲ相手取ルモノナレハ當時富谷啓藏ハ無役中ナリトモ就職ノ今日ニ於テハ被告ノ位置ニ立ツヘキチ相當トス被告ハ對手人ヲ改訂スルヲ得スト云フモ民事訴訟法第九十六條第一項ニ依リテハ差支アルヲ視ヌ又町村制第三十九條ニ依リテ村長村會議員ハ一身分任ナレハ之ヲ訂正スレトモ訴ノ原因ヲ變更シタルモノニアラス若又訂正願ヲ開屆ラレサルニ於テハ村長ヲ參加セシメラレテ訂正ヲ請フト云フニアリ
依テ双方ノ辯論ヲ聽キ理由ヲ說明スルコト左ノ如シ
本件ハ明治二十四年三月十三日陸岡村會議員補缺及増員選舉ニ起因スルモノナレハ當時ノ選舉掛長即チ村長ヲ對手人ト爲スチ相當ナリトス而ルニ本訴々狀送達前ニ於テ當時ノ村長ハ已ニ退職シ富谷啓藏就職シテ其職務ヲ繼承シタルモノナレハ富谷啓藏ハ被告タルノ責務ナシト云フ可ラス故ニ原告ガ訴狀訂正ノ申立ニ對シ被告ハ異議ヲ述フルコトヲ得ス
右ノ理由ニ依リ判決スルコト左ノ如シ
被告ノ妨訴抗辯ハ相立タス 此裁判ニ關スル訴訟費用ハ被告ノ負擔トス

十三 町會議員選舉取消ニ關スル件 明治二十五年三月十九日宣告
明治二十四年第七十二號

原告 千葉縣長柄 郡茂原町 白鳥斧藏外三名
被告 同縣同郡 泉澤金六

右原告白鳥斧藏外三名ヨリ被告千葉縣長柄郡茂原町長泉澤金六ニ係ル違法選舉取消ノ訴審理ヲ遂クル處
原告請求ノ要旨ハ明治二十四年六月三日ニ執行シタル茂原町會議員補缺選舉ハ法律ニ違背スルモノナリ抑町村會議員選舉スル場合ニハ町村制第十九條第一項ニ基キ選舉當日ヨリ七日前ニ其旨ヲ公告スヘキ旨ナルニ茂原町長カ二十四年六月三日ニ於テ執行スヘキ選舉ノ事ヲ五月二十八日ニ公告セシハ該公告日數ヲ短縮シ選舉人タル原告人等カ法律ニ依リ得タル權利ヲ減殺スルモノニシテ違法ノ所爲ナリ而シテ其果シテ短縮ノ事實アリヤ否ヤヲ判明スルニハ選舉開會ノ公告ハ五月二十七日ナルヲ將タ同月二十八日ナルヤヲ慥カムルヲ必要トス然ルニ縣參事會カ此點ニ對シ町村ノ事務ハ渾テ町長ノ擔任管掌スヘキモノニシテ町村役場ノ書記ハ町村長ノ指揮命令ニ從ヒ職務ニ服スルニ過サルモノナレハ公告書ノ如キモ書記ヲシテ淨寫セシムルト否トハ町村長ノ隨意ナルヲ以テ單ニ書記カ淨寫セサルノ故ヲ以テ其公告ヲ虛構ナリト爲スヲ得サルハ勿論當時揭示場ニ貼付セシ公告書ニシテ現今町役場ニ保存スルモノニ徵スルモ五月二十七日ニ於テ公告シタルモノト認メ得ヘシトノ裁決ヲ與ヘラレタルハ原告人等カ最モ服從スル能ハサル所ナリ如何トナレハ縣參事會裁決ノ如ク縣郡各々主宰アリテ一縣ノ事務ハ凡テ縣知事一郡ノ事務ハ郡長市町村ノ事務ハ市町村長カ統督スヘキハ勿論ナレトモ細大ノ事務ヲ舉ケテ縣知事郡長市町村長一人ニ於テ處辨シ能ハサルコトハ事實ニ徵シ明白ナルコトニシテ現ニ縣郡各々於テハ部課ノ設ケアリテ部課長各部ノ事務ヲ分擔管掌スルニアラサヤ町役場ノ如キハ縣郡各々於テハ其事務ノ範圍モ縣郡各々於テハ大ナラサルヲ以テ部課ノ設ケナキニモセヨ町村ノ事務ヲ實際ニ町村長一人ニ於テ處辨スルコト能ハサルハ各町村役場共ニ事務ノ必要ニ應スル丈ケノ書記ヲ置キ租稅兵役學事庶務等ノ如キ各事務ヲ分任セシムルニ非サヤ本訴公告書ノ如キモ役場書記ニ於テハ更ニ知ルモノナキモ町長ニ於テ其手續ヲ爲シタリト云ヘハ表面上敢テ非難スヘキ處ナキカ如シト雖モ實際上ヨリ視レハ役場全體ノ書記ハ毫モ預リ知ラスト云フニ獨リ町長ニ於テ其手續ヲ爲シタリト云ヘハ甚々怪訝ニ堪ヘサル所ナリ然ルニ縣參事會ハ此點ニ對シ深ク審案ヲ試ミス且前掲說明中當時揭示場ニ貼付セシ公告書ニシテ現今町役場ニ保存スルモノニ徵スルモ五月二十七日ニ於テ公告シタルモノト

第三類 市町村會議員選舉及公民權

認得ヘシトアレトモ原告人等ヨリ云ヘハ公告文原書ノ如キハ町長ニ於テ後日何時ニモ自由ニ作爲シ得ヘキモノナレハ單ニ原書ノ役場ニ現存スルノミチ以テ實際公告シタルモノト認得サルハ勿論若シ被告ノ主張スルカ如ク五月二十七日ニ於テ公告ヲ爲シ附屬第四號證ハ町長ノ計ヒニテ選舉人ノ注意マテニ發シタルモノトセハ公告ハ爲シ置キタルモ尙ホ念ノ爲メ若クハ注意ノ爲メ云々トアルカテ原告人等ノ要求ヲ却ケタルハ甚不當ナリト思料スルニ依リ明治二十四年六月三日千葉縣長柄郡茂原町役場ニ於テ執行シタル茂原町會議員補欠選舉ハ其手續ニ於テ法律ニ違背スル所アルヲ以テ全部ヲ取消シ更ニ選舉ノ手續ヲ致スヘキ様判決アラントテ請フト謂フニ在リ

被告答辯ノ要旨ハ本案茂原町會議員補欠選舉ハ明治二十四年六月三日ニ執行シタルモノニテ其手續ハ町村制第十九條第一項ニ基キ選舉執行當日ヨリ七日前即チ明治二十四年五月二十七日ヲ以テ六月三日ニ選舉ヲ執行スヘキ旨ヲ茂原町役場ニ公告シ尙ホ一般ニ周知セシメンカ爲メ其翌二十八日各選舉人ニ向ヒ通知書ヲ發シタル故ニ公告ハ二十七日ニ爲サレタルモノナルニ原告人等ハ唯々後日ニ選舉ヲ取消サントノ一念ヨリ被告カ親切ニモ五月二十八日ニ通知書ヲ發シタル奇貨トシ町村制第十九條第一項ニ違背シタル不法ノ選舉ナリト云フト雖モ悉ク證據ナキ虛構ノ陳述ナリトス抑五月二十七日ニ揭示シタル公告文ハ被告自ラ之ヲ認メ役場小使ヲシテ茂原町揭示場ニ揭示セシメタルモノナリ然ルニ原告人等ハ此公告文ヲ役場書記ニ淨書セシメ又五月二十八日ニ發シタル通知書ノ文牒ニ就テ訛ヲ爲スト雖モ是實原告人等ノ理由ニ窮シタルヲ知ルニ足ルモノナレハ深ク述フルヲ要セス原告等ノ訴訟ハ不當ニ付棄却ノ判決アラントテ請フト謂フニ在リ

依テ雙方ノ辯論ヲ聽キ證據書類ヲ檢閱シ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ

原告ニ於テハ被告ノ明治二十四年五月二十八日ニ發シタル通知書ヲ以テ公告文ト爲シ同月二十七日付揭示書ハ町村役場書記ノ關係ナク後日被告カ自由ニ作爲シ得ヘキモノナレハ原告人等カ法律ニ依リ得タル權利ヲ滅殺シタルモノナリト云フト雖モ其公告文ノ原稿及清書トモ被告ノ自筆ナルモ固ヨリ其職務上ノ行爲ナルニ由リ單ニ町役場書記カ之ニ關係セサルノ故ノミチ以テ被告カ後日自由ニ作爲シタルノ證作ト爲スニ足ラス依テ町村制第十九條ノ期限ニ違背シ原告ノ權利ヲ滅殺シタルモノト言フヘカラス其他原被告雙方論辯スル所アリト雖トモ緊要ニアラサルヲ以テ之レカ說明ヲ與ヘス

右ノ理由ニヨリ判決スルコト左ノ如シ

原告ノ請求相立タス 訴訟費用ハ原告ノ負擔トス

十四 市會議員退職公民權停止取消ニ關スル件

明治二十五年三月二十八日宣告
明治二十四年第四十九號

原告 富山縣高 室谷省介 外十
岡市農 被告 同縣同市 正村兵太郎
會議員長

右原告室谷省介外十名訴訟代理人森繁ヨリ被告正村兵太郎ニ對スル公民權停止不當ノ議決取消請求ノ訴訟審理ヲ遂クル處原告請求ノ要旨ハ明治二十四年二月七日高岡市會開會中他ノ議員ハ法律ノ正當ナル見解ヲ須井シテ原告等ノ正理派ニ對シ異見ヲ主張シ多數ヲ以テ之ヲ壓抑セントスルニ由リ尙議員ノ職ニ在ラン乎終ニ其本分ヲ全フサル能ハサルヨリ憤慨ノ情禁スルヲ得ス同日原告等運籌ノ辭表ヲ提出シタルモ其趣意タル甲第二號第三號第四號證ノ如ク固ヨリ議員ノ本分ヲ輕ンスルニアラス市長選舉ニ付法律ノ見解ヲ異ニスルヲ以テ違法ノ選舉投票ニ與カルヲ欲セザルニ在ルナ高岡市會ハ甲第一號證ノ如ク辭表ノ主意正當ノ理由ナクシテ任期中退職セシモノト認定シ原告等ニ對シ市制第八條ニ依リ自今三年間當市公民タルノ權利停止シタリ然レトモ辭表ノ意思前述ノ如クニテ斯ノ如キ議決ヲ受ク可キ事實理由ノ價值ヲ有セザルノミナラス辭表書ニ於テモ脱字錯誤調印不備ノモノナレハ直ニ其取消返戻ヲ請求シタル事實ニ徴スルモ市會ヲ輕蔑スルノ行爲ナキハ明瞭ナリ一步ヲ讓リ辭表ノ趣意ニ對シ論スルモ解職ノ理由正當ニシテ決シテ公民權停止ノ制裁ヲ加フ可カラサルモノナレハ同年六月十二日ノ議決ハ全部不法ニ付取消アラントテ云フト云フニ在リ

被告代理人答辯ノ要旨ハ原告等ハ法律ノ見解ヲ異ニスルヨリ市會ニ列スルヲ潔シトセス自ラ退職ヲ爲シタルトモ其舉動穩カナラサルニヨリ被告ニ於テ乙第二號證ノ如ク其注意ヲ促シテ再考ヲ求メ尙ホ市役所ニ呼出シ懇々示諭スル所アリシモ固ク執テ動カス之ヲ拒辭シタルカ故市會ニ向テ之ヲ廻送シ市會ハ其定員ヲ闕キ成立セザルニ至リタレハ止ムヲ得ス選舉事務ノ準備ニ著手シ市會成立スルニ臨ミ終ニ本件ノ議決ヲ爲シタルモノニシテ其間市會ハ原告等退職ノ爲メ非常ノ障礙ヲ被フリタルモノト言ハサルヲ得ス斯ノ如キ事實ナレハ原告ノ請求ハ不當ニ付棄却アリタシト云フニ在リ

右雙方ノ辯論ヲ聽キ證據ヲ閱シ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ
原告ニ於テ明治二十四年二月七日提出シタル連署ノ辭表ハ市長選舉ニ付法律ノ見解ヲ異ニスルヲ以テ市長投票ノ選舉ニ與カルヲ欲セサルヨリ辭職シタルモノニシテ其事實理由ハ公民權ノ停止ヲ受ク可キ價值ナキニ由リ該議決ハ不當ナリト云フト雖モ市制第八條中市公民ニシテ名譽職ヲ擔任ス可キハ其義務ナリトシ第一乃至第六ノ理由アルニアラサルハ之ヲ拒辭シ又ハ任期中退職スルコトヲ得ス其理由ナクシテ之ヲ爲スモノハ三年以上六年以下市公民タルノ權利停止シ且同年期間其負擔ス可キ市費ノ八分一乃至四分一ヲ増課スルコトヲ得ルノ規定アリ而シテ本訴ハ法律ノ見解ヲ異ニスルヲ理由トシ辭表ヲ提出シテ名譽職ヲ退キタルモ市長選舉ニ付法律ノ見解ヲ論スル如キハ議員ノ職務上ニ關スル事ニシテ公民タルノ義務即チ名譽職ヲ退キ得難キ理由ト爲ス可キモノニアラス依テ高岡市會ノ議決ハ不當ナラサルニ付之ヲ取消ス可キ理由ナキモノトス

右ノ理由ナルヲ以テ判決スルコト左ノ如シ

原告ノ請求相立タス 訴訟費用ハ原告ノ負擔トス

第三類 市町村會議員選舉及公民權

十五 村會議員選舉取消ニ關スル件

明治二十五年六月二十三日宣告
明治二十四年第四十三號

原告 千葉縣武射郡 睦岡村横田農

被告 同縣同郡同 村會議長

原告 榑木徳太郎外七

被告 同縣同郡同 村會議長

右原告榑木徳太郎外七名ヨリ被告睦岡村會議長富谷啓藏ニ對スル村會議員選舉取消不服ノ訴訟審理ヲ遂クル處
原告請求ノ要旨ハ明治二十四年三月十三日睦岡村々會議員ノ補闕及増員選舉ヲ執行シ花壇文藏榑木信夫榑木徳太郎ノ三名當選シタル
ニ其當選及ヒ選舉手續ニ違法アリト爲シ榑木日總外七名ヨリ本村會ニ訴願シ其裁決ニ服セス郡參事會ニ訴願シ原告ハ其裁決ニ服セス
縣參事會ニ訴願シ又其裁決ニ服セス本訴ヲ提起スルニ至レリ抑日總等訴願ノ主意ハ選舉掛榑木健藏榑木祥英ハ半途ニシテ選舉場ヲ退
席シタルコト小川與次左衛門卯木五郎左衛門カ代人ヲ以テ投票ヲ爲シタルコト補闕選舉投票一封中ヨリ二票現出シタルヲ選舉掛ニ於
テ一票嚙ミ裂キ一票ヲ有効トナシタルコト又選舉八二百五十九名ニ對シ一票過剩アリタルコト増員選舉ニ於テモ三票ノ過剩アリシニ
其減却方ヲ議決ニ付セス執行シタルコトアリシニ因リ其選舉取消シ更ニ選舉アリタルコト増員選舉ニ於テモ三票ノ過剩アリシニ
ナルヲ原告等ノ訴願ニ對シ縣參事會ハ既ニ選舉掛ヲ四名ト定メタル上ハ之ニ退席者アレハ直チニ補闕スヘキニ其補闕ヲ爲サスシテ選
舉ヲ執行シタルハ適法ノ處置ニアラス代人投票アリシハ同第二十四條ニ背クモノナリ補闕選舉ニ於テ當選者花壇文藏ノ得票數ヨリ一
封中ヨリ出テタル二票ハ内一及代人投票ニ係ル二票ヲ扣除シ次點者吉井傳十郎ノ得票數ニ加フルトキハ即チ選舉ノ結果ニ異動ヲ生シ
又増員選舉ニ於テ其投票ヲ誤リタル二票ト代人投票ノ二票トヲ無効トシ之ヲ當選者榑木信夫ノ得票數百二十六榑木徳太郎ノ得票數百
二十五票ヨリ扣除スレハ次點者矢部芳太郎關大吉ノ得票數百二十三ヨリハ一點乃至二點ノ少數ナルヲ以テ選舉ノ結果ニ異動ヲ生シ又
矢部芳太郎ハ本村區長代理人ニ選任ノ際町村制第七條ニ依リ特免セラレ公民權ヲ有ストノ理由ヲ以テ本選舉ハ全部取消ス可キモノト
ストノ裁決ヲ爲シタルトモ第一選舉掛榑木健藏榑木祥英ノ兩名退席シタルトノ認定アレトモ現ニ選舉掛ヲ調整シ投票ヲ封緘スルマテ
其席ニ在リタルハ選舉人ノ多數力投票ノ結果ヲ閱覽セント出席シ居リテ之ヲ目撃シ且選舉掛ニ記載ナク若シ之レアリトセハ町村制第
八條ニ則リ村會ノ決議ニ付ス可キナリ第二代人投票ノ事實アラサリシハ選舉掛ニ記載ナルノミナラス同村內ノ住民ニシテ何レモ
面識ノ者ナレハ斯ル違法ノ事實ハ決シテ爲シ得可カラズ又爲サシメサルハ當然ナリ第三補闕選舉第四増員選舉ニ於テ共ニ其當選者ノ
投票數ヨリ無効投票ヲ扣除シ却テ之ヲ次點者ノ得票數ニ加フルトキハ投票ノ結果ニ異動ヲ生スト爲シタルハ解シ得サル所ナリ又矢部
芳太郎ハ本村會ノ決議ヲ以テ町村制第七條公民權ノ制限ヲ特免シタルモノニアラサルニ由リテ千葉縣參事會カ爲シタル裁決ヲ取消シ
本會ハ有効ナリトノ判決アラシト云フニ在リ
被告代理人答辯ノ要旨ハ明治二十四年三月十三日睦岡村ニ於テ町會議員補闕一名増員二名ノ選舉會ヲ開キタルニ同村公民榑木日總外
七名ヨリ該會ニ違法アリト爲シ本村會ニ訴願シ村會ハ特ニ會議ヲ開キ該訴願ヲ否決シ當時村長病氣ニ付助役富谷啓藏即チ被告ニ於テ

決議ヲ執行シタル日總等ハ此決議ヲ不當ト爲シ郡參事會ニ訴願シ同會ハ議決ヲ取消シタルニ因リ原告等之ヲ郡參事會ニ訴願同シ
會モ又少シク理由ヲ殊ニセシモ該選舉取消ス可シトノ裁決ヲ爲シタルモノニシテ第一選舉ノ當時當選者ヲ揭示セントスルニ際シ選
舉掛榑木健藏榑木祥英高知尾竹三郎ノ三名ハ卒然病氣ナリト唱へ退席シタルモノニシテ殘ル一名ノ伊藤峰吉ヲシテ選舉掛ヲ調整セシメ且
高點者ヲ揭示セシメタリ竹三郎ハ其翌日出頭シ選舉掛ニ調印シタルトモ令熱ラ當時ノ所爲ヲ考フルニ選舉掛ノ已定數ヲ關キ
タルマシ選舉行為ヲ進行シタルハ失當ナリ第二小川與次左衛門卯木五郎左衛門カ代人ヲ以テ投票シタル事實ハ當日兩入共ニ居村ニ不
在ナリシコト明カナルヲ原告等選舉掛ニ此記載ナキヲ主張スレトモ事ノ發露前後ニ因リテ然ルノミ豈其記載ナキ一事ヲ以テ代人投票
アリタル事實ヲ蔽フ可ケンヤ且補闕選舉一封中ヨリ二票ノ出テタルヲ選舉掛伊藤峰吉ニ於テ其一票ヲ無効ナリト云ヒツ、嚙ミ裂キ殘
ル一票ハ有効ナリト決シテ選舉掛了リ縣參事會モ亦此一票ハ有効トナシタルトモ其一票ヲ嚙ミ裂キタル所爲ハ非難ヲ免レサルモノニ
シテ殘ル一票モ亦無効ナリト思量ス原告等ハ縣參事會ノ裁決ニ選舉ノ結果ニ異動ヲ生ストアルヲ非難スルトモ苟クモ其投票ニ異論ア
リテ選舉ノ結果ヲ動スニ足ルノ恐レアル以上ハ之レヲ取消コソ至當ナリ況ンヤ花壇文藏ノ得票中三票ノ無効アレハ年長者ノ吉井傳十
郎アリテ文藏ノ當選ト云フ能ハサルニ於テオヤ其三増員投票ハ總數二百六十票ナル可キニ二百六十二票アリテ内二票ハ何人カ何人ハ
投票シタルヤ判知スルニ由ナキハ無名投票ノ道理ナル故ニ最多數ノ當選者得票中ヨリ其二票ヲ減ス可キハ無論ナリ且他人ノ名ヲ以
テ投票シタル分ニ票アルコト明白ナレハ此四票ヲ加除スルハ當然ノ事ノミ然ルトキハ選舉ノ結果ニ異動ヲ生スルコトアルヲ以テ高點
次點ノ當選者ハ二名共ニ之ヲ無効ト爲ス可キハ當然ナリト信ス第五原告ハ矢部芳太郎ノ公民權資格ニ就キテ論スル所アレトモ同人ハ
議キニ區長代理人ニ選任セラレタルトキ町村制第七條ニ依リ村會ヨリ特免セラレタル者ナレハ本選舉ニ於テモ尚ホ其効ハ存スルモノ
ナリ故ニ原告ノ所論ハ失當ナリ以上ノ理由ニシテ結局縣參事會郡參事會議決ノ如ク本選舉ハ無効タル可キ筋合存スルヲ以テ全部取消
アラシト云フニ在リ
依テ双方ノ辯論ヲ聽キ證據ヲ閱シ理由ヲ說明スルコト左ノ如シ
第一被告ニ於テ選舉掛已定ノ四名中三名ハ卒然病氣ト唱へ退席シタルヲ以テ殘ル一名ヲシテ選舉掛ヲ調整セシメ且高點者ヲ揭示セシ
メタルハ失當ナリト云フト雖町村制第二十條ハ村長ニ於テ選舉人中ヨリ二名者クハ四名ヲ選任シテ選舉掛リト爲ス可キコトヲ規定シ
タルニ止リ其國席ヲ生シタル場合ニ臨ミ之ヲ補充セサレハ効力ナシトノ規定ニアラサルヲ以テ町村制規定ノ二名ヲ下ラサル間ハ失當
ト言フ可カラズ明治二十四年四月十一日被告ヨリ郡長松崎省吾ニ答申シタル書中榑木健藏ハ補闕選舉掛中退席シ榑木祥英ハ此點檢
ナリ退席シ高知尾竹三郎ハ補闕増員ノ兩選舉投票點檢ノ上當選者ヲ定メ投票ヲ封入シタル後選舉掛ヲ調整シ午後七時過退席シ翌日
選舉掛ニ調印セシモノナルハ其自陳スル所ニシテ伊藤峰吉及掛長ト三名共ニ之ヲ處理シ當選者確定後ニ退席シ該選舉ノ時二名ノ選舉
掛ハ尙ホ現在スルヲ知ルニ足レリ第二被告ニ於テ小川與次左衛門卯木五郎左衛門カ代人ヲ以テ投票ヲ爲サシメタル事實アリト云フト
雖選舉會ニ於テ掛長及選舉掛立會シ異議ナクシテ選舉ヲ終了シタルモノナルハ事後ニ至リ投票者自ラ代人ヲ以テ投票シタルト云フモ

第三類 市町村會議員選舉及公民權

其陳述ノミチヲ以テ事實ナリト認ムルニ足ラス第三補選ノ際一封中ニ一票ノ投票アリタルハ當選者ヲ判別スルニ由ナキモナレハ
 二票共ニ無効ト爲ス可キモノナリ又増員選舉ノ際二票ノ錯誤投票アリシコトヲ明白ナル以上ハ是亦無効ノ投票ナリ故ニ兩選舉共ニ其
 無効ノ票數ハ被選者各自ノ得票數ヨリ之ヲ除去シ殘ル正當ノ投票ヲ以テ投票數ヲ定ムヘキモノトス依テ高點者ノ得票數ヨリ無効トシ
 テ減シタル票數ヲ以テ次點者ノ得票數ニ加ヘ異動ヲ生セシムル如キハ其當ヲ失スルモノト謂フ可シ其他原告被告ニ於テ陳述スル所
 リト雖モ本案ニ必要ナキヲ以テ說明ナ付セス
 右ノ理由ナルヲ以テ判決スルコト左ノ如シ
 明治二十四年三月十三日千葉縣上總國武射郡睦岡村ニ於開會シタル補選選舉及増員選舉ハ共ニ取消ス可キモノニアラス
 ハ被告ノ負擔トス 訴訟費用

十六 議員退任抽籤ニ係ル不當命令取消ニ關スル件 明治二十五年六月二十九日判決
 明治二十五年第四十八號

原告 熊本縣山鹿郡 原田眞二外八
 來民町會議員

右原告原田眞二外八名ヨリ被告熊本縣肥後國山鹿郡山本菊地合志郡長小橋元雄ニ係ル不當命令取消ノ訴件其訴狀ニ就キ審査スルニ
 原告請求ノ要旨ハ明治二十五年五月十日熊本縣山鹿郡來民町會ニ於テ議員半數ノ改選ニ付解任者ノ抽籤アリ既ニ適法ノ手續ニ依リ解
 任者ノ確定シタルニモ拘ハラズ被告郡長ハ來民町長ニ對シ甲號ノ如ク二級議員退任者ノ抽籤ハ其順序方法等ニ於テ公正ナラサルモ
 卜認メ云々ノ訓令ヲ發シ其抽籤ヲ取消シ更ニ抽籤ヲ行ハシメタルハ不當ナルニ由リ熊本縣參事會ニ之ヲ訴願シタルニ同參事會ハ相手
 違ナリトノ理由ヲ以テ判決ヲ與ヘザリシハ是亦不當タルヲ免レヌ依テ被告力不當ノ訓令ヲ取消シ最初抽籤ノ通り執行スヘキ様裁判ヲ
 仰クト云フニ在リト雖該訓令ハ被告力町長ニ對シ發シタル監督上ノ命令ニ止マリ之ヲ執行シタルハ來民町長ナルヲ以テ原告ハ町制
 第三十七條ノ手續ヲ履行シタル上ニアラザレハ出訴スルヲ得サルモノトス
 右ノ理由ニ依リ判決スル左ノ如シ
 本件ハ行政裁判法第二十七條ニ據リ却下ス

十七 村會議員選舉取消ニ關スル妨訴抗辯 明治二十五年十一月十五日宣告
 明治二十五年第九十號

原告 千葉縣東葛飾郡 伊藤藤藏外八
 塚田村平民農 被告 同縣同郡 藤井三郎

右原告伊藤藤藏外八名ヨリ被告村長藤井三郎ニ係ル村會議員選舉取消ノ訴狀ニ對シ被告ハ妨訴ノ抗辯ヲ爲セリ依テ之ヲ審理スル
 被告抗辯ノ要旨ハ原告ハ明治二十五年八月二十九日千葉縣參事會カ被告村長ノ訴願ニ對シ與ヘタル判決ニ不服アリトシテ本訴ヲ提起
 シタルモノナレトモ町制第三十七條第三項ニ町村會若クハ町村長ノ裁決ニ不服アルモノハ郡參事會ニ訴願シ其郡參事會ノ裁決ニ不
 服アル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其府縣參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得又同條第四項ニ本條ノ事件ニ付テ
 ハ町村長ヨリモ亦訴願及訴訟ヲ爲スコトヲ得トアルニ依リ本條第四項ノ場合ヲ除クノ外ハ訴願者力直接ニ訴願シタル其裁決ニ不服ア
 ル場合ニ限リ訴願又ハ訴訟ヲ爲スコトヲ得ヘシト雖本訴ノ如キ被告村長カ訴願シタル其縣參事會ノ裁決ニ對シ訴願者ニ非サル原告ヨ
 リ不服アリトテ訴願ヲ提起スル能ハサル筋合ニテ訴願ナキモノナリ又假リ原告等ニ於テ訴願アリトスルモ町制第二十九條第一項
 ニ選舉人選舉ノ効力ニ關シテ訴願セントスルトキハ云々トアレハ高橋源右衛門高橋源左衛門ノ二名ハ選舉權ナキモノニ付本訴權ナシ
 又金子伊兵衛外七名ハ當時選舉權ヲ拋棄シタルモノニ付同條ノ法意ニ依リ是亦訴權ナキモノナレハ却下ノ判決アラントテ請フト云
 フニ在リ

原告反駁ノ要旨ハ郡參事會ニ訴願シテ判決ヲ受ケタル原告ナリ之ニ服セスシテ縣參事會ニ訴願シタルハ被告ナリ故ニ云々ト被告ハ主
 張スレトモ固ト同一事件ナレハ其縣參事會ノ裁決ニ不服アレハ原告ニ於テモ訴訟ヲ爲シ得ラルハ勿論ナリ又高橋源右衛門外一名ハ
 公民權ナシ其他七名ハ云々ト申立レトモ高橋源右衛門外一名ハ選舉人名簿ニ記載アルモノナリ其他八名ハ各其男子ヲ出シテ投票セ
 トシタルトモ代人投票ハ許サストテ追ヒ返ヘサレタルニテ投票權ヲ拋棄シタルモノニアラザレハ被告ノ抗辯ヲ排斥アラントテ請フ
 ト云フニ在リ
 右双方ノ辯論ヲ聽キ理由ヲ說明スルコト左ノ如シ
 被告ニ於テ縣參事會ニ訴願ヲ爲シタルハ被告村長ナレハ該裁決ニ不服アリトシテ行政訴訟ヲ提起シ得ルハ村長ナル可キ筋合ナレハ其
 訴願者ニ非ラサル原告ヨリ訴訟ヲ爲スノ權利ナシ又假リニ訴權アリトスルモ原告ノ内都合十名ハ訴權ナシト云フト雖モ町制第三十
 七條第三項ニ所謂其府縣參事會トハ裁決ヲ爲シタル府縣參事會ヲ云フモノニシテ其裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ
 得ルモノナレハ原告力直ニ府縣參事會ニ訴願セスト雖直接ニ利害ノ關係アルモノナルヲ以テ其事件ニ付訴訟ヲ爲スコトヲ得ルハ勿論
 ナリ又原告ノ内數名ニ付被告ニ於テ異議ナキモノナレハ之ニ對スル本案ノ答辯ヲ爲スヘキハ當然ナリトス依テ本訴ハ却下ス可キモノ
 ニアラス
 前項ノ理由ナルヲ以テ判決スルコト左ノ如シ
 被告ノ妨訴抗辯ハ相立タス 此判決ニ係ル訴訟費用ハ被告ノ負擔トス

第三類 市町村會議員選舉及公民權

十八 村會議員選舉取消ニ關スル件 明治二十五年十一月十六日裁決

原告 滋賀縣栗太郡上 宇野庄太郎外二名
被告 田上村平民農

右原告宇野庄太郎外二名ヨリ滋賀縣栗太郡栗太郡長西村季知ニ係ル不當裁決取消ノ訴書面ニ就キ審理ヲ遂ケル處
本訴ノ要旨ハ栗太郡上田上村長山本清之進ハ明治二十五年四月二十七日日本村會議員第一級半數定期改選々舉會ヲ開キ自分共其選舉ニ
當選セシ通知ヲ受タル處本年七月十九日附テ以テ本村長ハ所管郡長ヨリ該選舉ヲ取消シ更ニ選舉ヲ行フヘキ旨訓令ナリタル趣チ告知
セリ思フニ郡長ハ本年四月二十七日第一級定期改選々舉會ニ於テ選舉掛四名ノ内一名病氣ヲ以テ缺席シタルニ村長ハ之ヲ補充セス三
名ノ選舉掛ヲ以テ選舉ヲ終了シタルカ故ニ該選舉無効トセラレタルヘシト雖原告等ハ該選舉會ハ有効ニシテ本郡長ノ訓令ハ不當
ナルヲ以テ其訓令即チ郡長ノ處分ニ對シ町村制第百二十條ニ依リ縣知事ニ訴願シタルトモ知事ハ訴願法第九條ニ依リ却下シタルハ不當
トモ抑本件ハ町村制第百二十條ニ依リ縣知事ニ訴願シタルトアレハ同條ノ明文ニ從ヒ內務大臣ニ訴願スルノ外不服ヲ訴フルノ道アラ
ス故ニ本件ハ當裁判所ニ於テ之ヲ受理スヘキ限ニ非ラス
右ノ理由ナルヲ以テ本件ハ行政裁判法第二十七條ニ依リ之ヲ却下ス

十九 村會議員選舉取消ニ關スル件 明治二十五年十一月二十四日宣告

原告 福井縣丹生郡 大森蕃立外四名
被告 同縣同郡 廣部與三右衛門
志津村大森農

右原告大森蕃立外四名ヨリ被告村長廣部與三右衛門ニ係ル二級選舉議員投票効力有否等ノ訴訟審理ヲ遂ケル處
原告請求ノ要旨ハ明治二十五年六月福井縣參事會カ與ヘタル裁決ノ全部ヲ取消シ更ニ同年四月本縣丹生郡志津村會二級議員半數改選
ノ投票中渡邊嘉右衛門トアル八十六票ハ無効ナルニ由リ大字上下渡邊嘉右衛門ノ當選ハ之ヲ取消サルヲ得サルモノニシテ被告ハ
志津村内ニ渡邊嘉右衛門ナル同氏名ノ者兩名アルニモ拘ラス單ニ渡邊嘉右衛門ナルヲ將々天下ノ渡邊嘉右衛門ナルヲ確認シ難キハ
十六票ノ投票ヲ上下渡邊嘉右衛門ノ得票十四票ニ加ヘテ之ヲ當選者ト爲シタルハ町村制第二十三條第二項ニ左ノ投票ハ之ヲ無効ト
ス被選人ノ何人タルヲ確認シ難キ者トアル規定ヲ度外視シタル不法ノ選舉ナリ又本件ハ訴願ノ順序ヲ逐ヒ裁決ヲ仰キタルニ本縣參事
會カ原告ノ訴願ニ對シ一級選舉人カ二級選舉ノ投票効力有否ニ付參加シタルハ不法ナルヲ以テ之ヲ却下ストノ裁決ヲ與ヘタルハ失

當ノ裁決ナルニ依リ其裁決ヲ取消シ及渡邊嘉右衛門トアル八十六票ノ投票全體ヲ無効ナラシメ上下渡邊嘉右衛門ノ當選ヲ取消サ
ル可カラヌ又本件ハ裁決ニ訴願ヲ提起シタルトキハ選舉全部ノ取消ヲ請求シタルニ依リ最初提出ノ訴狀ニ於ケルモ選舉全體取消ノ
意味ヲ含蓄セリ而シテ今茲ニ追申書ヲ差出シタル所以ハ行政裁判法第三十四條ニ依リ意ノ盡サル所ヲ補足シタルモノニシテ單ニ渡
邊嘉右衛門ノ投票無効トセラレシコトヲ請フニ在ルモ其原因ヲ變更シタルモノニアラス又假リニ一步ヲ譲リ之ヲ以テ原因ノ變更ナ
リトスルモ裁決ノ順序ヲ履マサルハ請求スルヲ得サルモノト謂フ可ラス本訴ニ於テ縣參事會ノ裁決ヲ取消サレ及八十六票ノ投
票ヲ無効トセラレ上下渡邊嘉右衛門ノ當選ヲ取消サレタルト云フニ在リ
被告答辯ノ要旨ハ志津村會議員選舉ノ際被選舉權ヲ有スル同氏名ノ渡邊嘉右衛門ナルモノ兩名アリテ各投票中大字上下渡邊
嘉右衛門ト肩書セシモノ十四票ト肩書セサル投票八十六票アリ其肩書アル渡邊嘉右衛門ノ得票ハ僅二十四票ナルニ拘ハラス被告ハ之
ヲ當選者ト決定シタルハ不當ノ處分ナレハ選舉全部ヲ取消スヘシトノ一定ノ申立ヲ本訴ヲ提起シタル後更ニ渡邊嘉右衛門ニ對スル投
票ノ無効ヲ請求スルノ訴旨ニ之ヲ短縮シ追申書ヲ提出シテ其中申立ヲ改メタリ然レニ本件ハ訴狀ニモ明言スル如ク單ニ渡邊嘉右衛門ニ
係ル投票一部ノ取消ニアラスシテ選舉全部ノ取消ヲ目的トシ且訴願ヲ經盡シ來リタルモノナレハ原告カ其追申ヲ以テ本訴ノ原因ヲ變
更シタルモノト謂ハサルヲ得ス依テ其追申ニハ異議アルヲ以テ答辯スルノ限ニアラス本訴ハ却下アリタルト云フニ在リ
依テ雙方ノ辯論ヲ聽キ證據ヲ審問シ理由ヲ説明スル左ノ如シ
原告ハ追申書ヲ以テ一定ノ申立ヲ短縮シタルモ其原因ヲ變更シタルニアラス又假令之ヲ變更シタルトスルモ本件ハ更ニ訴願ヲ經ルチ
要セスシテ出訴スルヲ得ヘキモノナレハ不當ノ請求ニアラスト云フト雖原告カ裁決ニ訴願セシ目的ハ選舉ノ取消ヲ請求シタルニ在リ
追申ノ主旨ハ投票無効ノ請求ヲ爲スニ在テ當初請求ノ目的ト全ク別異ナルニ依リ訴願ヲ經ルチ要セサルモノト謂フヲ得ス即チ本件ハ
法律上出訴ノ手續ヲ盡サ、ルモノナレハ受理スルノ限ニアラス
右ノ理由ニ依リ判決スル左ノ如シ
本訴ハ之ヲ棄却ス 訴訟費用ハ原告ノ負擔トス

二十 會社選舉權ノ有無ニ關スル件 明治二十五年十一月二十一日宣告

原告 新潟縣中頸城郡里五 宮崎芳謙
被告 同縣同郡 渡部直三郎
十公野村宮崎社々長

右原告宮崎社々長宮崎芳謙ヨリ被告村長渡部直三郎ニ係ル村會議選舉人名簿登錄請求ノ訴訟審理ヲ遂ケル處
原告請求ノ要旨ハ宮崎社々株式組織ニシテ社則及規約ハ明治廿年八月新潟縣ノ認可ヲ得テ法律上有効ニ成立シタル會社ナレハ獨立シ
第三類 市町村會議員選舉及公民權
二十五

テ萬般ノ所爲ヲ履行シ既ニ村役場ニ於テモ町村制實施後ハ法人ト認メ納稅ノ義務ヲ負ハシメ又選舉權ヲ有セシメタリ然ルニ村長ハ本
年ニ至リ宮崎社ヲ村會議員ノ選舉人名簿ニ登錄セサルニ由リ其登錄ヲ村會ニ訴願シタルニ村會ハ之ヲ採用セス次テ郡參事會及縣參事
會ニ訴願シタルモ縣參事會ニ於テ宮崎社ハ選舉權ヲシトノ不當ノ裁決ヲ與ヘタリ然トモ宮崎社ハ既ニ法人ト認メラレ納稅ノ義務ヲ負
擔シアレハ權利ノ隨伴スルハ當然ナリ若シ選舉ノ權利ナシトスレハ納稅ノ義務モ又無キモノト謂ハサルヲ得ス又町村制第十二條ノ末
項ニ法律ニ從テ設立シタル村會トアルハ今日ニ在テハ知事ノ認可ヲ得テ成立タル宮崎社ノ如キ會社ナリト解釋セサル可カラズ縣參事
會ノ裁決ニ依レハ宮崎社ハ同制第十二條ノ末項ニ該當セル會社ニアラストセリ是レ正當ノ解釋ニアラス故ニ宮崎社ハ法人トシテ村會
議員ノ選舉權ヲ有スヘキモノナリトノ裁判ヲ受ケ度ト云フニ在リ

被告答辯ノ要旨ハ原告宮崎社ハ村會議員選舉人名簿ニ登錄ヲ受ケ可キモノナリト主張スルモ宮崎社ナルモノハ社員相互ノ契約ニ由リ
成立タル私立會社ニシテ本縣知事ハ該社設立願ニ對シ人民相互ノ營業ニ任セ云々ノ指令ヲ與ヘタルモノナレハ之ヲ以テ未ダ法律ニ依
リ設立シタル會社ナリト爲スヲ得ス原告ハ納稅義務ニ隨伴シテ議員選舉ノ權利アルハ當然ナリトノ申立ハ誤解ノ甚シキモノナリ若シ
納稅義務アルヲ以テ議員選舉ノ權利アリトセハ町村制第七條ノ要件ヲ具備セル者ト雖悉ク其選舉ニ參與スルノ權利アリト謂ハサル可
カラズ宮崎社ニ納稅ノ義務アルハ村內一般ノ住民ト同ク其所有スル土地其他營業ノ所得ニ付キ負擔スヘキ義務ヲ負擔シタルニ在リテ
其資格ノ如何ニ依テ負擔シタルニアラス又本縣知事カ宮崎社設立願ニ對シ人民相互ノ營業ニ任セ云々其開廢業ハ届出ツ可シトノ指令
ヲ與ヘタルハ未ダ會社法ヲ制定セラレザル當時ニ在テ地方廳ノ監督上止ムヲ得サルモノニシテ之ヲ以テ法律ニ從テ設立シタル會社ナ
リト認メタルモノニアラス依テ原告カ選舉人名簿ニ登錄ヲ受ケ可キトノ要求ハ排斥アリ度ト云フニ在リ

依テ雙方ノ辯論ヲ聽キ證據ヲ審問シ理由ヲ說明スル左ノ如シ
原告ニ於テ宮崎社ハ縣知事ノ認可ヲ經テ設立シタル會社ナレハ町村制第十二條ノ末項ニ規定セル法人トシテ村會議員ノ選舉權ヲ有ス
ヘキモノナリト云フト雖モ宮崎社ハ人民相互ノ契約ニ由リ組織シタルニ在テ法律ニ依リテ組織シタルモノニアラス故ニ被告カ宮崎社
ヲ以テ一ノ會社トシ納稅ノ義務ヲ負擔セシメタルコトアルモ之ヲ以テ法人タルノ資格ヲ有シ村會議員ノ選舉人名簿ニ登錄スヘキモノ
ナリト謂フヲ得ス
右ノ理由ニ依リ判決スル左ノ如シ
原告ノ請求相立ス 訴訟費用ハ原告ノ負擔トス

二十一 村會議員選舉ニ係ル緣故ノ區別ニ關スル件 明治二十五年十二月三日宣告

原告 福島縣南會津 郡檜村 大竹久太外一 被告 同縣同郡 兒山貴一

右原告大竹久太渡邊幸平ヨリ被告村會議員兒山貴一ニ對スル村會議員選舉ノ効力ニ關スル不當裁決取消ノ訴訟文書ニ就キ審理ヲ遂ケ
ル處

原告請求ノ要旨ハ明治二十五年六月十一日南會津郡檜村ニ於テ執行シタル村會議員選舉ノ際現任助役室井大治ノ妻ノ兄ナル芳賀沼
源吾當選シ之ニ就職セシメタル被告ノ處置ハ町村制第十五條ノ規定ニ背クモノナルニ其當選取消ヲ請求ス抑同條ニ單ニ父子兄弟
ト言ハスシテ父子兄弟タルノ緣故アルモノト言フハ其含意血統ノ聯結スル血族ニ止マラサルコト明カナリ既ニ血族ニ止マラス姻族ニ
及フトモハ緣故ノ範圍ニ取除ノ規定ナキヲ以テ現行刑法第十四條第三項第八項ニ掲クル親屬例ニ於テ姉妹ノ夫及ヒ妻ノ兄弟ハ兄弟タ
ル緣故アル者ト爲ス可キハ當然ナリ然ルチ本村會及郡長縣知事ハ共ニ該選舉ハ取消ス可キモノニアラストノ裁決ヲ爲シタルトモ其裁
決ハ不當ナルニ云ヘレテ取消シアリタシト云フニ在リ

被告答辯ノ要旨ハ原告カ理由ノ要點ハ現行刑法親屬例第十四條第三項及第八項ニ掲クル親屬ハ兄弟タルノ緣故アルモノナレハ被告
及郡長縣知事ノ爲シタル裁決ハ何ツレモ不當ナリト言フト雖モ本來町村制第十五條ニ所謂父子兄弟タルノ緣故トハ其父子兄弟タルノ
縁キアルモノト云フニ外ナラス緣故ノ二字ヲ以テ他ノ親屬ニマテ及ホスヲ得ザルハ論ヲ俟タズシテ明カナリ尙ホ刑法親屬例ニ依テ見
ルモ兄弟ト稱スルモノハ第十五條ニ明瞭ナリ原告カ主張スル第十四條第三項第八項ハ親屬ノ名稱タルニ過キスシテ兄弟ノ名稱ア
ルニアラザレハ町村制第十五條第六項兄弟ノ名稱ニ該當スヘキ理由アラサルナリ故ニ室井大治ハ芳賀沼源吾ニ對シ兄弟タルノ緣故ナ
キニ因リ原告ノ請求ハ排斥アリタシト云フニ在リ

依テ理由ヲ說明スルコト左ノ如シ
原告ニ於テ町村制第十五條ニ父子兄弟タルノ緣故アル者ト云フハ刑法第四百十四條第三項第八項ニ掲クル者ヲ云フモノナリトノ旨趣ヲ
主張スト雖モ刑法第四百十四條ノ親屬例ヲ示スモノニシテ配遇者ノ兄弟ヲ以テ兄弟ノ緣故トナシタルモノニアラス而シテ町村制第十五
條ノ父子兄弟タルノ緣故アル者トハ養實ノ父子兄弟タルノ關係アルモノヲ云フモノニシテ妻ノ兄弟又ハ姉妹ノ夫ノ如キハ該緣故アル
者ト云フ可カラズ依テ芳賀沼源吾ハ室井大治ノ妻ノ兄ナル關係アリト雖之レヲ以テ父子兄弟タルノ緣故アル者ト爲スヲ得ス
右ノ理由ナルヲ以テ判決スルコト左ノ如シ
原告ノ請求相立タス 訴訟費用ハ原告ノ負擔トス

二十二 村會議員選舉取消ニ關スル件 明治二十五年十二月十二日宣告

原告 茨城縣眞壁 郡伊禮村 海老原彦重郎外二 被告 同縣同郡 瀨端善七郎

第三類 市町村會議員選舉及公民權 二十七

右原告海老原彦重郎外二名ヨリ被告村長瀬端善七郎ニ對スル村會議員半數改選及補欠選舉會取消請求ノ訴審理ヲ遂クル處
 原告訴訟代理人陳述ノ要旨ハ第一明治二十五年四月十一日眞壁郡伊讚村大字外塚尋常小學校内ニ開會シタル伊讚村々會議員半數改選
 及補欠選舉會ニ於テ調製シタル選舉錄ニハ宮田定吉鹽澤善作ノ兩名モ投票ヲ爲シタルモノト記入シアリ然レトモ宮田定吉ハ其當時出
 稼中ニシテ鹽澤善作ハ棄權欠席シタル者ナリ第二明治二十五年四月十一日伊讚村々會議員第二級選舉會場ニハ無資格者壯士輩谷中寅
 次郎古谷勇治竹内定吉齋藤米吉菊地十三郎大塚傳九郎増田茂三郎野村時丸等入場シテ容易ニ退場セシ終始選舉人ト密話シタルノミナ
 ラス選舉場監督者ノ退場命令ニ從ハス投票閉鎖時間ニ至リ漸ク退場シ去レリ第三明治二十五年四月十二日伊讚村々會議員第一級選舉會
 場ニハ眞壁郡伊讚村大字神分谷中寅次郎及古谷勇治ノ兩名入場シ再三巡查ヨリ退場ヲ命セラレタレトモ谷中寅次郎等ハ種々巡查ノ命
 ナ拒ミテ去ラス漸ク退出セシメタル時ハ早ヤ既ニ投票閉鎖ノ時ナリシ以上第一第二第三ノ事實タル無資格者カ猥リニ議員選舉會場ニ
 雜入シテ投票ヲ詐成シ選舉人ヲ勸誘シタリト云フニ在リ若シ夫レ無資格者カ投票會場ニ入りタルモ何等ノ妨害モ爲サストセハ即チ可
 ナリ然レトモ伊讚村々會議員選舉場ニ亂入シタルカ如キハ密話勸誘至ラサル所ナク選舉人ノ感觸ヲ害スル亦實ニ甚シカリシナリ唯選
 舉錄ノ表面ニハ無資格者ノ退場ヲ命スト願ル簡單ナル記事ニシテ其實況ヲ詳細ニスル能ハサルモ郡參事會ノ照會ニ對スル村長即チ伊
 讚村々會議員選舉場ノ辯明書ハ能ク選舉錄ノ未々盡サ、ル事實ヲ盡シテ未々詳細ナラサル事實ヲ詳明セリ該辯明書ハ選舉錄ニ記入セル
 退場ヲ命ストノ五字ヲ詳細説明シタルモノニシテ選舉錄ノ如キ單ニ退場ヲ命ストノミニテハ壯士輩カ入場時間ノ長短入場中ノ舉動退
 出ノ現況等ヲ確知スルニ由ナク選舉錄上五字ノ金文字ハ空漠タル閑文字タラシク然ルニ選舉場長ノ辯明書アリテ初テ退場ノ事實ニ
 干連スル不明ノ點ヲ確實ニシタルモノナリト謂フヘシ既ニ然リ明治二十五年四月十一、十二ノ兩日ニ開キタル伊讚村々會議員選舉場
 ニハ故ナク選舉人以外ノ者カ入場シ居リタルモノニシテ町村制第二十一條ニ背戾セル不法ノ會ナリトス故ニ同制第二十九條ノ明文ニ
 基キ選舉會場ヲ取消スノ理由アルモノト確信ス依テ茨城縣眞壁郡伊讚村々會議員半數改選及補欠選舉ハ法律違反ノ選舉ナルヲ以テ同
 選舉ノ取消ヲ請求スト云フニ在リ
 被告答辯ノ要旨ハ本件ノ事實ハ被告カ明治二十五年五月三日眞壁郡長ヘ向ケテ差出シタル辯明書ニ記載シタルカ如キ事實ニシテ選舉
 會ノ節ハ無資格者入場シ居タリシコトハ初メヨリ發見スル能ハス後之ヲ發見スルニ及ヒ退場ヲ命セシモ容易ニ退場セシメ爾々退場シタ
 ルハ閉場ノ際ナリシ然レトモ重大ナル選舉ヲ無効トスルノ價值ナキヲ以テ選舉錄ニハ唯單ニ退場ヲ命スト記載シ置キタリ然レトモ訴
 願者アル以上ハ不都合ナリト思考シ郡役所ノ請求ニ因テ辯明書ヲ捧呈セシモ郡參事會ノ裁決ニハ本選舉ハ法律ノ精神ニハ違反セスト
 ノコトナリシ又縣知事ノ裁決モ同様ナリキ被告ハ如何ヤトハ思ヘトモ既ニ裁決アリタル以上ハ本選舉ハ取消スヘキモノニアラスト云
 フニ在リ
 參加人訴訟代理人陳述ノ要旨ハ原告提出甲第五六號證ハ正當ナルコトヲ認ムト雖モ第六號證ニ至リテハ無資格者入場シ居タリト云
 トハ認ムル能ハス何トナレハ此六號證ノ成立セシハ四人ノ選舉掛ノ合議ニ成リタルモノナルニ無資格者入場シタリトノ數字ハ貼紙ヲ

爲シ其上ニ記載アリテ唯選舉掛ノ一人ナル柏富藏之ニ認印セシノミ故ニ參加人ニ於テハ後日ニ至リ成立セシモノト見ルノ外ナシ抑選
 舉掛ハ合議體ニ成立スルモノニシテ若シ貼紙等アルハ選舉掛總テ之ニ認印スヘキ管ナルニ唯一人ノ選舉掛之ニ認印セシノミニシテハ
 正當ニ成立シタルモノニアラスト思考ス故ニ參加人ハ貼紙ノ點ハ認ムル能ハス第五號證即チ第一級選舉錄ノ方ニハ參加人ノ一人ナル
 宮本隣次ノ認印ナケレハ如何ナルコトニ成立シタルヤハ不明ナリト雖第二級選舉錄ノ方ヨリハ多少信用スヘキトコロアルニ依リ先ッ
 眞正ノモノト認ム而シテ選舉開會前ニハ無資格者入場シ居タリシヤモ知ル可カラスト雖選舉會ヲ開キテヨリハ至極平穩ニシテ無事ニ
 閉會ヲ告ケタリ故ニ選舉開會ノ節ハ無資格者ハ一人モ入場シ居ラザリシヲ以テ毫モ不法ノ廉ナキニ付原告ノ請求ハ排斥アラント云
 希望スト云フニ在リ
 依テ原告被告雙方及參加人ノ辯論ヲ聽キ證據ヲ閱シ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ
 原告ハ本件村會議員選舉錄ノ表面ニハ無資格者ノ退場ヲ命スト記載シアレトモ甲第三號證被告村長ヨリ眞壁郡長ニ差出タル辯明書
 ニ載記シアル如ク無資格者ハ選舉終了後ニ至リ漸ク退場シタリト云フト雖甲第三號證ハ選舉錄調製ノ後被告村長一箇人ノ作爲シタル
 モノニ止リ之ヲ以テ先キニ正當ノ手續ヲ以テ調製シタルハ選舉錄登載ノ事實ヲ確實ニシタルモノト云フ可カラス何トナレハ該選舉錄
 ナ見ルニ單ニ無資格者ニ退場ヲ命シタルコトハ明カナレトモ尙他ニ原告ノ主張スルカ如キ事實アリシモノト認ムル能ハサレハナリ又
 甲第一號證甲第二號證證明書ヲ以テ宮田定吉鹽澤善作ハ出席投票シタルモノニ非ララスト云フト雖該證明書ハ其提出者宮田定吉之助鹽澤
 善作ニ於テ隨意ニ之ヲ作爲シ得ヘキモノナレハ之ヲ以テ選舉當時ノ事實ヲ證スルモノトナスヲ得ス而シテ其他ノ原告證據書類ニ徵ス
 ル本件村會議員選舉ハ違法ノ選舉ナリト認ムヘキ事實ナキヲ以テ之ヲ取消スヘキ理由ナキモノトス
 右ノ理由ナルニ依リ判決スルコト左ノ如シ
 原告ノ請求相立タス 訴訟費用ハ原告ノ負擔トス

二十三 村會議員選舉取消ニ係ル村長出訴權ニ關スル件 明治二十五年十二月二十日裁決
 明治二十五年第百十八號

原告 群馬縣邑樂郡 若旅九八郎
 小泉村々長

右原告小泉村々長若旅九八郎ヨリ被告水村春吉外一名ニ對スル村會議員不正選舉取消ノ訴願ニ對スル縣參事會カ與ヘタル裁決不服ノ訴
 ナ訴狀ニ就キ審査スルニ
 原告請求ノ要旨ハ被告カ明治二十五年四月九日十日ノ兩日ニ執行シタル群馬縣邑樂郡小泉村々會議員選舉會ヲ以テ成規ニ違背シタル
 不正ナルモノト爲シ之レカ取消ヲ訴願セルモノニシテ村會及郡參事會ノ裁決ヲ經タル後遂ニ縣參事會ノ職務ヲ行フ群馬縣知事ハ明治
 第三類 市町村會議員選舉及公民權 二十九

二十五年十月六日ヲ以テ被告訴願ノ趣旨ヲ採用シ該選舉會ヲ取消ストノ判決ヲ與ヘラレタルニ依リ更ニ行政裁判所ニ出訴シ小泉村々會議員選舉會ハ町村制ノ規定ニ違背シタルモノニアラストノ裁判ヲ請フト云フニ在リテ本件ハ町村制三十七條ニ依リタル訴訟ニ屬スルモ村長トシテ村内ノ人民ヲ被告トシテ出訴スルヲ得ヘキモノニアラス
右ノ理由ナルニ依リ行政裁判法第二十七條ニ依リ本訴狀ヲ却下ス

二十四 公民權停止處分ニ係ル町村會出訴權ニ關スル件 明治二十五年十二月二十三日宣告 明治二十五年第六十八號

原告 香川縣多度郡 三重鑑太郎 被告 同縣知事 谷森眞男

右原告多度津町々會議長三重鑑太郎ヨリ被告香川縣知事谷森眞男ニ對スル町會決議權回復ノ訴文書ニ就キ審理ヲ送ケル處
原告訴求ノ要旨ハ多度津町會議員米谷榮治田政之助山田善吉ノ三名ハ明治二十四年九月七日ヨリ以降同年十二月二十二日ニ至ル一
百餘日中職事十三回ノ召集ニ對シ疾病若クハ一身ノ事故ヲ以テ甲第一號證ノ如ク一回モ議席ニ出テサルニ付多度津町會ハ明治二十五
年一月十八日議會ヲ開キ審議ノ末右三名ハ虛欺ノ疾病一私ノ事故ニ假托シ公義務ヲ盡サス其所爲町村制第八條第三項中其職務ヲ執行
セサルノ責アルモノト爲シ多度津町公民タル權利ヲ四箇年間停止シタリ然ルニ米谷榮治外二名ハ右ノ決議ニ服セス郡長高島光太郎
ニ訴願セシニ郡長ハ町會ノ議決ヲ取消シ米谷榮治外二名ハ公務ニ堪ヘサル程ノ病氣ニアラサル限リハ容易ニ退職セシムルヲ得スト
津町會ノ決議ノ回復ヲ求ムト云フニ在リ
被告答辯ノ要旨ハ本知事力與ヘタル判決ハ町村制第八條ニ依リ訴願ノ階級ニ於テ復審權ヲ行フタルモノニシテ直接ニ知事ノ處分ヲ爲
シタルモノニアラサルハ本知事ハ法律上被告トシテ訴ヘラレノ理由ナシ依テ本案ニ對シ答辯スヘキ義務ナキヲ以テ本訴ノ却下ヲ請
求スト云フニ在リ
依テ證據ヲ閱シ理由ヲ說明スル左ノ如シ
原告ハ多度津町會ハ明治二十五年一月十八日ヲ以テ米谷榮治外二名ニ對シ町村制第八條ニ依リ公民權四箇年停止ノ旨ヲ議決シタリ然
ルニ米谷榮治外二名ハ之ニ服セス多度郡長ニ訴願シ郡長ハ町會ノ議決ヲ取消シタルニ依リ原告ヨリ香川縣知事ニ訴願セシニ縣知事ハ
原告ノ請求相立タズト裁決セルカ故ニ更ニ町村制第八條ニ依リ本訴ヲ提起スト云フト雖町村制第八條ハ其第三項ニ依リ町村會ノ議決
ヲ以テ公民權ヲ停止セラレ町村費ノ増課ヲ受ケタル者其議決ニ不服ナルトキ郡參事會府縣參事會ニ訴願シ及ヒ行政裁判所ニ出訴スル
ヲ得ヘキ規定ニシテ町村會ヨリ訴願若クハ出訴ヲ爲スナク許シタルモノニアラス即チ本件ハ原告町會議長方縣知事ノ裁決ニ對シ出訴ス

ルモノナレハ之ヲ受理スルノ限ニアラス
右ノ理由ニ依リ判決スル左ノ如シ
本訴ハ之ヲ棄却ス 訴訟費用ハ原告ノ負擔トス

二十五 町會議員選舉ニ係ル選舉人訴願權ニ關スル件 明治二十五年十二月二十三日宣告 明治二十五年第七十二號

原告 秋田縣山本郡能代馬喰町商業 宮腰與三郎 被告 同縣知事 島田治右衛門

右原告宮腰與三郎ヨリ被告島田治右衛門ニ對スル町會議員選舉効力ニ關シ秋田縣參事會裁決ニ對スル訴審理ヲ送ケル處
原告代理人陳述ノ要旨ハ明治二十四年九月九日開會セシ山本郡能代町會ニ於テ町會議員ノ人物ヲ得ル目的ヲ以テ住民三浦盛徳方同月
五日宅地及ヒ建物ヲ買受ケ地租上納ノ責任ヲ負ヒ同時ニ町稅幾分ノ義務ヲ分擔セシヲ以テ町村制第七條ニ依リ二箇年ノ制限ヲ特免シ
公民權ヲ付與スルトノ議決ヲ爲シ明治二十五年三月三十一日被告ハ制規ニ基キ議員半數選舉ヲ執行シタルニ三浦盛徳當選セリ然ルニ
新湯吉右衛門ヨリ町會ニ向ヒ訴願ヲ爲シタリシニ町會ハ三浦盛徳ニ與ヘタル特免ヲ取消シ當選無効ノ裁決ヲ與ヘタリ而シテ原告ハ此
裁決ニ服スル能ハス郡參事會ニ訴願シタルニ郡會ハ之ヲ採用シタルニ能代町會ハ郡參事會ノ裁決ニ服セス秋田縣參事會ニ訴願セリ縣
參事會ハ本件ノ關係者ナル三浦盛徳カ特免及ヒ當選無効ノ町會裁決ニ對シ不服ノ申立ヲ爲サハルニ因リ原告ノ郡參事會ヘ提出シタル
訴願ハ町村制第三十七條第三項ニヨリ適法ノ訴願ニ非サルヲ以テ之ニ對シ裁決セシ山本郡參事會ノ裁決ハ無効ナリトノ裁決ヲ爲シタ
ルハ不法ノ裁決ナルヲ以テ原告ハ之ニ服スル能ハス其理由ハ縣參事會ニ於テ町村制第三十七條第三項ヲ解釋シ被選人ノミニ屬スル訴
願權ニシテ選舉人其他ニ屬セサルモノトセハ誤謬ノ甚シキモノナリ抑モ公法上選舉資格者ハ選舉權ヲ有スルト同時ニ適法ニ使用シ完
備シタル町會ヲ組織スルノ義務ヲ負擔スルモノナリ故ニ本件ノ如キ適法ナル資格ヲ有シ有効多數ノ投票ヲ得タル議員ヲ正當ナル理由
ナク町會ニ於テ當選無効トスル裁決ヲ爲スカ如キ場合ニ於テ選舉人ハ上級機關ニ訴願シテ其不正裁決取消ヲ請求スルノ權利アルコト
恰モ選舉人新湯吉右衛門ヨリ町會ニ對シ訴願シタルト同一ニシテ能代町會ハ新湯吉右衛門ノ訴願ニヨリ裁決シタル町會
議決カ有効ナル以上ハ之ト同一ノ權利ヲ有スル原告ノ訴願ニ基キ裁決シタル郡參事會ノ裁決又有効ナル論ヲ待タズ然ルニ縣參事會ハ
此平等權利使用ニ對シ原告ノ訴願ノミヲ無効トセシハ法理ヲ誤解シタル不法ノ裁決ト言ハサルヘカラス依テ該裁決ヲ取消シ原告ニ訴
願權アリトノ裁判アラントテ請求スト云フニ在リ
被告代理人答辯ノ要旨ハ本件ノ事實ハ原告ノ陳述ノ通り異ルトコロナキモ秋田縣參事會ノ裁決ハ相當ナル裁決ナルハ勿論原告ハ本訴
口頭審問ヲ開キタル以來再三一定ノ申立ノ訂正ヲナシタルモノナレハ即チ本訴ノ訴旨ヲ新タニシタルモノナレハ業ニ已ニ出訴期限ヲ

第三類 市町村會議員選舉及公民權

經過シ原告ハ訴權ナキモノナリ故ニ被告ハ答辯ノ義務ナシト云フニ在リ
 依テ双方ノ陳述ヲ聽キ證據ヲ閱シ理由ヲ說明スル左ノ如シ
 原告ハ秋田縣參事會カ原告ヲ以テ町村制第三十七條第三項ニ依ル適法ノ訴願者ニ非ストシ山本郡參事會ノ裁決ヲ無効ナリト裁決シタ
 ルハ不當ナルニ付該裁決ヲ取消シ更ニ訴願權アリトノ裁判ヲ請求スト云フニ在リト雖モ本件ハ元來三浦盛徳ナル者ノ町會議員當選ニ
 關シ其當選ヲ有効ナリト爲スノ爭論ニ起因シタルモノナレトモ原告本訴ノ請求ハ三浦盛徳ノ當選有効ナリトノ裁判ヲ請フモノニアラ
 スシテ單ニ秋田縣參事會ノ裁決ヲ取消シ原告ニ訴願權アリトノ裁判ヲ請フモノナレハ本件ノ如キハ法律勅令ニ行政裁判所ニ出訴ヲ許
 スノ規定ナキヲ以テ原告ハ行政訴訟ヲ提起シ得ルノ限ニ在ラス
 右ノ理由ナルニ依リ判決スル左ノ如シ
 本訴ハ之ヲ棄却ス 訴訟費用ハ原告ノ負擔トス

二十六 町會議員選舉ニ關スル不當裁決取消ノ件 明治二十五年十二月二十六日宣告
 明治二十五年第五百十三號

原告 巖手縣藤澤 齋藤 潔外二 被告 同縣知事 服部一三

右原告齋藤潔外二名ヨリ被告巖手縣知事服部一三ニ對スル町會議員選舉ニ關スル不當裁決取消ノ件ニ對シ被告ハ妨訴ノ抗辯ヲ爲セリ
 依テ之ヲ審理スルニ
 被告妨訴ノ要旨ハ原告ハ明治二十五年四月二十日ヲ以テ舉行シタル水澤町々會議員半數改選ニ級選舉ノ取消ヲ請フモノナレトモ抑町
 村會議員ノ選舉ハ町村制ノ規定ニ依リ町村長之ヲ行フヘキモノナレハ其之ヲ取消シ更ニ選舉ヲ行フコトモ亦固ヨリ町村長ノ職務ニシ
 テ其他ニ之カ執行者ナルモノノレアラズ即チ選舉ノ當務者ハ町村長ナルカ故ニ町村會議員選舉ノ効力ニ關シ選舉人ヨリ提起スル訴
 ノ對手人タルヘキ者ハ必常ニ其當務者ナル町村長ヲサレハカテラサレハ疑ヘキ者ナキナリ然レニ被告カ縣參事會ノ資格ヲ以テ
 爲シタル訴願ノ裁決ヲ不法ナリトシ其選舉ノ當務者ヲ措キ被告ニ對シテ本訴ヲ提起シタルハ全ク其對手人ヲ誤レルモノナルニ付被告
 ハ答辯ノ義務ヲ負ハス且原告訴狀訂正届シタルモ本訴ハ選舉會ノ取消ヲ請求スルノ目的ナリシニ選舉會ニ關スル不當裁決ノ取消ヲ請
 求スト訂正セシハ訴訟ノ目的ヲ變更シタルモノナレハ該訂正届ハ受理セラレヘキモノニ非スト云フニ在リ
 原告答辯ノ要旨ハ被告ハ妨訴抗辯ハ原告ノ請求以外ニ涉ルモノニシテ原告訴狀ノ本旨ニ背反スル抗辯ナレハ直チニ排斥アラシキ事ヲ請
 求ス又被告ハ縣參事會ヲ被告ト爲スヘキモノニアラズト主張スレモ原告ニ於テハ處分者即チ裁決ヲ爲シタル縣知事ヲ對手人トスルハ
 至當ノ事ト思料セリ又被告ハ原告一定ノ申立申訂正届ハ受理相成ラサル模申立レトモ行政裁判法第三十四條ニ原告被告及第三者ハ事

實上及法律上ノ點ニ就キ文書ニ盡サハル所ヲ補足シ又ハ誤謬ヲ更正シ云々トアルニ依リ訂正シタルモノニシテ該文字ヲ挿入セザレハ
 文章ヲ爲サハルカ故ナリ且被告ハ答辯書ノ標題ニ町會議員選舉ニ關スル不當裁決取消ノ訴ト掲ケタルハ裁決取消ノ訴タル事ハ被告自
 身ニ於テモ認ムル所ニシテ原告ハ訂正届ハ決テ訴訟ノ原因ヲ變更シタルモノニアラズト云フニ在リ
 依テ雙方ノ辯論ヲ聽キ理由ヲ說明スルコト左ノ如シ
 本件ハ原告カ訴狀中一定ノ申立訂正届ヲ爲シタルハ訴ノ原因ヲ變更シタルモノナルヤ否ヲ決定スルヲ必要トス而シテ該訂正届ハ訴狀
 中本件選舉會ノ取消ヲ請フ者ナリトアルヲ選舉會ニ關スル不當裁決ノ取消ヲ請フ者ナリト爲シタルモノニシテ原告ハ此訂正ヲ以テ脫
 漏シタル文字ヲ挿入シタルモノナリト云フト雖選舉會ノ取消ヲ請求スルト雖縣知事ノ裁決取消ヲ請求スルトハ全然目的ヲ同クセス隨
 テ訴訟ノ結果ヲ異ニスルモノナルニ依テ文書ヲ補足シタルモノト認ムヘカラス故ニ原告ノ訂正届ハ訴ノ原因ヲ變更シタルモノニアラ
 スト謂フヲ得ス其他妨訴ノ當否ニ關シテハ必要ナラサルヲ以テ之カ說明ヲ與ヘス
 右ノ理由ナルニ依リ判決スルコト左ノ如シ
 本訴ハ之ヲ棄却ス 訴訟費用ハ原告ノ負擔トス

二十七 市會議員選舉ニ關スル件 明治二十六年一月二十一日宣告
 明治二十五年第五百十四號

原告 東京市淺草區 高村武成 被告 同府知事 富田鐵之助

右原告訴訟代理人高梨哲四郎三浦大五郎ヨリ東京府知事富田鐵之助ニ掛ル選舉ニ關スル訴訟審理ヲ遂ケル處
 原告請求ノ要旨ハ明治二十五年五月三十日淺草區役所ニ於テ執行シタル市會議員選舉ノ際第二級選舉ノ結果ハ辰巳小次郎六十一點今
 井喜八六十點大谷雄治五十二點安井治兵衛一點ノ得票者アリタレトモ其投票者中佐藤伊八ハ無資格ニシテ梅木忠藏ハ二級選舉ヲ爲シ
 得可キ資格ヲ有セス且兩人ノ投票ハ全ク辰巳小次郎ヲ選舉シタル事實ナレハ之ヲ取消キ殘票數ヲ以テ第二點者ト爲サハル可カラス故
 ニ原告ハ選舉ノ効力ニ關シ東京市會ニ訴願シ市會ハ該選舉ヲ取消シ更ニ選舉ヲ行フヘキコトヲ裁決シタリ然レニ辰巳小次郎ハ之レニ
 服セス東京府知事ニ訴願シ知事ハ原告ニ於テ選舉權ノ有無及選舉等級ノ當否ニ關シ異議アラハ市制第十八條ノ期限內ニ申立サル可カ
 ラス其期限經過後ニ至リテハ訴願ノ効力失ヒタルモノト爲シ五月三十日ノ二級選舉ハ取消ス可キモノニアラズト裁決ヲ爲シタレトモ
 市制第十八條ヲ汎博無限ノ意義ニ解釋シ去リテ名簿確定ノ効果ハ死者ヲモ活カシ無權利者ヲモ有權者ヲラシムルコト恰カモ神ノ如キ
 モノトスレハ同制第二十八條ニ選舉ノ効力ニ關シ訴願ノ手續ヲ定メタルハ謂レナキニアラズヤ同條及第三十五條ハ選舉以後ニ關セリ
 其選舉以後ニ於テ訴願スルコトヲ得ルハ第十八條カ左マテ汎博ニ意義ヲ有スルモノニアラサル確證ニシテ第二十九條ニ至リ第十八條

第三類 市町村會議員選舉及公民權

ノ憲法顯確日ヲ視ルカ如シ且被告ノ告知書ニ依リ東京市會議員辰巳小次郎ヨリ提出シタル訴願ヲ市制第三十五條ニ依リ受理シタルモノナレトモ同條ハ訴願者其者ト市長ニ就テノミ上訴權ヲ與ヘタルモノナレバ之ヲ受理ス可キモノニアラス元來團體ナル市會議員タルモノハ一個獨立シテ其資格ナキハ論テ峽タス且判決ニ依リ資格ノ喪失シタルニ拘ラス殊ニ同條第四項ノ如キハ違フシテ市會ノ裁判執行ヲ停止シ其資格ノ應用ヲ許シ之ヲ審判シタルモノナリ又暫ク辰巳小次郎ハ公民權ヨリ訴願シタルモノト爲サンカ當初ノ訴願者ニアラス殊ニ第二級選舉ニ無關係ノ第三級選舉者カ突然他人ノ訴願ニ對シ其結果自家一身ノ上ニ利害ノ干係アリト云フテ以テ自ラ進テ訴願ヲ爲シタルモノナルヲ被告ハ汎博ノ意義ニ解釋シ之ヲ採納シ東京市會ノ議決ヲ被却シテ願成セサルハ決シテ適法ノ處置ニアラサレハ速カニ被告ノ爲シタル判決ヲ取消シ更ラニ原告カ主張スル所即チ東京市會議決ノ如ク裁判アラント云フニ在リ

被告答辯ノ要旨ハ明治二十五年五月三十日市會議員選舉ノ際梅木忠藏ハ二級選舉人タルノ資格ナク佐藤伊八ハ市制第七條ノ要件ヲ有セサルモノニシテ共ニ其選舉名簿ニ登錄セラレタルハ事實ナルモ該名簿ハ制第十八條ニ依リ四月二十五日ヨリ七日間關係者ノ縱覽ニ供シ五月十九日ヲ以テ確定シ之レニ依テ選舉ヲ執行シ辰巳小次郎ハ有効投票ノ多數ヲ得テ當選シ該選舉ハ毫モ選舉ノ定規ニ違背シタルモノニアラス元來原告所爭ノ主要ハ選舉權ノ有無及選舉等級ノ當否ニ在リ若シ此等ノ點ニ對シ異議アラハ縱覽期限内ニ申立テ爲サレ可カラス然ルテ期限經過後ニ至リ訴願セシハ其効ヲ失ヒタルモノナリ抑市制第十八條ニ依リ選舉人ノ資格等級ノ當否等ニ付關係者ノ訴願ナクシテ名簿確定シ之レニ登錄セラレタル者ハ何人ト雖モ選舉ニ關スルコトヲ得ルハ同條第二項ノ法文ニ照ラシテ明カナリ故ニ原告カ主張スル選舉權ノ有無等級ノ當否ノ如キハ正ニ制第十八條ノ期限内ニ爭フヘキ事件ヲ以テ第二十八條ノ選舉ノ定規ニ比附援引シ選舉ヲ無効ニ歸セントスルノ一原因ト爲スニ至リテハ全ク筋違ヒナリ又原告ハ市制第三十五條市會議員選舉ノ効力ニ關スル訴願ニ付テハ當初ノ訴願者及市長ノ外ハ訴願權ヲ有セサルモノナルニ辰巳小次郎ノ訴願ヲ受理シ之ヲ審判シタルハ違法ナリト言モ同條第二項ノ不服アル者トハ獨リ當初ノ訴願者ノミニ限リタル明文ナキ以上ノ選舉ノ効力ニ關シ利害ノ關係ヲ有スルモノハ總テ包含シタルモノナリ又其第四項ヲ擲シタル言フモ該項ハ第一項ノ事件ヲ停止セストノ意味ナリ故ニ辰巳小次郎ハ市會議員タルノ資格ヲ保有シ又同條ニ依リ訴願スルコトヲ得ルモノナルハ原告ノ請求ハ排斥アリタシト云フニ在リ

依テ雙方ノ辯論ヲ聽キ證據ヲ閱シ理由ヲ說明スルコト左ノ如シ

被告ニ於テ明治二十五年五月三十日市會議員選舉ノ際梅木忠藏ハ二級選舉人タルノ資格ナク佐藤伊八ハ市制第七條ノ要件ヲ有セサルモノニシテ共ニ其選舉名簿ニ登錄セラレタルハ事實ナルモ該名簿ハ制第十八條ニ依リ四月二十五日ヨリ七日間關係者ノ縱覽ニ供シ五月十九日ヲ以テ確定シタル名簿ニ於テ選舉ヲ執行シ辰巳小次郎ハ有効投票ノ多數ヲ得テ當選シタルモノナレハ該選舉ハ毫モ選舉ノ定規ニ違背セシコトナシ元來原告所爭ノ主要ハ選舉權ノ有無及選舉等級ノ當否ニ在リ若シ是等ノ點ニ對シ異議アラハ縱覽期限内ニ申立テ爲サレ可カラス然ルテ期限經過後ニ至リ訴願セシハ其効ヲ失ヒタルモノナリト云フト雖市制第十八條ハ確定名簿ニ登錄セラレサ

ル者ハ何人ナリトモ選舉ニ關スルコトヲ得ス又此確定名簿ハ當選ヲ辭シ若クハ選舉ノ無効トナリタル場合ニ於テ更ニ選舉ヲ爲ストキモ亦之ヲ適用ス可キ規定ニ過キス而シテ同制第七條ニ市民タルノ資格ヲ定メ第八條及第十二條ニ公民タル者ハ選舉權ヲ有スル原則ヲ規定シタルモノナレハ該資格ナキ者ハ即チ選舉權ナキモノナリトス故ニ無資格者ニシテ選舉名簿ニ登錄セラレコトアリシトスルモ名簿確定ノ効力ニ因リテ有資格者ト爲ルコトヲ得ス然ルニ本件ノ二級選舉ニ於テ梅木忠藏佐藤伊八カ爲シタル投票ハ無資格者ノ投票ニシテ且其投票ハ何人ノ得票ニ歸シタルヤ之ヲ知ルニ由ナキモノナレハ該二級選舉ハ有効ニ當選ノ効果ヲ生ス可キ理由ナキモノトス其他雙方ノ辯論アリト雖必要ナキニ由リ說明ヲ付セス

右ノ理由ナルヲ以テ判決スルコト左ノ如シ

明治二十五年五月三十日淺草區役所ニ於テ執行シタル淺草區選出市會議員ノ二級選舉ハ之レヲ無効トス 訴訟費用ハ被告ノ負擔トス

二十八 村會議員違法選舉取消ニ關スル件 明治二十六年一月二十六日宣告

原告 新潟縣中頸城 郡高志村商 増田九平治 被告 同縣同郡 塚田吉藏

右原告増田九平治ヨリ高志村長塚田吉藏ニ係リ選舉名簿縱覽期限違法ニ付該選舉會取消請求ノ訴訟審理ヲ遂クル處原告請求ノ要旨ハ本村々會議員半數定期改選ニ際シ明治二十五年二月二十八日ヨリ三月五日マテ七日間選舉名簿縱覽期間ト定メシニ其終了期日ニ先タツコト僅カニ一日即チ三月四日ニ至リ被告ハ二級選舉名簿中ニ登錄セシ樋口彌市樋口萬藏ノ兩名チ一級選舉名簿中ニ編入シ爲メニ兩名簿ノ變更ヲ爲シ縱覽期日ハ之レカ爲メ延長スルコトナク三月五日ヲ以テ終了トナシ三月二十九日三十日ノ兩日ヲ以テ選舉會ヲ執行シタルトモ七日ノ期間ハ關係者ノ縱覽ニ供シ之ヲ熟知セシムルノ期間ナレハ此期間内ニ於テ變更アリタルトキハ更ラニ七日間ヲ經サレ可ラス然ラサレハ其變更ハ關係者ニ於テ之ヲ知ルコトヲ得サルニ至ルモノナリ如此違法ノ名簿ニ原因スル選舉會ナレハ是亦不當ノ選舉會ナルユヘ之レヲ取消シ更ラニ正當ノ選舉會ヲ開ク可キ様裁判アラント云フニ在リ

被告答辯ノ要旨ハ村會議員半數改選ニ付名簿縱覽ノ期日等ハ原告ノ陳述相違ナキモ原告ハ縱覽期限内ニ何等ノ申立ヲ爲サス名簿確定シ選舉會終了後本年四月四日ヲ以テ該選舉取消ノ訴願ヲ村會ニ提起シタルトモ縱覽期限經過後ナルニ因リ訴願相立タス郡參事會縣參事會ニ於テモ亦之レヲ却下セラレタルノ事實ニシテ被告カ執行シタル名簿縱覽及議員選舉ハ何レモ其手續ヲ了シ聊カ違法ナク假令違法アリトスルモ已ニ其違法申立ノ期限ヲ經過セシモノナレハ縣參事會ノ判決ハ至當ナルニ因リ原告ノ請求ハ排斥アリタシト云フニ在リ

第三類 市町村會議員選舉及公民權

依テ雙方ノ辯論ヲ聽キ證據ヲ閱シ理由ヲ說明スルコト左ノ如シ
 本件選舉會ニ對シ原告ニ於テハ被告力選舉名簿總覽期限満了ニ先ダツコト一日明治二十五年三月四日ニ至リ二級選舉名簿中ニ登錄セ
 シ樋口彌市外一名ヲ一級選舉名簿中ニ編入シ爲メニ兩名簿ノ變更ヲ爲シタルニ總覽期限ヲ延長セスシテ選舉會ヲ執行シタルハ違法ナ
 リト云フニ在レトモ總覽期限ハ法律上ノ規定ニ係ルモノナレハ選舉名簿ヲ變更シタルコトアルカ爲メニ總覽期限ヲ延長スルコトヲ得
 ス然レトモ選舉人名簿ハ訴訟訴訟ノ結果ニ依リ修正ヲ加フル外私擅ニ變更ヲ爲ス可キモノニアラス然ルニ被告ハ村會裁決ノ手續ヲ經
 ス獨斷ヲ以テ二級選舉人名簿一級ニ繰上ケ變更シ能ハサル名簿ヲ變更シ其告知ヲ爲ササルハ不當ナル旨原告ノ陳述ニ對シ被告ハ何等
 ノ抗辯ヲ爲ササルニ依リテ之ヲ觀レハ被告ハ違法ニ名簿ヲ修正ヲ爲シタルモノト認メサルヲ得サルニ依リ本件選舉會ハ被告力違法ノ
 行爲ニ原因シタル選舉人名簿ニ據リテ選舉ヲ執行シタルモノニシテ適法ニ成立シタル選舉會ナリト謂フヘカラス
 右ノ理由ナルヲ以テ判決スルコト左ノ如シ
 被告村長カ明治二十五年三月二十九日三十日ノ兩日ヲ以テ執行シタル高志村村會議員選舉會ハ之ヲ無効トス 訴訟費用ハ被告ノ負
 擔トス

二十九 村會議員選舉會全部取消ニ關スル件 明治二十六年一月二十七日宣告
 明治二十五年第八十三號

原告 和歌山縣那賀郡上岩出村 笠松官三郎外一
 被告 同縣同郡 同村々長 岩崎兵之右衛門

右原告笠松兵左衛門外八十六名總代笠松官三郎外一名ヨリ被告村長岩崎兵之右衛門ニ係ル村會議員選舉會全部取消ノ訴訟管理ヲ遂ク
 ル處
 原告總代人請求ノ要旨ハ明治二十五年三月和歌山縣那賀郡上岩出村ニ於テ執行シタル村會議員改選及補缺選舉會ハ甲第一號乃至甲第
 六號證ノ如ク長谷川快存外五名ノ公民權ヲ有セサル者カ投票ヲ爲シタルニ依リ其投票ハ無効ニ歸シ隨テ其選舉ノ結果ニ異同ヲ生シ重
 大ノ瑕瑾アルモノナリ又選舉名簿ハ町村制第十八條第一項ノ規定ニ依リ之ヲ調製シ第二項ノ規定ニ依リ七日間關係者ノ縱覽ニ供シ若
 シ脱漏又ハ誤載アルトキハ關係者ハ書面ヲ以テ右總覽期限內ニ町村長ニ申立テ町村長ハ同制第三十七條第一項ニ依リ町村會ヲ開キ其
 裁決ヲ經テ修正スヘキモノハ修正シ修正スヘカラサルモノハ修正セサルニ止マルモノナルニ被告村長ハ乙第八號證ノ如ク藤田龜右衛
 門等ノ申立ノミニテ他ニ訴願者ナキニモ拘ハラズ總覽期限満了後ニ至リ其選舉人名簿ニ加除訂正ヲ爲シタルコトハ追甲第二三號證ノ
 如クニシテ被告力職權ヲ濫用シタル違法ノ處置ナリ又原告力笠松官三郎外四名ナリシニ依リ其五名ハ出
 訴權アルモ其他ハ本件ニ對シ訴權ヲ有セスト抗辯スルモ原告等ハ總代ヲ委任シ訴願シタルモノナレハ訴權ナシト謂フ可カラズ要スル
 ニ以上ノ事實ニシテ明治二十五年三月上岩出村ニ於テ執行シタル選舉會ハ違法ナルヲ以テ町村制第二十九條ニ依リ其選舉會全部ノ取
 消ヲ乞フト云フニ在リ
 被告訴訟代理人答辯ノ要旨ハ原告ニ於テ被告カ明治二十五年三月上岩出村ニ執行シタル村會議員選舉會ハ公民權ヲ有セサル長谷川
 快存吉村幸左衛門岸本文助石橋藤左衛門石橋善吉谷澤虎市ノ六名カ投票ヲ爲シタル不法ノ選舉會ナリト云フト雖モ長谷川快存外五名
 ハ選舉人名簿ニ資格ヲ有スルモノタルコトハ乙第一號乃至乙第七號ノ證ヲ以テ明確ナリ又本訴原告等八十九名ノ内笠松官三郎久保定吉福
 田右平中井定四郎前田福松ノ五名ハ原告ニ本件ニ付村會及郡參事會ノ職務ヲ行フ郡長及縣參事會ノ職務ヲ行フ縣知事ニ順次訴願ヲ提
 起シ其裁決ヲ經テ出訴シタルモノナルモ餘ノ八十四名ハ單ニ縣知事ニ訴願シタルノミニシテ町村制第三十七條ノ訴願手續ヲ履行セサ
 ル者ナレハ本訴ヲ提起シ得ヘキモノニアラス又選舉人名簿ノ縱覽期限後ニ至リ追甲第二三號證ノ如ク被告カ告示ヲ以テ該名簿中ノ人
 名ヲ加除訂正シタルハ違法ナリト云フモ抑選舉人名簿ハ町村制第十八條總覽期限中ニ在テ關係者ヨリ異議ノ申立アレハ村會ノ裁決ニ
 依リ處分スヘキモ若シ其期限後ニ至リ被告村長カ誤謬ヲ發見セシトキ之ヲ訂正スルハ不可ナルコトナシ況ンヤ被告カ該告示ヲ以テ之ヲ
 訂正シタルハ村會議員選舉ノ期日迄十日ノ猶豫アルニ於テオヤ要スルニ本件ハ以上ノ事實ナルヲ以テ原告カ選舉會取消ノ請求ハ排斥
 アリタシト云フニ在リ
 依テ雙方ノ辯論ヲ聽キ證據ヲ閱シ理由ヲ說明スル左ノ如シ
 原告總代人ハ蓋キニ本件ニ付村會及郡參事會ノ職務ヲ行フ郡長ニ訴願ヲナシタルトキハ原告等ノ總代委任ヲ以テ訴願ヲ經盡シタルニ
 依リ原告等總人員ハ出訴權アリト云フト雖今回立證トシテ提出セル甲第四號訴願書ニハ笠松官三郎久保定吉福田右平中井定四郎前田
 福松五人ノ署名ノミニシテ別ニ總代ナリシ證據ナキニ依リ右五名ヲ除ク外原告八十四名ハ其訴願ヲ經盡シ出訴權アリト謂フ可カラズ
 又被告訴訟代理人ニ於テハ町村會議員選舉人名簿ノ縱覽期限後ニ至ルモ若シ誤謬ヲ發見シタルトキハ之ヲ訂正スルヲ得ヘキモノナ
 リト云フモ町村制第十八條ノ規定ハ其名簿縱覽中及期日後ニ至テハ法律ニ基キ訴願裁決ノ結果等ニ依リ之ヲ訂正スルヲ得ヘキモノナ
 リト云フモ町村制第十八條ノ規定ハ其名簿縱覽中及期日後ニ至テハ法律ニ基キ訴願裁決ノ結果等ニ依リ之ヲ訂正スルヲ得ヘキモノナ
 ラス其他雙方ニ於テ論辯スル所アルモ必要ナキヲ以テ說明ヲ與ヘス
 原告笠松官三郎久保定吉福田右平中井定四郎前田福松ヲ除ク外八十四名ニ對シテハ本訴ヲ棄却ス
 明治二十五年三月上岩出村ニ於テ執行シタル村會議員選舉會ハ無効トス 訴訟費用ハ被告ノ負擔トス但笠松兵左衛門外八十三名ニ
 就キ生シタル費用ハ同人等ノ負擔トス

第三類 市町村會議員選舉及公民權

三十 町會議員選舉効力補充判決請求ニ關スル件

明治二十六年一月三十一日宣告、
明治二十五年第七十二號

原告 秋田縣山本郡 宮腰與三郎

被告 同縣同郡 島田治右衛門

右原告宮腰與三郎ヨリ被告島田治右衛門ニ係ル町會議員選舉効力ニ關シ秋田縣參事會裁決ニ對スル訴訟ノ判決ニ對シ原告ハ補充判決ノ申立ヲ爲セリ依テ本裁判所ハ更ニ之ヲ審廷テ開キ原告被雙方ノ辯論ヲ聽クニ

原告申立ノ趣旨ハ本訴ニ對スル裁判宣告ニ於テ原告ニ訴願認權アリトノ請求ハ法律勅令中行政裁判所ニ出訴ヲ許スノ規定ナキヲ以テ棄却ストアルモ原告カ本訴ノ口頭辯論中申立シ三浦盛徳當選有効ナリトノ山本郡參事會ノ裁決有効無効又ハ之ト同一ナル意味ノ判決ヲ受ケタシトノ請求ニ對シ何等ノ裁判無之ニ依リ此申立ヲ爲スモノニテ通常訴訟ナラハ訴願權アリトノ一點ニテ當初原告力受ケタル郡參事會裁決ノ認可ヲ受ケルハ十分ナリ何トナレハ郡參事會ノ裁決ハ原告之ニ満足シ被告モ亦服從シテ執行シツ、アリ然ルニ本件訴訟外ナル町會カ右郡參事會ノ裁決ヲ不服ナリトシ縣參事會ニ訴願シ縣參事會ハ原告ニ對シ訴願權ナシトシ隨テ郡參事會ノ裁決ヲ取消シタリ故ニ原告ハ之ヲ不當ナリト爭ヒ被告ハ此點ヲ適當ナリト爭フニ止マリ郡參事會裁決ノ三浦盛徳力當選有効ナリトノ點ニ於テハ原被告共ニ爭ハサル所ナリ然レトモ行政裁判上ニ於テ郡會ノ裁決ヲ復活シ直チニ認可ヲ得ルコト能ハザレハ止ムヲ得ス更ニ同裁決ト同意味ナル裁決ヲ受ケ度斯ル場合ノ必要アリト思料シ三浦盛徳ノ公民權ニ付神奈川縣ヨリ内務省ヘノ何指令ヲ引證シ郡參事會ノ裁決ヲ認可セラル、カ若シ該裁決認可ノ裁判ヲ與フル能ハサル行政裁判上ノ規定ナルニ於テハ前陳ノ理由ヲ參照シ郡參事會裁決ト同一ノ意味即チ三浦盛徳ノ當選有効ナリトノ裁判ヲ請求シタルモノナレハ更ニ其補充判決ヲ請フト云フニ在リ

被告陳述ノ要旨ハ元來補充ノ申立ハ主タル點ニ向テ申立ヘキモ其他ノ點ニ就キ不服ヲ申立ヘキ答ナシ原告最終ノ申立ハ適法ノ訴願ナリトノ裁決ヲ請フモノニシテ一定ノ申立ヲ數回訂正シタルモ此點ニ外ナラサルハ先キノ調書ニ於テ明瞭ニシテ本案ノ骨子ニ對シ判決アル以上ハ再ヒ補充判決ヲ請フノ理由ナキニ依リ原告ノ申立ハ排斥アリタシト云フニ在リ

右ニ對シ理由ヲ說明スルコト左ノ如シ

原告カ補充判決申立ノ要點ハ蓋ニ本訴ノ審問ヲ經タル口頭辯論中三浦盛徳當選有効ナリトノ山本郡參事會ノ裁決有効無効又ハ之ト同一ナル意味ノ判決ヲ受ケ度シトノ請求ニ對シ何等ノ裁判ナシト云フニ在リト雖モ原告カ最終ニ申立タル一定ノ申立訂正願ノ文詞ハ原告ハ町制第三十七條第三項ニヨリ町會議員選舉効力ニ關セシ訴願ニ對シ山本郡參事會カ裁決ヲ與ヘタルハ無効ニアラス依テ法律上取消スヘキモノニアラストノ御裁決ヲ申受度シトアレハ本訴ハ秋田縣參事會カ與ヘタル裁決ニ於テ山本郡參事會ノ裁決ヲ取消シタルヲ不法トシ其裁決ノ取消ヲ請求シタルモノニシテ原告ニ訴願權アリトノ裁判ヲ請フモノナルハ明瞭ニシテ被告ノ原告口頭辯論中山本郡參事會ノ裁決ト同一ナル意味ノ判決ヲ受ケ度シト云ヘルノミチヲ以テ町會議員選舉ノ効力ニ就キ直チニ裁判ヲ請フモノナリト爲スナリ

ス即チ原告カ同時ノ辯論中ニ趣旨ヲ變シタルニ非ス爭フ處ノ形容ヲ變シタルマテニシテ歸著スル處縣參事會ノ裁決ヲ取消サルレハ郡參事會ノ裁決カ復活ニ至ルヘキ裁判ノ結果トナルヘシトノ申立ニ依リテ之ヲ觀ルモ原告本訴ノ目的ヲ知ルヲ得ヘシ故ニ本訴ノ裁判ハ已ニ完結シタルモノニシテ其判決ヲ補充スルノ必要ナキモノトス

右ノ理由ナルヲ以テ本件補充判決ノ申立ハ之ヲ棄却ス 此裁判ニ關スル費用ハ原告ノ負擔トス

三十一 村會議員再選舉取消ニ關スル件

明治二十六年二月十七日裁決
明治二十五年第七十五號

原告 熊本縣菊池 足達亦伍外五

被告 熊本縣菊池 足達亦伍外五

右原告足達亦伍外五名ヨリ被告熊本縣知事松平正直ニ對スル村會議員再選舉ニ係ル訴訟ニ就キ審査スルニ

原告請求ノ要旨ハ岩村村會議員選舉名簿ノ調製手續ニ關シ村長ハ所轄郡長ト見解ヲ異ニシ終ニ本縣參事會ノ裁決ヲ請ヒシニ其裁決書ハ意外ニモ訴願外ノ事件即チ岩村村會カ當初足達亦伍外一名ノ訴願ニ對シテ五月一日ノ半數改選ヲ破毀シ再選舉ヲ執行スヘキモノト判定シタル裁決ハ不當ニシテ再選舉ヲ行フコトヲ得サルモノトノ裁決ヲ與ヘタルハ却テ不當ノ裁決ナレハ村會ノ裁決ヲ受ケタル原告等ハ默止スル能ハス公正ナル行政裁判所ノ判決ヲ煩ハスト云フニ在リトモ明治二十五年五月十六日ノ村會裁決ハ選舉權ノ有無ニ關スルモノニシテ爾後其裁決ニ對シ不服ヲ唱フル者ナクシテ訴願期限ヲ經過シ該裁決ハ確定シタルモノナリ且岩村長ヨリ菊池郡長ニ對スル名簿調製ニ關スル訴願ニ就キ同年七月四日縣知事ノ爲シタル裁決書中ニ本年五月六日付本村會カ與ヘタル裁決ハ不當ノ裁決ニシテ更ニ選舉ヲ行フコトヲ得サルモノニ付選舉名簿云々ト記載シアレトモ元來名簿調製ノ要否ニ關スル訴願ノ裁決ナルニ由リ之ヲ以テ直チニ選舉權ノ有無ニ關シ原告等カ會テ受ケタル村會ノ裁決ヲ覆スルコトヲ得サルモノナレハ原告等ノ權利ニ消長ヲ生ス可キ理由ナク隨テ本件ハ行政訴訟ヲ提起スヘキモノニラス

右ノ理由ナルヲ以テ行政裁判法第二十七條ニ依リ本訴ヲ却下ス

三十二 村會議員半數改選取消ニ關スル件

明治二十六年二月二十三日宣告
明治二十五年第九十號

原告 千葉縣東葛 佐久間清藏外十

被告 同縣同郡 藤井三郎

右原告佐久間清藏外十名ヨリ塚田村々長藤井三郎ニ係ル村會議員半數改選々舉會取消ノ訴訟審理ヲ遂クル處

第三類 市町村會議員選舉及公民權

三十九

原告請求ノ要旨ハ明治二十五年四月十一日塚田村ニ於テ開キタル村會議員半數改選々舉會ハ第一二級選舉ノ際一票ノ代人投票アリテ之ヲ棄却セントスルトキ他ノ有効投票一票ハ一定ノ用紙ヲ用井サルモノナリトテ無効ト爲シ共ニ火鉢ニ投シ燒棄シタルハ選舉ノ効力ニ關スル違法ナリ第二二級選舉ノ投票ナリシ其當選者ヲ査定セズ閉函ノマ、一級選舉ノ投票ヲ始メ之ヲ了シタル後二級選舉ノ効力函ヲ開キテ其當選者ヲ點檢シ概テ一級選舉ノ當選者ヲ點檢シタリ是レ全ク町村制第十九條ノ規定ニ違背シタルモノナレハ同制第二十條ニ從ヒ該選舉ヲ取消シ更ニ開會アラントテ請求ス又被告ニ於テ原告ノ内佐久間清藏等十一名ニ對シ今ニ及ンテ異議アルトモ當初村會ハ訴願セシトキ之ヲ主張セザリシハ被告力已ニ默諾シタルモノナリト云フニ在リ

被告答辯ノ要旨ハ原告陳述ノ第一ハ投票ヲ燒棄シタリト云フモ斯ル事實ナク現票存在セリ但本村助役飯塚福藏ガ東葛飾郡長ニ無効投票ハ現在セサル旨申シタルハ村長代理ノ資格ニアラサルニハ事實ヲ誤リタルモノニシテ其燒棄セサルハ現票提出ヲ以テ明カナリ第二二級選舉云々ハ假令其事實アリトスルモ町村制第十九條ニ違背セズ該條第一項ハ選舉準備ヲ村長ノ權内ニ委任シ第二項ハ選舉ノ順序タルヲ示シタルモノナレハ村長ノ第一項ノ權内ニ於テ施行スルコトヲ得可シ故ニ被告ハ過誤アリト云フ可カラス且原告ノ内佐久間清藏ハ當時選舉掛ニシテ被告ニ屬ス可キモノナレハ本選舉會ニ付テハ訴訟ヲ提起スルコトヲ得サルモノナリ秋山友右衛門ハ當初訴訟ノ際他ノ連名ノ者ニ名義ヲ肩サレタルモノニシテ訴願者ニアラス高橋源右衛門高橋源左衛門ハ選舉名簿ニ記載ナキモノナレハ選舉權ヲ有セス金子伊兵衛金子源吉金子勇吉森田要藏高橋源助高橋勝次郎田中治郎左衛門ハ投票權ヲ拋棄シタルモノナレハ右十一名ハ共ニ訴權ナキモノナリ依テ原告等ノ請求ハ排斥アリタト云フニ在リ

右雙方ノ辯論ヲ聽キ證據ヲ閱シ理由ヲ說明スルコト左ノ如シ

原告ニ於テ被告ハ原告ノ内十一名ニ對シ異議ヲ主張スレトモ當初訴願ノ際之ヲ默諾シタルモノナリト云フト雖モ高橋源右衛門高橋源左衛門ノ二名ハ選舉人原簿及選舉人名簿ニ記載ナキモノナレハ訴願訴訟ヲ提起スルコトヲ得ス又被告ニ於テハ原告ノ内十一名ハ訴權ナシト云フト雖モ佐久間清藏ハ選舉掛タリシ者ナルモ選舉掛ハ該選舉ニ付訴願訴訟ヲ許サトルノ規定ナク秋山友右衛門ハ訴願書ニ簽子某ノ實印ヲ捺捺シタルモ自己ノ氏名ヲ連署シタルモノニシテ之ヲ肩サレタルニアラス金子伊兵衛金子源吉金子勇吉森田要藏高橋源助高橋勝次郎田中治郎左衛門ハ選舉當日投票權ヲ拋棄シタルコトアリトスルモ公民權ヲ有スル者ナレハ共ニ選舉ノ効力ニ關シ訴權ナシト云フヲ得ス

本案原告ニ於テ被告ハ有効投票ノ一票ヲ燒棄シタルハ選舉ノ効力ニ異動ヲ生ジタリト云フト雖モ雙方陳述スル投票ノ全數ニ適合スル現票ノ存在スルニ依レハ之ヲ燒棄シタル事實アリト認メ雖ク隨テ選舉ノ効力ニ異動ヲ生スルノ理由ナキモノトス又被告ニ於テ二級一級選舉ノ事實ハ假令原告陳述ノ如クナルモ町村制第十九條ニ違背セズ村長ノ職權ヲ以テ施行シタルモノナレハ過誤ニアラスト云フト雖モ町村制第十九條ハ先ツ二級ノ選舉ヲ行ヒ次ニ一級ノ選舉ヲ行フノ規定ニシテ其選舉ヲ行フハ當選者ヲ定ムルニ外ナラサルモノナレハ未タ其當選者ノ定マラサル前ニ於テ選舉ヲ完了シタルモノト云フ可カラス依テ村長ハ職權内トシテ該順序ヲ變更スルコトヲ得サルモノナレハ右事實ハ選舉ノ規定ニ違背シタルモノナリト云フ

原告高橋源右衛門高橋源左衛門ニ對シテハ本訴ヲ棄却ス

明治二十五年四月十一日塚田村ニ於テ執行シタル村會議員半數改選ノ選舉ハ之ヲ取消ス

訴訟費用ハ被告ノ負擔トス但高橋源右衛門高橋源左衛門ニ係ル費用ハ同人等ノ負擔トス

ノナレハ右事實ハ選舉ノ規定ニ違背シタルモノナリトス

前項ノ理由ナルヲ以テ判決スルコト左ノ如シ

原告高橋源右衛門高橋源左衛門ニ對シテハ本訴ヲ棄却ス

明治二十五年四月十一日塚田村ニ於テ執行シタル村會議員半數改選ノ選舉ハ之ヲ取消ス

訴訟費用ハ被告ノ負擔トス但高橋源右衛門高橋源左衛門ニ係ル費用ハ同人等ノ負擔トス

三十三 村會議員選舉無効投票取消中間判決ニ關スル件 明治二十六年三月十一日宣告 明治二十五年第七十三號

原告 熊本縣上益城 郡濱町村雜業 木原覺八 被告 同縣同郡 下田弘治

右原告木原覺八ヨリ被告村長下田弘治ニ係ル村會議員選舉無効投票取消ノ訴訟ニ付被告代理人ヨリ原告訴訟代理人ノ申立ニ對シ中間判決ヲ請求セリ依テ審理ヲ遂クル處

被告訴訟代理人申請ノ要旨ハ原告ハ明治二十五年五月一日及同月二日ヲ以テ執行シタル熊本縣上益城郡濱町村會議員半數改選ノ選舉中一級選舉人投票中氏名ノ外餘事ヲ記載シタル投票三十二票及二級選舉人投票中同標ノ投票一百九枚ハ無効ナルニ付之ヲ取消シ更ニ有効投票ニ就キ當選人ヲ査定スヘキ様裁判アラントテ求ムト雖モ本來原告ハ二級選舉人ニシテ現ニ縣參事會ニ提出シタル訴願書並ニ之ニ對シテ下シタル裁決書ニ就テ之ヲ見ルモ已レノ屬スル級ナル二級選舉ニ關シテ訴願シタルモノニアラサルコト明カナリ然レニ行政訴訟ヲ提起スルニ及ンテ一級選舉ニ付テ之ヲ爭フハ不當ナリ假リニ又右ノ訴願ハ兩級選舉ニ關シテ提出シタルモノトナスモ選舉人カ己レノ屬セサル級ノ選舉ニ對シテ不服ヲ唱フルノ權利ナキコトハ町村制第十八條第二項ノ精神ニ依リテ明カナリ果シテ然ラハ二級選舉人タル原告ハ一級選舉ニ付テ行政訴訟ヲ提起スルノ權利ナキモノナルヲ以テ此點ニシテ確定セサル已上ハ被告ハ進ンテ辯論ヲ爲スヲ得サルニ依リ選舉人カ己レノ屬セサル級ノ選舉ニ關シテ不服ヲ唱フルヲ得ルヤ否ヤノ點ニ付中間判決ヲ受ク度シト云フニ在リ

原告訴訟代理人答辯ノ要旨ハ被告ハ原告カ縣參事會ニ提出シタル訴願ヲ以テ一級選舉ニ關シテハ訴願シタルモノニアラス又假令訴願シタルモノトナスモ選舉人ハ己レノ屬セサル級ノ選舉ニ關シテ不服ヲ唱フルノ權利ナシト云フモ原告カ提出シタル訴願ハ孰レモ一級二級共ニ通スルノ訴願ナルコトハ訴願書ノ全體ニ就テ之ヲ見ルモ明カナリ現ニ縣參事會ノ裁決書ニモ訴願人申立ノ理由ハ明治二十五年五月一日二日兩日ニ於テ施行シタル選舉會云々トアルニ依テ之ヲ見ルモ明カナリ殊ニ被告ハ選舉人ハ己レノ屬セサル級ノ選舉ニ關シテ不服ヲ唱フルノ權利ナシト云フモ原告ハ選舉人タル者ハ決シテ己レノ屬スル級ノ選舉ノミニ對シテ訴願訴訟ヲ爲シ得

ハキモノニアラスシテ選舉全體ニ付テ之ヲ爲シ得ヘキモノナリト思料セリ假リニ此點ハ孰レニ決スルトナスモ此點ノ定マラサルカ爲メニ訴訟ノ進行ヲ聊カ妨クルモノニアラザレハ原告ハ被告ノナシタル中間判決ノ申請ヲ棄却セラレ度シト云フニ在リ

被告訴訟代理人ハ原告カ縣參事會等ニ提出シタル訴願ヲ以テ一級選舉ニハ關係ナシト云フ又假令一級選舉ニモ關シテ訴願シタルモノナリトスルモ選舉人ハ已レノ屬セサル級ノ選舉ニ付訴願訴訟ヲ爲スノ權利ナシト云フト雖モ原告カ縣參事會等ニ提出シタル訴願書ヲ審閱スルニ只一般ニ濱町村々會議員半數改選ノ選舉中無効投票アルコトヲ記載シ別ニ二級選舉ノミニ付テノ訴願ナルコトヲ認ムヘキ點ナキノミナラス縣參事會等ノ與ヘタル裁決書ニ就テ之ヲ見ルモ兩級ニ通シタル訴願ト認メタルコト明ナレハ原告ハ正當ニ手續ヲ履行シタルモノト認メサルヲ得ス又町村制土納稅額ニ依リ選舉人ニ一級二級ノ等級ヲ設ケタルハ只町村稅負擔ノ多少ト選舉權トヲ相件ハシメタルマテニシテ町村會議員ノ選舉人タル點ニ於テハ兩級ノ間更ニ差別アルモノニアラザルノミナラス其カ選出シタル議員ニモ亦選舉人ノ屬スル級ノ異ナルニ依リテ差別ヲ生スルコトナシ故ニ選舉人ハ已レノ屬セサル級ノ選舉ニ關シテ訴願訴訟ヲ爲スノ權利ナシト云フヲ得ス

右ノ理由ナルニ依リ判決スル左ノ如シ
被告ノ申請相立タス 此裁判ニ關スル費用ハ被告ノ負擔トス

三十四 村會議員違法選舉取消ニ關スル件

明治二十六年三月十一日宣告
明治二十五年第九十五號

原告 熊本縣上益城郡福田村長 野田小三郎外六名

被告 同縣同郡 上田貞雄

右原告野田小三郎外六名ヨリ被告上田貞雄ニ對スル違法選舉取消並ニ再選舉ヲ要ムル訴訟審理ヲ遂ケル處
原告代理人陳述ノ要旨ハ町村制第二十條中選舉掛長ニ關スル規定ハ町村長一人ニテ自ラ掛長トナルカ又町村長差支アルトキニ限り代理者一人ヲシテ掛長トナラシムル趣旨ニシテ被告カ云フ如ク村長及ヒ代理者二人出席ノ上更々掛長ノ職ヲ執ルコトヲ許シタルモノニアラス元來選舉會場ハ神聖ニシテ無用ノ者ヲ入レ仍テ以テ詐僞ヲ退フスルコトヲ嚴禁スル精神ノモノナレハ其掛長タルヘキ者モ選舉前豫シメ村長カ若クハ代理者ニ於テ一人ニテ職ヲ行フヘキコトヲ公告セサルヘカラス然ルニ被告カ明治二十五年五月一日二日ヲ以テ行フタル上益城郡福田村々會議員半數改選ノ選舉ハ被告及ヒ助役大津山經賢兩名ニ於テ掛長ノ事務ヲ執リ選舉掛ヲ併セ都合六名ニテ選舉ヲ執行シタルモノナレハ則チ違法ノ選舉ナリ又町村制第二十一條ノ規定ハ選舉開會中ハ非選舉人一切入場ヲ禁シタル精神ナレハ其非選舉人タル以上ハ通常人ト役場吏員タルトナ間ハ一切入場ヲ禁スヘキハ當然ナリ然ルニ被告カ本件選舉場ニ非選舉人タル收

入役上村喜平チ入場セシメ會場ノ入口ニ在リテ番號札ヲ選舉人ニ渡スコトヲ取扱ヒタルハ選舉人チ勸誘セシムル目的ニ外ナラザルハシ依テ上村喜平チシテ職務ヲ取扱ヒタル爲メナリトテ入場セシメタルハ町村制ノ規定ニ違背シタルモノナリ又非選舉人タル上村喜平チ力選舉場ニ入ルコト已ニ違法ナルノミナラス同人カ選舉人津崎庄次郎ニ番號札ヲ渡ス際其投票ヲ摺リ替ヘタル事實アリシハ明瞭ニシテ是亦違法ナリ依テ明治二十五年五月一日及ヒ二日ニ於テ執行シタル熊本縣上益城郡福田村々會議員半數改選ノ選舉全部ヲ取消シ更ニ期日ヲ定メテ選舉ヲ執行セシムルコトヲ要求スト云フニ在リ
被告代理人答辯ノ要旨ハ本件村會議員選舉ノ選舉掛長タルシニ當時痲疾ニ罹リ脈々通氣ヲ僅シ席ニ堪ヘサルヨリ助役大津山經賢チテ取締ノ爲メ補佐セシメタルハ町村制第二十條本文ニ依リタルモノニテ正當ノ手續ナリ且本村ハ多數ノ選舉人ニテ繁雜ナレハ事務ノ滯滞ヲ爲サル爲メ注意シ掛長ノ缺席間選舉場内ノ取締ヲ爲サシメタルモノナリ又本村ハ選舉公民多人數且政黨競争ノ土地ナレニ依リ其秩序嚴格ナラザレハ騷擾ヲ免カレサルヲ以テ被告ハ收入役上村喜平チシテ會場入口ニ於テ選舉人ヘ番號札ヲ渡シ順次投票セシムルコトヲ取扱ヒタルハ是必竟會場取締ノ必要ニ出テタルモノニシテ原告言フ如ク町村制第二十一條ニ違背シタルモノト謂フヲ得ス又上村喜平チ津崎庄次郎ノ投票ヲ摺リ替ヘタルト謂フ原告主張ノ事實ハ全ク虛構ノ事實ニシテ被告ハ之ヲ認ムル能ハス依テ原告ノ請求ハ不當ナルニ付キ之ヲ排斥セラレシコトヲ請フト云フニ在リ

原告代理人ハ被告及ヒ助役大津山經賢兩名ニ於テ選舉掛長ノ事務ヲ執リタルハ違法ナリト云フト雖被告ハ大津山經賢チシテ掛長タル被告ノ缺席間選舉場内ノ取締ヲ爲サシムルノ目的ヲ以テ假リニ之ニ其事務ヲ取扱ヒシメタルモノナレハ被告ノ行爲ハ町村制第二十條ノ規定ニ違背シタルモノト謂フヲ得ス又町村制第二十一條ノ規定ハ要スルニ選舉開會中其選舉執行上無關係ナル者ヲシテ其會場ニ入ルコトヲ許サ、ルノ精神ニ出テタルモノナレハ被告カ會場取締ノ必要ヲ認メテ役場吏員タル收入役上村喜平チシテ會場入口ニ於テ番號札ヲ選舉人ニ渡サシメタルハ該條ノ規定ニ違背シタルモノト爲スチ得ス又上村喜平チ選舉人津崎庄次郎ニ番號札ヲ渡ス際其投票ヲ摺リ替ヘタルト謂フ原告主張ノ事實ハ其確證ナキノミナラス假令其事實アリト爲スモ當時何等ノ異議ナクシテ選舉ヲ結了シタル上ハ選舉ノ効力ニ影響ヲ及ボサルモノトス
右ノ理由ナルニ依リ判決スル左ノ如シ
原告ノ請求相立タス 訴訟費用ハ原告ノ負擔トス

三十五 村會議員投票効力ニ關スル件

明治二十六年三月十三日宣告
明治二十五年第九十六號

原告 山形縣西置賜郡豐原村長 中村俊章

被告 同縣同郡 佐藤米五郎

第三類 市町村會議員選舉及公民權

右原告豊原村長中村俊章ヨリ被告佐藤米五郎ニ係ル村會議員投票効力ニ關スル訴訟審理ヲ遂クル處
 原告請求ノ要旨ハ明治二十五年六月廿日中豊原村會議員改選ニ級選舉會ニ於テ八島傳内ナル者有効投票八十二票ヲ得佐藤米五郎ナル者
 居住地大字ヲ記シタル有効投票八十一票ヲ得タリ依テ八島傳内ニ當選ノ告知ナル者シタル次第ナリ而シテ單ニ佐藤米五郎ト記シタル投
 票十一票アリタレトモ本村内大字黒澤ニモ亦被選資格ヲ有スル佐藤米五郎ナル者アリテ被告ト兩人ノ内孰レヲ投票シタルモノナルヤ
 確認スルヲ得サルニ因リ選舉掛ハ止ムヲ得ス之ヲ無効投票ト決シタリシニ被告大字中ノ佐藤米五郎ハ確證ヲモ示サス右十一票ハ自己
 ノ得票ナリト主張シ訴願ヲ提起シタルトモ村會及郡選舉會ハ其理由ナキモノト裁決シ縣選舉會ハ之ニ反シ棄却シタルトモ十一票ハ假令佐
 所ノ記載ナキモ他ノ同氏名者ハ外ニ一票ノ得票ナク被告ハ既ニ八十一票ノ得票アルヨリ推測スルモ事實上被告ノ得票ナリト裁決シタ
 リ然レトモ一村ニ同氏名ノ者兩名アル場合ハ大字ノ記載ナキヲ以テ被告ノ得票ナリト確認スルヲ得サルモノナルハ八島傳内ニ當選告
 知ヲ爲シタルハ相當ナリトノ裁決ヲ乞フト云フニ在リ
 被告答辯ノ要旨ハ村會議員投票効力ニ關シ縣選舉會ノ爲シタル裁決ハ至當ニシテ原告カ十一票ヲ無効投票ト爲シタル事實ハ町村制第
 二十三條ノ第二ニ適合セス大字記載ナキ投票ハ宜シク事實ニ徵ス可キナリ而シテ大字黒澤ノ佐藤米五郎ハ屋根茸ヲ職業ト爲シ日當生
 活ハ辛クモ之ニ據リテ遂グル者ニシテ唯價カニ公民權ヲ有スルニ止リ未タ公務ニ關與セシコトナシ然ルニ被告ハ明治十四年來種々公
 務ニ從事シタル事實ニ徵スルモ被告ニ投票シタルモノナルコトヲ知ルニ餘リテ該投票ハ自分ノ得票タル可キモノナルハ原告ノ請求ハ
 棄却アリタレト云フニ在リ
 右雙方ノ辯論ヲ聽キ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ
 原告ニ於テハ一個ノ公民タル被告ニ對シ山形縣選舉會ノ裁決ハ不當ナリト論述スト雖本來行政訴訟ハ行政上ノ處分ニ對シ之ヲ救正シ
 求ムルニ因テ提起シ得可キモノナルニ其對手人ヲ誤リタルモノナルハ本案ニ對シテハ裁例ヲ爲ス可キモノニアラス
 前項ノ理由ナルヲ以テ本訴ヲ棄却ス 訴訟費用ハ原告ノ負擔トス

三十六 公民權停止租稅增課處分取消ニ關スル件 明治二十六年三月十四日宣告

原告 秋田縣仙北 郡中川村農 戶澤政吉 被告 同縣同郡村 大澤藏之助
 村會議長
 右原告戶澤政吉ヨリ被告大澤藏之助ニ對スル村會議決處分不當ノ訴訟書面ニ就テ審理ヲ遂クル處
 原告請求ノ要旨ハ明治二十三年四月二十二日村長選舉會ニ於テ自分當選シタル由通知アリタレトモ自分ハ筆算ヲ能クセサルカ故村長ノ
 職ニ堪ヘスト思考シ翌十三日ヲ以テ辭退書ヲ被告ニ送りシニ其後五月二十日ニ至リ中川村書記黒澤幸徳自分宅ニ臨ミ村長當選ヲ拒辭

シタルハ不當ナルニ依リ町村制第八條第三項ニ依リ三箇年間本村公民タルノ權ヲ停止シ且同年期間負擔スヘキ村費ノ八分一ヲ増課ス
 トノ議決ヲ爲シタル越ニテ村會議長大澤藏之助ノ告知書ヲ讀開カセタルモ其議決ニ服シ難ク五月廿三日付テ以テ村會ノ議決取消ノ訴
 願ヲ郡選舉會ニ提出セシニ仙北郡長代理書記岡忠恪ハ訴願期限ノ計算ヲ誤リ正當ノ期限ヲ經過シタルモノト爲シ十二月二十六日付テ
 以テ之ヲ却下シ村役場ヲ經テ其二十八日日落手シタルトモ是亦裁決不服ニ付翌二十九日秋田縣選舉會ニ訴願セシニ秋田縣廳ハ訴願法ノ
 規定ニ違フ所アリトシ二十四年二月五日ヲ以テ之ヲ却下シ村役場ヲ經テ其十四日之ヲ落手シタル故十八日ヲ以テ更ニ之ヲ縣廳ヘ提出
 セシニ三月十二日ニ至リ本件ハ町村制第二百條ノ期限ヲ經過セシモノト爲シ却下セラレタルヲ以テ茲ニ訴訟ヲ提起セリ抑町村制第
 八條第二項ハ辭退者其事由ヲ村會ニ述ベ村會ハ其理由アリヤ否ヲ審議シ理由ナシト決定シテ之ヲ辭退者ニ通知シタル場合ニ於テ尙當
 選ヲ辭退スルトキハ義務ニ背クモノニシテ始メテ拒辭ト稱スヘキナリ就中町村長及助役ハ他ノ名譽職ト其趣ヲ異ニシ府縣知事ノ認可
 ナ得サレハ單ニ町村會ノ選舉ヲ得タリトテ名譽職ト言フヘカラス然ルニ中川村會ハ選舉ノ多數投票ヲ得タルノミヲ以テ名譽職ヲ完成
 シタルモノト誤認シ且一應ノ辭退ヲ機トシ直ニ之ヲ拒辭シタルモノト爲シテ處分シタルハ失當ナリ又郡選舉會及縣選舉會ニ於テハ執
 レモ訴願期限ノ計算ヲ誤リ書面往復ノ日數ヲ除去セス本願ハ期限ヲ經過シタルモノト爲シ共ニ願意ノ裁決ヲ爲サスシテ之ヲ却下シタ
 ルモ亦不服ナリ依テ本訴ノ村長辭退ニ對スル村會ノ議決不當處分ヲ取消アラント希望ムト云フニ在リ
 被告答辯ノ要旨ハ原告ニ於テ名譽職ヲ拒辭セシニ依リ明治二十三年四月十六日ノ村會議決ヲ以テ原告申立ノ通裁決ヲ爲シ翌十七日當
 時ノ村會議長大澤藏之助ヨリ告知書ヲ送付セシモ原告ハ之ヲ領取セサルヨリ種々ノ手續ヲ爲シ遂ニ同年五月十三日ヲ以テ領取セシメ
 タリ而シテ原告カ拒辭ノ理由ト爲ス所ノ採ルニ足ラサルハ町村制ノ規定ニ於テ明白ナリ又原告ハ拒辭ナルモノハ再三再四辭退ニ及ブ
 者ヲ謂フモノナリト云フモ當時數懇諭ニ及ヒシコトハ尙ホ其底ニ止ムルハシ且原告ハ期限ノ利益ヲ保タントシ同村書記黒澤某ト
 共謀シ明治二十三年五月二十日原告ノ宅ニ臨ミ裁決告知書ヲ讀開セタルモノト爲シ其日ヨリ訴願期限ヲ起算セシモ元來書記黒澤某ト
 ル者ハ役場ヲ代表シタルモノニ非サレハ一人ノ所爲ナルノミ況ンヤ原告ハ二十三年五月十三日村會ヨリ告知ヲ受タルコトハ他ニ確
 證ノ在ルアリテ今更動カサントスルモ能ハサルニ於テオヤ又村會ノ處分並ニ郡選舉會及縣選舉會ノ裁決ハ至當ナルニ於テオヤ依テ原
 告ノ請求ハ排斥アリタレト云フニ在リ
 右雙方ノ提出スル書類ヲ閱シ說明ヲ爲スコト左ノ如シ
 原告ニ於テ町村制第八條ハ辭退者其事由ヲ村會ニ述ベ村會ハ其理由アリヤ否ヲ審議シ理由ナシト決定シテ之ヲ辭退者ニ通知シタル場
 合ニ於テ尙當選ヲ辭退スルトキハ義務ニ背クモノニシテ始メテ拒辭ト稱スヘキナリ就中町村長及助役ハ他ノ名譽職ト其趣ヲ異ニシ府
 縣知事ノ認可ヲ得サレハ單ニ町村會ノ選舉ヲ得タリトテ名譽職ト言フヘカラスト云フト雖投票ノ多數ヲ得タルハ即チ名譽職ノ當選ニ
 シテ府縣知事ノ認可ヲ得サル前ト雖モ名譽職ニアラスト云フ可キモノニアラス又町村制第八條第一項ニ於テ名譽職ニ選舉セラルハノ
 權利又之ヲ擔任スルノ義務アルコトヲ規定シタルモノナルハ何人ト雖之ヲ辭退スルトキハ即チ拒辭スル者ニシテ町村會カ理由ナキコ

第三類 市町村會議員選舉及公民權

トテ議決シタル後始メテ拒辭ト稱スヘキモノニアラス而シテ原告ハ讀書一圓不存由ヲ以テ村長ノ就職辭退書ヲ差出タルモノナレトモ原告カ從前ノ事蹟ニ由レハ村長ノ職ヲ執ルコト能ハサルモノト認メ難キニ付辭退書ノ事實ハ名譽職ヲ拒辭スルノ理由ト爲スニ足ラサルモノナレハ中川村會カ町村制第八條第三項ニ依リ原告ハ三箇年間本村公民タルノ權ヲ停止シ且同年期間負擔スヘキ村費ノ八分一ヲ増課ストノ議決ヲ爲シタルハ不當ナリト言フヲ得ス
右ノ理由ニ依リ判決スルコト左ノ如シ
原告ノ請求相立タス 訴訟費用ハ原告ノ負擔トス

三十七 町會議員選舉人名簿ニ關スル妨訴抗辯

明治二十六年三月十五日裁決
明治二十五年第四百二十五號

原告 石川縣羽咋 郡高濱町長 雄谷助次郎

右高濱町長雄谷助次郎ヨリ被告石川縣知事鈴木大亮ニ對スル町會議員選舉人名簿ニ關スル件ニ對シ被告ハ妨訴抗辯ヲ爲シタリ依テ之ヲ審理スルニ

被告抗辯ノ要旨ハ本件ニ對スル原告カ被告ノ裁決書ヲ領收セシハ十月二十二日ニシテ右裁決ノ告知ヲ受ケタルハ遅クトモ同日ナラサルヘカラス然ルニ本訴ノ提起ハ明治二十五年十一月二十五日付ニシテ町村制第二百二十條第三項ノ期限ヲ超ユルモノナレハ本訴訟ハ提起スルヲ得サルモノナリト云フニ在リ

原告反駁ノ要旨ハ本訴ハ行政裁判法第二十二條第二項ニ從ヒ民事訴訟法第六十七條ニ依リ裁決書ヲ交付セラレタル十月二十二日ノ翌日ヨリ起算シ原告町ヨリ行政裁判所迄ノ里數陸路八里毎ニ一日ヲ伸長スヘキ規定ヲ進用シテ提起シタルモノナレハ決シテ期間ヲ失シタルモノニアラスト云フニ在リ

依テ雙方ノ陳述ヲ聽キ理由ヲ說明スルコト左ノ如シ
本訴ハ民事訴訟法ヲ適用シ原告カ裁決書ノ交付ヲ受ケタル翌日ヨリ起算シ里程ニ對スル伸長日數ヲ加算ス可キモノナレハ被告ノ抗辯ハ其當ヲ得サルモノトス
右ノ理由ニ依リ判決スルコト左ノ如シ
被告ノ妨訴抗辯相立タス 此裁判ニ關スル訴訟費用ハ被告ノ負擔トス

三十八 村會議員選舉効力訴願期限ニ關スル件

明治二十六年三月十五日裁決
明治二十六年第四百十號

原告 長野縣上伊那 郡南箕輪村 出羽澤岩次郎外二名

右原告出羽澤岩次郎外二名ヨリ被告上伊那郡長丸山英一ヨリ對スル郡參事會ノ裁決取消ノ訴文書ニ就キ之ヲ審理スルニ
原訴願者ハ明治二十五年三月三十一日執行シタル村會議員二級選舉ノ効力ニ關シ村長ニ申出タルニ村會ハ訴願期限ヲ經過シタルモノトシテ却下シタリ然ルニ原訴願者ハ之ニ服セス郡參事會ニ訴願シタルニ同會ハ之ヲ受理シ右二級選舉ノ全部ヲ取消スヘキモノナリト裁決シタルニ依リ村長ハ之ニ服セス縣參事會ニ訴願ヲ提起シタルニ同會ハ訴願ノ手續ヲ誤リタルモノトシテ却下シタルヲ以テ原告ハ町村制第二百二十條ニ依リ縣參事會ニ訴願シタルニ訴願期限ヲ經過シタルモノトシテ受理セサルニ依リ本訴ヲ提起シタリト云フニ在リト雖本件ハ明治二十五年九月二十四日ヲ以テ上伊那郡長丸山英一ヨリ原告原訴願者ニ與ヘタル裁決ヲ不服ナリトシ本年一月四日ヲ以テ長野縣參事會ニ訴願シタルモノナレハ法律上訴願ノ期限ヲ經過シタルモノニシテ原告ハ村長カ縣參事會ニ訴願シテ其裁決ヲ受ケタル迄ノ日數ハ期間ヲ中斷スルモノナリト申立ルモ村長ノ訴願ハ原告等ノ訴願ニ要スル日數ニ關係ナキモノナレハ期限經過ニアラスト謂フヘカラス故ニ本訴ハ之ヲ提起スルヲ得サルモノトス
右ノ理由ナルヲ以テ行政裁判法第二十七條ニ依リ本訴ヲ却下ス

三十九 村會議員選舉効力ニ關スル妨訴抗辯

明治二十六年三月十八日宣告
明治二十五年第四百二十一號第四百二十八號合併第三百三十三號

原告 石川縣羽咋 郡若部村長 北村善太郎外一名

被告 同縣知事 鈴木大亮

右原告若部村長北村善太郎及原告北邑知村長館中良藏ヨリ被告石川縣知事鈴木大亮ニ對スル村會議員一級二級選舉ノ効力ニ關スル件ニ對シ被告ハ妨訴抗辯ヲ爲セリ依テ之ヲ審理スルニ
被告妨訴ノ要旨ハ第一第二百一號事件ハ中谷市藏外二名ヨリ村會ニ訴願シ更ニ郡參事會ニ訴願シタルモ共モニ採用セラレシテ縣參事會ニ訴願シタルモノナリ第二百二十七號ハ北山作兵衛外四名ヨリ第二百二十八號ハ平野平右衛門外二名ヨリ第三百三十三號ハ山本孫十郎外二名ヨリ右同様ノ手續ヲ以テ訴願ヲ爲シタルニ依リ縣參事會ハ投票無効ナリトノ裁決ヲ與ヘタルマテニシテ被告ハ裁決官ノ地位ニ立ツモノナレハ當初ノ訴願者即チ投票効力ノ有無ニ付直接利害ノ關係ヲ有スル者ヲ被告ト爲スヘキナリ本參事會ヲ當事者ト云フヲ得ハ即チ普通ノ訴訟ニ於テ第二審ノ判決ニ不服アルモノハ直ニ該裁判所ヲ被告トシテ上告スルヲ得ト云フニ至ルヘシ豈斯ノ如キ理アラシヤ第二町村制第三十七條第三項及第二百二十條第三項ニ據レハ町村會議員選舉ノ効力ニ關スル縣參事會ノ裁決ニ不服アリテ出訴セシトスル者ハ裁決書ヲ交付シタル日ヨリ二十一日以内ニ出訴スヘキ者ナリ故ニ本件ニ付テ假ニ縣參事會ヲ被告トスルヲ得ルモノトスル

第三類 市町村會議員選舉及公民權

モ原告ハ出訴期限ヲ經過シタルモノトス何ントナレハ第百廿一號事件ノ判決ハ明治二十五年十月十八日ニシテ原告カ本參事會ヲ被告トセシハ同年十一月十九日ナリ第百二十七號第百二十八號事件ノ判決ハ明治二十五年十月二十七日ニシテ本訴ヲ提起セシハ同年十一月二十三日第百三十三號事件ノ判決ハ同年十月十八日ニシテ本訴ヲ提起シタルハ同年十一月十九日ナレハ町村制第百二十條ノ期限ヲ經過シタルモノナリ故ニ本訴ニ對シテハ答辯ノ義務ナキモノナリト云フニ在リ

原告反駁ノ要旨ハ第一原訴願者ヲ被告ト爲スヘキモノナリト云フモ元來行政訴訟ハ官廳ノ違法處分或ハ不當裁決ニ對シ人民ヨリ官廳ヲ相手取り出訴スルハ本來ノ原則ナレハ本件ノ如キ縣參事會ニ不服アルモノハ之ヲ被告トシ出訴ヲ爲スハ最其當ヲ得タルナリ是原告ガ縣參事會ヲ被告トスルハ外ナキモノニシテ人民ヲ被告トシ出訴スルノ道アルコトナシ去レハ町村制第三十七條第四項ハ是等ノ場合ヲ指シタルモノトス故ニ村長カ縣參事會議長ヲ被告トシタルハ抑不當ノ選定ニアラス第二本件村會議員選舉ニ用ヒタル投票用紙ヲ縣參事會カ無効トシタル裁決ヲ取消シ同投票ヲ有効トセシメラレタシトノ請求ハ今回原告カ出訴シタル一大要點ナリ其要求ノ訴訟ヲ縣參事會ノ裁決ヲ經タル日ヨリ町村制第百二十條第三項ニ依リ民事訴訟法ノ規程ヲ遵奉シ原告ノ路程伸長期間内ニ提起シタル以上ハ期限ヲ經過シタルモノニアラスト云フニ在リ

四十 公民權特議決執行取消ニ關スル件

明治二十六年三月十八日宣告
明治二十五年第六十二號
原告 熊本縣山鹿 服部倫太郎 被告 同縣山鹿山本 菊地合志郡長 小橋元雄
右原告來民町長服部倫太郎ヨリ被告山鹿山本菊地合志郡長小橋元雄ニ對スル町會ノ議決執行停止命令取消ノ訴訟中原告訴訟代理人ノ爲シタル一定ノ申立ニ對シ被告訴訟代理人ヨリ異議ノ申立ヲナセリ依テ審理ヲ送ケル處

被告訴訟代理人陳述ノ要旨ハ原告訴訟代理人ハ訴狀中訴ノ目的トシタル被告カ熊本縣肥後山鹿郡來民町住民福田幸七外十名公民權特免ニ關スル原告町會ノ議決執行停止シタルハ不法ナルニ付其執行停止命令ノ取消ヲ請求スル一項ヲ取消シ且一定ノ申立トシタル被告ハ速カニ原告カナシタル福田幸七外十名公民權特免裁決ニ對スル執行停止命令ヲ取消スヘキ裁決ヲ成度シトアルヲ被告ハ速カニ原告來民町會カ爲シタル福田幸七外十名對シ公民權特免シタル議決ヲ不法トシ裁決ヲ取消スヘキ裁決アリ度ト修正スル旨ヲ申立ツルト雖原告カ提起シタル本訴ノ目的ハ議決執行停止命令ノ取消ヲ請フニ在レハ今之ヲ修正シテ議決ヲ不法トシタル裁決ノ取消ヲ請フモノトセハ原告ハ訴訟ノ目的ヲ變更スルモノナルニ依リ原告ノ申立ニ對シテハ異議ヲ唱ヘサルヲ得スト云フニ在リ

原告訴訟代理人陳述ノ要旨ハ被告訴訟代理人ハ原告カ訴狀中訴ノ目的トシテ記載シタル一項ヲ取消シ且一定ノ申立トシテ記載シタル項中多少文字ヲ増減シ之カ修正ヲ申立タルヲ以テ訴ノ目的ヲ變更シタルモノトナシ異議ノ申立ヲ爲セリト雖モ本來訴狀中一定ノ申立トカ或ハ原因トカ區別シテアリタリトテ是ヲ以テ訴狀ヲ變更スヘキモノニアラス訴狀全體ヲ通覽シテ訴旨ノ在ル所ヲ知ルコトヲ得ハ可ナリ而シテ原告カ右ノ修正ヲ爲スモ訴訟ノ目的ヲ變更シタルモノニアラスコトハ原告カ縣參事會ニナシタル訴願ニ對シ同參事會カ與ヘタル裁決ニ就テ之ヲ見ルモ又原告カ當裁判所ニ提出シタル訴狀ノ全體ニ就テ見ルモ明瞭ナルカ故ニ被告訴訟代理人ノ異議ハ棄却セラレタシト云フニ在リ

四十一 村會議員選舉訴願期限ニ關スル件
第三類 市町村會議員選舉及公民權

明治二十六年三月二十五日裁決
明治二十六年第三十九號
四十九

原告 長野縣上伊那郡南箕輪村 清水平一郎外二名

右原告清水平一郎外二名ヨリ被告上伊那郡長丸山英一郎ニ對スル郡參事會ノ裁決取消ノ訴ヲ狀ニ就テ審査スルニ本件ハ原告願者赤羽只雄外三名ニ於テ明治二十五年四月一日ニ執行シタル南箕輪村會議員一級議員選舉ノ効力ニ關シ村長ニ訴願シタルニ村會ハ訴願期限ヲ經過シタルモノトシテ却下シタリ然ルニ原告願者ハ之ニ服セス郡參事會ニ訴願シタルニ郡參事會ハ之ヲ受理シ明治二十五年四月一日執行シタル南箕輪村會議員一級議員選舉ノ消滅スルモノトストノ裁決ヲ與ヘタルハ不當ナルヲ以テ原告等ハ之レヲ上級廳ニ訴願セントシタルニ其際村長ハ之ヲ中斷シ該件ハ村長ノ職務ニ關スル裁決タルヲ免カレサルヲ以テ先ツ村長ヨリ之ヲ縣參事會ニ提起シタルニ縣參事會ハ村長カ手續ヲ誤リタル者トシ却下セルニ依リ原告ハ町村制第三十七條ニ依リ縣參事會ニ訴願シタルニ縣參事會ハ受理スヘキ者ニアラストノ裁決ヲ爲シタルヲ以テ本訴ヲ提起シタリト云フニ在レトモ原告ハ郡參事會カ裁決ヲ與ヘタル日ヨリ起算シ訴願期限內ニ縣參事會ニ訴願ヲ爲スヘキニ其期限ヲ經過シタルニ依リ縣參事會ノ却下ヲ受ケタルモノニシテ原告ノ申立ル村長ノ爲シタル訴願ニ關スル日數ハ原告ノ訴願期限ヲ中斷スルヲ得ヘキモノニ非サルヲ以テ本訴ハ之ヲ提起スルヲ得サルモノトス

四十二 村會議員選舉効力ニ關スル件 明治二十六年三月二十九日宣告 明治二十五年第六十九號

原告 熊本縣菊池郡 猿渡素平 被告 同縣山鹿山本 菊池合志郡長 小橋元雄

右原告戸崎村々長猿渡素平ヨリ被告山鹿山本菊池合志郡長小橋元雄ニ係ル村會議員選舉効力ニ關スル訴訟審理ヲ遂ケル處原告請求ノ要旨ハ明治二十五年五月一日戸崎村々會議員半數改選ノ際内田岩八ハ本村ニ隣接スル合志郡泗水村ノ住民ナル故本村ニ於テ公民タルノ權利ナキヲ選舉ノ名簿ニ登載シ以テ議員選舉ノ投票ヲ爲サシメタルハ違法ナルニ因リ再選舉アリタシト有權者百三十名ノ總代倉原市藏外四人ノ訴願ニ對シ村會ハ再選舉ヲ爲スノ限リニアラストノ裁決ヲ爲シタリ同人等ハ之ニ服セス郡參事會ニ訴願シ郡參事會ハ内田岩八ハ合志郡泗水村ニ現任スルモノナレハ戸崎村ニ於テハ公民タルノ權利ナキニ由リ五月一日執行シタル戸崎村々會議員ノ二級選舉ハ無効トストノ裁決ヲ爲シタルニ之ニ服シ難ク其裁決取消ヲ縣參事會ニ訴願シタルニ縣參事會ハ之ヲ取消スヘキ限リニアラストノ裁決シタレトモ内田岩八ハ從來戸籍ヲ本村即チ菊池郡戸崎村大字藤北九百二十一番地ニ定メ戶別割稅ヲ始メ本村ノ負擔ヲ分任シ且明治二十三年二月本村消防組編制以來三番組消防夫ニ選舉セラレ明治二十五年改選ノ際モ其選ニ當リ今尙ホ勸諭シ其他總テ戸崎村住民ノ權利義務ヲ行ヒ來リシノミナラス同居ノ實父内田岩三ハ町村制實施前ヨリ藤北兩組ノ衛生班長ニ選任セラレ今ニ勸諭セ

リ而シテ岩八住居地ハ一小里道ヲ隔テ合志郡泗水村大字住吉ニ接シ且其地内ニモ宅地ナラズ一時期便利ノ爲メ家屋ノ構造ヲ爲シ家族ノ一部ヲ居住セシメタル擬押アルモ固ヨリ轉籍シタルニアラサルナリ又菊池郡郡會議員選舉ノ際選舉票掛ハ岩八ノ投票ヲ取消シタルコトアルモ岩八ノ之ヲ出訴セザリシハ泣廢入ニ屬シタルニ過キス然ルニ被告ハ岩八ヲ泗水村ノ住民ニシテ戸崎村ニ住居セザルモノト如ク誤認シ同人カ戸崎村村會議員二級選舉ノ際投票シタルニ依リ該選舉ヲ無効ナリト裁決セシハ不當ナルニ之ヲ破毀シ該選舉ヲ有効ナラシメンコトヲ請求スト云フニ在リ

被告管轄ノ要旨ハ戸崎村公民武藤一忠外九名ヨリ郡參事會ニ訴願ヲ爲シタル其要領ハ明治二十五年五月一日戸崎村村會議員半數改選ノ際二級選舉ノ内内田岩八ハ選舉人ノ資格ヲ有セザル者ナルニ投票ヲ行ヒタルハ違法ノ選舉ナルニ該投票ヲ無効ト爲ササル可ラス殊ニ其一票ハ選舉ノ結果ニ異動ヲ生ス可キモノナレハ村會ニ於テ再選舉ヲ爲スノ限リニアラストノ裁決ヲ破毀シ求ムト云フニ在レハ郡參事會ハ之ヲ受理審査スルニ内田岩八ハ從來菊池郡戸崎村ノ戶籍ニ編入セラレ且二年以來同村ノ負擔ヲ分任スル者ニシテ利害ノ關係或ハ戸崎村ト相伴フ如キ情狀アルニモセヨ明治十八年三月前ノ住家ハ取毀チシガ實却セザレトモ其後ノ現住地ハ全ク隣郡隣村ナル合志郡泗水村大字住吉二百四十二番地ニ相違ナク殊ニ明治二十三年十月三十日菊池郡聯合町村會議員選舉ノ時ニ於テモ岩八ヲ泗水村ノ住民ト認メ同人ノ投票ヲ無効トナシタル例アル者ナレハ從來戸崎村ノ住民トシテ權利義務ヲ行ヒタルハ全ク誤認ニ歸スヘキモノニシテ同村ニ於テ選舉權ヲ有スルノ理由ナキハ故テ論ヲ俟タサルニ因リ町村制第七條ノ一要件ヲ缺キタル者ナルニモ拘ハラズ其選舉權ヲ行ハシムル如キハ固ヨリ不當ノ處置ナリトス故ニ被告カ武藤一忠等ノ訴願ニ對シ與ヘタル裁決ハ正當ニシテ取消ス可キ理由ナキモノト信認スルヲ以テ原告ノ請求ハ排斥セラレタメト云フニ在リ

右雙方ノ辯論ヲ聽キ證據ヲ閱シ理由ヲ說明スルコト左ノ如シ

被告ニ於テ内田岩八ハ合志郡泗水村大字住吉二百四十二番地ニ居住シナカラ菊池郡戸崎村ニ於テ住民タルノ權利ヲ行ヒタルハ全ク誤認ニ歸スヘキモノニシテ既ニ戸崎村ニ住居セザル以上同村ノ公民タル可キ要件ノ一ヲ缺キタルガ故ニ同村ニ於テ選舉權ヲ有スルノ理由ナシト云フト雖明治二十五年五月一日ヲ以テ行ヒタル戸崎村村會議員半數改選ノ際内田岩八ハ既ニ戸崎村ノ住居ヲ廢シ泗水村ニ住居ヲ占メタルモノナリトノ事實ヲ確ムルニ足ル可キ證據ナシ而シテ住居ノ移轉ハ戶籍ニ關スル規定ニ從ヒ公式ノ手續ヲ行フニ由リ始メテ公認セラル可キモノタルニ内田岩八ニ於テハ未ダ嘗テ住居移轉ニ關スル公式ノ手續ヲ爲シタルコト無キノミナラス現ニ戸崎村ノ負擔ヲ分任シ尙ホ且明治二十三年二月同村消防組編制以來三番組消防夫ニ選舉セラレ明治二十五年改選ノ際ニモ其選ニ當リ現ニ勸諭中ニ在ル等ノ事實ニ依リテ之ヲ觀レハ内田岩八カ戸崎村ノ住民トシテ權利義務ヲ行ヒタルハ一里道ヲ隔ル隣村ニ家屋アルノ一事ヲ以テ全ク誤認ニ歸スヘキモノト爲スヲ得ス從テ内田岩八カ選舉權ヲ行ヒタル故ヲ以テ該村々會議員ノ半數改選ハ無効ナリト爲ス可キモノニアラス

前項ノ理由ナルヲ以テ判決スルコト左ノ如シ

第三類 市町村會議員選舉及公民權

明治二十五年五月一日菊池郡戸崎村ニ於テ執行シタル村會議員半数改選ノ選舉ハ有効トス

五十二
訴訟費用ハ被告ノ負擔トス

四十三 村會議決變更取消ニ關スル件 明治二十六年四月七日裁決
明治二十六年第四十四號

原告 京都府北桑田 柴田新治郎
郡細野村農

右原告柴田新治郎ヨリ被告北桑田郡長辻直方ニ對スル議決變更取消ノ訴ヲ訴狀ニ就キ審査スル處
原告ハ北桑田郡細野村外十ヶ村組合周山高小學校新築ニ付組合管理者タル郡長ハ昨明治二十五年九月二十五日組合議員ヲ召集シ多
數ヲ以テ原案ヲ議決セリ然ルニ同年十二月十七日更ニ議員四分一以上ノ請求ニ依リ開會シ新築延期ヲ採用シ終ニ又多數ニ依リ新築
延期ノ一ニ議決ス依テ原告ハ右議決ヲ不當トシ郡長ニ訴願シ次ニ府知事ニ訴願セシニ何レモ原告ノ請求ヲ採用セザリ抑モ町村制第
四十二條ニ議員四分一以上ノ請求アルトキハ議長必ス議員ヲ召集シ會議ヲ開クヘシトアリ又同制第四十四條ニ可否同數ナルトキハ再
議々決スヘシトアレトモ一旦議決シタル同一事件ヲ再議シ得ルノ法アルヲ見ス況ンヤ憲法第三十九條ニ帝國議會ニ於テ會期中再
同一事件ヲ提出シ得スト云フ會議ノ原則アルニ於テカヤ然ルニ先ニ北桑田郡高等小學校新築ノコトヲ議決セシニモ拘ハラズ更ニ議員
四分一ノ請求ニ依リ前議決ヲ取消シ新築延期ニ議決シタルハ町村制第四十二條ノ精神ヲ誤解シ又憲法第三十九條ノ原則ニモ相反スル
モノナレハ前記北桑田郡長ノ裁決ハ不當ナルニ付之ヲ取消シ更ニ昨明治二十五年九月二十五日附組合會議決ノ通り周山高小學校新
築ノ執行セラル、機裁判ヲ請フト云フト雖本件ハ同一事件ヲ再議々決セシメタルニ不服ナルノ訴ニ付法律勅令ニ出訴ヲ許スノ規定ナ
キニ依リ行政訴訟ヲ提起シ得ヘキモノニアラス
右ノ理由ナルヲ以テ本件ハ行政裁判法第二十七條ニ依リ之ヲ却下ス

四十四 町會議員選舉取消ニ關スル件 明治二十六年四月十四日宣告
明治二十五年第九十三號

原告 神奈川縣高坐郡 尾島角藏 被告 同縣同郡同 青木察善
藤澤大阪町農 町町會議長

右原告尾島角藏ヨリ被告町會議長青木察善ニ係ル町會議員選舉取消ノ訴訟管理ヲ送ケル處
原告訴訟代理人陳述ノ要旨ハ第一被告ハ明治二十五年四月十一日ニ於テ來ル十九日午前八時ヨリ藤澤大阪町々會議員半数改選及增加
議員ノ選舉ヲ執行ス二級ノ投票時間ハ午前八時ヨリ午後二時マテ一級ノ投票時間ハ午後四時ヨリ五時マテトス開場ハ第六時ト定ムト

告示シナカラ其當時ニ至リ二級選舉ノ時間ヲ午後三時マテトシ仍ハ午後八時マテト再延シ一級選舉時間ヲ午後十時三十分ヨリ十一時
三十分マテト變更シタルハ町村制第十九條ニ違背セリ第二無資格者タル山本徳太郎ヲ選舉會場内ニ入ラシメ且山本徳太郎ノ投票ヲ代
書セシムルニ方リ同人ヲ勸誘シ其意ニアラサルモノヲ投票セシメタルハ町村制第十八條第二項未段及第二十一條ニ背反シタル不法ノ
行為ナリ第三明治二十五年四月十九日ハ改選增加二種ノ選舉ニシテ其人員ハ一級ニ於テ改選三人增加三人二級ニ於テ改選三人增加三
人ニシテ改選增加ハ之ヲ區別シ記載スヘキ様式ニ有之然ルニ選舉人ノ中之ヲ混淆又ハ甲部ニ記スヘキヲ乙部ニ記シタルカ如キ投票數
多アリシニ被告ハ開函ノ上之方得點者ヲ定ムルニ方リ之ヲ混淆シ區別ヲ爲サス總投票ノ中ニテ第一改選議員三名ヲ當選者ト定メ以テ
順次投票多數ノ者ヲ增加議員ノ當選者ト定メタリ元來改選議員ト增加議員トヲ區別スルノ必要ハ任期ニ至リ差異ヲ生スルニ依リ然
ルニ之ヲ混淆シタルハ不法ナリ第四二級選舉中松崎久右衛門ハ男辰五郎ニ於テ久右衛門ノ名ヲ以テ投票シタリ而シテ辰五郎ハ公民ノ
資格ヲ有セサルモノナレハ會場ニ入ルコトヲ得サルモノナリ是レ即チ町村制第二十一條及第二十四條ニ違背シタルモノナルニ依リ明
治二十五年九月六日神奈川縣參事會ニ於テ與ヘラレタル裁決ヲ取消シ明治二十五年四月十九日藤澤大阪町々會議員選舉ノ全部ヲ取消
サレタシト云フニ在リ

被告答辯ノ要旨ハ第一原告ハ投票時間ヲ變更シタルヲ以テ不法ト云モ選舉長ニ於テハ濫リニ變更シタルニアラス選舉開始ハ町長公告
ノ通り午前八時ヨリ執行シタルニ選舉人中山本徳太郎者投票了スル際中村徳次郎ナル者此投票ハ無効ナリト叫フヤ原告ハ選舉
掛長ノ事務席ニ突入シ當日選舉場ノ助手タル山本徳太郎ヲ高聲ニ罵リ卓上ノ糊板ヲ抛ツ等舉動意外ニ出テ場中騷擾一方ナラサルニ因
リ選舉長ハ一時投票ヲ中止シ全ク平穩ニ復スルヲ待テ引續キ二級ノ選舉ヲ行ハシメタル次第ニテ選舉長ハ選舉掛ト合議ノ上止テ得
時間ヲ延ハシタルモノナレハ決シテ法律ニ背反スルモノニアラス況ンヤ投票時間告示ノ但書ニモ時間ハ便宜變更スルコトアルヘキ旨
ヲ豫メ記載シ置キタルニ於テオヤ第二原告ハ無資格者タル山本徳太郎ヲ選舉場内ニ入ラシメ之ニ代書ノ權ヲ與ヘ且選舉ヲ勸誘セシメ
タルハ制第十八條第二項未段及第二十一條ニ背反スト云フモ選舉長ハ會場取締投票整理等ノ責任ヲ有ス而シテ本町ノ公民二百五十一
名中當日入場セシモノ二百二十名之ニ選舉長選舉掛ト合算スレハ二百二十五名トス選舉競爭最モ烈シキ投票人各自我欲スル所ノ被選
者ノ得點ヲ熱望スル際ニ當リ僅ニ四名ノ選舉掛ト合算スレハ二百二十五名トス選舉競爭最モ烈シキ投票人各自我欲スル所ノ被選
以テ選舉掛ト合議ノ上同人ヲ臨時ニ雇ヒ入レタリ而シテ選舉人中人名ヲ書クコト能ハサルモノ過半ナルヲ以テ博ク公民ニ選舉權ヲ得
セシメンカ爲メ代書ヲ同人ニ命ジ之ヲ役場吏員ニ命セサルモノハ其好ム所ニ據スルヤノ公民ノ疑ヲ避クルカ爲メナリ制第十八條及第
二十一條ハ取締上及投票整理上必要ナル場合ト雖モ選舉掛ノ外入場セシムルコトヲ許サ、ル精神ニアラス又山本徳太郎力選舉ヲ勸誘
シタリト云フニ至テハ全ク架空無根ノ誣言ナリ第三原告ハ明治二十五年四月十九日ハ改選增加ノ二種ノ選舉ニシテ改選增加ヲ區別シ
テ記載スヘキ様式ナルニ之ヲ混淆シテ區別ヲ爲サ、リシハ不當ナリト云フモ町長ハ始メ改選增加ヲ區別シテ記載スヘキ投票書式ヲ公
民ヘ示シタレトモ開函ノ上其投票ヲ査閱スルニ改選增加ノ區別ヲ爲サスシテ記載シタル投票數多アリ之カ書式ヲ示シタルハ町長力

時ノ用意ニ出町村制中改選増加ナ區別シテ投票スルノ規定アラサルヲ以テ選舉長ハ選舉掛ト合議ノ上投票得點多數ノ者ヨリ順次改選
増加議員ヲ定メタリ然レトモ試ミニ此混合シテ記載シタル投票記載ノ始三人ヲ改選議員トシ殘三人ヲ增加議員トシテ其投票得點ヲ算
スルニ選舉ノ結果ニ於テハ毫モ異動アルコトナシ況シテ選舉長カ投票多數ヲ得タルモノヨリ順次改選議員増加議員ヲ定メタルヲ以テ
當選者ニ於テハ其當選得タルモノトシテ一人ノ不服者ナカリシニ於テオヤ第四原告ハ二級選舉人申松崎久右衛門カ男辰五郎ニ於テ久
右衛門ノ名ヲ以テ投票シタルハ制第二十一條及第二十四條ニ違背スルモノナリ被告カ其代人投票タルヲ知リテ辰五郎カ入レタリトス
ル投票ヲ無効トナシタルニ拘ハラズ違法ナリト云フモ制第二十一條及第二十四條ハ選舉人ノ外何人タリトモ選舉會場ニ入ルコトヲ得
ス又選舉ハ選舉人自カラ之ヲ行フヘキコトヲ規定シタルニ止マリ若シ之ニ背キタルトキハ其結果ノ如何ヲ問ハズ選舉全部ヲ無効トナ
スヘシトノ規定ニアラサルヲ以テ之カ効力ヲ決スルハ選舉ノ結果ニ異動ヲ來タスヤ否ニ在リ故ニ被選者各自ノ得點數ヨリ無資格者ノ
投票記載ノ點數ヲ除却シ殘ル正當ノ投票ヲ以テ當選者ヲ定メタルモ選舉ノ結果ニ毫モ異動ヲ生セサルハ法律ニ違背シタルモノニアラ
サルニ依リ明治二十五年四月十九日藤澤大阪町々會議員選舉ハ取消スヘキモノニアラスト云フニ在リ

依テ雙方ノ辯論ヲ聽キ證據ヲ閱シ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ
原告ハ第一被告ハ明治二十五年四月十一日ヲ以テ來ル十九日午前八時ヨリ藤澤大阪町々會議員半數改選及增加議員ノ選舉ヲ執行ス二
級ノ投票時間ハ午前八時ヨリ午後二時マテ一級ノ投票時間ハ午後四時ヨリ五時マテトス閉場ハ第六時ト定ムト告示シテ其當日ニ
至リ二級選舉ノ時間ヲ午後三時マテトシ仍ホ午後八時マテト再延シ一級選舉時間ヲ午後十時三十分ヨリ十一時三十分マテト變更シタ
ルハ町制第十九條ニ背反スルモノナリト云フト雖モ被告ハ既ニ投票日時告示ノ但書ニ時間ハ便宜變更スルコトアルヘキ旨ヲ豫告シ
タルノミナラス告示ノ日時ニ選舉會ヲ開始シ中途會場ニ於テ暴行者アリタルカ爲メ止ムテ得ス時間ヲ延長シタルモノナレハ町制第
十九條ノ規定ニ違背シタルモノトナスヲ得ス第二原告ハ被告カ無資格者タル山本徳太郎ヲ選舉場内ニ入ラシメタルハ制第十八條及第
二十一條ニ違背スルモノナリト云フト雖モ町制第十八條ハ選舉人名簿ノ調製及縦覽ニ關スル規定ニシテ本件ニ關係ナク又第二十一
條ハ選舉場ノ取締其他投票整理ノ爲メニ選舉長及選舉掛ニ於テ必要ト認メ入場セシムルモノニ至ルマテ制限スル規定ニアラサルカ故
ニ被告カ選舉掛ト合議ノ上取締其他投票整理ノ必要ヲ認メテ山本徳太郎ヲ雇ハシメタルハ選舉會場ニ入ラシメタルハ不法ト云フヲ得ス
又山本徳太郎ノ投票ヲ代書セシムルニ方リ同人ヲ勸誘シ其意ニアラサルモノヲ投票セシメタリト云フモ其事實ヲ證明スルニ足ルヘキ
證據ナシ故ニ町制第二十一條ニ違背シタルモノトナスヲ得ス第三被告ハ始メ改選増加ナ區別シテ記載スヘキ投票書式ヲ公式ニ示シ
タレトモ閉場ノ上其投票ヲ査閱スルニ改選増加ナ區別ヲ爲サシテ記載シタル投票多數アリ之カ書式ヲ示シタルハ被告カ一時ノ用意
ニ出町村制中改選増加ナ區別シテ投票スルノ規定アラサルヲ以テ選舉長ハ選舉掛ト合議ノ上投票得點多數ノ者ヨリ順次改選増加議員
ヲ定メ投票記載ノ始三人ヲ改選議員トシ殘三人ヲ增加議員トシテ其投票得點ヲ算スルニ選舉ノ結果ニ於テハ毫モ異動アルコトナシ故
ニ不法ニアラスト云フト雖モ町制第十六條ノ規定アル以上ハ改選ト増加トハ任期ニ差異ヲ生スヘキモノナレハ選舉ノ結果ニ於テ異

動ナキト否トニ拘ハラズ其投票ハ各之ヲ區別セサルヘカラス故ニ被告カ投票得點多數ノ者ヨリ順次改選議員ト増加議員トヲ定メタル
ハ不當ニアラスト云フヲ得ス第四被告ハ松崎久右衛門カ其男辰五郎ヲシテ入レシメタル投票ハ其後辰五郎ヲ呼出シ投票紙ニ記載シタ
ル者ノ人名ヲ聞取り其投票ヲ除却シ正當ノ投票ヲ以テ當選者ヲ定メタルモ異動ヲ生セス而シテ町制第二十四條
ハ其結果ノ如何ヲ問ハズ選舉全部ヲ無効トスヘシトノ規定ニアラサルヲ以テ之カ効力ヲ決スルハ選舉ノ結果ニ異動ヲ來タスヤ否ニ在
レハ不法ニアラスト云フト雖モ町制第二十四條ハ選舉長無記名投票ニ依ルカ故ニ投票中執レカ無資格者ノ投票ナルヤ否ヤ判別スルニ由
ナキヲ以テ投票人タル松崎辰五郎ノ申出ノミニ依リテ其投票ヲ除却シタルモ果シテ其投票ハ辰五郎ノ入レタルモノナルヤ否ヤ知ル
ヘカラサルノミナラス代人ヲシテ投票ヲ爲サシメタルノ事實アル以上ハ選舉ノ定規ニ違背シタルモノナルニ依リ結果ノ如何ニ拘ラス
其選舉ハ適法ノモノト云フヲ得ス
以上ノ理由ナルニ依リ判決スルコト左ノ如シ
明治二十五年四月十九日ヲ以テ行ヒタル藤澤大阪町々會議員ノ選舉ハ其全部ヲ無効トス 此裁判ニ關スル訴訟費用ハ被告ノ負擔ト
ス

四十五 公民權特免ノ議決執行停止ニ關スル件 明治二十六年四月十七日 宣告
明治二十五年四月二十二日 第六十二號

原告 熊本縣山鹿 郡來民町長 服部倫太郎 被告 同縣山鹿山本 菊地合志郡長 小橋元雄

右原告來民町長服部倫太郎ヨリ被告山鹿山本菊地合志郡長小橋元雄ニ對スル町會ノ議決ニ關スル執行停止命令取消ノ訴審理ヲ遂クル
處
原告陳述ノ要旨ハ原告町會ハ明治二十五年四月十三日熊本縣肥後國山鹿郡來民町福田幸七外十名ヨリ公民權特免ノ請願アリタルニ付
同年同月十八日十九日ノ兩日ニ町會ヲ開キ特免ノ理由アリヤ否ヤヲ調査シ而シテ同町福原又平外十六名ニ對スル特免ノ理由アリヤ否
ヲ併セテ調査シタル處其結果ハ凡テ特免ノ理由アルモノト認メ特免ノ議決ヲ爲シタリ右議決ノ結果ハ監督官廳タル被告ニ報告シタ
ルニ被告ハ右議決ノ執行ヲ停止シ再議ニ付スヘキ旨ノ命令ヲ爲シタリ依テ原告町長ハ同年四月二十三日二十七日ニ再議ヲ開キタルニ
倫特免スヘキモノト議決シタリ於是原告ハ被告ノ命令ヲ不法トシ同年四月二十八日自己ノ意見ヲ付シテ議決ヲ乞ヒタルニ被告ハ同月
二十九日町會ノ議決ハ不當ニシテ特免スルコトヲ得スト裁決セリ依テ原告ハ右被告ノ裁決中福原又平以下十七名ニ對スル部分ハ相當
トシテ之ニ服シタルモ福田幸七外十名ニ對スル部分ハ被告ノ裁決不法ナルニ付熊本縣參事會ニ訴願シタリ然レトモ同縣參事會ハ原告カ福
田幸七外十名ニ關スル町制第七條中二箇年ノ制限ノ特免ヲ復活セントノ請求ハ相立タストノ裁決ヲ爲シタルニ依リ本訴ヲ提起シタ
第三類 市町村會議員選舉及公民權 五十五

ルモノニシテ本案ノ原告カ福田幸七外十名ノ公民権特免ヲ議決シタルハ相當ナリヤ否ニ在リ元來福田幸七外十名ニ對スル原告町會カ特免シタル理由ハ彼等ハ相繼ニ因リ私法上ノ財產權ヲ承繼シタル以上ハ先代ノ納稅ノ納稅人ノ納稅ト同一ニ看做スヘキハ當然ナリ故ニ衆議院議員選舉法府縣會議員選舉規則等ニ既ニ明文ノアルヲ獨町制ニ此規定ナキハ同制第七條ニ特免ノ場合アルヲ以テ之カ規定ヲ要セサルモノナリ町制中先代ノ納稅年月ヲ相繼人ノ納稅年月ニ合算セサルハ聊法理ニ適セサルカ如シト雖町制第七條第一項但書ニ從ヒ必要ト場合トニ由リ適宜町會ノ議決ヲ以テ特免スルノ餘地アルヲ以テ甚シキ不權衡ニ至ラサルヘシ而シテ特免ノ理由ト場合ハ種々アルモノニシテ被告云フ如ク町治上必要云々ノ如キ事項ノミニ制限スヘカラス其外町制ノ基礎タル公民権ノ不公平若クハ公益上ノ關係等ハ特免ノ理由トナスニ十分ナリ故ニ原告カ本件特免ヲ與ヘタルハ相當ナリ原告町會ハ町制ノ規定ニ因リ自治權及自主權ヲ有スル故ニ原告カ議決ハ自主ニシテ他ヨリ箝制ヲ受クヘキモノニアラス唯監督官廳ノ監督命令ニ服從スヘキ場合ハ同制第二百五條第百二十六條第百二十七條ニ依リ內務大臣大藏大臣郡縣參事會ノ認可ヲ經ヘキニ過キスシテ本按ノ如キ公民権特免議決ハ郡縣參事會ノ認可ヲ受クルヲ要スヘキモノニアラス即チ原告自主權ノ作用ニシテ被告カ容喙スヘキ者ニアラス而シテ被告カ容喙シタル理由ハ町制第六十八條第一項ニ從ヒ議決ノ執行ヲ停止シ再議ヲ命シタリト云フニ在レトモ同條第一項ハ議決ノ執行ヲ停止シ再議ヲ命スルニハ第一越權又ハ法律命令ニ背キ又ハ公益ヲ害スル事實アルコト第二理由ヲ明示スルコトノ二條件ヲ要ス然レニ被告ニ於テ其理由ヲ明示セサルノミナラス全體原告町會ノ特免議決ハ越權ニアラサ何トナレハ特免スルヤ否ヲ審查評決スルハ町會固有ノ權利ニシテ町制第七條第一項但書ニ明示アレハナリ又法律命令ニ背カス何トナレハ同制第七條第一項但書中但書ニ依リ町會ノ議決ヲ以テ本條ニ定ムル二箇年ノ制限ヲ特免スルコトヲ得トアリテ其場合ヲ特定シアラサレハ法律上其場合ヲ酌定スルハ町會ニ一任シタルモノト推定セサルヘカラス必被告云フ如ク町治上必要ノ場合ニミ制限シタル法意ニアラサルヤ辯テ候タス然ラハ原告カ地租納二箇年ノ制限ヲ特免シタルハ毫モ法律命令ニ背キタルモノニアラス又公益ヲ害スルモノニアラス右特免シタル者ハ凡テ財產アリ聲望アリ兼テ一町ノ模範タルヘキ上流ノ者ナレハ施政上害ナキノミナラス町制ノ基礎ヲ鞏固ナラシムルノ利益アリ況ンヤ公益ヲ害セサルコトハ被告カ自認スル所ナルニ於テチヤ又原告カ熊本縣參事會ニ訴願シタルハ町制第六十八條第一項ニ依リ訴願シタルニ熊本縣知事カ同制第二十條ニ依リ受理裁決シタルハ法則ヲ不當ニ適用シタルモノナリ又其裁決書中町村民ノ訴願ニ依リ特免スヘキモノニアラスト理由ヲ付セラレタルモ是又不通ノ論ナリ何トナレハ特免ノ如キハ特免セラル、モノ、請求ニ依リ之ヲ調査評決シタリト不法ニアラス又之アルカ爲メ自動的議決ニアラスト云フヲ得何トナレハ之ヲ採用スルト否トハ町會ノ任意ニアレハ他ヨリ強制サルタルモノニアラス加之利害ノ關係アル人民ノ請求ニ依リ理事者カ之ヲ議決シテ提出スルハ我邦ノ慣例ニシテ法理上非難スヘキ點ナシ又裁決書理由中町制第十八條第二項ノ訴願ヲ爲シ得ヘキモノハ關係者ニ限ルヘキ者ニシテ福田幸七外十名ノ如キ無關係ノ者ハ訴願ノ權ナキ云々トアルモ請願ヲ爲シタルニ過キス而シテ特免ノ請願ヲ爲ス尙ハ關係者即チ公民権アルモノニ限ルトキハ前後據著ノ言タルヲ免レヌ況ン原告カ特免ヲ議決シタル事實ハ制第十八條同第三十七條ニ依リ裁決ヲ下シタルニアラスシテ同第七條第一項但書ニ因

リ議決ヲ爲シタルモノナレハ毫モ法律ノ規定ニ背キタルモノニアラスト云フニアリ
 被告答辯ノ要旨ハ被告ノ處分ハ適法ニシテ特ニ原告訴願ノ要旨ハ當初ヨリ訴願ノ手續ヲ誤リタルモノニシテ其事實ハ明治二十五年五月一日山鹿郡來民町會議員半數改選前ニ當リ政派ノ競爭激烈ナリ極メ警察官憲兵等ノ保護警戒等ニ依リ僅ニ安寧ヲ保持スルヲ得タリシハ掩フヘカラサル事實ナリ斯ク競爭ノ激烈ナリシ爲メ監督官廳ニ於テハ一ニ安寧平和ニ注意スルノ際來民町會ハ突然或ル一派ノ政黨員タル同町福田幸七外三十九名ノ多數ニ對シテ一時ニ町制第七條二箇年ノ制限ヲ特免スルノ件ヲ議決シ來民町長ハ四月二十日付ヲ以テ之ヲ監督官廳ニ報告セリ然レニ監督官廳ニ於テハ右來民町會ノ特免議決ハ全ク町制第七條特免ノ本旨ニ適合セサルノミナラス隨テ大ニ安寧平和ヲ妨クルモノト確認シタルニ由リ制第六十八條第一項ニ依リ理由ヲ示シテ右議決ノ執行ヲ停止シ再議ニ付セシメタルニ來民町會ハ特免議決ノ總員中ノ十一名ニ對シテハ執行停止ノ理由ヲ相當トシ之ニ服從セシモ福田幸七外二十八名ニ對シテハ依然前議ヲ更メス來民町長服部倫太郎ハ同月二十八日付テ其意見ヲ付シ郡縣參事會ノ裁決ヲ申請セシニ因リ郡縣參事會ニ於テハ審理ノ末右公民権ノ特免ハ不當ノ議決ナルニ依リ特免スルコトヲ得ストノ裁決ヲ與ヘタリ然レニ來民町會議員半數改選終了後即チ五月十三日ニ至リ原告來民町長ハ特免人員二十九名中ノ十八名ニ關シテハ郡縣參事會ノ裁決ニ服從スルモ福田幸七外十名ニ關シテハ不服ノ旨ヲ以テ熊本縣參事會ニ訴願シタルニ同參事會ハ請求相立タストノ裁決ヲ與ヘタルノ事實ニシテ抑町會ニ於テ制第七條二箇年ノ制限ヲ特免スルノ場合ハ實ニ町會ノ自動的議決ニ存スヘキモノニシテ町村民ノ訴願ニ基キ特免スヘキモノニアラス特ニ町制第十八條第二項ノ訴願ヲ爲シ得ヘキモノハ關係者ニ限ルヘキモノニシテ本件福田幸七外十名等ノ如キ特免ヲ得テ始メテ關係者ト有スヘキ當時無關係ノモノニ於テハ該條項ニ依リ訴願スルノ權利ナキハ勿論トス然レニ本年四月來民町會カ福田幸七外三十九名ニ對シ突然一時ニ二箇年ノ制限ヲ特免スルヤ實ニ全ク右四十名ノ訴願ヲ受理シ之ヲ基點トシテ特免ヲ與ヘタルモノニシテ甚々其手續ヲ誤リタルモノト斷定セサルヘカラス原告服部倫太郎ハ本件訴狀中四十名ノ訴願ヲ以テ町制第十八條第二項ノ訴願ニアラス即チ請願ナリト云フモ被告カ原告役場ニ保存セル右四十名ノ訴願ノ原本ニ就キ正シク謄寫シタル書面及原告カ熊本縣參事會ノ裁決前差出タル右訴願ノ議決ニ關スル手續ノ要領書寫原被告カ熊本縣參事會ニ提出シタル訴願書ノ末文即チ福田幸七等十一名ニ對スル郡縣參事會ノ裁決ハ破棄セラレ各自訴願ノ通特免ヲ與ヘラレ度云々トアルニ據レハ當初受理ノ上特免ヲ與ヘタル福田幸七外三十九名ノ書面ハ全ク制第十八條第二項ノ訴願タリシハ實ニ尤郡縣參事會ノ裁決書中ニ於テ其事ニ論及セザリシハ原告カ議決報告中訴願ニ基キ特免シタル旨趣ヲ記載セザリシニ因リ郡縣參事會ハ制第七條特免ノ本旨ト町治上ノ安寧ヲ保護スル點ニ就テ裁決ヲ與ヘタリシカ原告カ熊本縣參事會ニ訴願ヲ提出スルニ當リ始メテ其真相ヲ露出シ明瞭ニ福田幸七外三十九名ノ訴願ニ基キ特免ヲ與ヘタルコトヲ自白セリ就テハ來民町會カ全ク正當受理スヘカラサル福田幸七外三十九名ノ訴願ヲ受理シ併セテ其訴願ニ依リ特免ヲ與ヘタルハ兩ツナカラ其手續ヲ誤リ法律ノ規定ニ背キタルモノト斷定セサルヘカラス原告ハ相繼ハ先代ノ權利ヲ繼承シタルモノナリ云々ト申立レトモ衆議院議員選舉法等ノ如キ明文アルモノハ格別明文ナキ町制ニ之ヲ適用スヘキモノニアラス且町制第七條公民権特免ノ事ハ町長助役委員等ハ公民権ヲ有スルモノヨ

第三類 市町村會議員選舉及公民權

リ選舉セサルヘカラス然ルニ二箇年ノ制限ニ違セサルカ爲メ其適任者アルモ之ヲ選舉シ能ハサル等ノ場合ニ於テ適用スヘキモノニシテ本件特免者ノ如キハ右等ノ必要アルニアラス黨派ノ關係ヨリ多數ノ選舉者ヲ得ンカタメ特免シタルモノナルカ故ニ被告ハ之カ議決ノ執行ヲ停止シタルモノニシテ被告ノ處分ハ不當ニアラスト云フニ在リ

依テ雙方ノ辯論ヲ聽キ證據ヲ閱シ理由ヲ說明スルコト左ノ如シ

被告カ本件來民町會ニ於テ町村制第七條第一項ノ特免ヲ福田幸七外十名ニ與フルノ議決ヲ爲シタルヲ不當トスル理由ノ要點ハ該特免ハ黨派的ノ競爭ヨリスルモノニシテ安寧平和ヲ妨グル者ナリ又之ヲ特免スルハ町村會ノ自働的議決ニ存スヘキ者ニシテ町村民ノ訴願ニ基クヘキモノニアラス其特免ヲ爲スノ場合ハ町村長其他名譽職ニ選舉スヘキ必要アルトキニ限ルモノナリ且來民町會カ福田幸七外十名ノ訴願ヲ受理シタルハ町村制第十八條第二項ノ訴願權ナキモノヲ受理シタルナリト云フニ在リト雖被告カ明治二十五年四月二十日制第一五九號ヲ以テ來民町長服部倫太郎ニ違シタル訓令ニ依リハ特免ノ件ハ全ク制第七條中特免ノ精神ニ適合セサルモノト認認候處制第六十八條ニ依リ直チニ右議決ノ執行ヲ停止シ再議ニ付スヘシトアレハ該特免ハ被告ニ於テ町村制第六十八條中ノ法律命令ニ背クモノト認メタルヲ以テ其訓令ヲ發シタルモノニシテ安寧平和ヲ維持スルカ爲メニ爲シタルモノニアラサルヲ知ルヘク又町會カ不適法ノ訴願ヲ受理シタルカ爲メニ發シタル訓令ニアラサルヲ知ルヘシ然ラハ被告ハ今日ニ於テ原告町會カ當初訴願ヲ受理議決シタルノ當否ヲ爭フヲ得スシテ本件爭點ノ歸スル所ハ特免其事カ果シテ法律ニ背クモノナリヤ否ヤニアリ而シテ町村制第七條第一項但場合ニ依リ町村會ノ議決ヲ以テ本條ニ定ムル二箇年ノ制限ヲ特免スルコトヲ得トアルハ獨町村ニ於テ名譽職ニ選舉スヘキノ必要アル場合ニ止マラス町村民其者ノ身上ニ關シテ特免スヘキノ場合ヲ亦包含スルモノナルカ故ニ町村會ハ町村民中制第七條二箇年ノ制限ニ違セサルモノニシテ特免ノ理由アリト認ムルモノアラハ其議決ヲ以テ之カ特免ヲ與フルヲ得ルモノニシテ本件特免ノ如キハ來民町會カ福田幸七外十名ハ相繼ニ依リ財產權ヲ承繼シタルモノナルヲ以テ先代ノ納稅ハ相繼人ノ納稅ト同一ニ看做シ之ヲ特免スルハ相當ナリトシテ之カ特免ヲ與ヘタルモノナレハ其手續ハ本人ノ要求ニ由ルト否トニ拘ハラズ原告町會ノ議決ハ法律ニ背ク所ナキモノトス

被告ニ於テ明治二十五年四月二十日ノ訓令ヲ以テ本件原告町會ノ議決執行ヲ停止シタル處分ハ之ヲ取消スヘシ 訴訟費用ハ被告ノ負擔トス

四十六 村會議員半數改選取消ニ關スル件

明治二十六年四月二十九日宣告
明治二十五年第四百三十五號

原告 長崎縣南高來 郡南有馬村

被告 同縣同郡 同村々長

松尾信知 小田莊藏

右原告松尾信知ヨリ被告南有馬村々長小田莊藏ニ對スル村會議員半數改選ノ選舉取消ノ訴訟管理ヲ遂ケル處

原告請求ノ要旨ハ明治二十五年四月南有馬村々長小田莊藏ニ對スル村會議員半數改選ノ際其一日ヨリ七日マテテ期限トシ名簿ノ縱覽ヲ爲サシメタルニ該名簿ニ記載ノ人名中公民ノ資格ニ關スル調査願ル杜撰ニ涉リ原告等ノ不利益ナルヲ發見セルヨリ人名及理由ヲ掲ケ正當加除修正アラシムコトヲ同月七日被告ニ訴願シ他ノ數人ヨリモ亦其所見ヲ述ヘ甲第七號證ノ如ク數通ノ訴願ヲ提出セシニ被告ハ之ニ對スル議決ヲ爲サス隨テ其告知ヲ爲サス縱覽期限滿了後大ニ修正ヲ加ヘ之ヲ確定名簿ト爲シ同月二十日ヨリ兩日ヲ以テ選舉會ヲ開キ選舉ヲ行ヒシノミカ其結果ニ於テ原告等ノ豫想外ニ出テタルニ其理由ヲ詰問スレトモ明白ノ答辯ナク曖昧不正ノ廉アルコトヲ發見セリ茲ニ於テ該名簿ニ依リ選舉ヲ爲シタルハ實ニ都合ナルヲ以テ同月二十七日原告外十一名ヨリ更ニ選舉取消請求ノ訴願ヲ提出シタルニ被告ハ當初ノ訴願ニ就テハ已ニ四月九日ノ村會ヲ以テ理事者ノ一人別資格調査ニ依リ相當議決ヲ爲シタル上加除修正ヲ加ヘタルモノナレハ選舉ハ取消ス可キ理由ナシトノ裁決ヲ爲シタルトモ之ヲ要スルニ當初被告ハ自派ノ選舉人少數ナルヲ憂ヒ故ラニ杜撰ノ名簿ヲ製シ原告ノ訴願アルニ及ビ倉皇石田角太郎石田永十ヲシテ甲第八號證ノ如キ二百數十名ニ關スル書面ヲ作成セシメ或ハ縱覽期限後即チ四月八日ニ至リ自ラ公民權特免ノ議案ヲ提出シ又議事録其他ノ文書ヲ作爲シ以テ僅ニ之方綱繼ヲ試ムルモ固ヨリ正當ニ成立セシモノニアラサルハ記載ノ事實矛盾アルヲ以テ知ルニ足レリ假リニ該訴願アリタルモノトスルモ甲第七號證ノ訴願ト共ニ直ニ裁決セシモノニアラス又其裁決書ヲ交附セス之カ告知ヲ爲シタルコトナキモノナレハ違法ノ處分ト云フ可クシテ斯レ違法ノ處分ニ基キタル名簿ハ選舉會ニ採用スヘキモノニアラス故ニ之ニ依リ行フタル選舉ハ當然無効ナルニ因リ之ヲ取消シ更ニ選舉ヲ執行ス可キ議決アラシムコトヲ請フト云フニ在リ

被告答辯ノ要旨ハ明治二十五年四月二十日同二十一日執行シタル本村村會議員半數改選ノ顛末ハ四月一日ヨリ選舉人名簿ヲ縱覽セシメシニ該名簿ハ前例ニ依リタルモノニシテ家族ノ地租金ヲ選舉本人ノ納稅額ニ合算シアルコトヲ發見シ修正ノ調査ヲ遂ケタルトモ理事者ニ於テ隨意ニ訂正スヘキニアラサルハ暫ク關係者ノ訴願ヲ俟チタリ然ルニ原告等始メ石田角太郎石田永十滿田敬治石田安太郎南吟三郎等皆名簿訂正ニ關スル數箇ノ訴願ヲ爲シタルニ付之ヲ受理シ同月九日村會ヲ開キテ訴願ノ裁決ヲ爲シ之ヲ告知シテ名簿ニ修正ヲ加ヘ而シテ確定名簿ト爲シタルニ此間一人ノ不服ヲ申立ル者ナク同月二十日ヨリ兩日ヲ以テ無事ニ選舉ヲ執行シタル次第アリ然ルニ原告ハ選舉罰則違犯ヲ主要ノ理由トシテ名簿訂正ニ關スルコトヲ附從ノ理由トセル訴願ヲ爲シタルトモ主要ノ理由ハ別ニ刑事裁判ヲ以テ明瞭セシヨリ選舉名簿當否ニ關リ名簿訂正ノ訴願ニ對スル裁決ヲ爲サス從テ其交付又ハ告知ヲ爲サハル等ノ事實アリト認認シ之ヲ理由トシテ該選舉取消請求スレトモ選舉人名簿ニ付テハ其提出スル甲第七號證甲第八號證ノ訴願アリタルニ依リ村會ハ之ヲ受理シ裁決ノ上名簿訂正シタルハ乙第一號證ノ議事録乙第二號證ノ裁決告知書等ニ依リ判然タル事實ニシテ其議決ヲ爲シタルハ即チ裁決ヲ爲シタル者ナリ又其裁決書ノ交付告知ノ如キハ其代用トシテ本村一般ニ對スル揭示場ニ於テ告知シ且組長ト稱スル觸役ヲ會シテ特ニ該裁決及訂正ノ詳細ヲ告示シ共ニ公布式ニ依リタル者ナレハ此中一種ノ手續ヲ經由セル事件ハ村民ニ於テ知ラスト

第三類 市町村會議員選舉及公民權

云フテ得ス況ンヤ二種ノ手續ヲ併用シタル事件ナルニ於テヤ但シ村會カ訴願者ニ對シ各別ノ裁決書ヲ與ヘス又交付ニ換ユルニ告知書ノ公布ヲ以テシタルハ假令其手續ニ瑕疵アリトスルモ之ヲ以テ告知ノ効ナシト謂フ可ラス又原告ハ四月九日ヲ以テ裁決シタル選舉人名簿修正ニ關スル書類ハ後日ノ作爲ニ出テタルモノナリト云フモ訴願ノ裁決前被告ハ數人ノ協力ヲ以テ急成シタル一人別資格調書ヲ村會ニ報告シ村會ノ裁決アリ始メテ名簿修正ヲ爲シタルモノナレハ其間一ノ汚點ナシ何ノ所ニカ不正アララン然ルニ原告ハ被告ノ處置ヲ曖昧ナリ各種ノ書類ヲ偽造セリト罵レトモ選舉人名簿ハ管ニ不正ナラサルノミナラス少シノ汚點アラサルモノナリ假リニ原告ノ言ニ任セ名簿ハ不正ナリトスルモ其一事ハ直チニ選舉ヲ無効ト爲スニ足ルカ名簿ノ不正アラハ之ニ依リタル選舉ヲ無効ト爲スハ或ハ止ムテ得サル可キモ斯ノ如キ事實ハ有得可キモノニアラス然ラハ所謂名簿ノ不正ハ名簿中或ル部分ノ不正ヲ意味スルモノトセシカ之ヲ以テ選舉ノ全部ヲ打破スルニ足ラス況ンヤ原來別案件タル名簿訂正ト選舉ノ効力トハ混シテ論ス可キモノニアラサルヤ本件原告ノ訴旨ハ漫リニ別種ノ理由ヲ付シ以テ選舉取消ノ要求ヲ爲スモノナレハ速ニ之ヲ却下アラシト云フニ在リ

右雙方ノ辯論ヲ聽キ證據ヲ閱シ理由ヲ說明スルコト左ノ如シ

被告ニ於テ名簿訂正ノ訴願ニ對シテハ四月九日裁決ヲ爲シ且其告知書シタルモノナレハ裁決ノ効ナシト云フ可カラス又同月二十日二十一日ノ村會議員半數改選ノ選舉ハ確定名簿ニ依リ爲シタル者ナレハ違法ニアラス假リニ原告ノ言ニ任セ名簿ニ不正アリトスルモ其一事ハ選舉ノ全部ヲ打破スルニ足ラス元來別案件タル名簿訂正ト選舉ノ効力トハ混シテ論ス可キモノニアラサルハ漫リニ別種ノ理由ヲ以テ直チニ選舉取消ノ要求ス可キモノニアラスト云ト雖選舉ヲ行フトキ選舉掛長ハ已ニ確定シタル名簿ニ照ラシテ投票ヲ受ク可キハ町村制第二十二條ニ規定スル所ナリ而シテ本件ノ事實ハ當初四月一日ヨリ同月七日ニ至ル選舉人名簿訂正期間中關係者ノ爲シタル訴願及期限滿了後ニ係ル四月八日ヲ以テ村長ヨリ與村長男外三名ノ公民權ヲ特免ス可キ旨提出シタル議案ニ對スル四月九日ノ村會裁決ニ依リ名簿修正シ之ヲ確定名簿ト爲シ以テ選舉會ヲ開キタルモノナレトモ名簿修正ノ申立ハ縱覽期限中ニ於テ爲ス可キモノナルハ同制第十八條ノ規定ニ依リ可キナ當然ナリトス故ニ村長ト雖名簿修正ノ意見アラハ該期限中之村會ニ付シ裁決ヲ求ム可キモノニシテ期限滿了後ニ至リ裁決ヲ求ム得ヘキモノニアラス然ルニ村會モ亦併セテ之ヲ受理シ名簿ニ記載ス可キモノト裁決シ其他ノ訴願ニ於テモ石田安太郎又ハ石田角太郎石田永十力選舉者本人ト家族ト地租ト合算スルモノ及地租ヲ有セス失格者ノ誤載或ハ脱落等有之相當訂正相成度トノ記載シ誰人ニ對シ何等ノ理由ヲ以テ訂正ス可キ歟ヲ區別セサル訴願ニ對シ申立ノ通訂正ス可キ者又ハ報告書ノ通リトノ記載シテ選舉人ハ一二級ノ何レニ記載スヘキ者ナルヲ決定セシ且裁決書ヲ利害ノ關係者ニ交付セシ又其告知ハ四月九日ヲ以テ三宅文叔外數名ヨリ名簿訂正ニ關スル訴願書提出シタルヲ以テ本月九日當村會ニ於テ相當裁決ヲ爲セリ其詳細ハ當役場備付訴願ニ對スル裁決告知原簿ニ依リ承知スヘキ旨ヲ公布式ニ依リ公示シタルニ過キサルモノナルニ因リ該裁決ハ適法ニ効果ヲ生ス可キ理由ナキモノナレハ本訴甲第七號證甲第八號證ニ關スル二百四十八名ハ名簿縱覽期限後即チ名簿確定後ニ於テ擅ニ加除修正セラレタル違法ノ人名簿ニシテ町村制第十八條ノ規定ニ從ヒ同制第三十七條第一項ノ裁決ニ依リ選舉前十日ヲ限リ修正ヲ加ヘ確定シタル名簿ナ

リト謂フテ得ス然ルニ被告カ明治二十五年四月二十日同二十一日ノ兩日ヲ以テ執行シタル南有馬村村會議員半數改選ノ選舉ハ該違法ノ名簿ニ照ラシタル選舉人ヲシテ投票セシメタルモノナレハ適法ノ選舉ヲ執行シタルモノナリト謂フ可カラズ其他雙方辯論スル所アルモ本案ニ必要ナキニ因リ理由ヲ說明セシ

前項ノ理由ナルヲ以テ判決スルコト左ノ如シ

明治二十五年四月二十日同二十一日ノ兩日ヲ以テ南有馬郡南有馬村ニ於テ執行シタル村會議員半數改選ノ選舉ハ無効トス

用ハ被告ノ負擔トス

四十七 村會議員選舉投票ノ効力ニ關スル件 明治二十六年五月六日宣告 明治二十五年第五百二十一號

原告 石川縣羽咋郡若部村長 北村善太郎 被告 同縣參事會 三間正弘

右原告若部村長北村善太郎ヨリ被告石川縣知事三間正弘ニ對スル村會議員一級選舉投票ノ効力ニ關スル訴審理ヲ送ケル處原告訴求ノ要旨ハ明治二十五年四月二十一日石川縣羽咋郡若部村字尾長北川吉之丞宅ニ於テ同村會一級議員半數改選ノ選舉會ヲ執行セシカ其前々日原告ハ各選舉人ヲシテ成ルヘク一定ノ投票用紙ヲ用ヒシメント欲シ村會議員投票明治二十五年月日ト印刷セル投票用紙ヲ配付シタル選舉人ハ之ヲ用ヒタルモアリ又用ヒサルモアリタルカ中谷市藏北井四郎左衛門淺野半左衛門ハ該用紙ヲ用ヒテ選舉シタル投票ヲ認メテ町村制第二十三條第二項ノ四ニ所謂被選舉人氏名ノ外他事ヲ記入スルモノトアルニ該當スルヲ以テ即チ無効ナリトシ明治二十五年四月二十六日村長ニ訴願シタルモ同村會ハ右投票ハ法律ニ違背セス總テ有効ノモノナルニヨリ選舉點數ヲ更定スル限ニアラスト裁決シタルニ服セス同年五月二十一日郡參事會ニ訴願シタルニ同會ハ尙村會裁決旨趣ノ如ク裁決シタルヲ不當トシ同年七月十三日更ニ縣參事會ニ訴願シタル處同會ハ右投票用紙ニ村會議員投票明治二十五年月日ノ文字ヲ印刷シタルハ町村制第二十三條第二項ノ四ニ所謂他事記入ニ該當セルニ依リ從テ同投票ハ無効ナリト裁決セラレタリト雖原告ハ縣參事會ノ裁決ヲ不當トスルヲ以テ本訴ヲ提起スルニ至リタルモノニシテ抑町村制第二十三條第二項ノ四ニ所謂他事トハ石川縣參事會カ認ムル場合ニ該當スヘキモノニアラスシテ投票ノ性質ニ違ヘルカ若クハ選舉人ノ意志明瞭ナラサルカ又ハ選舉ノ結果ニ異動ヲ生スルカ如キ事故等要スルニ投票ノ嚴正明確ヲ失ヘル事實ヲ指シシモノナルヘシ若シ被選舉人ニ同姓同名ノモノアリトセハ其分別ヲナサン爲メ勢ヒ住所等ノ記入ヲ要スヘキハ免カルヘカラサルニモ拘ハラズ縣參事會カ認ムル如クセハ是又他事ヲ記入セシモノトシテ其投票ハ効力ヲ失ハサルヲ得サルニ至ルヘシ豈ニ斯クノ如キ理アラシヤ加フルニ原告カ投票用紙ニ村會議員投票明治二十五年月日ト印刷シテ豫メ配付シタルハ該用紙ノ紙質樣式ヲシテ一定ニ出テシメントノ必要ヨリ起レルモノニシテ選舉人各自ヲシテ適宜ニ用紙ヲ用ヒシメハ在來ノ經驗ニ依ルモ或ハ

第三類 市町村會議員選舉及公民權

汚穢毀廢ノ用紙ヲ用ヒ或ハ被選舉人氏名記入ノ位置等ヲ亂シ不知不識匿名投票ノ性質ヲ誤リ爲メニ投票ノ効力ヲ失スルニ至リタルモ
 ノナキヲ保セザリシニ依リ之ヲ豫防セントノ意思ニ外ナラサルモノナリ然ルニ之ヲ町村制第二十三條第二項ノ四ノ他事記入ニ牽強シ
 テ石川縣選舉會カ該投票ヲ無効トセルハ違法トス況ンヤ右村會議員投票明治二十五年月日ノ文字ハ用紙ノ印刷ニシテ選舉人カ記入シ
 タルモノニアラサルニ於テオヤ依テ石川縣羽咋郡若部村ニ於テ執行シタル選舉ノ投票用紙ニ村會議員投票明治二十五年月日ト印刷セ
 ルモノハ町村制第二十三條第二項ノ四ノ他事記入ニ該當セザルヲ以テ無効トスヘキニアラス隨テ該投票ヲ有効トスヘキ機裁判アラ
 コトヲ請フト云フニ在リ

被告答辯ノ要旨ハ明治二十五年四月二十一日ニ於テ執行セシ石川縣羽咋郡若部村會一級議員半數改選ノ際選舉人申投票ニ村會議員投
 票及ヒ明治二十五年月日ノ文字ヲ記入シタル者アリシテ無効ナリトシ之ヲ除却シテ當選人ヲ定メラレシコトヲ中谷市藏外二名ヨリ村
 會及ヒ郡參事會ニ訴願シタルニ採用セラレサルニ依リ更ニ縣參事會ニ訴願シタル處縣參事會ニ於テハ前掲投票用紙ニ記入シタル文字
 ハ町村制第二十三條第二項ノ四ニ依リ無効ト爲スヘシト裁決シタルモノニシテ抑原告ハ町村制第二十三條第二項ノ四ニ依リ他事ト認
 ムヘキハ其記事投票ノ性質ニ違ヘルカ若クハ選舉人ノ意志明瞭ナラサルカ又ハ選舉ノ結果ニ異動ヲ生スルカ如キ場合ニ該當スヘキモ
 ノニシテ本件ニ對シ適用スヘキモノニアラスト云フト雖町村制第二十三條ニハ明カニ被選舉人氏名ノ外他事ヲ記入シタル投票ハ無効
 トスヘキコトヲ規定セルヲ以テ町村會議員ノ投票ハ該法文ノ規定ニ從ヒ嚴正ニ被選舉人ノ氏名ノミヲ記入スヘキモノニシテ其他ノ事
 故ヲ記入スヘカラサルヲ論テ俟タサルナリ即チ村會議員投票ト記入スルカ如キ年月日ヲ記入スルカ如キ各別ニ意義アル語辭ナルニモ
 拘ハラズ原告ハ漫ニ說ヲ構ヘ其記事投票ノ性質ニ違ヘルカ若クハ選舉人ノ意志明瞭ナラサルカ又ハ選舉ノ結果ニ異動ヲ生スルカ如キ
 場合ニアラサルヨリハ無効トスヘカラスト稱スト雖是レ等シク他事記入ナリ然ルニ一ハ以テ差支ナキ他事ナリトシ一ハ以テ差支アル
 他事ナリトス惟フニ原告ハ法律ノ規定外ニ於テ縱ニ自己ニ便益ナル解釋ヲ求メ故ラニ其區別ヲ立テントス牽強モ亦甚シト謂フヘシ是
 レ被告ニ於テ原告要求ノ理由ヲ不當トスル所以ノ第一ナリ又議員ノ選舉ニ付投票効力ノ有無ヲ定ムルハ之ヲ他ノ法律即チ衆議院議員
 選舉法第五十一條府縣制第三條郡制第十八條等ノ規定ニ憑リテ徵スルニ右等各法ハ各被選舉人氏名ノ外他事ヲ記入スルモノヲ以テ無
 効トシ向他事ヲ記入スルモノハ中ニ就テ無効トセザルモノヲ特許セリ獨リ町村會議員ノ選舉ニ限リ此特例ヲ設ケザルハ一町村ノ如キ
 ハ場所モ狹クシテ此クノ如キ特例ヲ設ケルノ必要アラサルカ故ナリ即チ全ク他事記入ヲ禁制シタル法文ヲ他ノ法律ニ於テ特許ノ場合
 アルモノト同一視スヘカラス是レ被告ニ於テ原告要求ノ理由ヲ不當トスル所以ノ第二ナリ依テ石川縣羽咋郡若部村會一級議員半數改
 選ノ選舉ニ用ヒタル投票中村會議員投票明治二十五年月日ノ文字ヲ記入シタルモノヲ縣參事會ニ於テ無効ト裁決シタルハ其當ヲ得タ
 ルモノニ付原告ノ請求ヲ排斥アリタシト云フニ在リ

依テ雙方ノ辯論ヲ聽キ證據ヲ閱シ理由ヲ說明スルコト左ノ如シ
 被告ハ町村制第二十三條ニ被選舉人氏名ノ外他事ヲ記入シタル投票ハ無効トスヘキコトヲ規定セルヲ以テ何事ニ限ラズ被選舉人氏名

以外ノ事ヲ記入シタル投票ハ同條第二項ノ四ニ該當シ總テ無効タルヘシト云フト雖該規定ハ選舉ニ當アル事ヲ記入シ若クハ選舉必要
 ナキ雜事ヲ記入シタル場合等ヲ指スモノニシテ投票用紙タルノ性質ヲ明確ナラシムル爲メノ記入ノ如キハ之ニ該當スト謂フヘカラス
 又被告ハ衆議院議員選舉法第五十一條府縣制第三條郡制第十八條ヲ引援シテ論スルト雖町村會議員ノ選舉ハ町村制ノ規定ニ依ルヘキ
 モノニシテ他ノ法律ヲ引援シテ論スヘキニアラサルハ村會議員投票明治二十五年月日ト印刷セル用紙ヲ以テ爲シタル投票ハ町村制第
 二十三條第二項ノ四ニ該當スルモノト謂フコトヲ得ス

右ノ理由ニ依リ判決スルコト左ノ如シ
 明治二十五年四月二十一日石川縣羽咋郡若部村會一級議員半數改選選舉會ニ於テ行ヒタル投票中村會議員投票明治二十五年月日ノ文
 字ヲ印刷セルモノハ無効ニアラス 訴訟費用ハ被告ノ負擔トス

四十八 村會議員選舉投票ノ効力ニ關スル件 明治二十六年五月六日宣告
 明治二十五年第四百二十八號

原告 石川縣羽咋郡 北邑知村長 館中良藏 被告 同縣參事會 三間正弘
 同縣知事

右原告北邑知村長館中良藏ヨリ被告石川縣知事三間正弘ニ對スル村會議員二級選舉ノ効力ニ關スル訴審理ヲ送ケル處
 原告訴求ノ要旨ハ明治二十五年四月二十日ニ於テ執行セル石川縣羽咋郡北邑知村々會二級議員半數改選ノ際會ニ用ヒタル投票用紙ハ
 選舉ノ前日原告ヨリ各選舉人ニ配付シタルモノニシテ即チ村會議員選舉羽咋郡北邑知村々會議員投票用紙ノ文字ヲ印刷シタルモノナ
 ルニヨリ平野平右衛門松田重藏淵上惣次郎ハ右ハ町村制第二十三條第二項ノ四ニ所謂他事ヲ記入シタルモノナルニヨリ之ヲ無効トス
 ヘキノミナラス其他數件定規ニ違背セル廉アルニヨリ右選舉會ハ取消スヘキモノナリトシテ明治二十五年四月二十六日同村長ニ訴願
 シタルニ同村會ハ右投票ハ有効ニシテ其他定規ニ違背セシ廉ナキニヨリ該選舉會ハ取消スヘキ限ニアラスト裁決シタルニ服セス同年
 五月十七日郡參事會ニ訴願シタルニ同會ハ尙村會裁決ノ旨趣ノ如ク裁決シタルヲ不當トシ同年七月十二日縣參事會ニ訴願シタルニ同
 會ハ右投票中村會議員選舉羽咋郡北邑知村々會議員投票用紙ノ文字ヲ印刷シタルハ即チ町村制第二十三條第二項ノ四ニ所謂他事ヲ記
 入ニ該當セルニ依リ從テ同投票ハ無効ナルモ其他ハ定規ニ違背シタル事實アリシモノト認メサル旨裁決シタルニ原告ハ右縣參事
 會ノ裁決中他ノ件ニ對シテハ不服ナキモ獨リ投票中村會議員選舉羽咋郡北邑知村々會議員投票用紙ノ文字ヲ印刷シタルヲ以テ町村制
 第二十三條第二項ノ四ニ所謂他事ヲ記入トナシタルニ至テハ之ニ服スルヲ得サルモノナリ何トナレハ同條ニ所謂他事トハ投票ノ性質
 ニ違ヘルカ若クハ選舉人ノ意志明瞭ナラサルカ又ハ選舉ノ結果ニ異動ヲ及ボスカ如キ事實等荷モ投票ノ嚴正明確ヲ失ヘル事故ヲ指
 セシ者ニシテ石川縣參事會カ認メテ以テ他事トナセル彼ノ村會議員選舉投票用紙ニ同條ノ事實ヲ表示セルカ如キ場合ニ適用スヘキ者

ニアラサレハナリ加之若シ被選舉人中同姓同名ノモアル場合ノ如キハ之カ區別ヲナサン爲メ自然其住所等ノ記入ヲ要スルニ至ルハ
 免ルヘカラサルコトナルニモ拘ラハス縣選舉會カ認ムル所ノ如クセハ是又他事ノ記入アルモノトシテ其投票ハ効力ヲ失ハサルヲ得サ
 ルニ至ルヘシ町村制第二十三條ノ精神豈ニ斯クノ如キモノナランヤ況ンヤ村會議員選舉羽咋郡北邑知村々會議員投票用紙ノ文字ハ原
 告カ豫メ印刷シ置キタルモノニシテ其之ヲ爲シタル用紙ヲ配付シタルハ從來ノ經驗ニ徴スルモ右用紙並ニ其記載例ヲシテ選舉人カ區
 區ノ意志ニ任セシムルトキハ或ハ汚穢蠱廢ノ用紙ヲ用ヒ又ハ被選舉人氏名記入ノ位置等ヲ亂ス等其不完全不順序ナル實ニ名狀スヘカ
 ラサルモノアルニヨリ却テ之カ爲メ不知不識ノ中匿名投票ノ性質ヲ失シ若クハ投票ノ効力ヲ失フニ至レル恐ナキヤナ感リ之ヲ豫防セ
 ントノ思念ヨリ其用紙並ニ記載例ノ一定ヲ計リタルニ由レルモノニシテ即チ選舉人各自カ自ら記入シタルモノニアラサルニ於テオヤ
 依テ明治二十五年四月二十日ニ於テ執行セル石川縣羽咋郡北邑知村々會二級議員半數改選々舉會ニ用ヒタル投票ノ幾分ハ他事ノ記入
 アルモノトシテ無効ト爲セル同縣選舉會ノ裁決ヲ取消シ同投票ヲシテ有効タラシメタシト云フニ在リ

被告答辯ノ要旨ハ明治二十五年四月二十日ニ於テ執行セル石川縣羽咋郡北邑知村々會二級議員半數改選々舉會ニ付村會議員
 選舉並ニ羽咋郡北邑知村々會議員投票用紙ノ文字ヲ記入シタル者アリシテ無効ナリトシテ之ヲ除却シテ當選人ヲ定メラレシコトヲ平
 野平右衛門外二名ヨリ村會及ヒ郡選舉會ニ訴願シタルニ採用セラレサルニ依リ更ニ縣選舉會ニ訴願シタル處縣選舉會ニ於テハ前掲投
 票用紙ニ記入シタル文字ハ町村制第二十三條第二項ノ四ニ依リ無効ト爲スヘシト裁決シタルモノニシテ抑原告ハ町村制第二十三條第
 二項ノ四ニ依リ他事ト認ムヘキモノハ其記事投票ノ性質ニ違ヘルカ若クハ選舉人ノ意志明瞭ナラサルカ又ハ選舉ノ結果ニ異動ヲ生ス
 ルカ如キ場合ニ該當スヘキモノニシテ本件ニ對シ適用スヘキモノニアラスト云フト雖町村制第二十三條ニハ明カニ被選舉人氏名ノ外
 他事ヲ記入シタル投票ハ無効トスヘキコトヲ規定セルヲ以テ町村會議員ノ投票ハ該法文ノ規定ニ從ヒ嚴正ニ被選舉人ノ氏名ノミヲ記
 入スヘキモノニシテ其他ノ事故ヲ記入スヘカラサルヲ論テ俟タサルナリ即チ村會議員選舉ト記入スルカ如キ羽咋郡北邑知村々會議員
 投票用紙ト記入スルカ如キ各別ニ意義アル語辭ナルニモ拘ハラズ原告ハ漫ニ記テ構ヘ其記事投票ノ性質ニ違ヘルカ若クハ選舉人ノ意
 志明瞭ナラサルカ又ハ選舉ノ結果ニ異動ヲ生スルカ如キ場合ニアラサルヨリハ無効トスヘカラスト稱スト雖是レ等シク他事記入ナリ
 然ルニ一ハ以テ差支ナキ他事ナリトシ一ハ以テ差支アル他事ナリトス惟フニ原告ハ法律ノ規定外ニ於テ縱ニ自己ニ便益ナル解釋ヲ求
 メ故ラニ其區別ヲ立テントス率強モ亦甚シト謂フヘシ是レ被告ニ於テ原告要求ノ理由不當トスル所以ノ第一ナリ又議員ノ選舉ニ就
 キ投票効力ノ有無ヲ定ムルハ之ヲ他ノ法律即チ衆議院議員選舉法第五十一條府縣制第三條郡制第十八條等ノ規定ニ憑リテ徵スルニ右
 等各法ハ各被選人氏名ノ外他事ヲ記入スルモノヲ以テ無効トシ向他事ヲ記入スルモノハ中ニ就テ無効トセサルモノヲ特許セリ獨リ町
 村會議員ノ選舉ニ限リ此特例ヲ設ケサルハ一町村ノ如キハ場所狹クシテ此クノ如キ特例ヲ設ケルノ必要アラサルカ故ナリ即チ全ク
 他事記入ヲ禁制シタル法文ヲ他ノ法律ニ於テ特許ノ場合アルモノト同一視スヘカラス是レ被告ニ於テ原告要求ノ理由不當トスル所
 以ノ第二ナリ依テ石川縣羽咋郡北邑知村々會二級議員半數改選々舉會ニ用ヒタル投票中村會議員選舉並ニ羽咋郡北邑知村々會議員投票

用紙ノ文字ヲ記入シタルモノヲ縣選舉會ニ於テ無効ト裁決シタルハ其當テ得タルモノニ付原告ノ請求ヲ排斥アリタシト云フニ在リ
 依テ雙方ノ辯論ヲ聽キ證據ヲ閱シ理由ヲ說明スルコト左ノ如シ

被告ハ町村制第二十三條ニ被選舉人氏名ノ外他事ヲ記入シタル投票ハ無効トスヘキコトヲ規定セルヲ以テ何事ニ限ラズ被選舉人氏名
 以外ノ事ヲ記入シタル投票ハ同條第二項ノ四ニ該當シ總テ無効タルヘシト云フト雖該規定ハ選舉ニ害アル事ヲ記入シ若クハ選舉ニ必
 要ナキ雜事ヲ記入シタル場合等ヲ指スモノニシテ投票用紙タルノ性質ヲ明確ナラシムル爲メノ記入ノ如キハ之ニ該當スト謂フヘカラ
 ×又被告ハ衆議院議員選舉法第五十一條府縣制第三條郡制第十八條ヲ引援シテ論スルト雖町村會議員ノ選舉ハ町村制ノ規定ニ依ルヘ
 キモノニシテ他ノ法律ヲ引援シテ論スヘキニアラサルハ村會議員選舉羽咋郡北邑知村々會議員投票用紙ト印刷セル用紙ヲ以テ爲シタ
 ル投票ハ町村制第二十三條第二項ノ四ニ該當スルモノト謂フコトヲ得ス

右ノ理由ニ依リ判決スルコト左ノ如シ

明治二十五年四月二十日石川縣羽咋郡北邑知村々會二級議員半數改選々舉會ニ於テ行ヒタル投票中村會議員選舉羽咋郡北邑知村々會議
 員投票用紙ノ文字ヲ印刷セルモノハ無効ニアラス 訴訟費用ハ被告ノ負擔トス

四十九 村會議員選舉投票ノ効力ニ關スル件

明治二十六年五月六日宣告
明治二十五年第四百二十七號

原告 石川縣羽咋郡 北邑知村長 館中良藏 被告 同縣選舉會 三間正弘

右原告北邑知村長館中良藏ヨリ被告石川縣知事三間正弘ニ對スル村會議員一級選舉ノ効力ニ關スル訴管理ヲ送ケル處
 原告訴求ノ要旨ハ明治二十五年四月二十一日ニ於テ執行セル石川縣羽咋郡北邑知村々會一級議員半數改選々舉會ニ用ヒタル投票用紙
 ハ選舉ノ前日原告ヨリ各選舉人ニ配付シタルモノニシテ即チ村會議員選舉羽咋郡北邑知村々會議員投票用紙ノ文字ヲ印刷シタルモノ
 ナルニヨリ北山作兵衛西山庄太郎折橋猪平山本源左衛門ハ右ハ町村制第二十三條第二項ノ四ニ所謂他事ヲ記入シタルモノニ依リ
 之ヲ無効トスヘキノミナラス其他數件定規ニ違背セル廉アルニヨリ右選舉會ハ取消スヘキモノナリトシテ明治二十五年四月二十七日
 同村長ニ訴願シタルニ同村會ハ右投票ハ有効ニシテ其他定規ニ違背セシ廉ナキニ依リ該選舉會ハ取消スヘキ限ニアラスト裁決シタル
 ニ服セス同年五月十七日郡選舉會ニ訴願シタルニ同會ハ尙村會裁決ノ旨趣ノ如ク裁決シタルヲ不當トシ同年七月十三日縣選舉會ニ訴
 願シタルニ同會ハ右投票中村會議員選舉羽咋郡北邑知村々會議員投票用紙ノ文字ヲ印刷シタルハ即チ町村制第二十三條第二項ノ四ニ
 所謂他事ノ記入ニ該當セルニ依リ從テ同投票ハ無効ナルモ其他ハ定規ニ違背シタル事實アリシモノト認メサル旨裁決シタルニ原
 告ハ右縣選舉會ノ裁決中他ノ件ニ對シテハ不服ナキモ獨リ投票中村會議員選舉羽咋郡北邑知村々會議員投票用紙ノ文字ヲ印刷シタル

第三類 市町村會議員選舉及公民權

チ以テ町村制第二十三條第二項ノ四ニ所謂他事ノ記入トナシタルニ至テハ之ニ服スルヲ得サルモノナリ何トナレハ同條ニ所謂他事トハ投票ノ性質ニ違ヘルカ若クハ選舉人ノ意志明瞭ナラサルカ又ハ選舉ノ結果ニ異動ヲ及ボスカ如キ事實等荷モ投票ノ嚴正明瞭ヲ失ヘル事故ヲ指シテモニシテ石川縣選舉會カ認メテ以テ他事トナセル被ノ村會議員選舉投票用紙ニ同様ノ事實ヲ表示セルカ如キ場合ニ適用スヘキモノニアラサレハナリ加之若シ被選舉人ノ同姓同名ノモノアル場合ノ如キハ之カ區別ヲナサン爲メ自然其住所等ノ記入ヲ要スルニ至ルハ免カレハカラサルコトナルニモ拘ハラズ縣選舉會カ認ムル處ノ如クセハ是又他事ノ記入アルモノトシテ其投票ノ効力ヲ失ハサルヲ得サルニ至ルヘシ町村制第二十三條ノ精神豈斯クノ如キモノナランヤ況ンヤ村會議員選舉投票用紙ニ右用紙並ニ其記載例ヲ用紙ノ文字ハ原告カ豫メ印刷シ置キタルモノニシテ其之ヲ爲シタル用紙ヲ配付シタルハ從來ノ經驗ニ徴スルモ右用紙並ニ其記載例ヲシテ選舉人カ區々ノ意志ニ任セシムルハ或ハ汚雜蠱廢ノ用紙ヲ用ヒ又ハ被選舉人氏名記入ノ位置等ヲ亂ス等其不完全不順序ナル實ニ名狀スヘカラサルモノアルニヨリ却テ之カ爲メ不知不識中匿名投票ノ性質ヲ失シ若クハ投票ノ効力ヲ失フニ至レル恐ナキヤチ慮リ之ヲ豫防セントノ思念ヨリ其用紙並ニ記載例ノ一定ヲ計リタルニ由レルモノニシテ即チ選舉人各自方自ラ記入シタルモノニアラサルニ於テオヤ依テ明治二十五年四月二十一日ニ於テ執行セル石川縣羽咋郡北邑知村々會一級議員半數改選々舉會ニ用ヒタル投票ノ幾分ハ他事ノ記入アルモノトシテ無効トナセル同縣選舉會ノ裁決ヲ取消シ同投票ヲシテ有効タラシメタシト云フニ在リ

被告答辯ノ要旨ハ明治二十五年四月二十一日ニ於テ執行セル石川縣羽咋郡北邑知村々會一級議員半數改選々舉會ニ投票ニ村會議員選舉並ニ羽咋郡北邑知村々會議員投票用紙ノ文字ヲ記入シタル者アリシテ無効ナリトシ之ヲ除却シテ常選人ヲ定メラレシコトヲ北山作兵衛外三名ヨリ村會及ヒ郡選舉會ニ訴願シタルニ採用セラレサルニ依リ更ニ縣選舉會ニ訴願シタル處縣選舉會ニ於テハ前掲投票用紙ニ記入シタル文字ハ町村制第二十三條第二項ノ四ニ依リ無効ト爲スヘシト裁決シタルモノニシテ抑原告ハ町村制第二十三條第二項ノ四ニ依リ他事ト認ムヘキモノハ其記事投票ノ性質ニ違ヘルカ若クハ選舉人ノ意志明瞭ナラサルカ又ハ選舉ノ結果ニ異動ヲ生スルカ如キ場合ニ適用スヘキモノニアラサレハナリ之ヲ裁決シタルモノニシテ抑原告ハ町村制第二十三條第二項ノ四ニ依リ他事ト認ムヘキモノハ其記事投票ノ性質ニ違ヘルカ若クハ選舉人ノ意志明瞭ナラサルカ又ハ選舉ノ結果ニ異動ヲ生スルカ如キ場合ニ適用スヘキモノニアラサレハナリ

如キ場合ニ該當スヘキモノニシテ本件ニ對シ適用スヘキモノニアラサレト云フト雖町村制第二十三條ニハ明カニ被選舉人氏名ノ外他事ヲ記入シタル投票ハ無効トスヘキコトヲ規定セルヲ以テ町村會議員ノ投票ハ該法文ノ規定ニ從ヒ嚴正ニ被選舉人ノ氏名ノ外他事ヲ記入スヘキモノニシテ其他ノ事故ヲ記入スヘキコトヲ論テ俟タサルナリ即チ村會議員選舉ノ記入アルカ如キ羽咋郡北邑知村々會議員投票用紙ト記入スルカ如キ各別ニ意義アル語辭ナルニモ拘ハラズ原告ハ漫ニ說ヲ構ヘ其記事投票ノ性質ニ違ヘルカ若クハ選舉人ノ意志明瞭ナラサルカ又ハ選舉ノ結果ニ異動ヲ生スルカ如キ場合ニ適用スヘキモノニアラサレハナリ

ニ一ハ以テ差支ナキ他事ナリトシ一ハ以テ差支アル他事ナリトス惟フニ原告ハ法律ノ規定外ニ於テ縱ニ自己ニ便宜ナル解釋ヲ求メ故ラニ其區別ヲ立テントス強モ亦甚シト云フヘシ是レ被告ニ於テ原告要求ノ理由ヲ不當トスル所以ノ第一ナリ又議員ノ選舉ニ就キ投票効力ノ有無ヲ定ムルハ之ヲ他ノ法律即チ衆議院議員選舉法第五十一條府縣制第三條郡制第十八條等ノ規定ニ依リテ裁決スルニ右等各法ハ各被選人氏名ノ外他事ヲ記入スルモノヲ以テ無効トシ尙他事ヲ記入スルモノハ中ニ就テ無効トセサルモノヲ特許セリ獨リ町村會

議員ノ選舉ニ限リ此特例ヲ設ケサルハ一町村ノ如キハ場所モ狭クシテ此ノ如キ特例ヲ設ケルノ必要アラサルカ故ナリ即チ全ク他事ヲ記入テ禁制シタル法文ヲ他ノ法律ニ於テ特許ノ場合アルモノト同一視スヘカラス是レ被告ニ於テ原告要求ノ理由ヲ不當トスル所以ノ第二ナリ依テ石川縣羽咋郡北邑知村々會一級議員半數改選々舉會ニ用ヒタル投票中村會議員選舉並ニ羽咋郡北邑知村々會議員投票用紙ノ文字ヲ記入シタルモノハ縣選舉會ニ於テ無効ト裁決シタルハ其當ヲ得タルモノニ付原告ノ請求ヲ排斥アリタシト云フニ在リ

依テ雙方ノ辯論ヲ聽キ證據ヲ閱シ理由ヲ說明スルコト左ノ如シ

被告ハ町村制第二十三條ニ被選舉人氏名ノ外他事ヲ記入スル投票ハ無効トスヘキコトヲ規定セルヲ以テ何事ニ限ラス被選舉人氏名以外ノ事ヲ記入シタル投票ハ同條第二項ノ四ニ該當シ總テ無効タルヘシト云フト雖該規定ハ選舉ニ害アル事ヲ記入シ若クハ選舉ニ必要ナキ雜事ヲ記入シタル場合等ヲ指スモノニシテ投票用紙タルノ性質ヲ明確ナラシムル爲メノ記入ノ如キハ之ニ該當スト謂フヘカラ

又被告ハ衆議院議員選舉法第五十一條府縣制第三條郡制第十八條ヲ引援シテ論スルト雖町村會議員ノ選舉ハ町村制ノ規定ニ依リヘキモノニシテ他ノ法律ヲ引援シテ論スヘキニアラサレハ村會議員選舉羽咋郡北邑知村々會議員投票用紙ト印刷セル用紙ヲ以テ爲シタル投票ハ町村制第二十三條第二項ノ四ニ該當スルモノト謂フコトヲ得ス

右ノ理由ニ依リ判決スルコト左ノ如シ

明治二十五年四月二十一日石川縣羽咋郡北邑知村々會一級議員半數改選々舉會ニ於テ行ヒタル投票中村會議員選舉羽咋郡北邑知村々會議員投票用紙ノ文字ヲ印刷セルモノハ無効ニアラス 訴訟費用ハ被告ノ負擔トス

五十 村會議員選舉投票ノ効力ニ關スル件

明治二十六年五月六日宣告 明治二十五年第五百三十三號

原告 石川縣羽咋 郡若部村長 北村善太郎 被告 同縣選舉會 三間正弘

右原告若部村長北村善太郎ヨリ被告石川縣知事三間正弘ニ對スル村會議員二級選舉投票ノ効力ニ關スル訴審理ヲ遂クル處

原告訴求ノ要旨ハ明治二十五年四月二十日石川縣羽咋郡若部村字尾長北川吉之丞宅ニ於テ同村會二級議員半數改選々舉會ヲ執行セシカ其前日原告ハ各選舉人ヲシテ成ルヘク一定ノ投票用紙ヲ用ヒシメントチ欲シ村會議員投票明治二十五年月日ト印刷セル投票用紙ヲ配付シタリ選舉人ハ之ヲ用ヒタルモアリ又用ヒサルモアリタルカ山本孫十郎池邊右衛門木村助左衛門ハ該用紙ヲ用ヒテ選舉シタル投票ヲ認メテ町村制第二十三條第二項ノ四ニ所謂被選舉人氏名ノ外他事ヲ記入スルモノトアルニ該當スルヲ以テ即チ無効ナリトシ

明治二十五年四月二十六日村長ニ訴願シタルモ同村會ハ右投票ハ法律ニ違背セス總テ有効ノモノナルニヨリ選舉點數ヲ更定スル限リニアラスト裁決シタルニ服セス同年五月二十一日郡選舉會ニ訴願シタルニ同會ハ尙村會裁決旨趣ノ如ク裁決シタルヲ不當トシ同年七月

第三類 市町村會議員選舉及公民權

月十三日更正縣參事會ニ訴願シタル處同會ハ右投票用紙ニ村會議員投票明治二十五年月日ノ文字ヲ印刷シアルハ町村制第二十三條第二項ノ四ニ所謂他事ノ記入ニ該當セルニ依リ從テ同投票ハ無効ナリト裁決セラレタリト雖原告ハ縣參事會ノ裁決ヲ不當トスルヲ以テ本訴ヲ提起スルニ至リタルモノニシテ抑町村制第二十三條第二項ノ四ニ所謂他事トハ石川縣參事會カ認ムル場合ニ該當スヘキモノニテアラシテ投票ノ性質ニ違ヘルカ若クハ選舉人ノ意志明瞭ナラサルカ又ハ選舉ノ結果ニ異動ヲ生スルカ如キ事故等要スルニ投票ノ嚴正明確ヲ失ヘル事實ヲ指シモナルヘシ若シ被選舉人ニ同姓同名ノモノアリトセハ其分別ヲナサン爲メ勢ヒ住所等ノ記入ヲ要スヘキハ免カレハカラサルニモ拘ハラズ縣參事會カ認ムル如クセハ是又他事ヲ記入セシモノトシテ其投票ハ効力ヲ失ハサルヲ得サルニ至ルヘシ豈ニ斯クノ如キ理アラシヤ加フルニ原告カ投票用紙ニ村會議員投票明治二十五年月日ト印刷シテ豫メ配付シタルハ該用紙ノ紙質樣式ヲシテ一定ニ出テシメントノ必要ヨリ起レルモノニシテ選舉人各自チシテ適宜ニ用紙ヲ用ヒシメハ在來ノ經驗ニ依ルモ或ハ汚雜毀廢ノ用紙ヲ用ヒ或ハ被選舉人氏名記入ノ位置等ヲ亂シ不知不識匿名投票ノ性質ヲ誤リ爲メニ投票ノ効力ヲ失スルニ至リタルモノナキヲ保セザリシニヨリ之ヲ豫防セントノ意旨ニ外ナラサルモノナリ然ルニ之ヲ町村制第二十三條第二項ノ四ノ他事記入ニ牽強シタルモノニアラサルニ於テテ依テ石川縣羽咋郡若部村ニ於テ執行シタル選舉ノ投票用紙ニ村會議員投票明治二十五年月日ト印刷セラルモノハ町村制第二十三條第二項ノ四ノ他事記入ニ該當セサルヲ以テ無効トスヘキニアラス隨テ該投票ヲ有効トスヘキ裁決アラシコトヲ請フト云フニ在リ

被告答辯ノ要旨ハ明治二十五年四月二十日ニ於テ執行セシ石川縣羽咋郡若部村會ニ級議員半數改選ノ際選舉人中投票ニ村會議員投票及ヒ明治二十五年月日ノ文字ヲ記入シタル者アリシヲ無効ナリトシ之ヲ除却シテ當選人ヲ定メラシコトヲ山本孫十郎外二名ヨリ村會及ヒ郡參事會ニ訴願シタルニ採用セラレサルニ依リ更正縣參事會ニ訴願シタル處縣參事會ニ於テハ前掲投票用紙ニ記入シタル文字ハ町村制第二十三條第二項ノ四ニ依リ無効ト爲スヘシト裁決シタルモノニシテ抑原告ハ町村制第二十三條第二項ノ四ニ依リ他事ト認ムヘキモノハ其記事投票ノ性質ニ違ヘルカ若クハ選舉人ノ意志明瞭ナラサルカ又ハ選舉ノ結果ニ異動ヲ生スルカ如キ場合ニ該當スヘキモノニシテ本件ニ對シ適用スヘキモノニアラスト云フト雖町村制第二十三條ニハ明カニ被選舉人氏名ノ外他事ヲ記入シタル投票ハ無効トスヘキコトヲ規定セルヲ以テ町村會議員投票ハ該法文ノ規定ニ從ヒ嚴正ニ被選舉人ノ氏名ノミヲ記入スヘキモノニシテ其他ノ事故ヲ記入スヘカラサルヲ論テ俟タサルナリ即チ村會議員投票ト記入スルカ如キ年月日ヲ記入スルカ如キ各別ニ意義アル語辭ナルニモ拘ハラズ原告ハ漫ニ既述其記事投票ノ性質ニ違ヘルカ若クハ選舉人ノ意志明瞭ナラサルカ又ハ選舉ノ結果ニ異動ヲ生スルカ如キ場合ニアラサルヨリハ無効トスヘカラスト稱スト雖是レ等シク他事ヲ記入ナリ然ルニ一ハ以テ差支ナキ他事ナリトシ一ハ以テ差支アル他事ナリトス惟フニ原告ハ法律ノ規定外ニ於テ縱ニ自己ニ便宜ナル解釋ヲ求メ故ラニ其區別ヲ立テントス牽強モ亦甚シト謂フヘシ是レ被告ニ於テ原告票求ノ理由ヲ不當トスル所以ノ第一ナリ又議員ノ選舉ニ就キ投票効力ノ有無ヲ定ムルハ之ヲ他ノ法律即チ衆議

院議員選舉法第五十一條府縣制第三條郡制第十八條等ノ規定ニ應リテ徵スルニ右等各法ハ各被選舉人氏名ノ外他事ヲ記入スルモノヲ以テ無効トシ尙他事ヲ記入スルモノノ中ニ就テ無効トセサルモノヲ特許セリ獨リ町村會議員ノ選舉ニ限リ此特例ヲ設ケサルハ一町村ノ如キハ場所モ狹クシテ此クノ如キ特例ヲ設ケルノ必要アラサルカ故ナリ即チ全ク他事ヲ記入シタル法文ヲ他ノ法律ニ於テ特許ノ場合アルモノト同一視スヘカラス是レ被告ニ於テ原告票求ノ理由ヲ不當トスル所以ノ第二ナリ依テ石川縣羽咋郡若部村會ニ級議員半數改選ノ選舉ニ用ヒタル投票中村會議員投票明治二十五年月日ノ文字ヲ記入シタルモノヲ縣參事會ニ於テ無効ト裁決シタルハ其當チ得タルモノニ付原告ノ請求ヲ排斥アリタシト云フニ在リ

依テ雙方ノ辯論ヲ聽キ證據ヲ閱シ理由ヲ說明スルコト左ノ如シ

被告ハ町村制第二十三條ニ被選舉人氏名ノ外他事ヲ記入シタル投票ハ無効トスヘキコトヲ規定セルヲ以テ何事ニ限ラス被選舉人氏名以外ノ事ヲ記入シタル投票ハ同條第二項ノ四ニ該當シ總テ無効タルヘシト云フト雖該規定ハ選舉ニ害アル事ヲ記入シ若クハ選舉ニ必要ナキ雜事ヲ記入シタル場合等ヲ指シモノニシテ投票用紙タルノ性質ヲ明確ナラシムル爲メノ記入ノ如キハ之ニ該當スト謂フヘカラズ又被告ハ衆議院議員選舉法第五十一條府縣制第三條郡制第十八條ヲ引援シテ論スルト雖町村會議員ノ選舉ハ町村制ノ規定ニ依ルヘキモノニシテ他ノ法律ヲ引援シテ論スヘキニアラサルハ村會議員投票明治二十五年月日ト印刷セル用紙ヲ以テ爲シタル投票ハ町村制第二十三條第二項ノ四ニ該當スルモノト謂フコトヲ得ス

右ノ理由ニ依リ判決スルコト左ノ如シ

明治二十五年四月二十日石川縣羽咋郡若部村會ニ級議員半數改選々學會ニ於テ行ヒタル投票中村會議員投票明治二十五年月日ノ文字ヲ印刷セルモノハ無効ニアラス 訴訟費用ハ被告ノ負擔トス

五十一 村會議員選舉無効投票取消ニ關スル件

明治二十六年五月八日宣告
明治二十五年第七十二號

原告 熊本縣上益城 郡濱町村雜業 木原覺八

被告 同縣同郡 下田弘治

右原告木原覺八ヨリ被告下田弘治ニ對スル村會議員選舉無効投票取消ノ訴審理ヲ遂ル處

原告代理人請求ノ要旨ハ明治二十五年五月一日及二日ノ兩日ニ於テ本件濱町村々會議員半數改選ノ選舉ヲ執行シタリ然ルニ其選舉投票中氏名ノ外餘事ヲ記入シタル一級投票三十二票及二級投票一百九票ハ無効ノ投票ナリ其理由ハ右一百四十一枚ノ投票ハ全投票中過半數ニ充チ且ツ凡テ同一ノ方針ニ向テ投票ヲ爲シタル等ノ事實ヨリ見レハ全ク偶然ノ記入ニアラスシテ必ス約束上一定ノ意思ヲ發表シタルモノト言ハサルヲ得ス加之ノミナラス甲第四號同第五號同第十號同第十一號證ニ據レハ右一百四十一枚ノ投票中他事ヲ記入シタルモノト云フニ在リ

第三類 市町村會議員選舉及公民權